

2021 中野区 区民意識・実態調査
《報告書》

2022年（令和4年）2月

中野区

はじめに

近年、我が国は、人口減少・超高齢社会という、どの国も経験したことのない時代に入っており、こうした人口構造の変化は、将来的には地域経済や中野区の財政、地域コミュニティの活力に深刻な影響を与えることが予測されます。依然として、新型コロナウイルス感染症は、人々の生命や健康に限らず、日常生活における外出や移動、地域経済、地域医療など様々な分野で深刻な影響を及ぼし続けており、区政運営においても引き続き的確な対応が求められます。

そのためにも、区民の生活に関する実態や意識をさまざまな観点から調査し、区民のニーズを的確に把握するとともに、十分な分析を行い、区の政策に活かしていくことが必要です。

「中野区区民意識・実態調査」は、区の施策や事業を適切に実施していくための基礎資料とすることを目的に実施しており、特に昨年9月に策定した「中野区基本計画」の進捗状況を定期的に把握する手がかりとしていきたいと思っております。

今年度は、「定住意向」「生活環境」「施策への要望」など経年調査事項のほか、「子どもの権利」「SDGs」など区が重点的に取り組む施策に関連する事項を追加して調査しました。

今回の調査結果は、施策、事業の基礎資料とすることはもちろん、区政の成果を図る指標とするなど、区政運営のさまざまな場面で活用してまいります。区民や事業者など多くの皆さまにも参考としていただければ、幸いです。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。

2022年(令和4年)2月

中野区長 酒井 直人

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の内容.....	1
3	調査の設計.....	2
4	回収結果.....	2
5	報告書の見方.....	2
II	回答者の属性.....	1
III	質問と回答.....	7
IV	結果と分析.....	35
1	定住意向について.....	35
(1)	居住年数.....	35
(2)	住みやすさの評価.....	38
(3)	定住・転出意向.....	41
(4)	定住理由.....	44
(5)	転出理由.....	47
(6)	転出予定先.....	49
2	生活環境について.....	50
3	中野区への愛着度について.....	53
(1)	中野区への愛着度.....	53
4	区政参加について.....	56
(1)	区民の意見の反映度.....	56
(2)	区政に参加したい方法.....	59
5	社会や地域との関わりについて.....	62
(1)	最近1年間に参加した地域活動.....	62
(2)	今後参加したい地域活動.....	65
(3)	町会・自治会・ボランティア活動への参加意向.....	68
(4)	町会・自治会・ボランティア活動への興味.....	70
(5)	町会・自治会・ボランティア活動参加に必要なもの.....	72
(6)	町会・自治会・ボランティア活動への不参加理由.....	74
(7)	趣味・文化・芸術活動発表の場.....	76
6	区民の文化芸術活動について.....	77
(1)	芸術や文化の鑑賞、文化イベント参加への興味・関心.....	77
(2)	中野区の文化的環境への満足度.....	80
(3)	1年間で行った文化芸術に関わる活動.....	83
7	生涯学習について.....	86
8	自転車利用について.....	89
(1)	自転車の利用頻度.....	89
(2)	持っている自転車.....	92
(3)	自転車を利用する理由.....	95

(4) 自転車を利用する主目的.....	98
(5) 片道の所要時間.....	101
(6) 乗り換える交通機関.....	104
(7) 不便な点.....	107
9 中野駅周辺について.....	110
(1) 中野駅周辺に行く頻度.....	110
(2) 中野駅周辺に行く目的.....	113
(3) 中野区周辺に行く際の交通手段.....	116
(4) 中野駅周辺利用時の不満の有無.....	119
(5) 中野駅周辺利用時の不満の内容.....	121
1 0 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について.....	123
(1) 日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）.....	123
(2) 鉄道駅（駅周辺）に行く目的.....	126
(3) 鉄道駅（駅周辺）に行く際の交通手段.....	129
(4) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の有無.....	132
(5) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の内容.....	135
1 1 商店街に行く頻度について.....	137
1 2 公園・広場等の利用について.....	140
(1) 区内の公園や広場の利用頻度.....	140
(2) 区内の公園や広場の満足度.....	143
(3) 区内の公園や広場の不満の理由.....	145
1 3 次世代に渡る定住意向について.....	147
1 4 地震災害への対策について.....	150
(1) 家庭での備え.....	150
(2) 食料の備蓄量.....	153
(3) 飲料水の備蓄量.....	154
(4) 地域で頼れる人の有無と属性.....	155
1 5 人権・男女共同参画について.....	158
(1) 男女の地位の平等感.....	158
① 家庭生活における男女の地位.....	160
② 職場における男女の地位.....	161
③ 学校教育の場における男女の地位.....	162
④ 社会全体における男女の地位.....	163
(2) 性別役割分担意識の同感度.....	164
(3) 男女共同参画関連用語の認知度.....	166
① 男女共同参画社会.....	167
② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）.....	168
③ 女性の活躍推進.....	169
④ DV（ドメスティック・バイオレンス）.....	170
⑤ デートDV.....	171
⑥ 中野区男女共同参画基本計画.....	172
⑦ 中野区男女平等基本条例.....	173

(4) 関心のある人権問題.....	174
(5) 人権侵害に関する相談体制の認知度.....	177
(6) 人権擁護委員の認知度.....	179
16 子どもの権利について.....	181
17 パートナーシップ宣誓について.....	183
(1) 中野区パートナーシップ宣誓の認知度.....	183
(2) 性的マイノリティに関する取組への必要の可否.....	186
① 区民に対する性的マイノリティに関する普及啓発.....	187
② 事業者に対する性的マイノリティに関する普及啓発.....	188
③ 性的マイノリティ当事者の相談窓口や居場所づくり.....	189
18 ユニバーサルデザインについて.....	190
(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度.....	190
(2) 「ユニバーサルデザイン」を知ったきっかけ.....	192
(3) 「ユニバーサルデザイン」についての印象.....	194
(4) 中野区ユニバーサルデザイン推進条例の認知度.....	196
(5) 普段の生活で感じる不便.....	198
19 医療保険・国民年金制度について.....	200
(1) 健康状態の自覚.....	200
(2) 国民健康保険のしくみ認知度.....	202
20 区政情報の入手について.....	204
21 多文化共生について.....	206
(1) 地域に暮らす外国人と交流する機会の有無.....	206
(2) 外国人が住みやすいまちづくりのために力を入れるべきこと.....	208
(3) 外国の方の生活に対するイメージ.....	211
22 環境に関する理解・関心について.....	214
(1) 環境問題対策の重要度.....	214
(2) 取り組んでいる環境に配慮した行動.....	217
(3) 知っている（参加したことがある）環境事業.....	220
(4) 知っている（参加したことがある）「食品ロス削減事業」.....	223
(5) 「気候変動への適応策」の認知度.....	226
(6) 「気候変動への適応策」として力を入れるべきこと.....	229
(7) ゼロカーボンシティ宣言の認知度.....	232
(8) ゼロカーボンに必要な対策.....	235
(9) 家庭での省エネ機器等導入支援で導入したい設備.....	238
23 スポーツ支援活動への参加について.....	241
24 基本構想について.....	243
25 中野区のまちの姿について.....	246
26 SDGsについて.....	259
27 施策への評価・要望について.....	261
(1) 区の施策への評価.....	261
(2) 区の施策への要望.....	263
(3) 行政サービスの満足度.....	267

I 調査の概要

1 調査の目的

広く区民を対象として、定住意向といった経年調査事項のほか、テーマ別調査を継続的に行うことにより、その時点での区民の行動や意識から区民のニーズを把握するとともに、その変遷をとらえ、施策立案のための統計的・基礎資料とする。

2 調査の内容

- (1) 定住意向について
- (2) 生活環境について
- (3) 中野区への愛着度について
- (4) 区政参加について
- (5) 社会や地域との関わりについて
- (6) 区民の文化芸術活動について
- (7) 生涯学習について
- (8) 自転車利用について
- (9) 中野駅周辺について
- (10) 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について
- (11) 商店街に行く頻度について
- (12) 公園・広場等の利用について
- (13) 次世代に渡る定住意向について
- (14) 地震災害への対策について
- (15) 人権・男女共同参画について
- (16) 子どもの権利について
- (17) パートナーシップ宣誓について
- (18) ユニバーサルデザインについて
- (19) 医療保険・国民年金制度について
- (20) 区政情報の入手について
- (21) 多文化共生について
- (22) 環境に関する理解・関心について
- (23) スポーツ支援活動への参加について
- (24) 基本構想について
- (25) 中野区のまちの姿について
- (26) SDGsについて
- (27) 施策への評価・要望について
- (28) フェイスシート

3 調査の設計

- (1) 対象地域 中野区全域
- (2) 調査対象 20歳以上の中野区民
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 令和3年9月28日(火)～令和3年10月19日(火)
- (7) 調査機関 株式会社名豊

4 回収結果

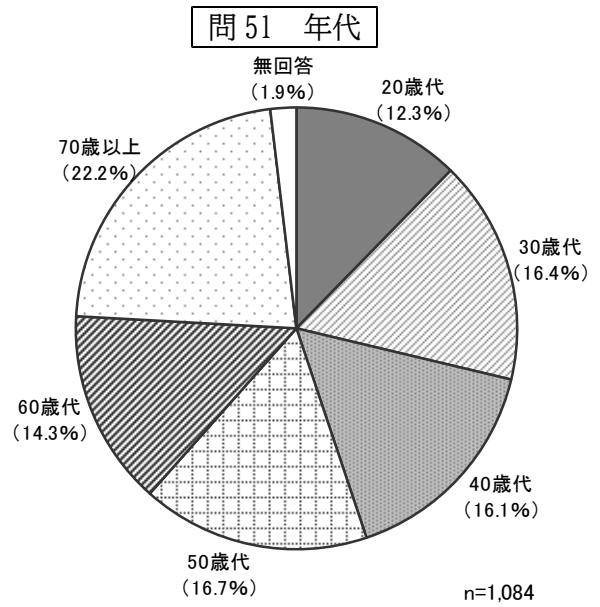
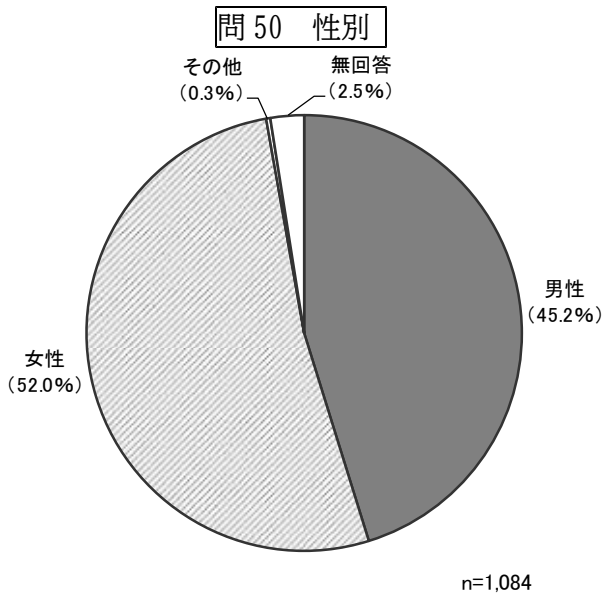
- (1) 有効回収数 1,084人(54.2%)

5 報告書の見方

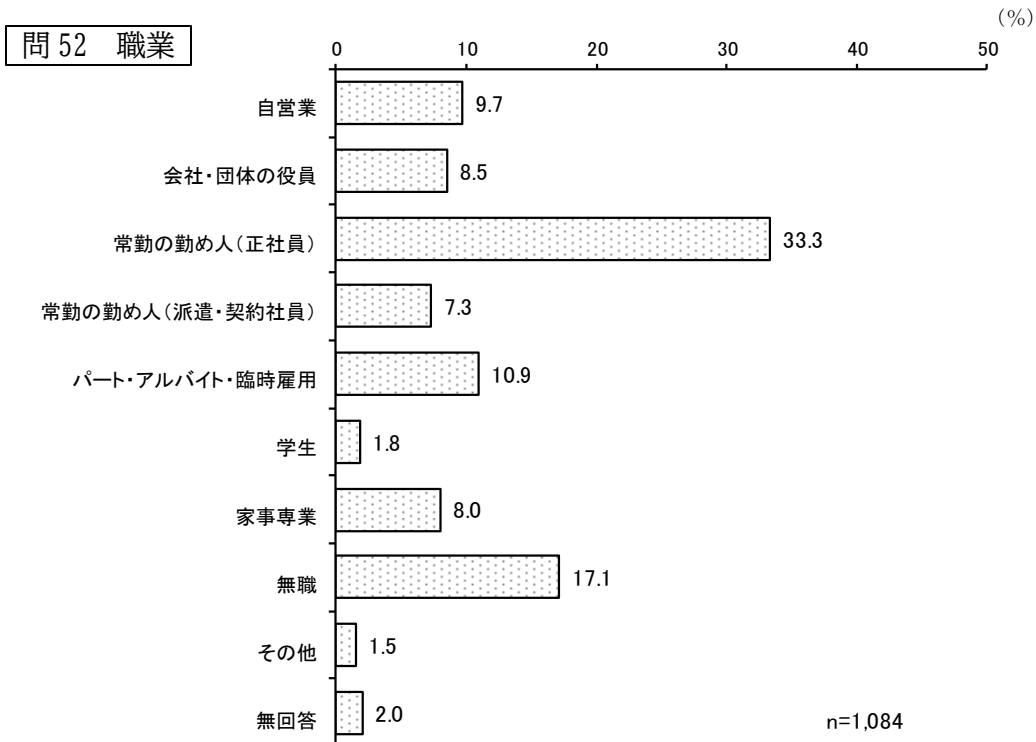
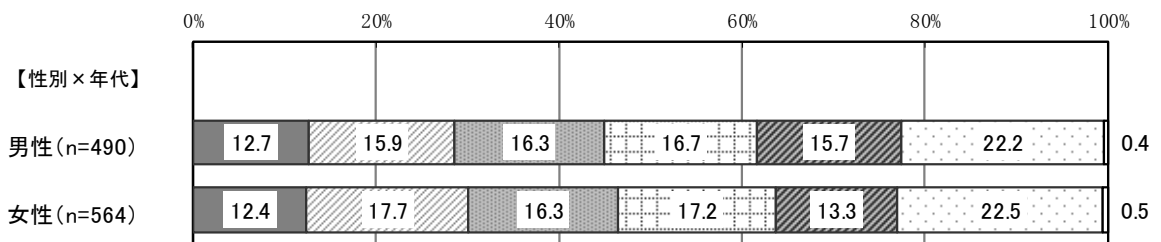
- (1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって単数回答の設問については、すべての選択肢の合計が100.0%に満たない、または上回る場合がある。また、小計の比率も同様に各選択肢の比率の合計に満たない、または上回る場合がある。
- (2) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) 集計は、すべて単純集計、必要に応じて属性別クロス集計を行った。また、分析の必要に応じて設問間クロス集計を行った。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。また、設問間クロス集計についても、視点の明確化を図るため、必要選択肢にのみしぼって使用している場合があるため同様となっている。
- (6) グラフに表記されている「n=*」(*は数字)は、集計対象の母数を表している。
- (7) 表中の網掛けは、全体の数値よりプラスマイナス5ポイント以上の差がある場合に表示しており、プラスは(濃い)白抜き、マイナスは(薄い)黒文字。また、白抜きの数値は、全体の数値よりも5ポイント以上高い場合を表している。
- (8) 他の自治体等との比較は、設問や選択肢等が必ずしも完全に一致していないため、あくまで参考である。
- (9) クロス集計において、回答対象者の属性毎のサンプル数が30を下回る場合は、参考値とみなし該当属性に対するコメントは控え、比較対象としない。
- (10) 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

表記	約4割 (4割)	4割前半	4割半ば	4割後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

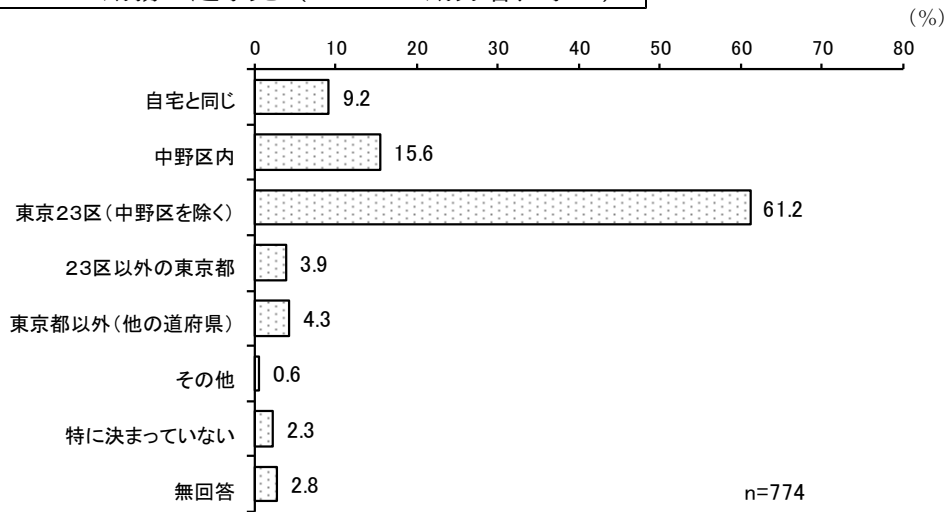
Ⅱ 回答者の属性



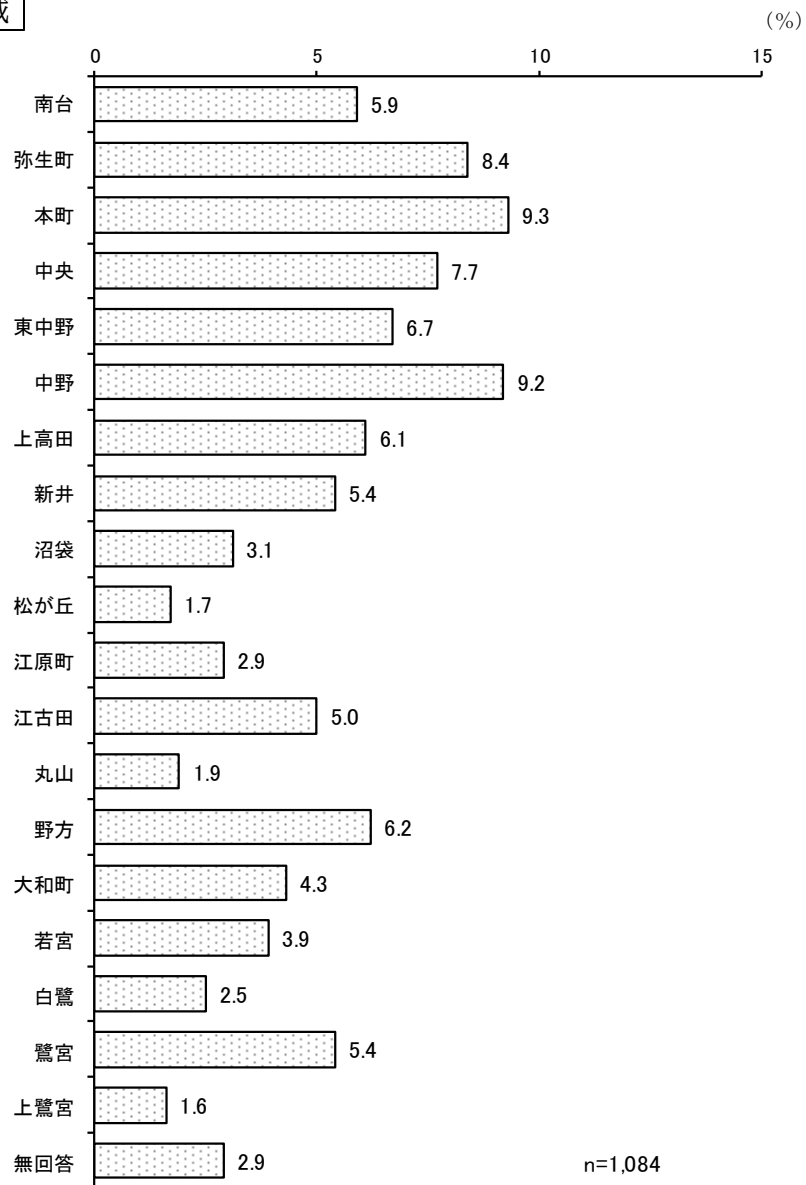
性・年代別



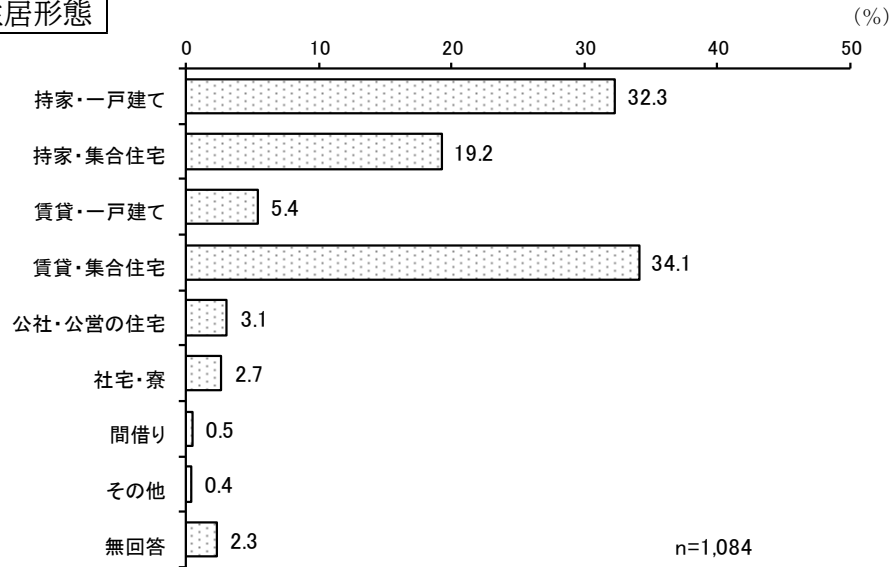
問 52-1 勤務・通学先（ベース：勤労者、学生）



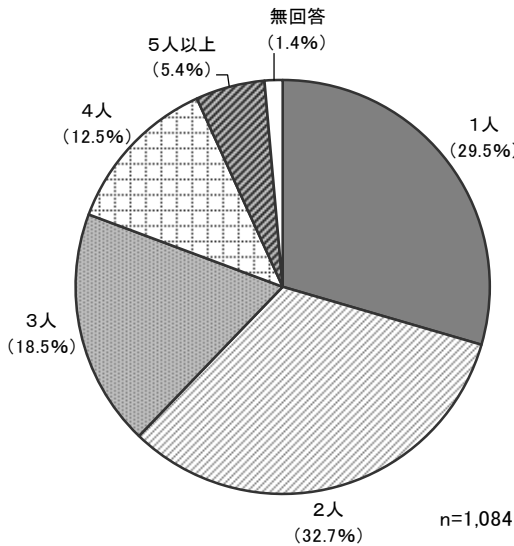
問 53 居住地域



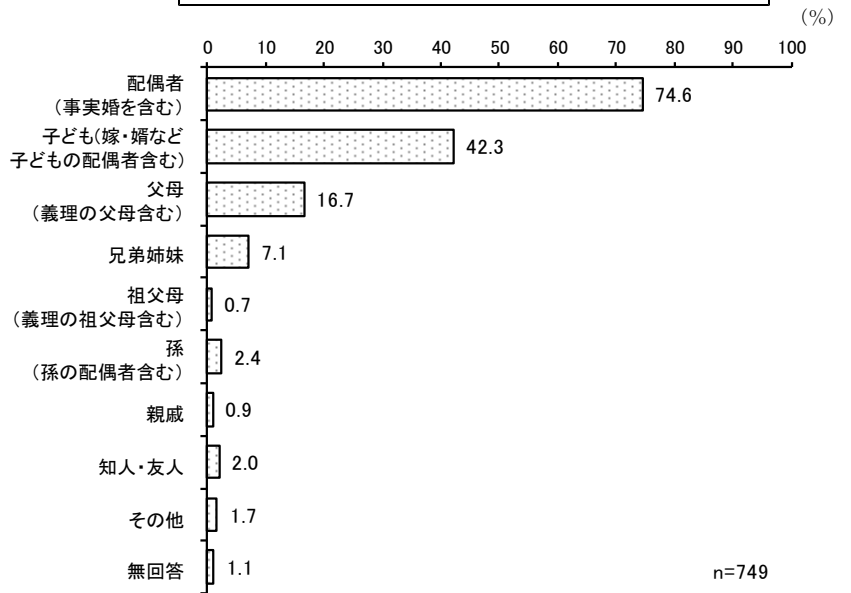
問 54 住居形態



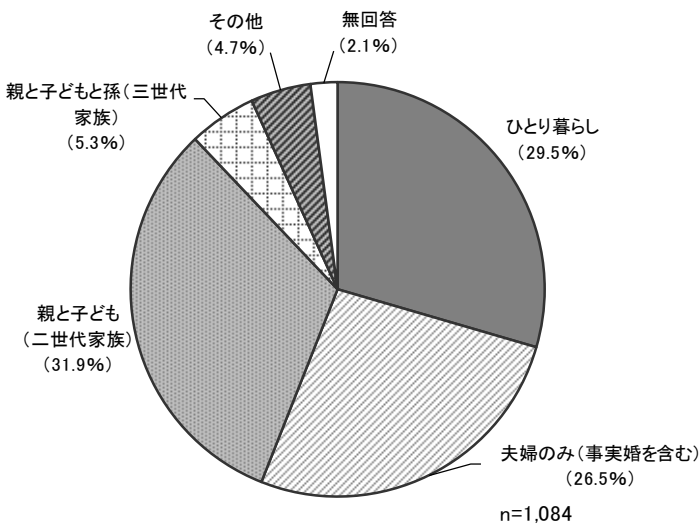
問55 同居人数



問55-1 同居者 (ベース:同居者2人以上)



同居家族構成



Ⅲ 質問と回答

2021 中野区区民意識・実態調査

中野区では、区民の皆様のお考えや日常の生活実態などをお伺いし、今後の区政運営の基礎資料にさせていただきたいと考えております。

今回の調査は、20歳以上の区民の皆様2,000人を対象に、「定住意向」「生活に関わるさまざまな事項」「施策への要望」などについてお伺いします。

また、今回、あなた様にこの調査票をお送りしたのは、中野区民の中から統計的手法によって無作為に選ばせていただいた結果です。お答えいただく内容は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れることは一切ありません。

お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月

中野区長 酒井 直人

【ご記入にあたってのお願い】

◇調査票の記入について

- ①ご記入は、あて名のご本人にお願いいたします。
- ②お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数（あてはまるものすべて）回答していただくものなどがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。例) ① はい
- ③お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、10月19日(火)までにご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

中野区 総務部 総務課 統計係

電話 03-3228-8892

FAX 03-3228-5643

1 定住意向についてお伺いします

問1 中野区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=0.8

1. 1年未満	9.3	2. 1～3年未満	11.8
3. 3～5年未満	6.7	4. 5～10年未満	11.3
5. 10年～20年未満	14.9	6. 20年～30年未満	13.2
7. 30年以上	31.9		

問2 現在の中野区を住みよいと思いますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=0.9

1. とても住みよい	29.2	2. まあ住みよい	64.3
3. やや住みにくい	5.1	4. とても住みにくい	0.5

問3 今後も引き続き中野区にお住まいになりますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=0.9

1. ずっと住み続けるつもり	29.1	2. 今のところは住み続けるつもり	53.6
3. いずれ区外へ転出するつもり	7.4	4. 近いうちに区外へ転出するつもり	2.8
5. わからない	6.3		

問3で「1」「2」と答えた方にお聞きします。

問3—1 今後も中野区に住み続ける(住み続けたい)理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=896) NA=1.6

1. 住み慣れているから	58.0	2. 家・土地を持っているから	47.1
3. 家の広さなど居住環境がよいから	17.6	4. 家賃(地代)が手頃だから	8.4
5. 通勤・通学に便利だから	43.3	6. 買い物や病院などの生活の便がよいから	41.4
7. 仕事や商売の都合で	10.0	8. 子育て・教育環境がよいから	2.1
9. 地域の間人関係がよいから	11.8	10. 親族や友人・知人がいるから	16.4
11. 自然や街並みがよいから	8.4	12. 治安がよいから	15.1
13. 公共施設が充実しているから	7.3	14. まちが好きだから	14.0
15. その他()			2.5

問3で「3」「4」と答えた方にお聞きします。

問3—2 中野区から転出する(転出したい)理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=110) NA=3.6

1. 自分の家・土地ではないから	31.8	2. 就職や結婚のため	10.9
3. 家の広さなど居住環境がよくないから	21.8	4. 家賃(地代)が高いから	26.4
5. 通勤・通学に不便だから	7.3	6. 買い物や病院などの生活の便がよくないから	2.7
7. 仕事や商売の都合で	17.3	8. 子育て・教育環境がよくないから	7.3
9. 地域の間人関係がよくないから	4.5	10. 親族や友人・知人がいないから	5.5
11. 自然や街並みがよくないから	15.5	12. 治安がよくないから	5.5
13. 公共施設が充実していないから	6.4	14. まちが好きでないから	1.8
15. その他()			16.4

問3—3 転居予定先はどちらですか。(○は1つ) (N=110) NA=1.8

1. 杉並区	5.5	2. 世田谷区	0.9	3. 練馬区	3.6
4. 新宿区	3.6	5. 渋谷区	0.9	6. 豊島区	0.9
7. 近隣区以外の他区	10.0	8. 都内市町村(23区外)	7.3		
9. 東京都以外(他の道府県)	24.5	10. 外国	3.6	11. 決めていない	37.3

2 生活環境についてお伺いします

問4 お住まい周辺の生活環境についてどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ) (N=1,084)

	NA	よい	い え ば よ い ど ち ら か と	い え ば 悪 い ど ち ら か と	悪 い
① 交通の便について	0.7	66.1	27.5	5.3	0.5
② 買い物の便について	0.6	51.1	38.8	7.8	1.7
③ 病院や医療機関の便について	1.1	42.8	47.0	8.3	0.8
④ みどりの豊かさについて	1.8	17.9	46.1	27.0	7.2
⑤ 公園や広場について	1.8	19.3	44.7	27.2	6.9
⑥ 近所付き合いについて	2.6	11.3	53.3	24.4	8.4
⑦ ご自身の住宅環境について	0.8	29.3	56.1	11.8	1.9
⑧ 交通の安全性について	1.6	22.9	50.9	20.6	4.1
⑨ 自転車の走行環境について	3.3	8.4	36.0	37.1	15.2
⑩ 自転車駐車場の利便性について	5.1	7.8	36.0	37.6	13.5
⑪ 災害時の安全性について	3.0	11.4	53.4	25.6	6.5
⑫ 風紀や治安について	2.5	18.5	63.3	13.4	2.3
⑬ 景観や街並みについて	2.4	13.1	59.1	22.0	3.4
⑭ 騒音や大気汚染について	2.0	12.5	52.6	29.0	4.0
⑮ ごみ出しやリサイクルについて	1.4	24.9	58.4	12.5	2.8
⑯ 住みやすさ全般について	1.8	26.4	66.3	5.2	0.3
⑰ ①～⑯の答えについて、特に理由があればお書きください。					

3 中野区への愛着度についてお伺いします

問5 中野区に愛着を感じていますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=1.2

1. とても感じている	26.3	2. どちらかといえば感じている	56.7
3. どちらかといえば感じていない	10.8	4. 感じていない	5.0

4 区政参加についてお伺いします

問6 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか。(○は1つ)
(N=1,084) NA=0.7

1. そう思う	2.9	2. どちらかといえばそう思う	24.4
3. どちらかといえばそう思わない	18.9	4. そう思わない	9.1
5. わからない	43.9		

問7 次に掲げる区政に参加する方法のうち、あなたが参加したいと思う方法はなんですか。
(○はいくつでも) (N=1,084) NA=9.7

1. 会場での説明会	17.1
2. オンラインによる説明会・意見交換会	15.1
3. 区民を対象とした意見交換会(タウンミーティング)	13.5
4. スマートフォン、パソコンを使っていつでも参加できるもの(アンケート)	58.0
5. その他()	6.3

問8②で「4～12」と答えた方にお聞きします。

問9 あなたは、中野区内において、町会・自治会活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ) (N=557) NA=2.5

1. はい	31.8	2. いいえ	65.7
-------	------	--------	------

問9で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

問9-1 どのような町会・自治会活動やボランティア活動に興味がありますか。(○はいくつでも) (N=177) NA=1.1

1. 防災・防犯	26.0	2. 環境・リサイクル・ゴミ等	27.7
3. 交通安全	15.3	4. 子育て支援	39.0
5. 高齢者や障害者への支援	28.2	6. まちづくり	33.3
7. その他 ()			11.3

問9-2 町会・自治会活動やボランティア活動に参加するためには、何が必要ですか。(○はいくつでも) (N=177) NA=1.1

1. 活動に参加する時間	52.0	2. 近隣に住んでいる人との交流	28.2
3. 参加を呼びかけるイベントや説明会等	43.5	4. 運営者からの声掛け・お誘い	27.7
5. 団体などの活動内容の情報	44.6	6. その他 ()	4.0

問8②で「13」と答えた方にお聞きします。

問10 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=329) NA=6.7

1. 活動する時間がない	44.7	2. 参加するきっかけが得られない	21.9
3. 情報がない	17.9	4. 参加したい活動や団体がない	11.9
5. 興味・関心がない	38.3	6. その他 ()	7.9

問8①で「6～7」と答えた方にお聞きします。

問11 趣味・文化・芸術活動を行っている人にお伺いします。
あなたの活動の発表の場は、主にどこですか。(○は1つ) (N=92) NA=34.8

1. 地域でのまつりやイベント	15.2	2. 福祉施設等でのイベント	3.3
3. 公共のホール等を借りて発表	7.6	4. 民間のホール等を借りて発表	1.1
5. その他 ()	6.5	6. 発表はしない	31.5

6 区民の文化芸術活動についてお伺いします

問12 あなたは芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加することに興味・関心がありますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.3

1. ある	36.6	2. 少しある	33.1
3. あまりない	11.2	4. ない	12.9
5. わからない	3.9		

問13 文化芸術を鑑賞したり、習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、中野区での文化的環境に満足していますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.5

1. 満足している	2.0	2. どちらかといえば満足している	18.9
3. どちらかといえば満足していない	15.1	4. 満足していない	8.1
5. わからない	53.3		

問14 文化芸術に関わる活動は、作品鑑賞だけでなく、作品の創作や習い事、あるいはボランティアとしてこれらの活動を支援することがあります。
あなたは、この1年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=4.1

1. 音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	7.6
2. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	5.6
3. 地域の芸能や祭りへの参加	4.0
4. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演	3.1
5. 子どもの文化芸術体験のための参加	2.7
6. 音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動	1.7
7. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	1.1
8. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	1.6
9. その他 ()	1.8
10. 特に行ったことはない	70.0
11. わからない	6.6

7 生涯学習についてお伺いします

問15 講座や教室、スポーツ活動や文化芸術活動など、区内における生涯学習の機会は充実していると思いますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=1.9

1. そう思う	2.6	2. どちらかといえばそう思う	17.1
3. どちらかといえばそう思わない	11.7	4. そう思わない	7.0
5. わからない	59.7		

8 自転車利用についてお伺いします

問16 あなたは自転車を利用しますか、また、利用する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)
(N=1,084) NA=0.9

1. 利用する(週5日以上)	19.3	2. 利用する(週3~4日)	10.1
3. 利用する(週1~2日)	10.7	4. 利用する(月に数回)	13.9
5. 全く利用しない	45.1		

問16で「1~4」と答えた方にお聞きします。

問16-1 あなたはどのような自転車をお持ちですか。

該当するものすべてを選択してください。(○はいくつでも) (N=585) NA=1.2

1. 軽快車	47.2	2. 電動アシスト車	31.5
3. スポーツ車	11.3	4. 折り畳み自転車	5.1
5. その他	11.1		

問16-2 あなたが自転車を利用する理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=585) NA=1.0

1. 手軽に使える	76.8	2. 早く移動できる	69.9
3. 健康によい	24.6	4. ガソリン代・電気代がかからない	14.4
5. 車の渋滞・満員電車などのストレスがない			19.5
6. 環境に優しい	17.1		
7. 利用に適した公共交通機関がない	12.5	8. 走っていて気持ちがよい	20.3
9. ストレス解消	5.8		

問16-3 あなたが自転車を利用する主な目的は何ですか。(○はいくつでも) (N=585) NA=0.9

1. 日常的な生活圏内の利用(買い物・公共施設の利用・通院等)	88.4		
2. 通勤・通学	28.2		
3. 日常の生活圏より遠出の利用(レジャー・観光等)	8.4	4. サイクリング	7.0
5. 業務・仕事中の移動	10.4	6. その他	2.1

問16-4 あなたが問16-3で選択した自転車の主な利用目的において、自転車に乗っている所要時間は片道どのくらいですか。(○は1つ) (N=585) NA=2.2

1. 5分以内	3.2	2. 5分~15分	51.5
3. 15分~30分	29.1	4. 30分~45分	8.2
5. 45分~60分	3.1	6. 60分以上	2.7

問16-5 あなたが自転車の主な利用目的において、自転車から他の交通機関へ乗り換えることがありますか。乗り換える場合は、その主な交通手段を1つ選んでください。
(○は1つ) (N=585) NA=5.5

1. 電車	32.6	2. 自家用車	4.3	3. バス	7.5
4. バイク・原付	0.7	5. その他()	1.0	6. 乗り換えない	48.4

問17 あなたが自転車の利用に関して不便に思う点はなんですか。(○は1つ) (N=1,084) NA=38.7

1. 雨天時に利用しにくい	18.6	2. 自転車の走行環境が整っていない	11.2
3. 運転時に危険を感じる	4.3	4. 駐輪環境が整っていない	11.7
5. 荷物を運ぶのに不便	0.3	6. 目的地が遠すぎる	0.3
7. 運転に自信がない	1.3	8. シェアサイクルが不足している	0.7
9. その他 ()	2.1	10. 特にない	10.8

9 中野駅周辺についてお伺いします

問18 中野駅周辺に行くことは、どの程度の頻度でありますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=1.8

1. ほぼ毎日	13.0	2. 週に3~5日	9.6
3. 週に1~2日	17.4	4. 月に1~2日程度	27.8
5. 年に数回程度	18.2		
6. ほとんど行かない	12.3		

問18で「1~5」と答えた方にお聞きします。

問18-1 中野駅周辺に行く目的は何ですか。(○はいくつでも) (N=932) NA=0.9

1. 通勤・通学	21.1	2. 商用・仕事	6.8
3. 買い物	72.5	4. 飲食・喫茶	28.9
5. 区外へ出かけるため	19.4	6. 医療機関へ行くため	15.3
7. 音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	4.8	8. 習い事・塾	4.6
9. サークル活動	1.3	10. イベントに参加するため	2.3
11. 公園・広場を利用するため	7.0	12. 銀行・郵便局・役所に行くため	37.8
13. その他 ()			4.5

問18-2 中野駅周辺に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。(○はいくつでも) (N=932) NA=0.9

1. 徒歩	48.6	2. バス	45.2
3. 電車	13.9	4. 自転車	33.7
5. オートバイ・バイク	1.5	6. 自家用車	5.3
7. タクシー	3.5	8. その他 ()	0.2

問18-3 中野駅周辺を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。(○は1つ) (N=932) NA=0.9

1. ある	46.4	2. 特にない	48.5
3. わからない	4.3		

次ページの問18-4へ

問18-3で「1」と答えた方にお聞きします。

問18-4 その不満の内容は何ですか。(○はいくつでも) (N=432) NA=1.4

1. 混雑していて歩きにくい	51.9
2. 座れるところが少ない	19.9
3. 駅の南北が行き来しづらい	27.8
4. 自転車と歩行者が混在し危険を感じる	61.3
5. 目的の場所から自転車駐車が遠い	33.6
6. 道路が狭い	37.5
7. 衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない	25.5
8. 魅力的な商店が少ない	18.3
9. 自転車マナーの悪い人がいる	38.2
10. 歩きたばこや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる	22.0
11. その他 ()	19.4

10 中野駅周辺以外の鉄道駅(駅周辺)についてお伺いします

問19 日常で最も利用する鉄道駅(駅周辺)はどこですか。(○は1つ) (N=1,084) NA=8.9

1. 新江古田駅 5.0	2. 鷺ノ宮駅 6.0	3. 都立家政駅 3.1
4. 野方駅 8.7	5. 沼袋駅 6.2	6. 新井薬師前駅 6.6
7. 落合駅 1.9	8. 東中野駅 11.8	9. 新中野駅 10.0
10. 中野坂上駅 7.8	11. 中野新橋駅 5.5	12. 中野富士見町駅 3.2
13. その他 ()		15.1

問19-1 問19の鉄道駅(駅周辺)に行く目的は何ですか。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=6.6

1. 通勤・通学 37.7	2. 商用・仕事 9.8
3. 買い物 54.3	4. 飲食・喫茶 17.9
5. 区外へ出かけるため 43.0	6. 医療機関へ行くため 17.3
7. 音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため 6.0	8. 習い事・塾 2.9
9. サークル活動 0.9	10. イベントに参加するため 2.0
11. 公園・広場を利用するため 2.1	
12. 銀行・郵便局・役所に行くため 13.1	
13. その他 ()	3.2

問19-2 問19の鉄道駅に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=5.9

1. 徒歩 76.0	2. バス 9.1
3. 電車 6.6	4. 自転車 14.9
5. オートバイ・バイク 0.7	6. 自家用車 1.2
7. タクシー 1.5	8. その他 () 0.7

問19-3 問19の鉄道駅(駅周辺)を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。
(○は1つ) (N=1,084) NA=5.7

1. ある	35.6	2. 特にない	55.4	3. わからない	3.3
-------	------	---------	------	----------	-----

問19-3で「1」と答えた方にお聞きします。

問19-4 その不満の内容は何ですか。(○はいくつでも) (N=386) NA=0.3

- | | |
|------------------------------|------|
| 1. 混雑していて歩きにくい | 16.8 |
| 2. 座れるところが少ない | 10.9 |
| 3. 駅の南北が行き来しづらい | 15.3 |
| 4. 自転車と歩行者が混在し危険を感じる | 34.7 |
| 5. 目的の場所から自転車駐車が遠い | 16.6 |
| 6. 道路が狭い | 29.8 |
| 7. 衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない | 31.6 |
| 8. 魅力的な商店が少ない | 43.3 |
| 9. 自転車マナーの悪い人がいる | 26.2 |
| 10. 歩きたばこや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる | 18.9 |
| 11. その他 () | 23.3 |

11 商店街に行く頻度についてお伺いします

問20 買い物やサービス等利用のため、商店街へはどの程度の頻度で行きますか。(○は1つ)
(N=1,084) NA=1.4

1. ほぼ毎日	13.7	2. 週に3~5日	23.6	3. 週に1~2日	32.9
4. 月に1~2日程度	14.3	5. 年に数回程度	14.0		

12 公園・広場等の利用についてお伺いします

問21 区内の公園や広場を、どの程度の頻度で利用していますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=0.8

1. ほぼ毎日	3.4	2. 週に3~5日	4.8	3. 週に1~2日	13.6
4. 月に1~2日程度	15.7	5. 年に数回程度	20.1		
6. 利用していない	41.6				

問21で「1~5」と答えた方にお聞きします。

問21-1 現在の区内の公園や広場に満足していますか。(○は1つ) (N=624) NA=2.2

1. 非常に満足している	7.1	2. まあ満足している	58.5
3. やや不満である	26.3	4. 非常に不満である	5.9

次ページの問21-2へ

問21-1で「3~4」と答えた方にお聞きします。

問21-2 その理由は何ですか。(〇はいくつでも) (N=201) NA=1.0

- | | | | |
|--------------------|------|------------------|------|
| 1. アクセスが悪いから | 15.9 | 2. 公園や広場が狭いから | 55.2 |
| 3. 公園や広場がきれいではないから | 28.4 | 4. 公園や広場の治安が悪いから | 11.4 |
| 5. 公園や広場の数が少ないから | 49.3 | 6. ペットを連れて入れないから | 8.0 |
| 7. ボール遊びができないから | 15.9 | 8. その他 () | 27.9 |

13 次世代に渡る定住意向についてお伺いします

問22 中野区のまちは、次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思いますか。
(〇は1つ) (N=1,084) NA=3.0

- | | | | |
|-------------------|------|-----------------|------|
| 1. そう思う | 18.7 | 2. どちらかといえばそう思う | 43.6 |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 10.1 | 4. そう思わない | 4.7 |
| 5. わからない | 19.8 | | |

14 地震災害への対策についてお伺いします

問23 地震災害に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。
(〇はいくつでも) (N=1,084) NA=2.0

- | | | |
|------------------------|----------|------|
| 1. 食料の備蓄 | → 問23-1へ | 57.1 |
| 2. 飲料水の備蓄 | → 問23-2へ | 63.4 |
| 3. 簡易トイレの備蓄 | | 24.4 |
| 4. 家具類の転倒防止 | | 27.8 |
| 5. 消火器・救急セットなどの備え | | 25.7 |
| 6. バールやハンマーなどの救助用工具の備え | | 6.5 |
| 7. 貴重品を持ち出す準備 | | 14.7 |
| 8. 風呂などへの水のため置き | | 18.9 |
| 9. 救命救助の講習会への参加 | | 3.7 |
| 10. 地域の防災訓練への参加 | | 4.9 |
| 11. 避難方法・避難場所の確認 | | 23.4 |
| 12. 家庭での連絡方法などの話し合い | | 18.1 |
| 13. 建物の補強 | | 5.1 |
| 14. その他 () | | 0.6 |
| 15. 対策は特に行っていない | | 17.6 |

問23で「1. 食料の備蓄」と答えた方にお聞きします。

問23-1 備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ) (N=619) NA=1.1

1. 3日分以上	52.7	2. 2日分	35.5
3. 1日分	8.7	4. 1食分	1.9

問23で「2. 飲料水の備蓄」と答えた方にお聞きします。

問23-2 備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ) (N=687) NA=0.4

1. 3リットル以上	72.5	2. 2リットル以上3リットル未満	15.7
3. 1リットル以上2リットル未満	8.7	4. 1リットル未満	2.6

問24 いざというとき、お住まいの地域に頼れる人はいますか。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=3.6

1. 同居の家族	35.0	2. 近くに住んでいる家族	16.9
3. 近くに住んでいる親戚	7.6	4. 近くに住んでいる友人・知人	26.5
5. 地域の民生委員・児童委員	1.0	6. 町会・自治会の役員	3.9
7. その他()	1.9	8. 頼れる人はいない	31.3

15 人権・男女共同参画についてお伺いします

問25 次の各分野において、男女の地位は平等だと思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	女性が優遇	優遇 やや 女性 が	平等	優遇 やや 男性 が	男性が優遇	わからない
(①～④すべて N=1,084) ①NA=3.7、②NA=6.0 ③NA=6.6、④NA=4.8						
① 家庭生活における男女の地位	3.8	8.0	39.6	19.0	8.6	17.3
② 職場における男女の地位	0.6	3.0	28.5	24.6	21.7	15.5
③ 学校教育の場における男女の地位	0.4	1.5	34.7	12.5	6.4	37.9
④ 社会全体における男女の地位	0.9	3.0	13.9	36.3	26.3	14.9

問26 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。
(○は1つ) (N=1,084) NA=2.0

1. 同感できる	3.0	2. どちらかといえば同感できる	14.4
3. どちらかといえば同感できない	15.2	4. 同感できない	38.7
5. どちらでもない	26.6		

問27 次の男女共同参画社会に関連する用語について、見たり聞いたりしたことはありますか。(○はそれぞれ1つ)

	NA	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
(①～⑦すべて N=1,084)	NA			
① 男女共同参画社会	3.5	38.1	32.0	26.4
② 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)	3.5	46.4	26.3	23.8
③ 女性の活躍推進	4.4	45.7	32.4	17.5
④ DV (ドメスティック・バイオレンス)	3.5	79.8	10.1	6.6
⑤ デートDV	4.2	33.6	19.2	43.1
⑥ 中野区男女共同参画基本計画	3.9	1.9	22.2	72.0
⑦ 中野区男女平等基本条例	3.5	2.1	21.8	72.6

問28 次の人権問題について、関心のあるものを教えてください。(○はいくつでも)
(N=1,084) NA=2.7

1. 女性に関する事	33.9	2. 子どもに関する事	43.6
3. 高齢者に関する事	39.0	4. 障害者に関する事	31.9
5. 外国人に関する事	24.6	6. ハンセン病患者等に関する事	6.7
7. 犯罪被害者等に関する事	16.2	8. インターネットを悪用した人権侵害	37.2
9. ホームレスに関する事	12.4	10. 性的指向に関する事	13.2
11. 性自認に関する事	11.4	12. 東日本大震災に関する事	16.1
13. その他 ()	1.8	14. 関心がない	11.5

問29 国や区に人権侵害に関する相談体制があることを知っていますか。(○は1つ)(N=1,084)
NA=2.1

1. 知っている	32.8	2. 知らない	65.0
----------	------	---------	------

問30 人権擁護相談や人権啓発活動を行っている「人権擁護委員」を知っていますか。
(○は1つ)(N=1,084) NA=1.9

1. 知っている	5.4	2. だいたい知っている	11.7
3. 知らない	80.9		

16 子どもの権利についてお伺いします

問31 中野区において、子どもの権利が守られていると思いますか。
(○は1つ)(N=1,084) NA=1.9

1. そう思う	7.0	2. どちらかといえばそう思う	28.3
3. どちらかといえばそう思わない	4.6	4. そう思わない	2.4
5. わからない	55.7		

17 パートナーシップ宣誓についてお伺いします

問32 中野区パートナーシップ宣誓※を知っていますか。(○は1つ)(N=1,084) NA=1.7

※戸籍上性別が同一であるおふたりが、パートナーシップの関係にあることについて宣誓書等を区に提出し、区が宣誓書等受領証を交付する取組

1. 内容を知っている	12.7	2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	29.2
3. 知らない	56.5		

問33 多様な生き方や個性、価値観を受け入れる地域社会の実現のため、性的マイノリティに関して、次の取組を進めていく必要の可否を教えてください。(○はそれぞれ1つ)

	必要	不要	どちらともいえない
(①～③すべて N=1,084) ①NA=5.6、②NA=5.6、③NA=5.2			
① 区民に対する性的マイノリティに関する普及啓発	50.3	8.4	35.7
② 事業者に対する性的マイノリティに関する普及啓発	55.1	6.6	32.7
③ 性的マイノリティ当事者の相談窓口や居場所づくり	63.2	4.6	27.0

18 ユニバーサルデザインについてお伺いします

問34 「ユニバーサルデザイン」という言葉をどの程度知っていますか。

(○は1つ) (N=1,084) NA=3.1

1. 詳しく知っている 9.2 2. 知っている 35.1 3. 言葉だけは知っている 25.6
4. 全く知らない 27.0

問34で「1～3」と答えた方にお聞きします。

問34-1 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知った主なきっかけはどれですか。

(○は2つ以内) (N=757) NA=8.6

1. 雑誌・新聞・本などの出版物 29.6 2. テレビやラジオ 38.7
3. インターネット 22.9 4. 仕事の場面で 16.8
5. 学校の授業で 13.3 6. 講習会などの参加を通じて 1.2
7. 知人との会話を通じて 1.7 8. 区の発行物や取組を通じて 1.2

問34-2 「ユニバーサルデザイン」という言葉について、どのような印象を持っていますか。(○は1つ) (N=757) NA=2.5

1. 共感する／好ましい 61.4 2. 共感できない／好ましくない 1.8
3. 特に何も思わない 34.2

問34で「1～3」と答えた方にお聞きします。

問34-3 「全員参加型社会」や地域の活性化の実現を目指すための中野区ユニバーサルデザイン推進条例があることを知っていますか。(○は1つ) (N=757) NA=1.5

- | | | | |
|-------------|------|----------------------|------|
| 1. 内容を知っている | 2.6 | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 15.3 |
| 3. 知らない | 80.6 | | |

問35 あなたが、普段の生活の中で中野区内において不便だと感じている場合は「はい」、不便だとあまり感じたことがない場合は「いいえ」でお答えください。(○はそれぞれ1つ)

(①～⑭すべて N=1,084)	NA	はい (不便だと感じて いる)	いいえ (不便だと感じて いない)
① 歩道に凹凸や傾斜がある	4.7	45.6	49.7
② 歩道と車道に間に段差がある	5.1	38.7	56.2
③ 歩道に障害物(看板・自転車等)がある	5.1	57.2	37.7
④ 施設内の移動がしづらい	7.6	15.3	77.1
⑤ 施設を利用したとき必要な設備やサービスがない	7.7	18.5	73.8
⑥ 外出時にトイレが使いにくい	5.1	43.3	51.7
⑦ 外出時に休憩できるところが少ない	4.7	52.7	42.6
⑧ 案内表示などがわかりにくい	6.4	22.4	71.2
⑨ 欲しい情報が手に入らない	6.7	24.5	68.7
⑩ 申請書などの手続関係の書類がわかりにくい	6.3	35.3	58.4
⑪ 地域の活動やイベントに気軽に参加できない	6.8	27.6	65.6
⑫ 食事や買い物などを安心してできるお店が少ない	4.9	14.5	80.6
⑬ 自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い	4.6	53.2	42.2
⑭ 外出時に困ったとき手助けを頼みにくい	6.4	29.4	64.2

19 医療保険・国民年金制度についてお伺いします

問36 あなたの健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=1.1

- | | | | |
|------------------|------|------------------|------|
| 1. 健康である | 30.8 | 2. どちらかといえば健康である | 50.8 |
| 3. どちらかといえば健康でない | 13.4 | 4. 健康でない | 3.9 |

74歳以下の方にお聞きします。

問37 国民健康保険のしくみ(手続き・保険料の納め方など)について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ) (N=915) NA=7.2

- | | | | |
|-----------------------|------|--------------|------|
| 1. よく知っている | 13.4 | 2. だいたい知っている | 42.5 |
| 3. 一部知っているがわからない内容も多い | 25.1 | 4. ほとんど知らない | 11.7 |

20 区政情報の入手についてお伺いします

問38 あなたは中野区の情報を、主に何から得ていますか。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=3.0

- | | | | |
|-------------------|------|---------------|------|
| 1. 区報 | 68.7 | 2. 区議会だより | 19.1 |
| 3. 区のホームページ | 32.9 | 4. 区のフェイスブック | 1.1 |
| 5. 区のツイッター | 3.0 | 6. 街なかの掲示板 | 11.7 |
| 7. CATV(区の広報番組) | 1.3 | 8. ナイセス | 4.7 |
| 9. 区の窓口 | 3.0 | 10. 電話での問い合わせ | 3.7 |
| 11. 人づて(家族・友人・知人) | 16.0 | 12. その他() | 3.9 |

21 多文化共生についてお伺いします

問39 地域に暮らす外国人と交流する機会がありますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=1.0

- | | | | |
|-----------|------|---------|------|
| 1. たくさんある | 1.1 | 2. 少しある | 10.1 |
| 3. あまりない | 14.9 | 4. 全くない | 70.6 |
| 5. わからない | 2.3 | | |

問39-1 地域で区民と外国人が理解しあい、外国人が住みやすいまちづくりを進めるために、中野区が力を入れるべきだと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)
(N=1,084) NA=3.0

1. 生活情報や行政手続の多言語対応・発信	48.0
2. 災害や医療・福祉面での支援	33.1
3. 外国人向け日本語習得の支援	30.6
4. 区民と文化の交流機会の充実	21.0
5. 区民の多文化共生に関する意識啓発	14.3
6. 相談体制の充実	35.6
7. 外国人の地域社会への参加支援	22.4
8. その他 ()	3.0
9. 特にない	8.5
10. わからない	17.7

問40 あなたは、あなたの周りにいる外国人にとって、生活で困っていること、不満なことはなんであると思いますか。(〇はいくつでも) (N=1,084) NA=6.8

1. 日本語が不自由	42.9	2. 情報が少ない	26.8
3. 住居	13.5	4. 病院・医療	18.5
5. 年金	6.8	6. 出産・育児	8.9
7. 子どもの教育	11.7	8. 仕事	13.9
9. 災害時・緊急時の対応	18.8	10. 近所付き合い	15.8
11. 友人が少ない	13.5	12. 近所の人との間のトラブル	10.3
13. 偏見・差別	24.5	14. 日本人が閉鎖的だと感じる	13.3
15. 生活費などの金銭的な問題	15.0		
16. その他 ()			5.1
17. 特にない	21.5		

22 環境に関する理解・関心についてお伺いします

問41 環境問題への対策について、どのように考えていますか。(〇は1つ) (N=1,084) NA=2.3

1. 重要である	61.4	2. どちらかといえば重要である	33.1
3. どちらかといえば重要ではない	1.3	4. 重要ではない	1.8

問4 1—1 あなたが、取り組んでいる環境に配慮した行動について教えてください。
 (○はいくつでも) (N=1,084) NA=1.1

1. 環境イベントへの参加 (なかのエコフェアなど)	2.1
2. 省エネ性能の高い機器の使用 (照明のLED化や省エネ性能の高い家電など)	41.9
3. ごみの減量に取り組んでいる (ごみの分別、マイバッグの持参など)	73.5
4. 食べ物を無駄にしないようにしている (食べ残しを減らす、食材を使い切るなど)	69.1
5. なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している	55.7
6. 環境に関する情報収集 (広報誌、テレビ、インターネットなど)	14.2
7. 取り組んでいない	6.7
8. その他 ()	1.1

問4 1—2 区が実施している環境事業について、あなたが、知っているまたは参加したことがある事業について教えてください。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=3.2

1. なかのエコポイント制度	14.6	2. なかのエコフェア	1.8
3. 中野の森プロジェクト	4.8	4. なかのエコチャレンジ	3.2
5. 子どもエコ講座	0.7	6. 環境パネル展	3.2
7. 特にない	75.3	8. その他 ()	1.0

問4 1—3 区が実施している食品ロス削減事業について、あなたが知っているまたは参加したことがある事業について教えてください。(○はいくつでも) (N=1,084) NA=4.8

1. あまりもののレシピによる親子料理教室	1.9
2. あまりもののレシピの情報提供 (情報誌、区ホームページなど)	2.7
3. フードドライブ食品提供	4.1
4. 食品ロス削減協力店 (なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ)	2.7
5. 食品ロス削減パネル展	1.3
6. ごみ減量出前講座	0.7
7. 店頭での「手前どり」呼び掛けの掲示	9.4
8. 特にない	77.4
9. その他 ()	1.3

問4 2 「気候変動への適応策」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ)
 (N=1,084) NA=1.7

1. 詳しく知っている	3.8	2. 知っている	26.9
3. 言葉だけは知っている	34.1	4. 全く知らない	33.5

問4 2—1 「気候変動への適応策」について、普段の生活の中で中野区内において力を入れるべきだと思うことはなんですか。(〇はいくつでも) (N=1,084) NA=1.8

1. 自然災害への対策	49.4	2. 熱中症対策	25.3
3. ヒートアイランド対策	36.3	4. 自然環境・緑化保全などの対策	52.3
5. その他 ()	1.6	6. 特になし	3.2
7. わからない	12.7		

問4 3 ゼロカーボンシティ宣言を知っていますか。(〇は1つ) (N=1,084) NA=2.5

1. はい	30.1	2. いいえ	67.4
-------	------	--------	------

問4 3—1 ゼロカーボン(2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ)のために、あなたが考える必要な対策についてお答えください。(〇はいくつでも) (N=1,084) NA=9.3

1. 脱炭素なまちづくり	42.8	2. 森林設備	40.7
3. 家庭での省エネ機器等導入支援	46.3	4. 中小企業事業者への支援	27.0
5. その他 ()			4.4

問4 3—2 家庭での省エネ機器等導入支援を考えた場合、あなたが導入したいと思う設備等についてお答えください。(〇はいくつでも) (N=1,084) NA=6.6

1. 断熱性能の高い窓の導入	39.2	2. 遮熱塗装(屋根、外壁)	30.1
3. 省エネ家電	73.1	4. 電気自動車等	22.2
5. その他 ()			4.2

23 スポーツ支援活動への参加についてお伺いします

問44 あなたが、最近1年間にかかわったスポーツを支える活動はなんですか。
(○はいくつでも) (N=1,084) NA=3.1

1. 子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援 (審判、指導者、チームの運営役員など)	1.8	
2. 成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援 (審判、指導者、チームの運営役員など)	0.9	
3. スポーツ選手・チームの応援(試合会場で応援活動など)	4.6	
4. 仕事としてスポーツに関わっている (インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など)	1.5	
5. スポーツイベントのボランティア(スポーツ大会などの不定期的な活動)		1.1
6. スポーツイベントの募金や寄付、オークションなどのチャリティー活動		1.2
7. 活動していない	85.1	
8. わからない	3.2	

24 基本構想についてお伺いします

問45 区は2021年3月に、中野区基本構想を改定しました。基本構想は、中野区に住む人々や、このまちで働き、学び、活動する全ての人々にとっての共通目標であり、最も基本的な区政運営の指針となるものです。現在の基本構想を知っていますか。(○は1つ)
(N=1,084) NA=1.9

1. 内容を知っている	1.9	2. 名前は聞いたことあるが内容は知らない	24.2
3. 全く知らない	72.0		

25 中野区のまちの姿についてお伺いします

問46 次の項目は、基本構想において描く10年後に目指すまちの姿の概要を表しています。10年後に目指すまちの姿の実現に向けて、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」をお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
(①～⑩すべて N=1,084)	NA					
① 国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	2.9	9.0	36.2	12.2	5.3	34.5
② 気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	3.0	7.3	32.0	19.0	13.5	25.3
③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	3.2	6.4	30.9	21.5	12.7	25.3
④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	3.0	8.7	29.0	20.9	16.4	22.0
⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	2.9	14.6	43.5	12.1	7.1	19.9
⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	2.9	9.2	26.8	11.1	6.3	43.8
⑦ 良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	2.9	8.4	26.6	10.3	6.9	44.9
⑧ 子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	2.8	8.0	23.2	13.7	7.3	45.1
⑨ 子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	2.9	8.9	27.8	13.3	6.8	40.4

	NA	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
⑩ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	3.5	4.2	16.8	20.8	9.5	45.1
⑪ 地域のつながりや見守り・支えあい が生まれ、介護・福祉サービスや医療 を受けながら、高齢期も安心して過 ごすことができる体制が整っている	3.4	7.4	30.5	16.4	7.2	35.1
⑫ いくつになっても生きがいを見つ けられ、就労や社会参画などを通じて生 涯現役で活躍できる環境が整っている	3.2	5.8	19.7	18.5	9.3	43.4
⑬ 障害や生活困窮、生活上の様々な課 題や困りごとを抱えても、相談や支援 が受けられる体制が整っている	3.4	7.4	23.2	14.7	7.1	44.3
⑭ 障害や認知症の有無などにかかわら ず、個々の特性や強みを生かし、自分 らしく暮らせる環境が整っている	3.7	5.7	16.2	16.0	9.2	49.2
⑮ 健康的な生活習慣が身につけられる 環境が整うとともに、誰もが運動や学 びなどに楽しみながら取り組んでいる	4.3	6.1	29.9	15.8	8.1	35.8
⑯ 防災まちづくりの推進や地域の防災 力の向上などにより、災害に強いまち づくりが進んでいる	4.1	7.8	31.9	17.1	7.9	31.2
⑰ 西武新宿線の連続立体交差事業を契 機とした沿線各駅のまちづくりや地区 の特性に応じたまちづくりにより、安 全性・快適性・利便性が向上している	3.7	8.7	30.6	11.9	8.9	36.3
⑱ 居心地が良く歩きたくなるまちな か、魅力ある公園、多様な移動環境が 整備され、快適で魅力ある住環境の形 成が進んでいる	3.4	9.6	35.1	20.6	13.6	17.8
⑲ 環境負荷の少ないライフスタイルな どが、区民の生活や企業活動に浸透し ている	3.9	5.5	19.6	18.7	11.4	40.8
⑳ 防犯、消費生活、感染症などに関す る意識の高まりや行動の変化が生ま れ、安全・安心な暮らしが守られてい る	4.0	9.5	37.1	14.9	7.3	27.2

26 SDGsについてお伺いします

問47 あなたはSDGsを知っていますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.7

1. 内容を知っている 51.7 2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない 23.0
3. 全く知らない 22.7

SDGs (持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



27 施策への評価・要望についてお伺いします

- 問48 ①中野区が特に力を入れていると感じる施策を3つ以内で選び、番号を記入してください。
②また、今後特に力を入れてほしい施策を3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を記入してください。
③上記①および②の答えについて、理由があればお書きください。

施策名	①評価 (N=1,084) NA=20.9	②要望【1~3位合算】 (N=1,084) NA=10.9	③要望【1位のみ】 (N=1,084) NA=11.0
① 平和	8.8	5.6	3.9
② 国際化	5.2	4.0	1.0
③ 人権	5.8	4.3	2.1
④ 男女共同参画	3.7	2.3	0.7
⑤ 情報化 (ICT) の推進	3.9	8.6	4.4
⑥ 産業振興	4.6	5.4	1.6
⑦ 観光	3.2	3.5	1.1
⑧ 防災	11.9	23.5	10.1
⑨ 防犯	7.1	19.8	7.1
⑩ 地域・自治活動支援	6.9	3.5	0.7
⑪ 消費者問題	0.9	2.8	1.0
⑫ 学校教育	5.5	10.4	2.9
⑬ 子育て支援	12.4	16.9	9.7
⑭ 高齢者福祉	11.4	19.6	7.7
⑮ 障害者福祉	3.6	5.5	1.8
⑯ 健康推進	5.8	7.2	1.1
⑰ 文化・スポーツ	9.5	8.5	2.5
⑱ 低所得者支援 (生活援護)	2.0	9.3	2.1
⑲ みどり・公園	21.8	20.3	6.1
⑳ ごみ・リサイクル	16.4	9.6	2.1
㉑ 公衆衛生	4.2	11.0	1.6
㉒ 駅前などの重点的まちづくり	35.4	11.7	4.4
㉓ 住宅・まちづくり	13.1	13.7	4.1
㉔ 道路・交通	9.5	21.8	5.4
㉕ 区財政の健全化	5.0	11.1	3.1
㉖ ユニバーサルデザイン	0.8	2.9	0.6

<回答欄①>

① 中野区が特に力を入れていると感じる施策。

<回答欄②>

② 今後特に力を入れてほしい施策。

第1位

第2位

第3位

<回答欄③>

③ 前ページの①および②の理由があればお書きください。

問49 中野区の行政サービスに満足していますか（過去1年間）。（○はそれぞれ1つ）
(N=1,084)

	NA	非常に満足 している	まあ満足 している	ある やや不満で ある	非常に不満 である
① 平和	15.1	8.2	68.5	7.0	1.2
② 国際化	17.2	3.9	63.4	13.7	1.9
③ 人権	17.1	5.6	67.4	8.6	1.3
④ 男女共同参画	18.2	4.2	62.9	13.3	1.5
⑤ 情報化（ICT）の推進	17.9	3.6	50.6	22.0	5.8
⑥ 産業振興	18.5	3.5	55.6	19.5	3.0
⑦ 観光	18.2	5.0	49.2	24.0	3.7
⑧ 防災	14.3	5.4	55.9	20.6	3.8
⑨ 防犯	14.9	6.0	54.2	21.7	3.2
⑩ 地域・自治活動支援	17.3	4.7	58.4	17.3	2.2
⑪ 消費者問題	18.6	2.7	57.6	19.6	1.6
⑫ 学校教育	19.0	4.3	60.1	14.1	2.5
⑬ 子育て支援	18.0	4.3	57.4	16.2	4.1
⑭ 高齢者福祉	15.8	5.1	57.9	18.0	3.2
⑮ 障害者福祉	18.2	4.1	57.8	16.9	3.0
⑯ 健康推進	17.2	5.0	61.5	13.7	2.6
⑰ 文化・スポーツ	17.8	5.9	58.3	15.8	2.2
⑱ 低所得者支援（生活援護）	18.5	3.0	55.3	19.1	4.2
⑲ みどり・公園	13.2	10.6	46.3	22.2	7.7
⑳ ごみ・リサイクル	12.3	11.7	58.0	15.3	2.7
㉑ 公衆衛生	14.9	6.5	55.0	20.0	3.7
㉒ 駅前などの重点的まちづくり	13.3	9.8	51.3	19.7	5.9
㉓ 住宅・まちづくり	15.3	6.0	51.9	22.0	4.7
㉔ 道路・交通	14.0	4.5	45.2	29.0	7.3
㉕ 区財政の健全化	17.4	2.9	54.5	21.6	3.6
㉖ ユニバーサルデザイン	19.9	2.4	54.6	21.0	2.0
㉗ その他（ ）	86.0	0.6	9.8	1.8	1.9

28 あなたご自身についてお伺いします

問50 あなたの性別は、どちらですか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.5

1. 男性	45.2	2. 女性	52.0	3. その他()	0.3
-------	------	-------	------	-----------	-----

問51 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=1.9

1. 20~24歳	4.8	2. 25~29歳	7.5	3. 30~34歳	8.0
4. 35~39歳	8.4	5. 40~44歳	8.1	6. 45~49歳	8.0
7. 50~54歳	9.6	8. 55~59歳	7.1	9. 60~64歳	7.3
10. 65~69歳	7.0	11. 70~74歳	8.6	12. 75~79歳	6.2
13. 80~84歳	5.7	14. 85~89歳	1.8	15. 90歳以上	0.0

問52 あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.0

1. 自営業	9.7	2. 会社・団体の役員	8.5
3. 常勤の勤め人(正社員)	33.3	4. 常勤の勤め人(派遣・契約社員)	7.3
5. パート・アルバイト・臨時雇用	10.9	6. 学生	1.8
7. 家事専業	8.0	8. 無職	17.1
9. その他()			1.5

問52で「1~6」と答えた方にお聞きします。

問52-1 勤務先または通学先は、どちらですか(○は1つ) (N=774) NA=2.8

1. 自宅と同じ	9.2	2. 中野区内	15.6
3. 東京23区(中野区を除く)	61.2	4. 23区以外の東京都	3.9
5. 東京都以外(他の道府県)	4.3	6. その他()	0.6
7. 特に決まっていない	2.3		

問53 あなたのお住まいの地域は、どちらですか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.9

1. 南台	5.9	2. 弥生町	8.4	3. 本町	9.3	4. 中央	7.7
5. 東中野	6.7	6. 中野	9.2	7. 上高田	6.1	8. 新井	5.4
9. 沼袋	3.1	10. 松が丘	1.7	11. 江原町	2.9	12. 江古田	5.0
13. 丸山	1.9	14. 野方	6.2	15. 大和町	4.3	16. 若宮	3.9
17. 白鷺	2.5	18. 鷺宮	5.4	19. 上鷺宮	1.6		

問54 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=1,084) NA=2.3

1. 持家・一戸建て	32.3	2. 持家・集合住宅	19.2	3. 賃貸・一戸建て	5.4
4. 賃貸・集合住宅	34.1	5. 公社・公営の住宅	3.1	6. 社宅・寮	2.7
7. 間借り	0.5	8. その他()			0.4

問55 現在、一緒にお住まいの方は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つ)

(N=1,084) NA=1.4

1. 1人	29.5	3. 3人	18.5	4. 4人	12.5	5. 5人以上	5.4
2. 2人	32.7						

問55で「2～5」と答えた方にお聞きします。

問55-1 あなたの同居者は、次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

(N=749) NA=1.1

1. 配偶者(事実婚を含む)	74.6	2. 子ども(嫁・婿など子どもの配偶者含む)	42.3
3. 父母(義理の父母含む)	16.7	4. 兄弟姉妹	7.1
5. 祖父母(義理の祖父母含む)	0.7	6. 孫(孫の配偶者含む)	2.4
7. 親戚	0.9	8. 知人・友人	2.0
9. その他()			1.7

ご協力ありがとうございました。アンケートは以上です。

お名前、ご住所等は記入不要です。同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

なお、本調査の結果につきましては、なかの区報と中野区ホームページで3月頃に公表する予定です。概要版をご希望の方は、表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

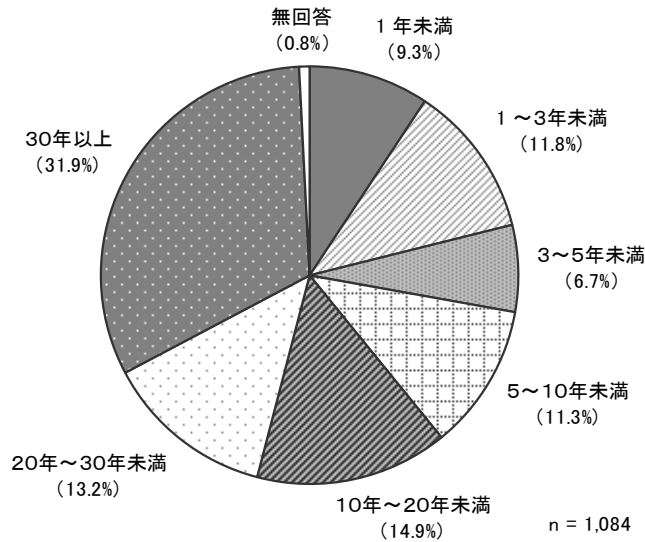
IV 結果と分析

1 定住意向について

(1) 居住年数

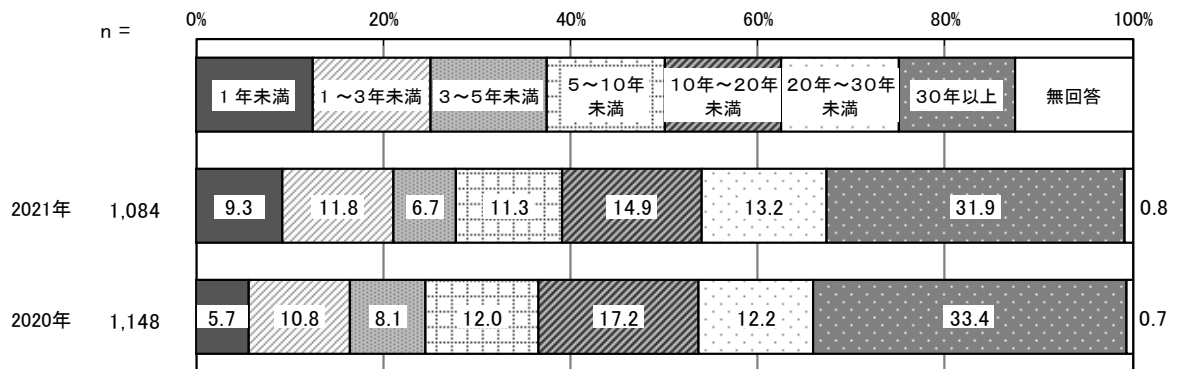
「30年以上」住んでいる人が約3割

問1 中野区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)



居住年数を聞いたところ、「30年以上」(31.9%)が最も高く、次いで「10年～20年未満」(14.9%)、「20年～30年未満」(13.2%)、「1～3年未満」(11.8%)、「5～10年未満」(11.3%)となっている。

<参考> 居住年数について、前回調査との比較



性別で見ると、「30年以上」は、男性に比べ女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「1年未満」「1～3年未満」は20歳代、30歳代、「5～10年未満」は30歳代、40歳代、「30年以上」は60歳代、70歳以上で高くなっている。

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年以上	無回答
全体(n=1,084)		9.3	11.8	6.7	11.3	14.9	13.2	31.9	0.8
性別	男性(n=490)	10.0	13.5	8.4	9.8	16.3	12.2	29.0	0.8
	女性(n=564)	9.0	10.8	5.3	13.1	13.8	14.2	33.0	0.7
年代別	20歳代(n=133)	27.8	36.8	9.8	6.0	5.3	13.5	0.8	0.0
	30歳代(n=178)	23.0	23.0	16.9	17.4	9.0	2.2	8.4	0.0
	40歳代(n=175)	6.3	8.0	7.4	22.9	32.0	11.4	10.9	1.1
	50歳代(n=181)	3.9	7.7	2.2	11.0	23.8	19.3	32.0	0.0
	60歳代(n=155)	3.2	3.2	3.9	11.0	12.3	19.4	45.8	1.3
	70歳以上(n=241)	0.0	2.1	2.1	2.1	7.5	14.5	70.1	1.7

居住地域別でみると、「30年以上」は野方が最も高く、東中野が最も低い。また、「1年未満」は東中野が最も高い。

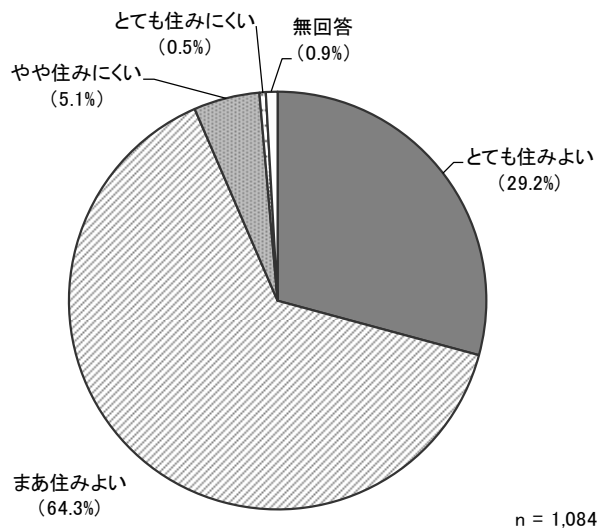
		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年以上	無回答
全体 (n=1,084)		9.3	11.8	6.7	11.3	14.9	13.2	31.9	0.8
居住地域別	南台 (n=64)	15.6	12.5	3.1	7.8	18.8	9.4	32.8	0.0
	弥生町 (n=91)	13.2	13.2	6.6	11.0	14.3	14.3	26.4	1.1
	本町 (n=101)	5.0	12.9	7.9	6.9	12.9	18.8	34.7	1.0
	中央 (n=84)	9.5	10.7	9.5	13.1	11.9	11.9	33.3	0.0
	東中野 (n=73)	16.4	15.1	11.0	16.4	16.4	8.2	16.4	0.0
	中野 (n=100)	8.0	14.0	12.0	11.0	14.0	16.0	25.0	0.0
	上高田 (n=66)	6.1	9.1	7.6	9.1	24.2	12.1	30.3	1.5
	新井 (n=58)	8.6	17.2	5.2	13.8	17.2	8.6	29.3	0.0
	沼袋 (n=34)	11.8	5.9	2.9	5.9	8.8	17.6	47.1	0.0
	松が丘 (n=18)	11.1	0.0	0.0	11.1	5.6	33.3	38.9	0.0
	江原町 (n=31)	6.5	16.1	12.9	12.9	6.5	12.9	32.3	0.0
	江古田 (n=54)	9.3	14.8	9.3	13.0	20.4	3.7	25.9	3.7
	丸山 (n=21)	14.3	4.8	0.0	28.6	4.8	19.0	28.6	0.0
	野方 (n=67)	6.0	10.4	1.5	9.0	11.9	11.9	49.3	0.0
	大和町 (n=47)	4.3	17.0	2.1	10.6	17.0	12.8	34.0	2.1
	若宮 (n=42)	7.1	2.4	2.4	16.7	16.7	19.0	33.3	2.4
	白鷺 (n=27)	7.4	14.8	7.4	7.4	7.4	18.5	33.3	3.7
鷺宮 (n=58)	12.1	6.9	6.9	15.5	22.4	10.3	24.1	1.7	
上鷺宮 (n=17)	11.8	23.5	0.0	0.0	11.8	23.5	29.4	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 住みやすさの評価

《住みやすい》（「とても住みよい」と「まあ住みよい」）と感じている人が9割前半

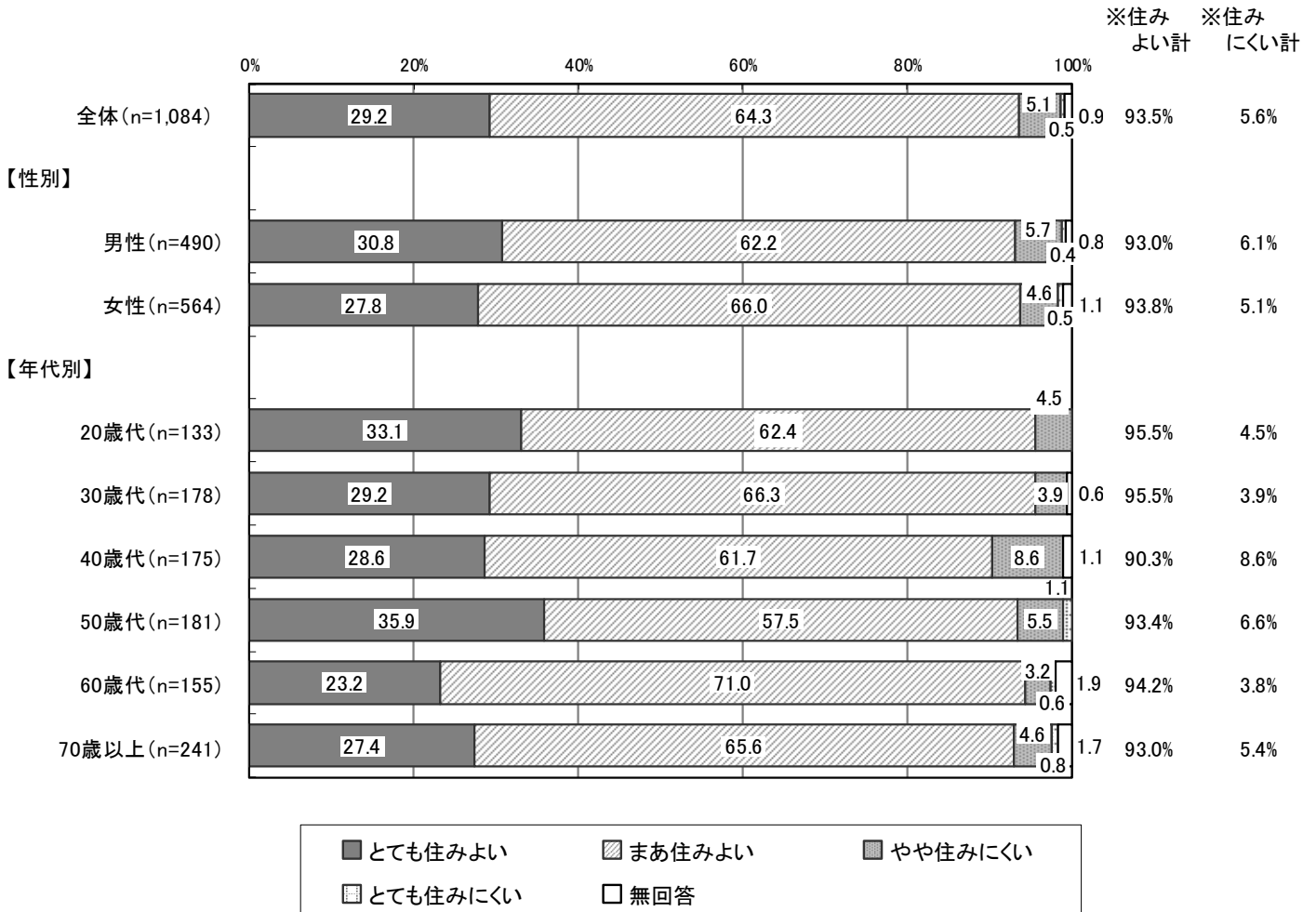
問2 現在の中野区を住みよいと思いますか。(○は1つ)



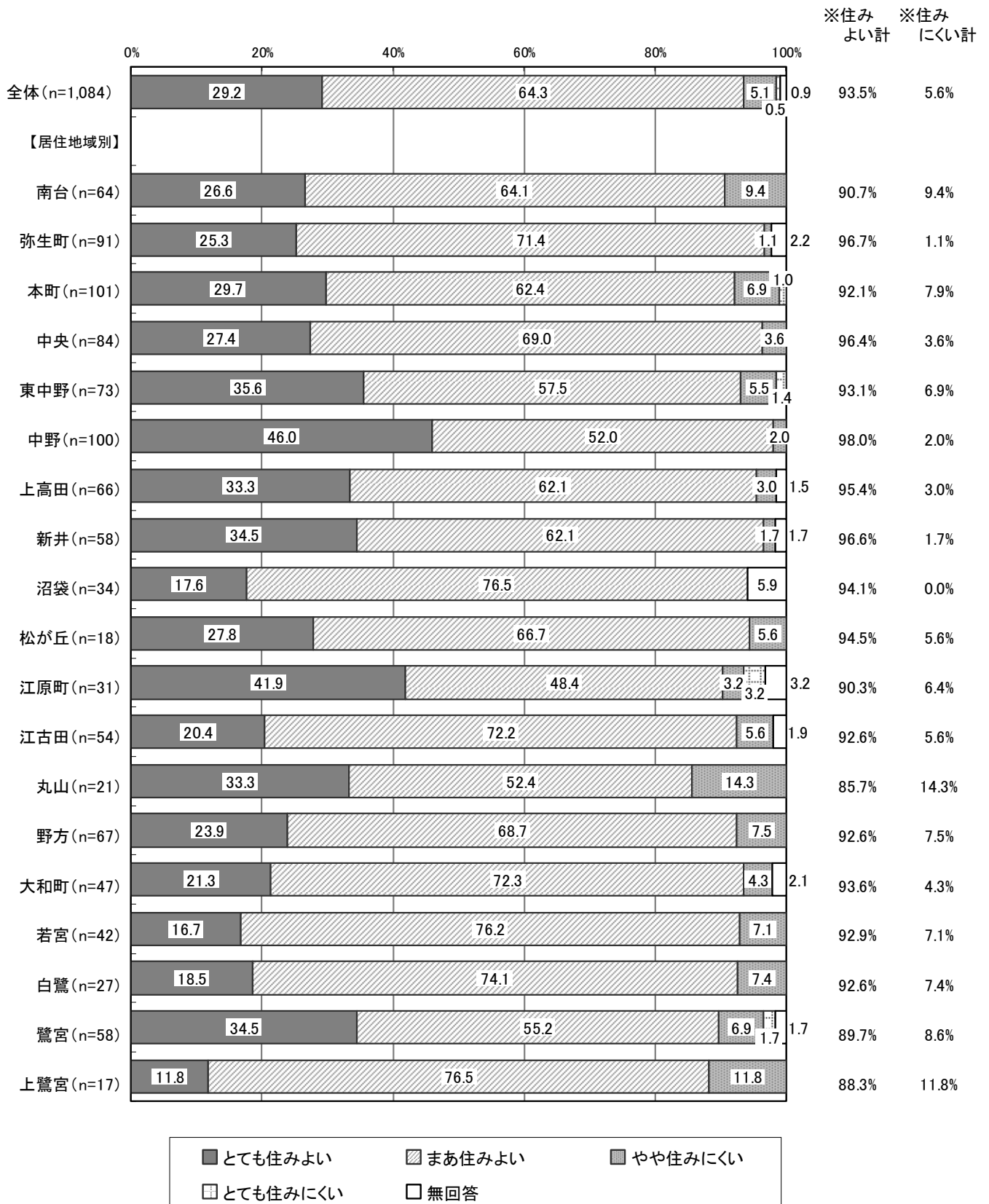
住みやすさを聞いたところ、「まあ住みよい」(64.3%)が最も高く、次いで「とても住みよい」(29.2%)となっている。「とても住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた《住みやすい》(93.5%)は9割前半となっている。

性別でみると、「住みやすい」は男女の差はみられない。

年代別でみると、「住みやすい」は20歳代、30歳代が最も高い。また、「やや住みにくい」と「とても住みにくい」を合わせた「住みにくい」は40歳代が最も高い。



居住地域別でみると、「住みやすい」は、弥生町、中央、中野、新井で高く、特に、中野では「とても住みよい」の割合が高い。また、「住みにくい」は南台で高くなっている。

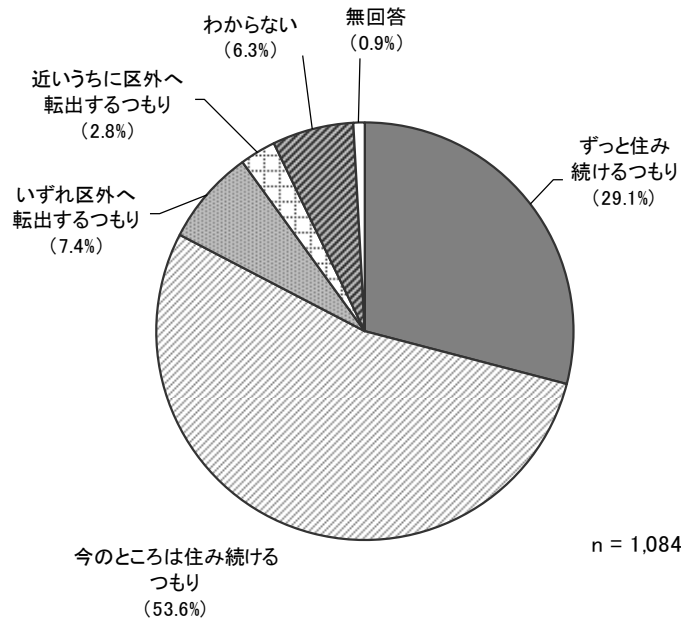


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 定住・転出意向

「ずっと住み続けるつもり」と「今のところは住み続けるつもり」が8割前半

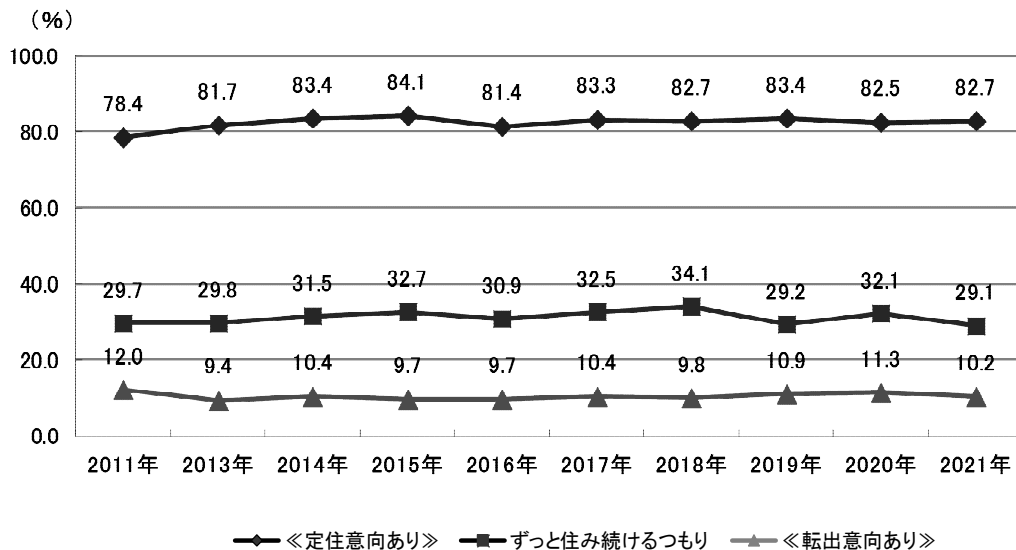
問3 今後も引き続き中野区にお住まいになりますか。(〇は1つ)



定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(29.1%)、「今のところは住み続けるつもり」(53.6%)を合わせた「定住意向あり」(82.7%)は8割前半となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(7.4%)、「わからない」(6.3%)、「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.8%)となっている。

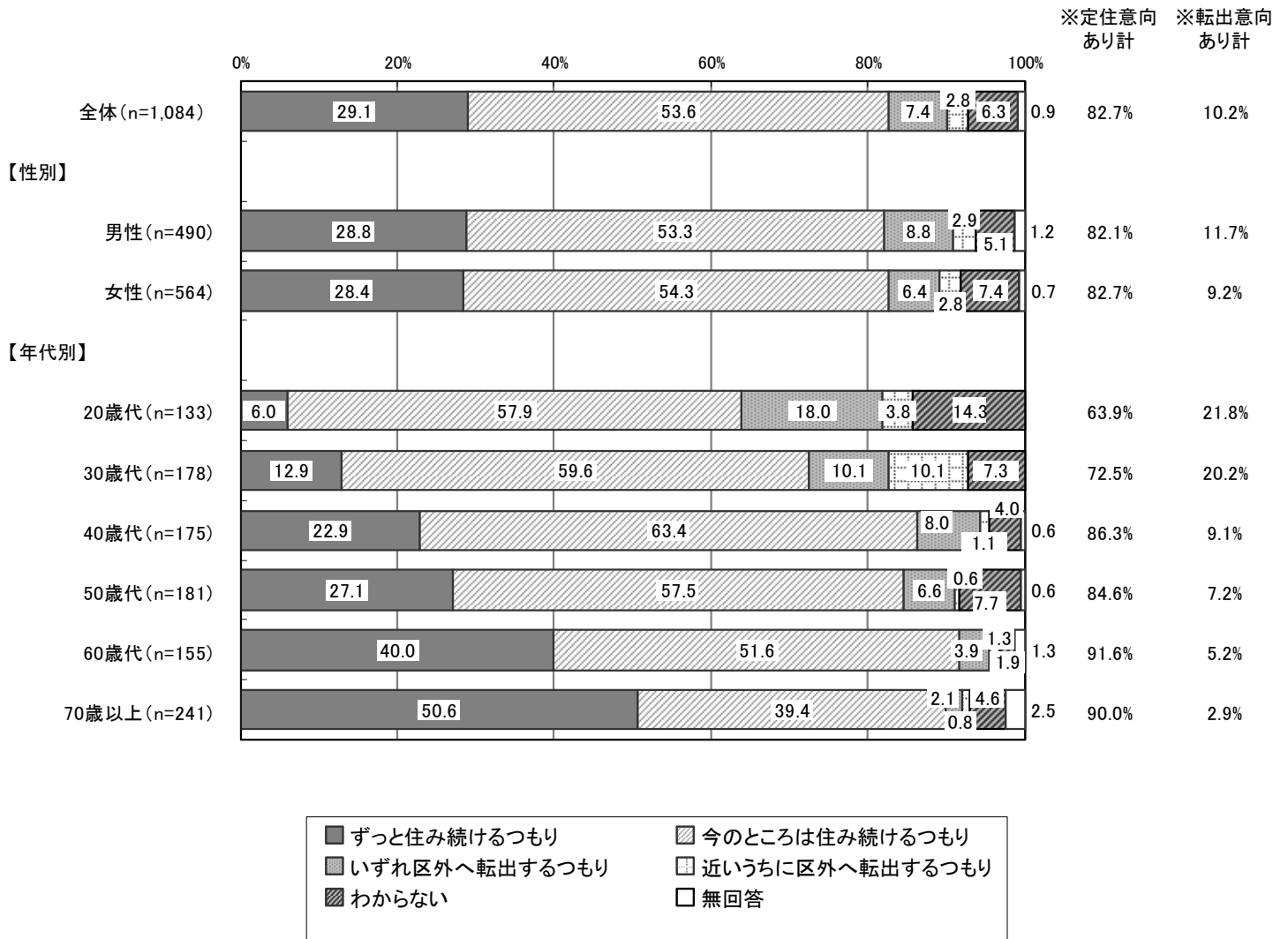
定住・転出意向の推移をみると、「ずっと住み続けるつもり」はやや低くなっているが「定住意向あり」と「転出意向あり」とともに、2020年から大きな変化はみられない。

<参考> 経年調査との比較

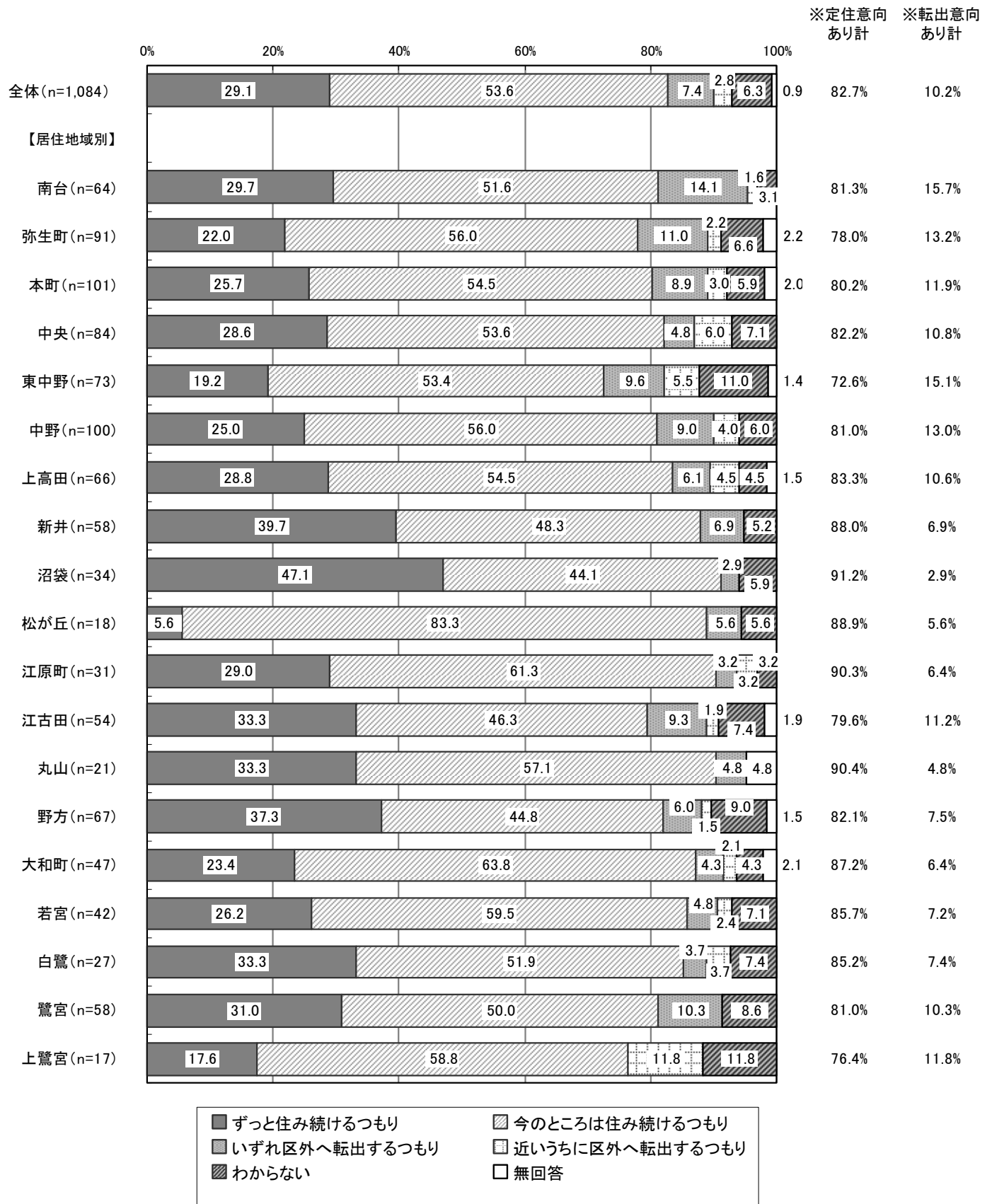


性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別で見ると、「ずっと住み続けるつもり」では年代が高くなるにつれ高くなり、70歳以上では約5割と最も高くなっている。また、「いずれ区外へ転出するつもり」では年代が低くなるにつれ高くなり、20歳代で1割後半となっている。



居住地域別でみると「ずっと住み続けるつもり」と「今のところは住み続けるつもり」を合わせた「定住意向あり」では沼袋が最も高い一方、東中野では最も低く7割前半となっている。



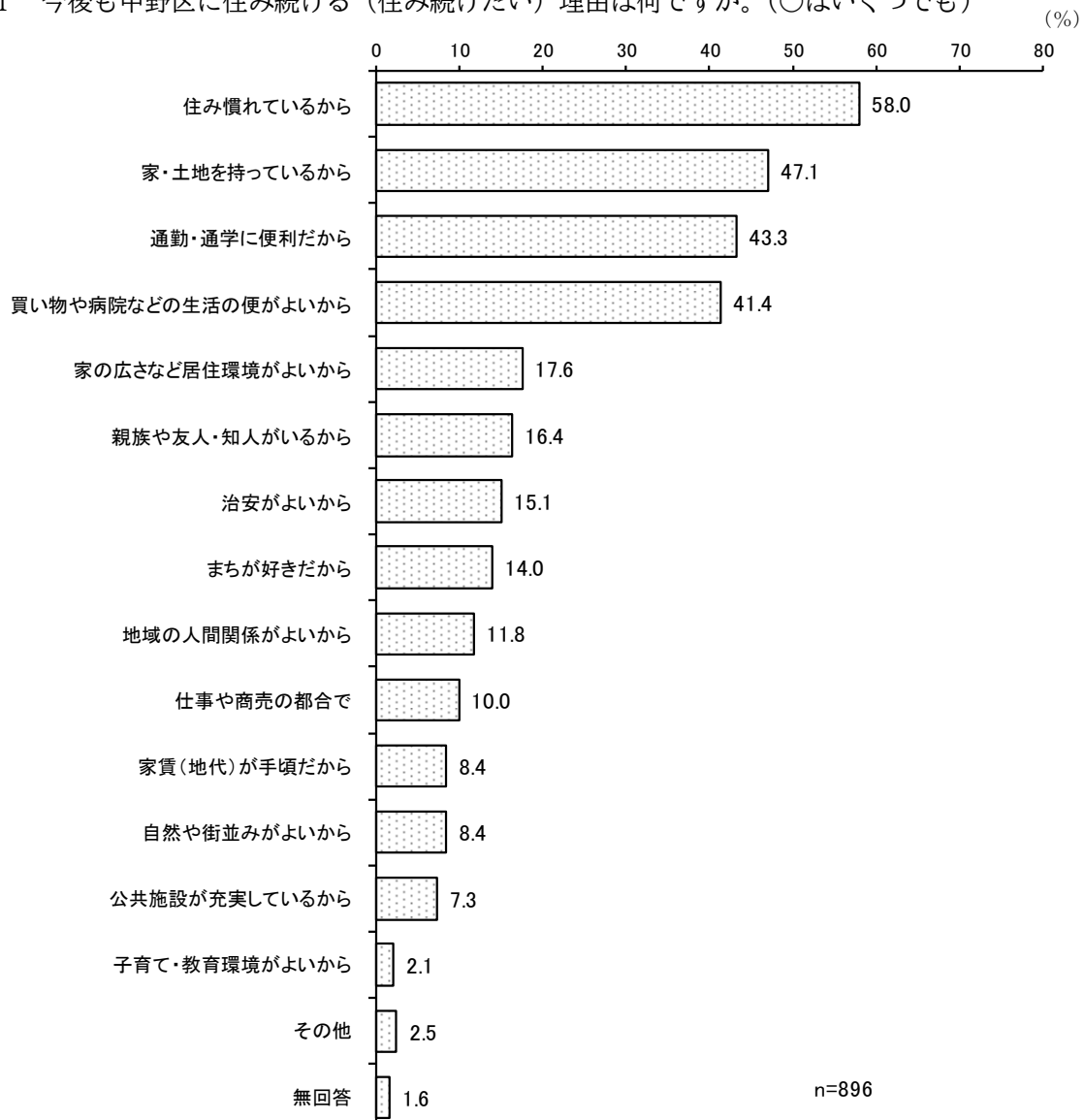
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 定住理由

「住み慣れているから」が5割後半

【問3で「1」「2」と答えた方に】

問3-1 今後も中野区に住み続ける（住み続けたい）理由は何ですか。（○はいくつでも）



定住を考えている人に定住理由（複数回答）を聞いたところ、「住み慣れているから」（58.0%）が最も高く、次いで「家・土地を持っているから」（47.1%）、「通勤・通学に便利だから」（43.3%）、「買い物や病院などの生活の便がよいから」（41.4%）、「家の広さなど居住環境がよいから」（17.6%）となっている。

性別で見ると、「まちが好きだから」「公共施設が充実しているから」は女性に比べ男性で高くなっている。また、「住み慣れているから」、「買い物や病院などの生活の便がよいから」、「親族や友人・知人がいるから」は男性より女性で高くなっている。

年代別で見ると、「通勤・通学に便利だから」は20歳代から50歳代で高くなっている。また、「住み慣れているから」、「家・土地を持っているから」は50歳代以上で高くなっている。

		住み慣れているから	家・土地を持っているから	通勤・通学に便利だから	買い物や病院などの生活の便がよいから	家の広さなど居住環境がよいから	親族や友人・知人がいるから	治安がよいから	まちが好きだから	地域の人間関係がよいから	仕事や商売の都合で	家賃（地代）が手頃だから	自然や街並みがよいから	公共施設が充実しているから	子育て・教育環境がよいから	その他	無回答
全体(n=896)		58.0	47.1	43.3	41.4	17.6	16.4	15.1	14.0	11.8	10.0	8.4	8.4	7.3	2.1	2.5	1.6
性別	男性(n=402)	54.5	43.0	43.3	37.8	16.7	12.7	14.2	15.7	10.0	10.4	9.5	8.5	9.0	1.7	2.7	1.7
	女性(n=466)	60.5	50.9	44.2	44.8	18.9	19.5	15.9	12.4	13.5	9.7	6.7	8.4	5.8	2.6	2.4	1.3
年代別	20歳代(n=85)	36.5	9.4	67.1	40.0	17.6	11.8	21.2	14.1	7.1	16.5	8.2	16.5	8.2	2.4	1.2	0.0
	30歳代(n=129)	40.3	31.0	57.4	27.9	13.2	10.1	17.8	10.9	2.3	13.2	10.9	6.2	3.1	3.9	3.1	1.6
	40歳代(n=151)	49.7	47.7	56.3	33.8	15.2	16.6	6.6	15.2	13.2	6.6	6.0	5.3	3.3	2.6	5.3	2.0
	50歳代(n=153)	61.4	55.6	54.2	45.1	17.6	13.7	13.7	14.4	8.5	9.2	6.5	7.8	7.8	1.3	0.0	2.6
	60歳代(n=142)	67.6	58.5	31.7	41.5	21.1	19.0	14.1	16.2	16.2	12.0	11.3	7.0	8.5	1.4	1.4	0.7
	70歳以上(n=217)	72.4	58.5	18.0	52.5	19.8	22.1	18.0	13.4	17.5	7.4	6.5	10.1	11.1	1.8	3.2	1.8

居住地域別でみると、「住み慣れているから」では、上高田が最も高くなっている。「家・土地を持っているから」では、江古田が最も高くなっている。また、「通勤・通学に便利だから」では、中央が最も高くなっている。

	住み慣れているから	家・土地を持っているから	通勤・通学に便利だから	買い物や病院などの生活の便がよいから	家の広さなど居住環境がよいから	親族や友人・知人がいるから	治安がよいから	まちが好きだから	地域の人間関係がよいから	仕事や商売の都合で	家賃（地代）が手頃だから	自然や街並みがよいから	公共施設が充実しているから	子育て・教育環境がよいから	その他	無回答	
全体(n=896)	58.0	47.1	43.3	41.4	17.6	16.4	15.1	14.0	11.8	10.0	8.4	8.4	7.3	2.1	2.5	1.6	
居住地域別	南台(n=52)	53.8	46.2	42.3	34.6	23.1	21.2	15.4	11.5	5.8	3.8	3.8	1.9	0.0	1.9		
	弥生町(n=71)	47.9	42.3	43.7	26.8	16.9	18.3	8.5	5.6	5.6	12.7	8.5	2.8	8.5	2.8	2.8	0.0
	本町(n=81)	54.3	46.9	44.4	43.2	14.8	17.3	17.3	8.6	11.1	8.6	4.9	6.2	3.7	0.0	6.2	1.2
	中央(n=69)	53.6	47.8	55.1	50.7	17.4	11.6	17.4	18.8	8.7	8.7	8.7	7.2	7.2	1.4	1.4	2.9
	東中野(n=53)	47.2	37.7	52.8	47.2	30.2	11.3	17.0	18.9	11.3	17.0	9.4	9.4	5.7	0.0	0.0	0.0
	中野(n=81)	59.3	42.0	45.7	49.4	12.3	13.6	13.6	22.2	14.8	9.9	9.9	6.2	14.8	1.2	4.9	3.7
	上高田(n=55)	69.1	41.8	50.9	43.6	9.1	16.4	25.5	23.6	12.7	12.7	7.3	10.9	7.3	5.5	1.8	0.0
	新井(n=51)	66.7	52.9	49.0	54.9	15.7	21.6	2.0	19.6	9.8	3.9	2.0	11.8	5.9	2.0	2.0	2.0
	沼袋(n=31)	58.1	58.1	25.8	48.4	22.6	12.9	9.7	6.5	12.9	3.2	6.5	12.9	12.9	0.0	0.0	3.2
	松が丘(n=16)	62.5	37.5	43.8	37.5	12.5	18.8	6.3	6.3	31.3	12.5	12.5	18.8	6.3	0.0	0.0	6.3
	江原町(n=28)	46.4	53.6	28.6	28.6	17.9	7.1	17.9	7.1	7.1	3.6	14.3	25.0	3.6	0.0	7.1	0.0
	江古田(n=43)	53.5	65.1	37.2	37.2	23.3	14.0	23.3	7.0	11.6	16.3	0.0	20.9	7.0	2.3	2.3	0.0
	丸山(n=19)	73.7	42.1	31.6	52.6	36.8	10.5	31.6	26.3	5.3	5.3	10.5	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0
	野方(n=55)	67.3	63.6	38.2	32.7	20.0	16.4	12.7	21.8	12.7	5.5	9.1	3.6	10.9	1.8	0.0	3.6
	大和町(n=41)	63.4	51.2	46.3	41.5	14.6	24.4	7.3	7.3	9.8	14.6	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0
	若宮(n=36)	66.7	41.7	38.9	38.9	8.3	19.4	13.9	11.1	19.4	2.8	13.9	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8
白鷺(n=23)	56.5	43.5	34.8	21.7	26.1	13.0	8.7	4.3	13.0	4.3	8.7	21.7	13.0	0.0	0.0	0.0	
鷺宮(n=47)	53.2	46.8	46.8	36.2	23.4	19.1	23.4	4.3	12.8	17.0	10.6	2.1	4.3	6.4	4.3	0.0	
上鷺宮(n=13)	61.5	15.4	38.5	38.5	7.7	15.4	7.7	0.0	15.4	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	

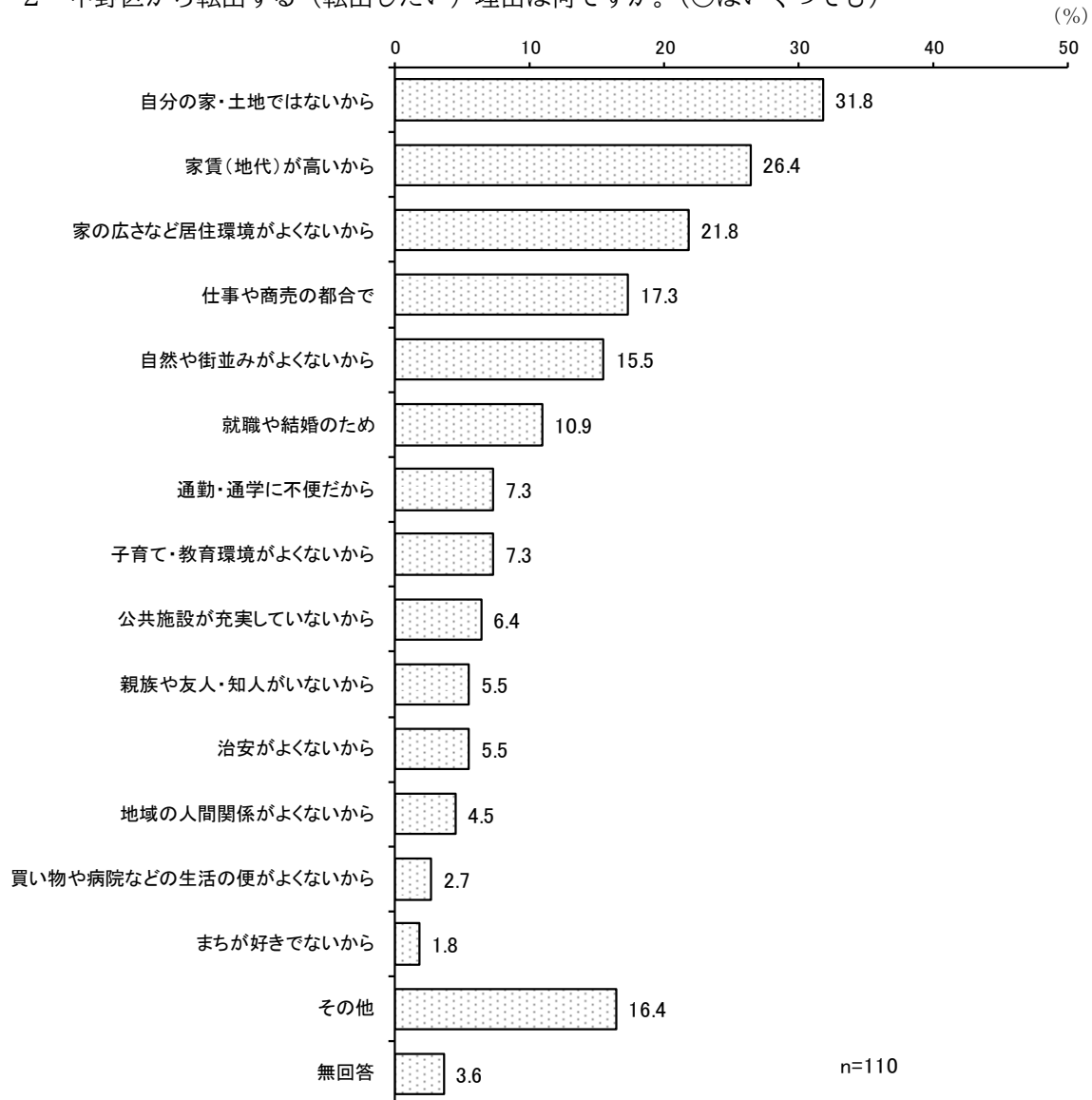
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 転出理由

「自分の家・土地でないから」が約3割

【問3で「3」「4」と答えた方に】

問3-2 中野区から転出する（転出したい）理由は何ですか。（○はいくつでも）



転出を考えている人に転出理由（複数回答）を聞いたところ、「自分の家・土地ではないから」（31.8%）が最も高く、次いで「家賃（地代）が高いから」（26.4%）、「家の広さなど居住環境がよくないから」（21.8%）、「仕事や商売の都合で」（17.3%）となっている。

性別で見ると、「家賃（地代）が高いから」、「仕事や商売の都合で」は女性に比べ男性が高くなっている。また、「自分の家・土地ではないから」、「就職や結婚のため」、「通勤・通学に不便だから」は男性に比べ女性が高くなっている。

年代別で見ると、「子育て・教育環境がよくないから」では30歳代が最も高くなっている。

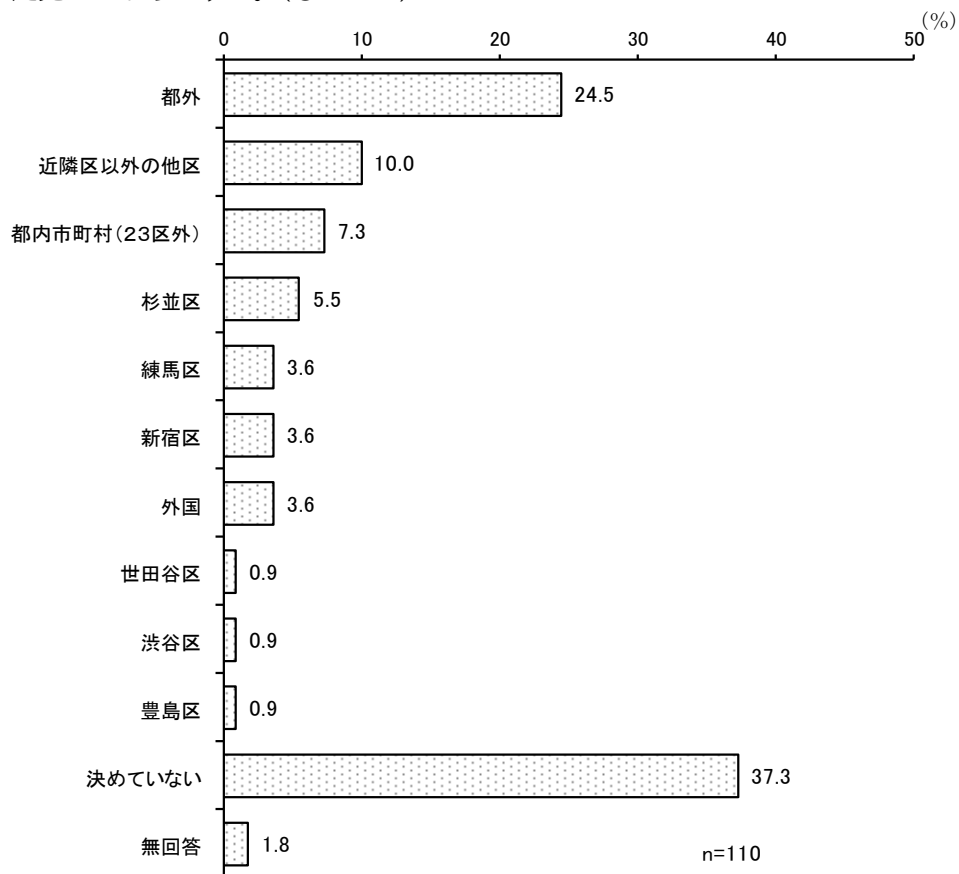
		自分の家・土地ではないから	家賃（地代）が高いから	家の広さなど居住環境がよくないから	仕事や商売の都合で	自然や街並みがよくないから	就職や結婚のため	通勤・通学に不便だから	子育て・教育環境がよくないから	公共施設が充実していないから	親族や友人・知人がいないから	治安がよくないから	地域の人間関係がよくないから	買い物や病院などの生活の便がよくないから	まちが好きでないから	その他	無回答
全体(n=110)		31.8	26.4	21.8	17.3	15.5	10.9	7.3	7.3	6.4	5.5	5.5	4.5	2.7	1.8	16.4	3.6
性別	男性(n=57)	26.3	29.8	21.1	21.1	14.0	7.0	3.5	10.5	8.8	5.3	7.0	5.3	5.3	1.8	15.8	3.5
	女性(n=52)	36.5	23.1	23.1	13.5	17.3	15.4	11.5	3.8	3.8	5.8	3.8	3.8	0.0	1.9	17.3	3.8
年代別	20歳代(n=29)	27.6	31.0	24.1	24.1	10.3	27.6	3.4	3.4	0.0	6.9	6.9	3.4	0.0	0.0	10.3	0.0
	30歳代(n=36)	38.9	33.3	25.0	22.2	13.9	11.1	11.1	8.3	2.8	2.8	5.6	0.0	0.0	2.8	13.9	2.8
	40歳代(n=16)	31.3	31.3	18.8	12.5	37.5	0.0	6.3	18.8	25.0	6.3	12.5	18.8	12.5	6.3	18.8	0.0
	50歳代(n=13)	30.8	7.7	30.8	15.4	15.4	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0
	60歳代(n=8)	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5
	70歳以上(n=7)	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 転出予定先

「決めていない」が3割後半、「都外」が2割半ば

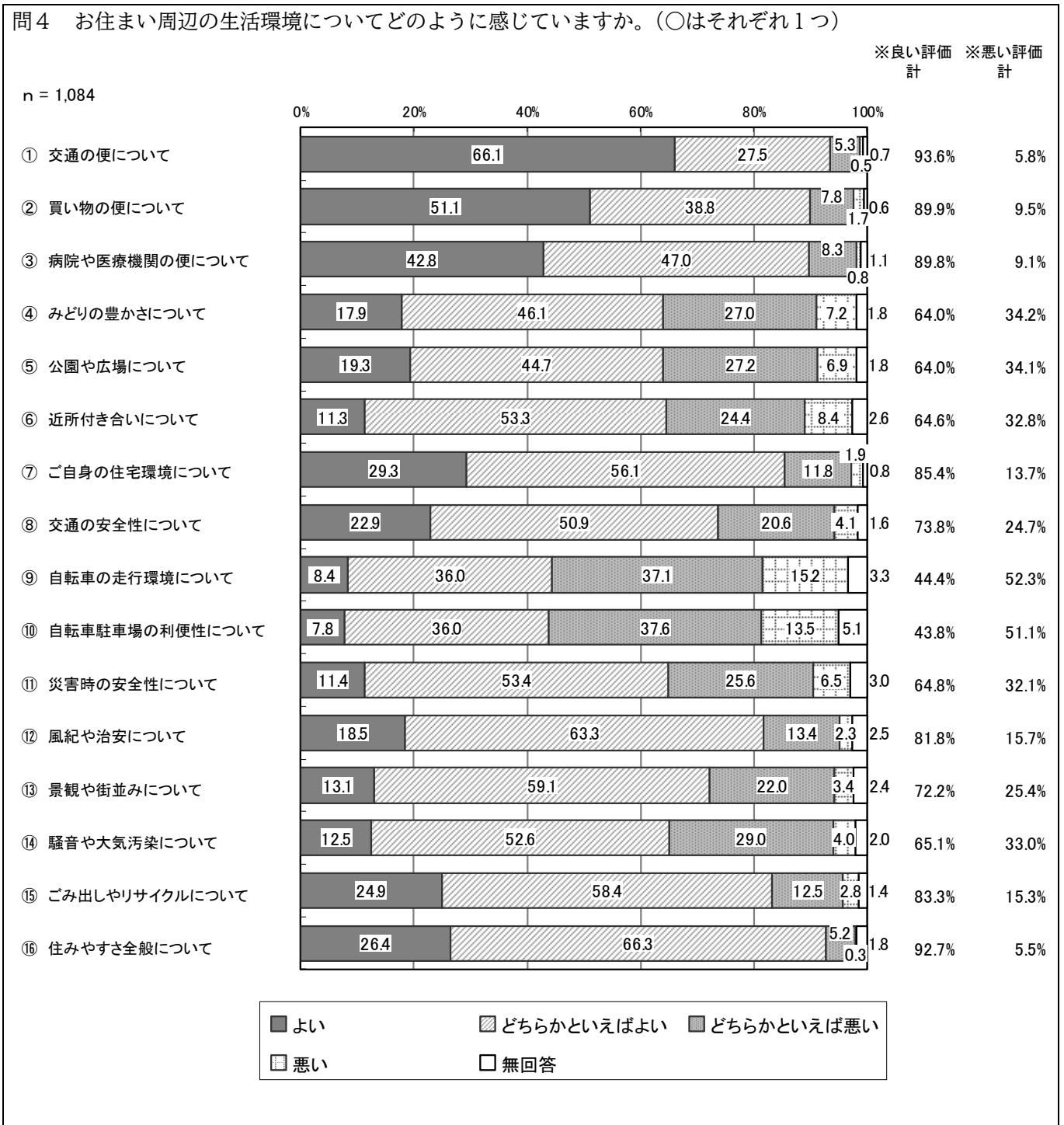
問3-3 転居予定先はどちらですか。(○は1つ)



転出を考えている人に転出先を聞いたところ、「決めていない」(37.3%)が最も高く、次いで「都外」(24.5%)、「近隣区以外の他区」(10.0%)となっている。

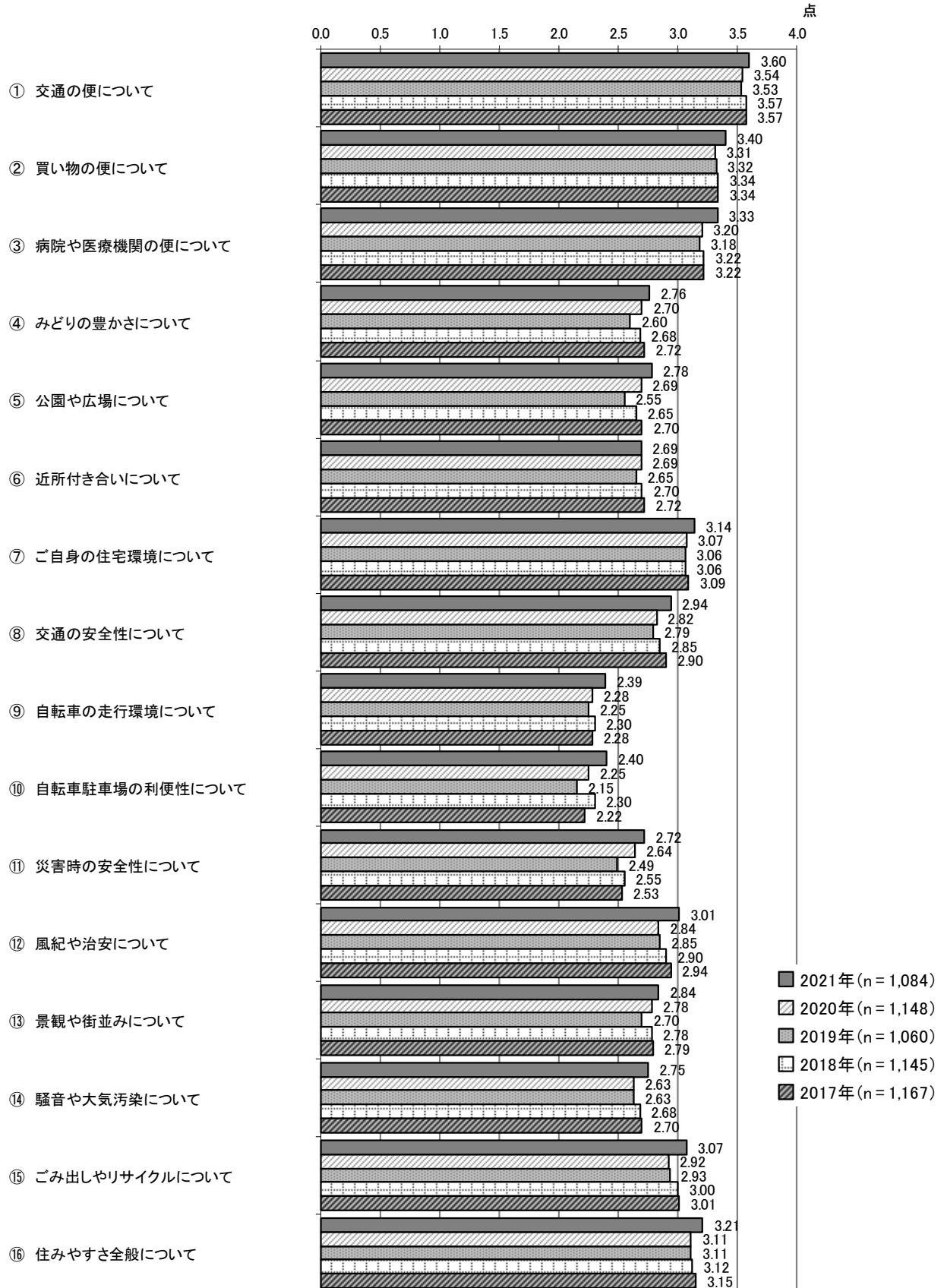
2 生活環境について

「交通の便について」が9割前半で最も満足度が高い



自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか 16 項目にわたり聞いたところ「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた「よい評価」は「①交通の便」(93.6%)と最も高く、次いで「⑯住みやすさ全般について」(92.7%)、「②買い物の便について」(89.9%)となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた「悪い評価」は「⑨自転車の走行環境について」(52.3%)と最も高く、次いで「⑩自転車駐車場の利便性について」(51.1%)、「④みどりの豊かさについて」(34.2%)となっている。

生活環境の満足度を過去の調査結果（2017～2020年）と比較すると、2021年と比べ「⑦ご自身の住宅環境について」を除いたすべてで評価が高くなっており、特に「③病院や医療機関の便について」、「⑧交通の安全性について」、「⑨自転車の走行環境について」、「⑩自転車駐車場の利便性について」、「⑬景観や街並みについて」、「⑭騒音や大気汚染について」、「⑮ごみ出しやリサイクルについて」では0.1ポイント以上高くなっている。



「よい評価」について、居住地域別でみると、「③病院や医療機関の便について」では中野、江古田で高く、「⑤公園や広場について」では沼袋、江原町で高くなっている。

	①交通の便について	②買い物の便について	③病院や医療機関の便について	④みどりの豊かさについて	⑤公園や広場について	⑥近所付き合いについて	⑦ご自身の住宅環境について	⑧交通の安全性について	⑨自転車の走行環境について	⑩自転車駐車場の利便性について	⑪災害時の安全性について	⑫風紀や治安について	⑬景観や街並みについて	⑭騒音や大気汚染について	⑮ごみ出しやリサイクルについて	⑯住みやすさ全般について	
全体(n=1,084)	93.6	89.9	89.8	64.0	64.0	64.6	85.4	73.8	44.4	43.8	64.8	81.8	72.2	65.1	83.3	92.7	
居住地域別	南台(n=64)	93.7	95.3	81.2	68.8	67.2	65.6	79.7	71.9	51.6	45.3	68.8	87.6	75.0	75.0	82.8	93.8
	弥生町(n=91)	92.3	90.1	82.4	57.2	67.1	57.2	86.8	73.7	44.0	41.8	63.7	82.4	73.6	63.7	81.3	90.1
	本町(n=101)	99.0	96.0	94.0	54.5	61.4	75.2	82.1	82.2	49.5	48.5	69.3	83.2	76.2	64.3	82.2	95.0
	中央(n=84)	100.0	96.5	95.3	52.4	48.8	64.3	90.5	72.6	33.4	32.2	61.9	79.7	66.7	60.8	81.0	96.5
	東中野(n=73)	100.0	94.6	95.9	61.6	54.8	58.9	89.0	79.4	53.4	58.9	67.2	75.4	71.2	63.0	83.6	95.9
	中野(n=100)	98.0	96.0	96.0	71.0	70.0	64.0	87.0	78.0	41.0	48.0	68.0	82.0	75.0	64.0	83.0	96.0
	上高田(n=66)	92.4	87.9	89.4	74.3	72.7	71.3	80.3	72.7	42.4	40.9	56.1	83.3	68.2	66.7	89.4	89.4
	新井(n=58)	100.0	96.6	94.9	75.8	75.9	60.4	93.1	74.2	36.2	43.1	75.9	77.6	81.0	58.6	89.7	94.8
	沼袋(n=34)	91.2	82.4	94.1	85.3	88.2	70.6	85.3	70.6	44.2	38.3	61.7	79.4	73.5	70.5	76.4	88.2
	松が丘(n=18)	100.0	88.9	77.8	66.6	72.2	61.1	83.4	50.0	22.2	33.3	72.3	77.8	77.8	44.4	72.3	94.4
	江原町(n=31)	90.3	83.8	90.3	80.7	87.1	83.9	83.9	93.5	71.0	54.9	71.0	90.3	83.9	67.8	93.6	90.3
	江古田(n=54)	81.5	77.8	96.3	77.7	75.9	57.5	83.3	66.7	37.1	44.4	75.9	79.6	74.1	57.4	85.2	90.8
	丸山(n=21)	90.5	85.8	90.5	57.2	47.7	52.4	90.4	90.4	71.4	42.8	85.7	90.4	81.0	71.4	76.2	90.4
	野方(n=67)	92.5	85.1	89.6	53.7	56.7	62.7	83.6	71.6	37.3	37.3	46.3	71.6	65.7	62.7	79.1	91.0
	大和町(n=47)	72.3	80.9	74.5	53.2	57.5	70.2	85.1	68.1	44.7	38.3	40.4	78.7	55.3	66.0	76.6	89.4
	若宮(n=42)	92.8	90.5	95.2	54.8	47.6	54.8	80.9	64.2	40.5	35.7	52.4	85.7	64.2	69.0	80.9	92.9
	白鷺(n=27)	88.8	77.7	77.8	81.5	62.9	66.7	85.2	63.0	55.6	59.3	55.5	85.2	85.2	77.8	96.3	96.3
鷺宮(n=58)	89.6	84.5	79.3	51.7	48.2	68.9	93.1	74.1	53.5	55.2	74.1	91.4	65.5	70.7	94.9	93.1	
上鷺宮(n=17)	88.3	88.2	94.1	76.5	64.7	64.7	76.5	76.5	52.9	47.1	82.4	94.1	82.3	82.3	76.4	88.2	

※上記表は「よい評価」の割合を示したものである。

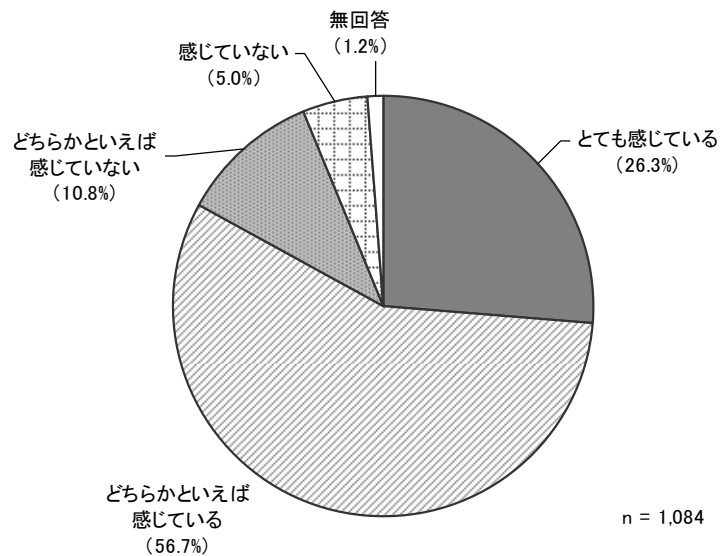
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

3 中野区への愛着度について

(1) 中野区への愛着度

「愛着を感じている」（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」）が8割前半

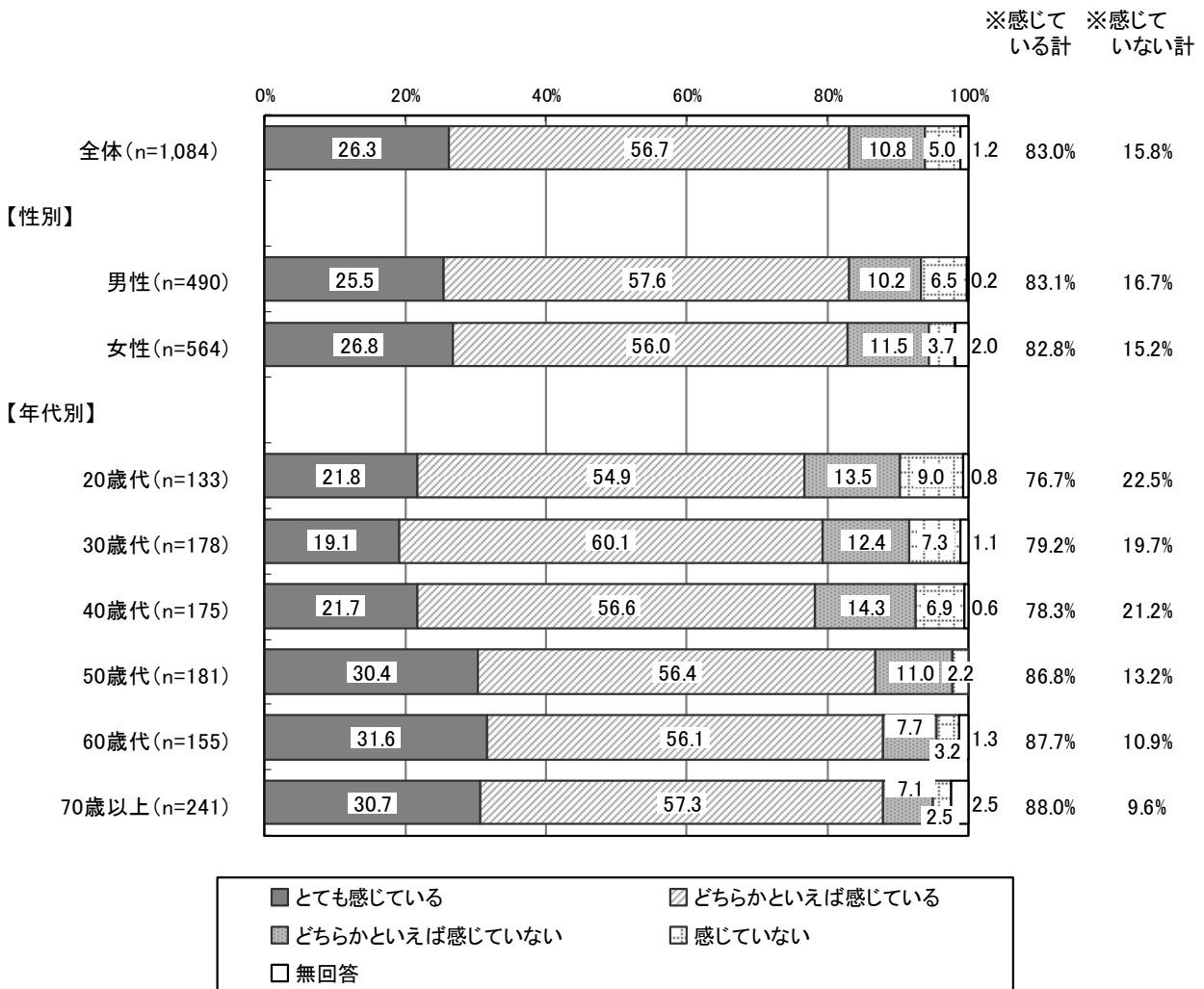
問5 中野区に愛着を感じていますか。(○は1つ) 中野区への愛着度について



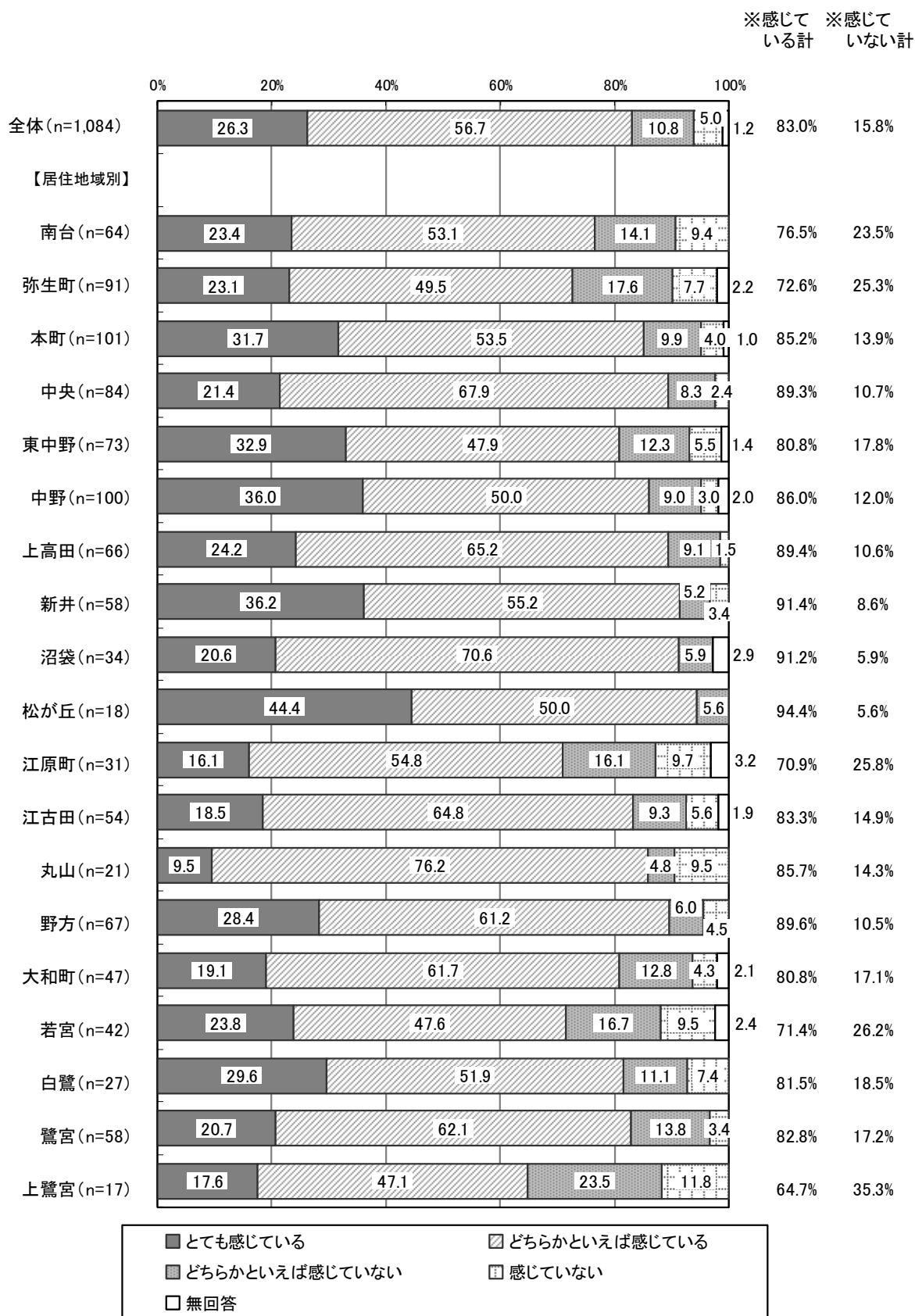
中野区への愛着度を聞いたところ、「とても感じている」(26.3%)と「どちらかといえば感じている」(56.7%)を合わせた「愛着を感じている」(83.0%)は8割前半となっている。一方、「どちらかといえば感じていない」(10.8%)と「感じていない」(5.0%)を合わせた「愛着を感じていない」(15.8%)は1割半ばとなっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「愛着を感じている」は50歳代以降で8割半ばから8割後半とやや高くなっている。一方、「愛着を感じていない」は20歳代で2割前半と、やや高くなっている。



居住地域別でみると、「愛着を感じている」は中央、上高田、新井、沼袋、野方で約9割と高くなっている。一方、「愛着を感じていない」は弥生町、江原町、若宮で2割半ばとやや高くなっている。

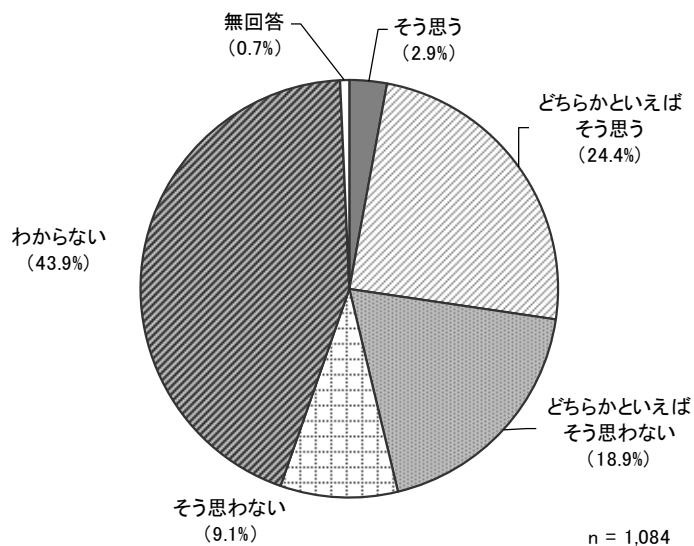


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

4 区政参加について
(1) 区民の意見の反映度

「反映されていると思う」(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」)が2割後半

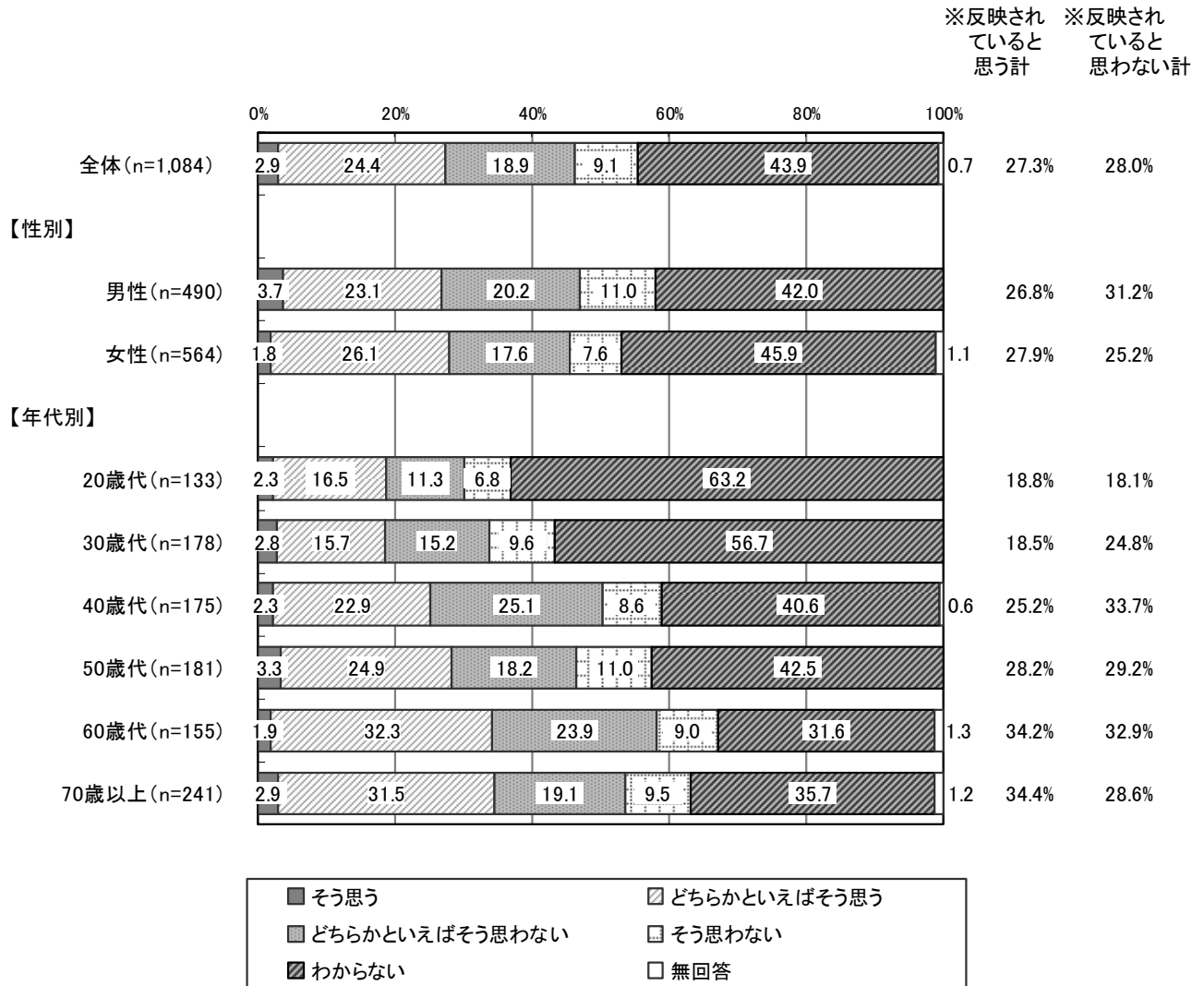
問6 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか。(○は1つ)



区民の意見の反映度を聞いたところ、「そう思う」(2.9%)と「どちらかといえばそう思う」(24.4%)を合わせた「反映されていると思う」(27.3%)は2割後半となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(18.9%)と「そう思わない」(9.1%)を合わせた「反映されていると思わない」(28.0%)も2割後半となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

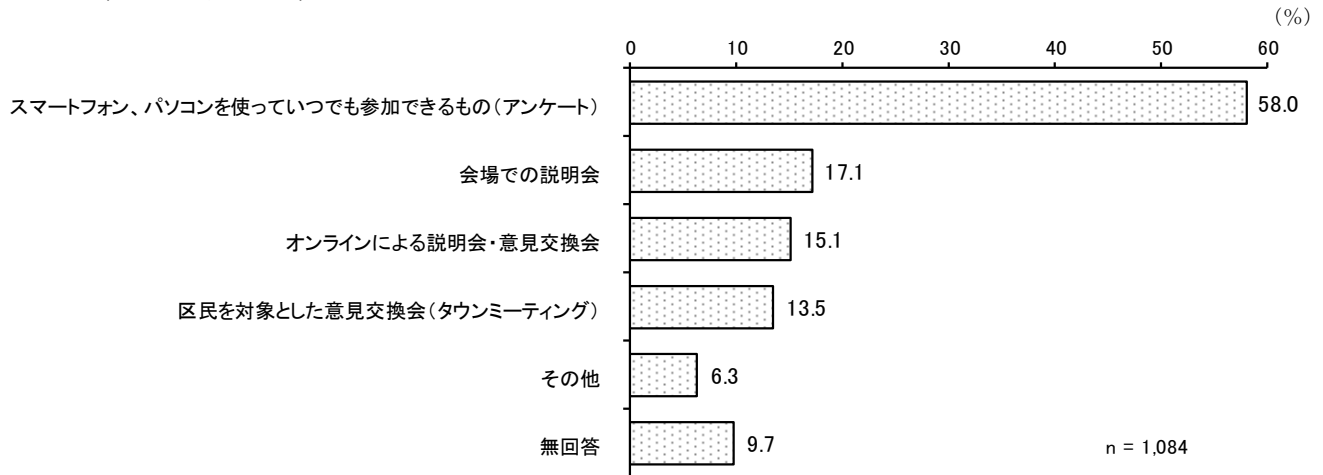
年代別にみると、「反映されていると思う」は60歳代、70歳以上で3割半ばと高く、「反映されていると思わない」は40歳代、60歳代で3割前半とやや高くなっている。



(2) 区政に参加したい方法

「スマートフォンやパソコンを使っていつでも参加できるもの」が5割後半

問7 次に掲げる区政に参加する方法のうち、あなたが参加したいと思う方法はなんですか。
(〇はいくつでも)



区政に参加したい方法を聞いたところ、「スマートフォンやパソコンを使っていつでも参加できるもの」(58.0%)が5割後半で最も高く、次いで「会場での説明会」(17.1%)、「オンラインによる説明会・意見交換会」(15.1%)となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「スマートフォンやパソコンを使っていつでも参加できるもの」は20歳代～40歳代で高くなっている。

		スマートフォンを使っていつでも参加できるもの（アンケート）	会場での説明会	オンラインによる説明会・意見交換会	区民を対象とした意見交換会（タウンミーティング）	その他	無回答
全体 (n=1,084)		58.0	17.1	15.1	13.5	6.3	9.7
性別	男性 (n=490)	57.1	17.3	19.4	13.7	6.1	8.2
	女性 (n=564)	59.8	17.0	11.5	13.3	6.2	10.5
年代別	20歳代 (n=133)	76.7	5.3	14.3	6.0	2.3	7.5
	30歳代 (n=178)	78.7	5.6	20.2	7.3	5.1	1.7
	40歳代 (n=175)	77.1	6.9	18.9	10.3	3.4	5.1
	50歳代 (n=181)	65.2	16.6	19.9	13.3	7.2	4.4
	60歳代 (n=155)	48.4	23.2	13.5	18.7	6.5	12.9
	70歳以上 (n=241)	21.2	36.5	6.2	20.7	10.8	20.3

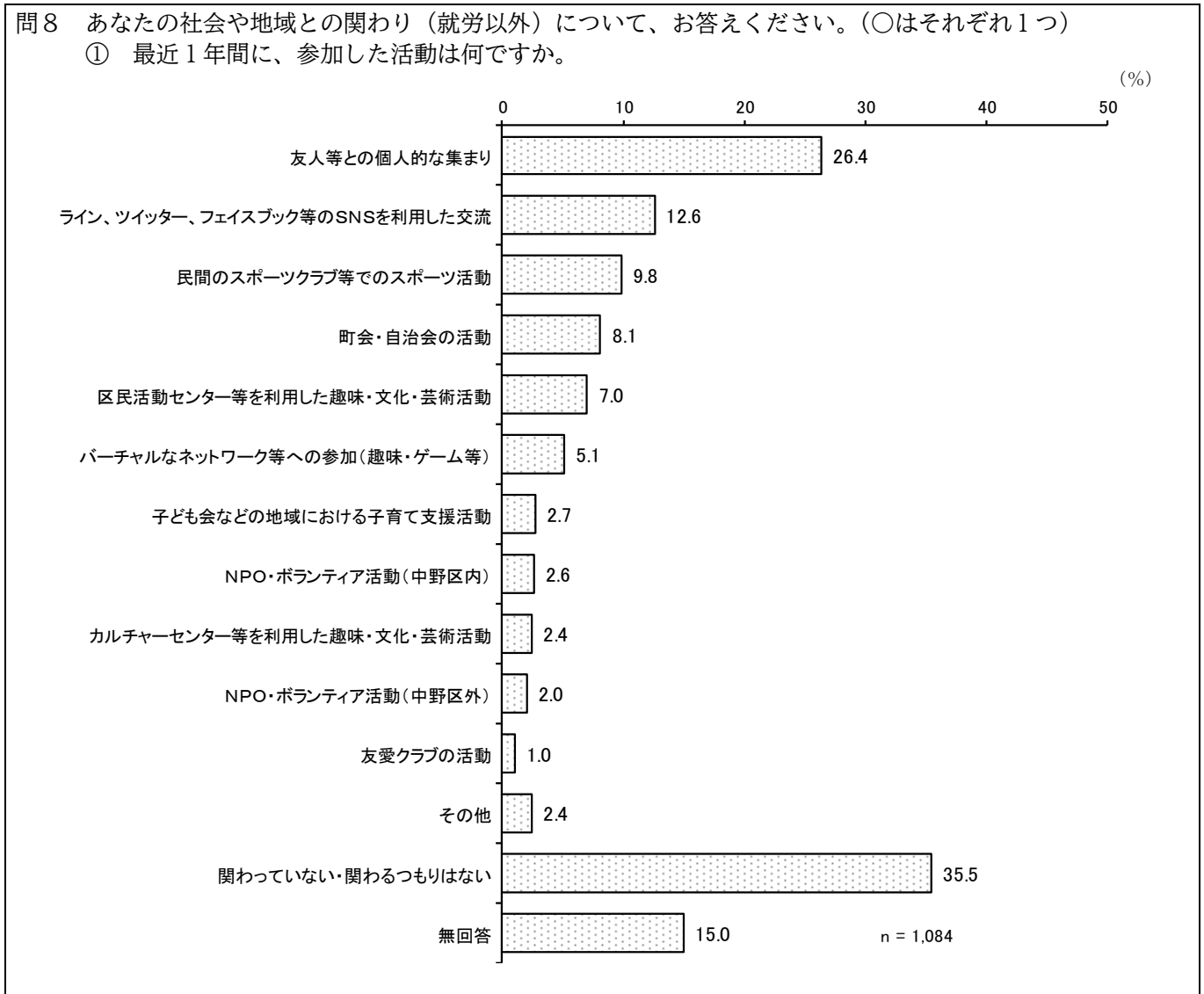
居住地域別でみると、「スマートフォンやパソコンを使っていつでも参加できるもの」では中央が最も高く、若宮が最も低い。また、「会場での説明会」では若宮が最も高い。

		スマートフォンを使っていつでも参加できるもの（アンケート）	会場での説明会	オンラインによる説明会・意見交換会	区民を対象とした意見交換会（タウンミーティング）	その他	無回答
全体 (n=1,084)		58.0	17.1	15.1	13.5	6.3	9.7
居住地域別	南台 (n=64)	62.5	20.3	14.1	7.8	3.1	9.4
	弥生町 (n=91)	56.0	14.3	13.2	3.3	9.9	14.3
	本町 (n=101)	63.4	12.9	12.9	13.9	0.0	15.8
	中央 (n=84)	69.0	17.9	13.1	14.3	4.8	4.8
	東中野 (n=73)	63.0	15.1	16.4	12.3	2.7	5.5
	中野 (n=100)	55.0	17.0	19.0	20.0	5.0	10.0
	上高田 (n=66)	53.0	24.2	19.7	16.7	10.6	4.5
	新井 (n=58)	65.5	12.1	12.1	12.1	5.2	6.9
	沼袋 (n=34)	44.1	17.6	11.8	23.5	8.8	11.8
	松が丘 (n=18)	55.6	33.3	11.1	0.0	11.1	5.6
	江原町 (n=31)	61.3	6.5	19.4	9.7	9.7	9.7
	江古田 (n=54)	46.3	14.8	22.2	14.8	7.4	14.8
	丸山 (n=21)	61.9	23.8	19.0	9.5	0.0	14.3
	野方 (n=67)	58.2	17.9	11.9	22.4	6.0	9.0
	大和町 (n=47)	53.2	10.6	6.4	8.5	17.0	10.6
	若宮 (n=42)	42.9	42.9	11.9	21.4	7.1	7.1
白鷺 (n=27)	63.0	18.5	18.5	14.8	7.4	3.7	
鷺宮 (n=58)	65.5	10.3	19.0	10.3	6.9	3.4	
上鷺宮 (n=17)	64.7	5.9	5.9	5.9	11.8	17.6	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

5 社会や地域との関わりについて
 (1) 最近1年間に参加した地域活動

「友人等との個人的な集まり」が2割半ばで最も高い



最近1年間に参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（26.4%）が2割半ばで最も高く、次いで「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」（12.6%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（9.8%）となっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」（35.5%）は3割半ばとなっている。

性別で見ると、「関わっていない・関わるつもりはない」は女性より男性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「友人等との個人的な集まり」は20歳代、30歳代、40歳代で、「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」は30歳代で、それぞれ高くなっている。一方、「関わっていない」は20歳代、50歳代でやや高くなっている。

		友人等との個人的な集まり	ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	町会・自治会の活動	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	参加（趣味・ゲーム等）	バーチャルなネットワーク等への参加	子ども会などの地域における子育て支援活動	区内）	NPO・ボランティア活動（中野区外）	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答
全体 (n=1,084)		26.4	12.6	9.8	8.1	7.0	5.1	2.7	2.6	2.4	2.0	1.0	2.4	35.5	15.0
性別	男性 (n=490)	21.2	10.6	9.4	6.9	4.5	5.1	2.2	1.4	1.0	2.0	0.6	2.0	40.6	14.3
	女性 (n=564)	30.7	14.7	10.3	9.0	9.0	5.3	3.2	3.5	3.7	2.0	1.4	2.5	31.6	15.1
年代別	20歳代 (n=133)	36.8	12.0	4.5	0.8	3.0	8.3	0.8	1.5	1.5	1.5	0.8	0.8	42.9	8.3
	30歳代 (n=178)	34.3	18.5	10.1	6.2	2.2	10.1	3.9	1.1	1.1	2.2	0.0	0.0	39.9	6.2
	40歳代 (n=175)	30.9	16.6	13.1	5.1	6.9	5.1	5.7	1.1	1.1	1.1	0.0	2.9	33.1	14.3
	50歳代 (n=181)	24.3	13.8	7.7	6.1	3.9	4.4	2.8	2.8	1.7	2.2	0.6	1.7	42.0	7.2
	60歳代 (n=155)	23.9	14.8	11.6	10.3	7.1	3.2	1.3	3.9	3.2	2.6	0.6	3.9	36.8	16.8
	70歳以上 (n=241)	15.4	4.6	11.2	15.4	14.5	1.7	1.7	4.1	5.0	2.5	3.3	4.1	24.1	29.9

居住地域別でみると、「友人等との個人的な集まり」では東中野が最も高く、野方が最も低くなっている。また、「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」では野方が最も高くなっている。

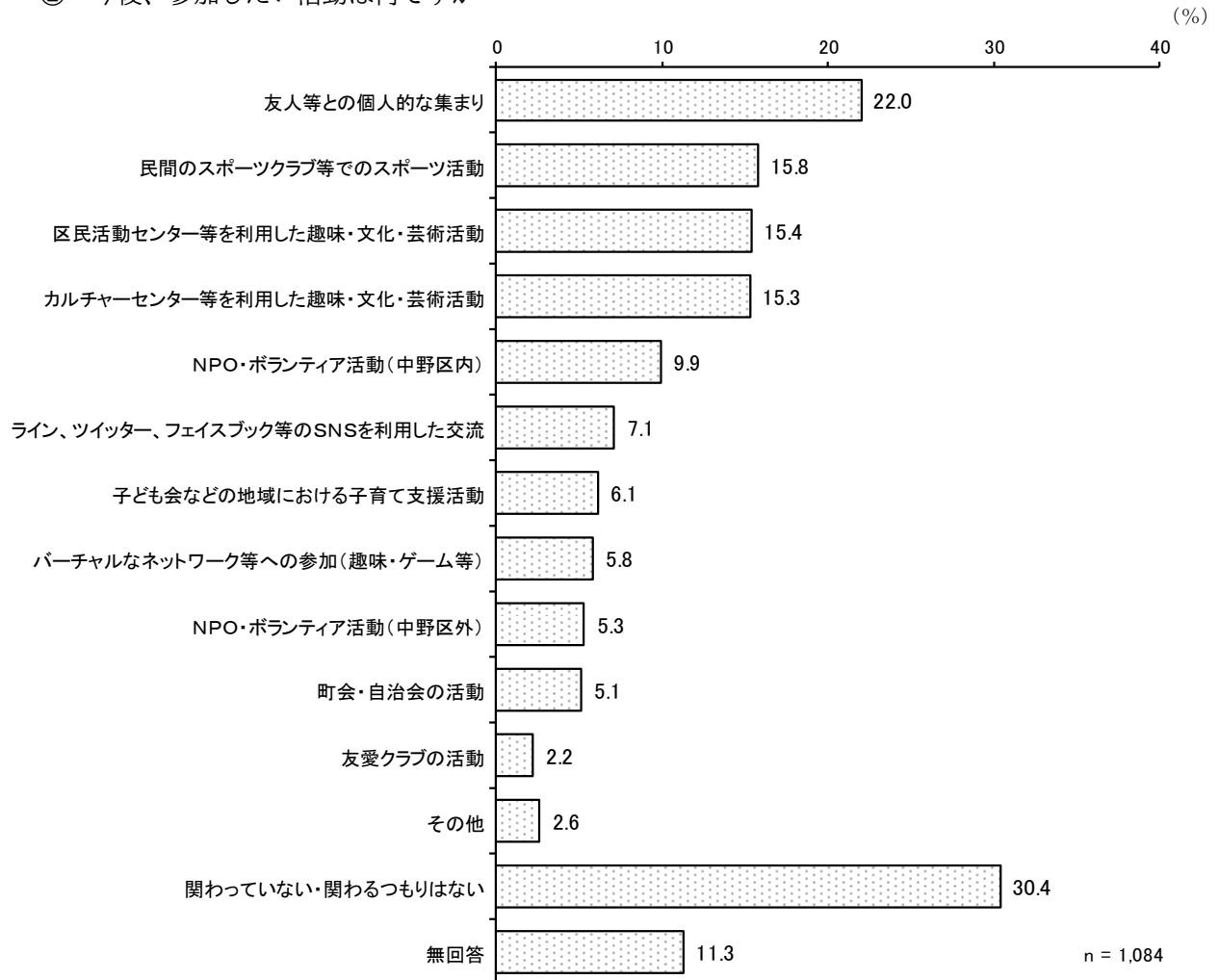
	友人等との個人的な集まり	ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	町会・自治会の活動	味・文化・芸術活動	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	参加（趣味・ゲーム等）	バーチャルなネットワーク等への参加	子ども会などの地域における子育て支援活動	区内）	NPO・ボランティア活動（中野区外）	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答
全体(n=1,084)	26.4	12.6	9.8	8.1	7.0	5.1	2.7	2.6	2.4	2.0	1.0	2.4	35.5	15.0	
居住地域別	南台(n=64)	28.1	10.9	10.9	12.5	6.3	9.4	1.6	0.0	3.1	6.3	1.6	1.6	39.1	7.8
	弥生町(n=91)	26.4	14.3	7.7	9.9	7.7	4.4	2.2	1.1	2.2	3.3	0.0	3.3	34.1	13.2
	本町(n=101)	20.8	15.8	7.9	5.0	5.9	5.9	2.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	40.6	13.9
	中央(n=84)	31.0	15.5	10.7	8.3	4.8	2.4	0.0	2.4	4.8	2.4	1.2	4.8	33.3	13.1
	東中野(n=73)	43.8	16.4	13.7	2.7	8.2	2.7	4.1	1.4	5.5	1.4	0.0	1.4	30.1	8.2
	中野(n=100)	28.0	11.0	14.0	12.0	1.0	6.0	6.0	5.0	0.0	1.0	1.0	1.0	34.0	14.0
	上高田(n=66)	22.7	10.6	10.6	4.5	6.1	6.1	6.1	4.5	4.5	3.0	1.5	0.0	33.3	16.7
	新井(n=58)	27.6	15.5	12.1	5.2	10.3	6.9	1.7	3.4	1.7	0.0	0.0	1.7	37.9	13.8
	沼袋(n=34)	23.5	11.8	14.7	8.8	11.8	5.9	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	5.9	29.4	35.3
	松が丘(n=18)	27.8	16.7	5.6	16.7	11.1	0.0	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	22.2	22.2
	江原町(n=31)	19.4	16.1	9.7	3.2	3.2	9.7	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2	38.7	19.4
	江古田(n=54)	29.6	13.0	7.4	7.4	13.0	1.9	3.7	3.7	3.7	1.9	0.0	1.9	31.5	18.5
	丸山(n=21)	23.8	19.0	9.5	0.0	0.0	9.5	0.0	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	47.6	4.8
	野方(n=67)	17.9	17.9	4.5	13.4	11.9	4.5	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	34.3	14.9
	大和町(n=47)	29.8	0.0	4.3	8.5	10.6	2.1	4.3	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	42.6	14.9
	若宮(n=42)	21.4	2.4	9.5	7.1	4.8	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	4.8	35.7	19.0
	白鷺(n=27)	14.8	3.7	7.4	14.8	7.4	7.4	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0	22.2
鷺宮(n=58)	27.6	17.2	15.5	5.2	5.2	10.3	3.4	3.4	1.7	3.4	3.4	3.4	37.9	10.3	
上鷺宮(n=17)	29.4	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	41.2	17.6	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 今後参加したい地域活動

「友人等との個人的な集まり」が2割前半と最も高い

問8 あなたの社会や地域との関わり（就労以外）について、お答えください。（○はそれぞれ1つ）
② 今後、参加したい活動は何ですか



今後、参加したい活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（22.0%）は2割前半と最も高く、次いで「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（15.8%）、「区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動」（15.4%）となっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」（30.4%）は約3割となっている。

性別で見ると、「関わっていない・関わるつもりはない」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別で見ると、「友人等との個人的な集まり」は20歳代でやや高くなっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」は70歳以上でやや高くなっている。

		友人等との個人的な集まり	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	市民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動	区内）NPO・ボランティア活動（中野区）	ブック等のSNSを利用した交流	ライターのSNS、フェイスブック等	子ども会などの地域における子育て支援活動	参加（趣味・ゲーム等）	バーチャルなネットワーク等への参加	区外）NPO・ボランティア活動（中野区）	町会・自治会の活動	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答
全体(n=1,084)		22.0	15.8	15.4	15.3	9.9	7.1	6.1	5.8	5.3	5.1	2.2	2.6	30.4	11.3		
性別	男性(n=490)	19.0	16.9	13.5	11.8	8.4	6.1	4.5	7.3	4.9	5.9	3.1	2.4	35.5	10.0		
	女性(n=564)	24.6	14.7	16.3	18.4	10.5	7.8	7.4	4.4	5.1	3.9	1.2	2.5	25.9	12.1		
年代別	20歳代(n=133)	31.6	18.8	10.5	9.0	6.8	10.5	6.0	13.5	6.8	4.5	2.3	3.8	28.6	2.3		
	30歳代(n=178)	25.3	19.1	12.4	13.5	6.7	9.6	12.9	7.3	2.8	3.4	2.8	0.6	29.8	6.7		
	40歳代(n=175)	27.4	17.7	10.9	12.6	10.9	8.0	6.9	6.3	5.7	4.6	0.6	1.7	26.9	10.9		
	50歳代(n=181)	22.7	14.4	16.0	16.0	13.3	5.5	2.2	3.3	7.2	6.6	1.7	2.8	27.6	6.1		
	60歳代(n=155)	18.7	18.7	22.6	25.2	12.3	6.5	3.2	3.9	4.5	4.5	2.6	2.6	29.7	8.4		
	70歳以上(n=241)	12.4	9.5	18.7	16.2	8.3	4.6	5.4	3.3	4.1	6.2	2.9	3.3	36.1	24.5		

居住地域別でみると、「友人等との個人的な集まり」では東中野が最も高い。

	友人等との個人的な集まり	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動	区内NPO・ボランティア活動（中野区内）	ブック等のSNSを利用した交流	ライオン、ツイッター、フェイスブック等	子ども会などの地域における子育て支援活動	参加（趣味・ゲーム等）	バーチャルなネットワーク等への参加	NPO・ボランティア活動（中野区外）	町会・自治会の活動	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答
全体(n=1,084)	22.0	15.8	15.4	15.3	9.9	7.1	6.1	5.8	5.3	5.1	2.2	2.6	30.4	11.3		
居住地域別	南台(n=64)	23.4	15.6	12.5	14.1	14.1	10.9	9.4	7.8	9.4	9.4	1.6	4.7	25.0	4.7	
	弥生町(n=91)	28.6	13.2	19.8	16.5	7.7	9.9	4.4	6.6	5.5	4.4	4.4	2.2	35.2	7.7	
	本町(n=101)	23.8	13.9	13.9	9.9	5.9	7.9	3.0	5.9	4.0	1.0	2.0	1.0	30.7	18.8	
	中央(n=84)	21.4	14.3	16.7	20.2	16.7	10.7	4.8	2.4	6.0	7.1	2.4	2.4	27.4	4.8	
	東中野(n=73)	31.5	15.1	12.3	17.8	9.6	12.3	13.7	4.1	4.1	4.1	1.4	2.7	17.8	13.7	
	中野(n=100)	22.0	13.0	9.0	13.0	16.0	6.0	6.0	7.0	6.0	7.0	4.0	2.0	28.0	14.0	
	上高田(n=66)	24.2	19.7	22.7	24.2	10.6	1.5	6.1	12.1	4.5	4.5	1.5	1.5	24.2	10.6	
	新井(n=58)	17.2	20.7	10.3	12.1	8.6	8.6	3.4	6.9	1.7	3.4	1.7	3.4	39.7	6.9	
	沼袋(n=34)	17.6	11.8	20.6	17.6	14.7	5.9	8.8	2.9	8.8	11.8	5.9	2.9	29.4	23.5	
	松が丘(n=18)	27.8	22.2	22.2	16.7	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	16.7	5.6	0.0	27.8	11.1	
	江原町(n=31)	16.1	19.4	12.9	9.7	9.7	9.7	9.7	12.9	9.7	6.5	3.2	6.5	48.4	0.0	
	江古田(n=54)	20.4	16.7	9.3	11.1	14.8	3.7	3.7	3.7	3.7	5.6	0.0	0.0	31.5	9.3	
	丸山(n=21)	33.3	19.0	19.0	9.5	14.3	14.3	9.5	9.5	9.5	4.8	0.0	4.8	38.1	4.8	
	野方(n=67)	16.4	13.4	20.9	16.4	3.0	4.5	3.0	4.5	3.0	3.0	0.0	3.0	28.4	19.4	
	大和町(n=47)	19.1	14.9	14.9	8.5	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	4.3	2.1	2.1	34.0	19.1	
	若宮(n=42)	14.3	7.1	11.9	21.4	4.8	0.0	7.1	0.0	7.1	2.4	2.4	2.4	28.6	9.5	
	白鷺(n=27)	11.1	14.8	14.8	11.1	0.0	3.7	7.4	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	7.4	
	鷺宮(n=58)	19.0	25.9	17.2	17.2	8.6	6.9	5.2	5.2	8.6	5.2	0.0	3.4	31.0	6.9	
上鷺宮(n=17)	17.6	17.6	11.8	11.8	5.9	0.0	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	17.6	11.8		

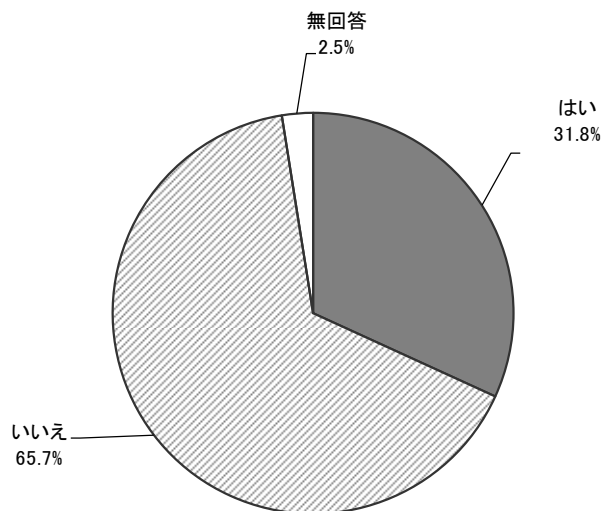
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 町会・自治会・ボランティア活動への参加意向

「はい」は約3割にとどまり、「いいえ」が6割半ば

【問8②で「4～12」と答えた方に】※集計ベースは問8②で「1～3」回答者も除外

問9 あなたは、中野区内において、町会・自治会活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。
(〇は1つ)

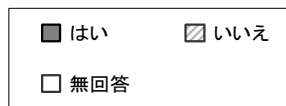
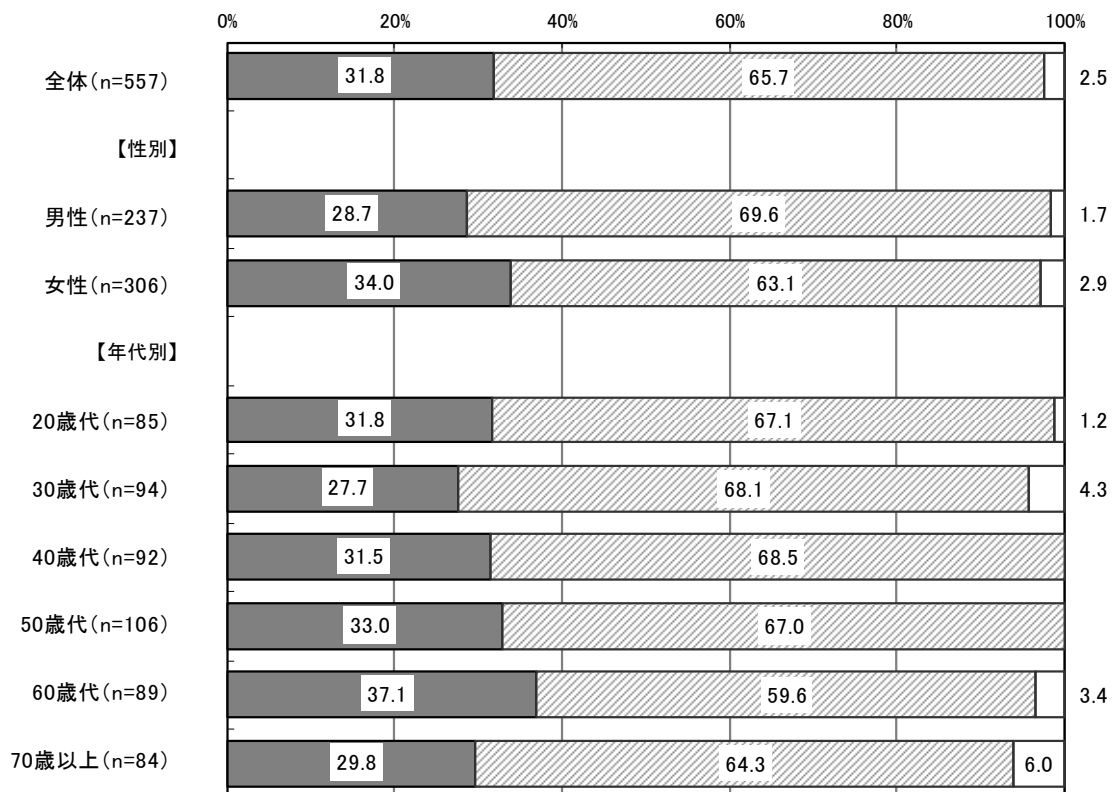


n = 557

現在、中野区内の町会・自治会活動やボランティア活動に参加していない人に、参加したいと思うか聞いたところ、「いいえ」(65.7%)が6割半ばと高く、「はい」(31.8%)は約3割となっている。

性別で見ると、「はい」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「はい」は60歳代で、やや高くなっている。

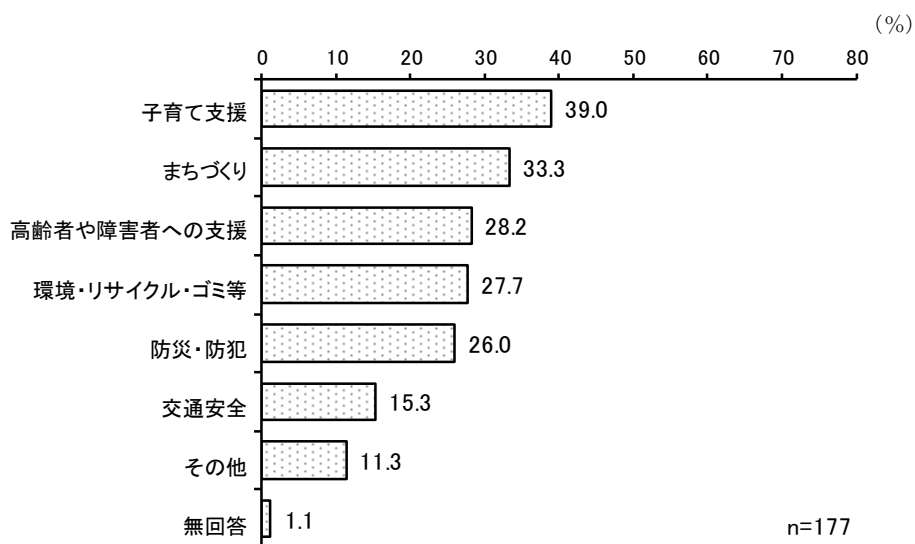


(4) 町会・自治会・ボランティア活動への興味

「子育て支援」が約4割

【問9で「1. はい」と答えた方に】

問9-1 どのような町会・自治会活動やボランティア活動に興味がありますか。(○はいくつでも)



中野区内の町会・自治会活動やボランティア活動に参加意向のある人に、どのような町会・自治会活動やボランティア活動に興味があるか聞いたところ、「子育て支援」(39.0%)が約4割で最も高く、次いで「まちづくり」(33.3%)、「高齢者や障害者への支援」(28.2%)となっている。

性別で見ると、「子育て支援」は男性に比べ女性で高くなっている。

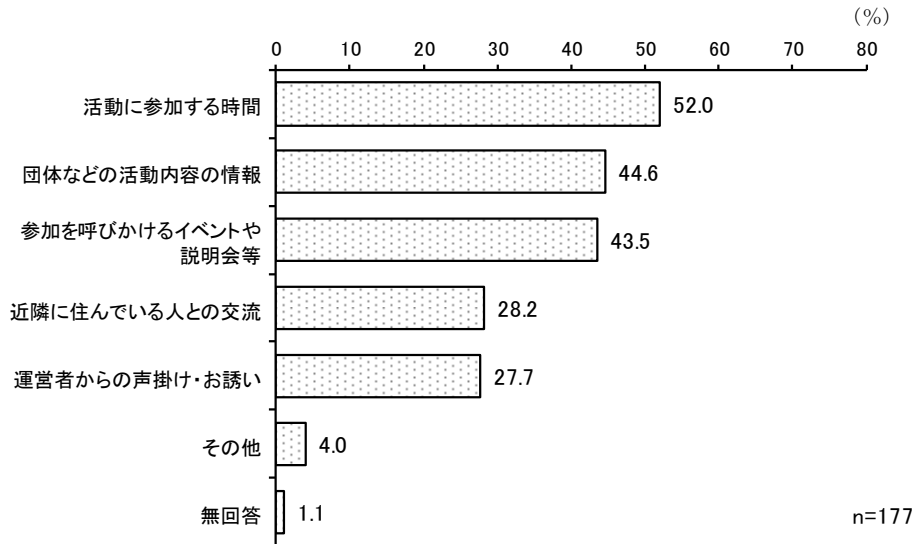
年代別で見ると、「防災・防犯」が50歳代で高くなっている。

		子育て支援	まちづくり	高齢者や障害者への支援	環境・リサイクル・ゴミ等	防災・防犯	交通安全	その他	無回答
全体(n=177)		39.0	33.3	28.2	27.7	26.0	15.3	11.3	1.1
性別	男性(n=68)	27.9	38.2	32.4	26.5	29.4	19.1	10.3	0.0
	女性(n=104)	47.1	30.8	26.0	28.8	25.0	12.5	10.6	1.9
年代別	20歳代(n=27)	14.8	40.7	25.9	25.9	22.2	7.4	14.8	3.7
	30歳代(n=26)	69.2	26.9	11.5	46.2	19.2	15.4	7.7	0.0
	40歳代(n=29)	55.2	44.8	13.8	41.4	20.7	13.8	6.9	0.0
	50歳代(n=35)	34.3	34.3	28.6	20.0	37.1	14.3	14.3	0.0
	60歳代(n=33)	39.4	18.2	39.4	24.2	27.3	21.2	12.1	0.0
	70歳以上(n=25)	24.0	40.0	48.0	12.0	28.0	20.0	8.0	4.0

(5) 町会・自治会・ボランティア活動参加に必要なもの

「活動に参加する時間」が5割前半

問9-2 町会・自治会活動やボランティア活動に参加するためには、何が必要ですか。(〇はいくつでも)



中野区内の町会・自治会活動やボランティア活動に参加意向のある人に、参加するためには何が必要か（複数回答）聞いたところ、「活動に参加する時間」（52.0%）が5割前半で最も高く、次いで「団体などの活動内容の情報」（44.6%）、「参加を呼びかけるイベントや説明会等」（43.5%）となっている。

性別で見ると、「団体などの活動内容の情報」「参加を呼びかけるイベントや説明会等」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別にみると、「参加を呼びかけるイベントや説明会等」は60歳代で高くなっている。

		活動に参加する時間	団体などの活動内容の情報	参加を呼びかけるイベントや説明会等	近隣に住んでいる人との交流	運営者からの声掛け・お誘い	その他	無回答
全体(n=177)		52.0	44.6	43.5	28.2	27.7	4.0	1.1
性別	男性(n=68)	50.0	33.8	38.2	26.5	30.9	7.4	1.5
	女性(n=104)	52.9	51.9	46.2	28.8	26.9	1.9	1.0
年代別	20歳代(n=27)	51.9	29.6	29.6	22.2	29.6	3.7	3.7
	30歳代(n=26)	50.0	46.2	46.2	15.4	23.1	0.0	0.0
	40歳代(n=29)	62.1	55.2	44.8	24.1	27.6	13.8	0.0
	50歳代(n=35)	65.7	51.4	40.0	17.1	17.1	0.0	2.9
	60歳代(n=33)	30.3	45.5	54.5	39.4	33.3	3.0	0.0
	70歳以上(n=25)	48.0	36.0	44.0	52.0	40.0	4.0	0.0

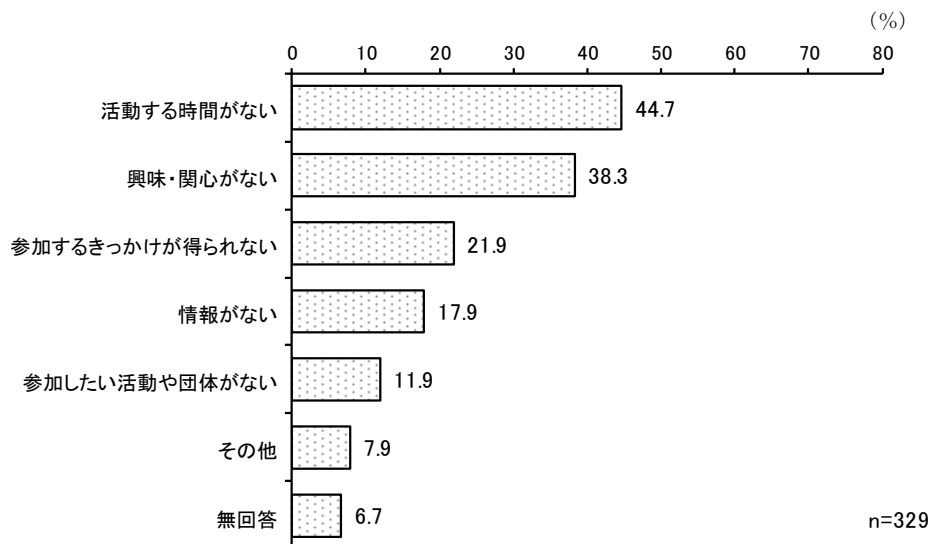
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 町会・自治会・ボランティア活動への不参加理由

「活動する時間がない」が4割半ば

【問8②で「13. 関わっていない・関わるつもりはない」と答えた方にお聞きします。】

問10 その理由は何ですか。(○はいくつでも)



最近1年間に、就労以外に社会や地域と関わっていない・関わるつもりはないと回答した人に、その理由(複数回答)を聞いたところ、「活動する時間がない」(44.7%)が4割半ばで最も高く、次いで「興味・関心がない」(38.3%)、「参加するきっかけが得られない」(21.9%)となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「活動する時間がない」は20歳代で高く、70歳以上では低くなっている。

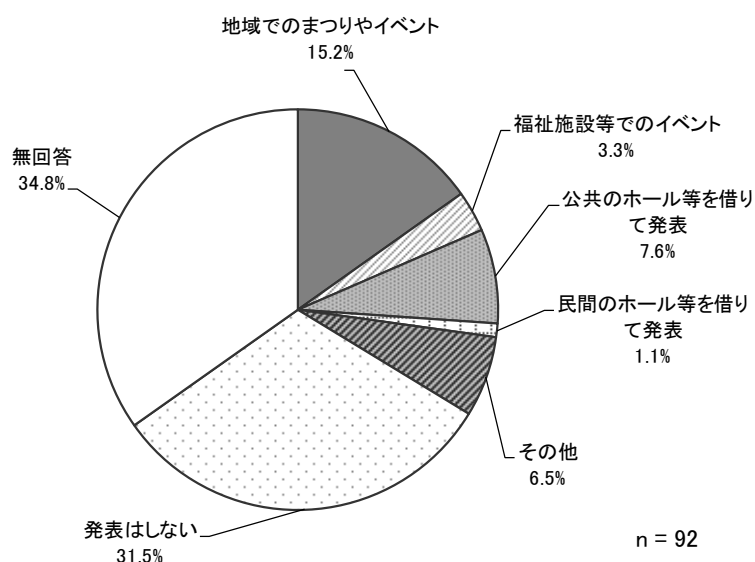
		活動する時間がない	興味・関心がない	参加するきっかけが得られない	情報がない	参加したい活動や団体がいない	その他	無回答
全体(n=329)		44.7	38.3	21.9	17.9	11.9	7.9	6.7
性別	男性(n=174)	43.7	39.1	20.7	17.8	10.9	4.6	9.2
	女性(n=146)	45.9	37.7	24.0	18.5	12.3	11.6	4.1
年代別	20歳代(n=38)	63.2	47.4	23.7	26.3	13.2	0.0	13.2
	30歳代(n=53)	54.7	34.0	28.3	17.0	11.3	3.8	7.5
	40歳代(n=47)	53.2	36.2	27.7	25.5	14.9	0.0	8.5
	50歳代(n=50)	50.0	32.0	20.0	24.0	12.0	12.0	6.0
	60歳代(n=46)	39.1	39.1	19.6	10.9	10.9	6.5	6.5
	70歳以上(n=87)	24.1	41.4	16.1	10.3	11.5	16.1	3.4

(7) 趣味・文化・芸術活動発表の場

「発表はしない」が約3割

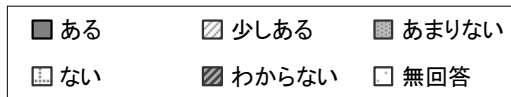
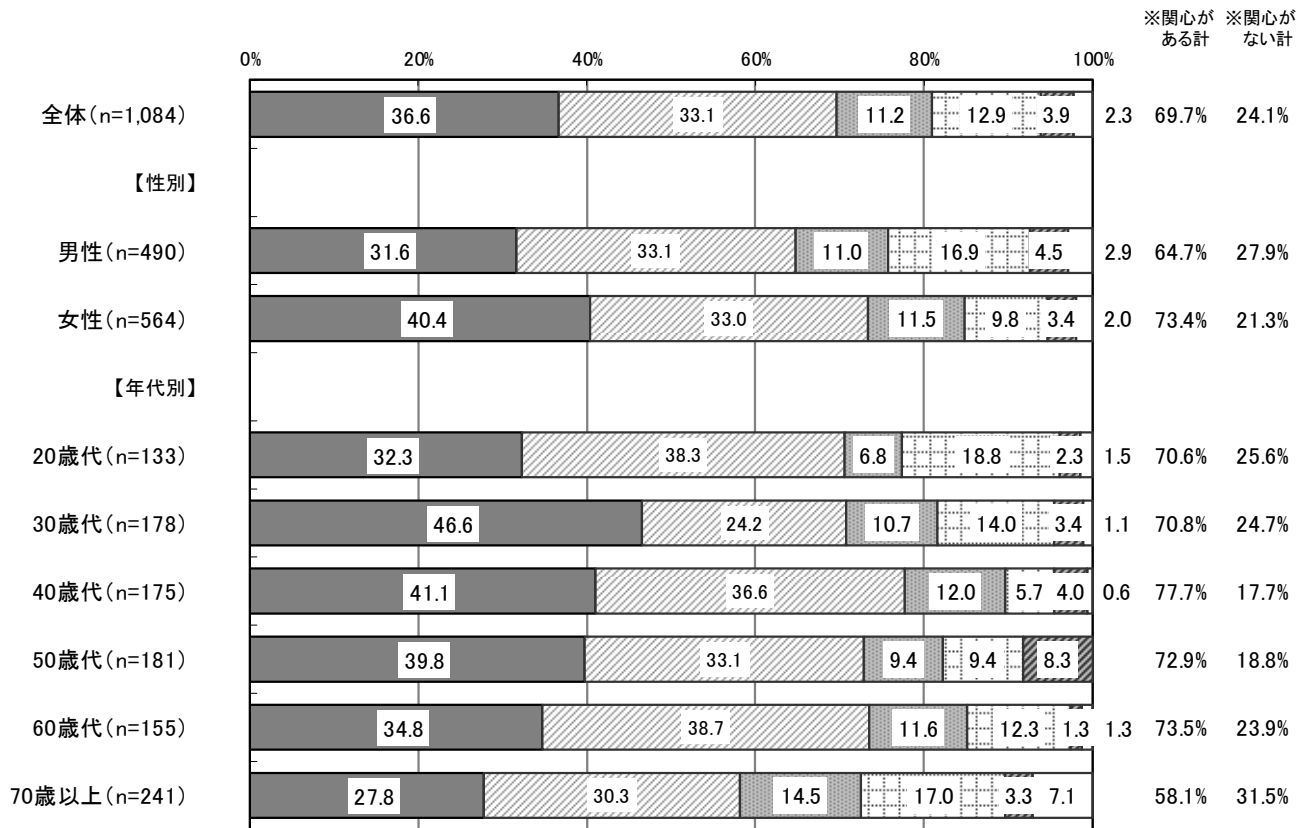
【問8①で「6～7」と答えた方に】

問11 趣味・文化・芸術活動を行っている人にお伺いします。
あなたの活動の発表の場は、主にどこですか。(○は1つ)

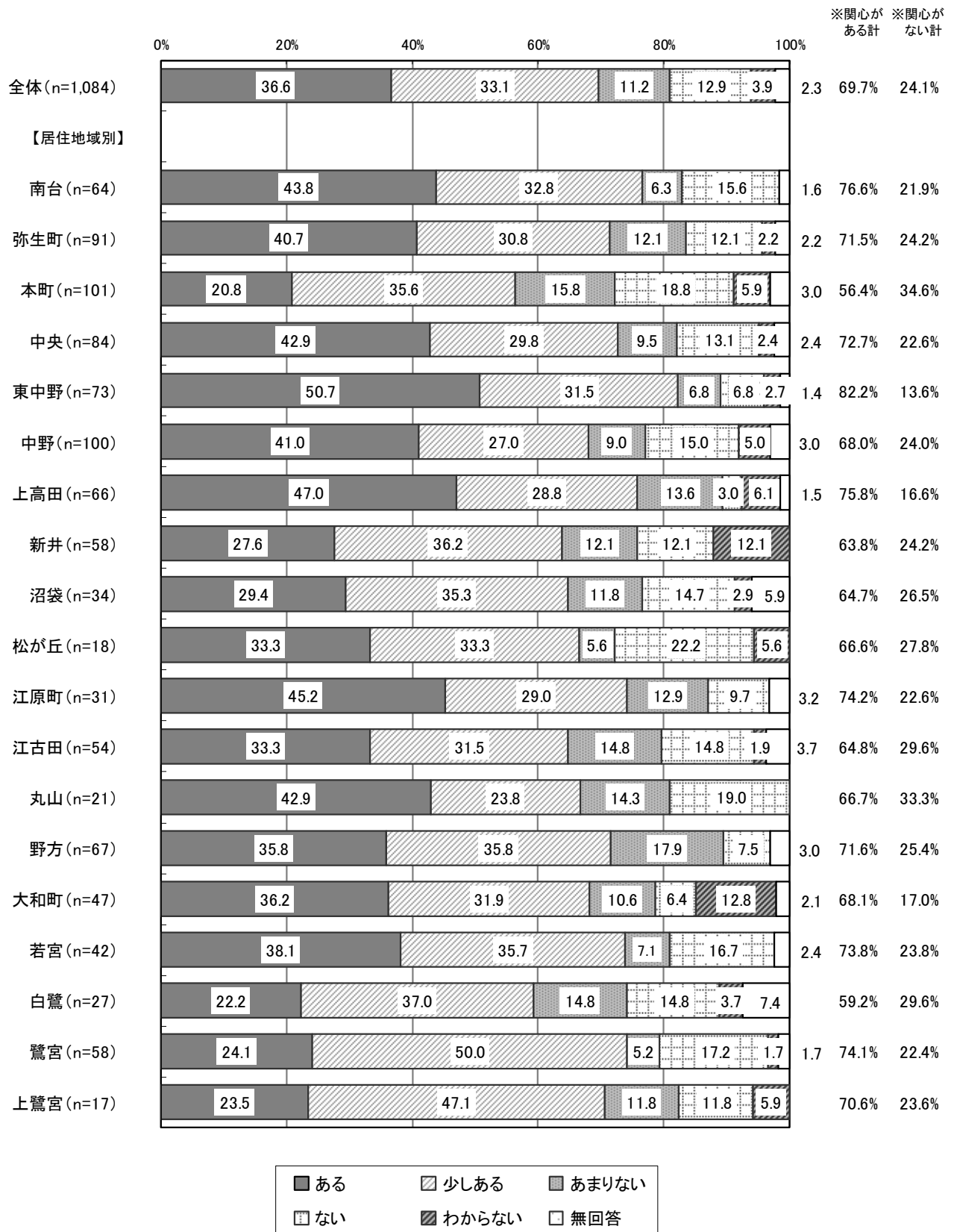


趣味・文化・芸術活動を行っている人に、活動の発表場所を聞いたところ、「地域でのまつりやイベント」(15.2%)が1割半ばで最も高く、次いで「公共のホール等を借りて発表」(7.6%)、「福祉施設等でのイベント」(3.3%)となっている。一方、「発表はしない」(31.5%)は約3割となっている。

性別でみると、「関心がない」は女性に比べ男性でやや高くなっている。
 年代別でみると、「関心がある」は40歳代で7割後半とやや高くなっている。
 一方、「関心がない」は70歳以上で約3割とやや高くなっている。



居住地域別にみると、「関心がある」は東中野で8割前半とやや高くなっている。一方、「関心がない」は本町で3割半ばとやや高くなっている。

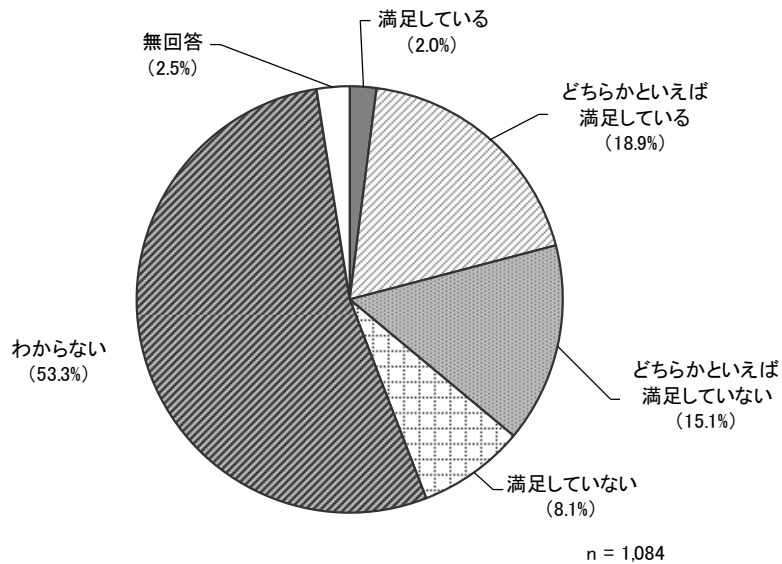


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 中野区の文化的環境への満足度

「満足している」(「満足している」と「どちらかといえば満足している」)が約2割

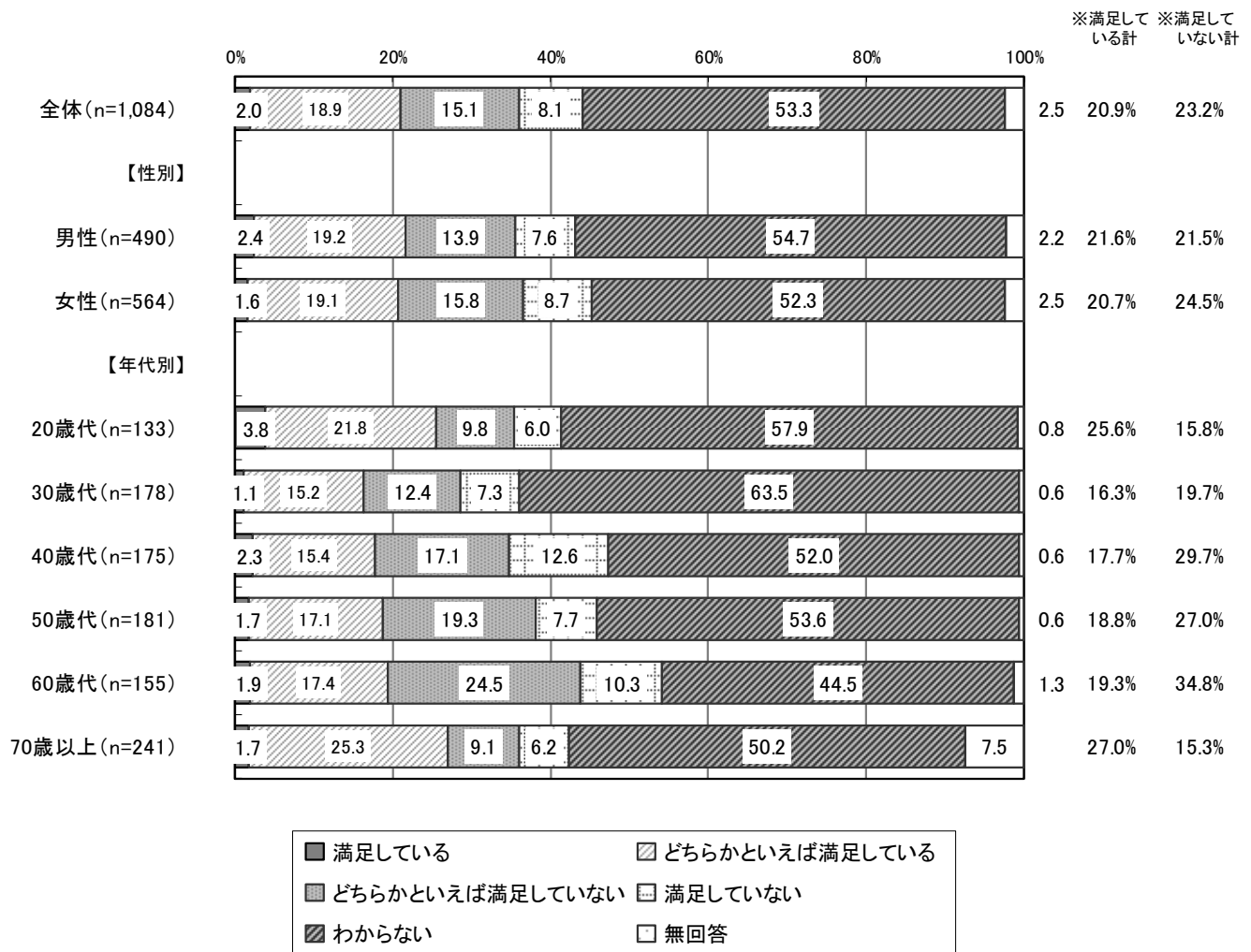
問 13 文化芸術を鑑賞したり、習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、中野区での文化的環境に満足していますか。(○は1つ)



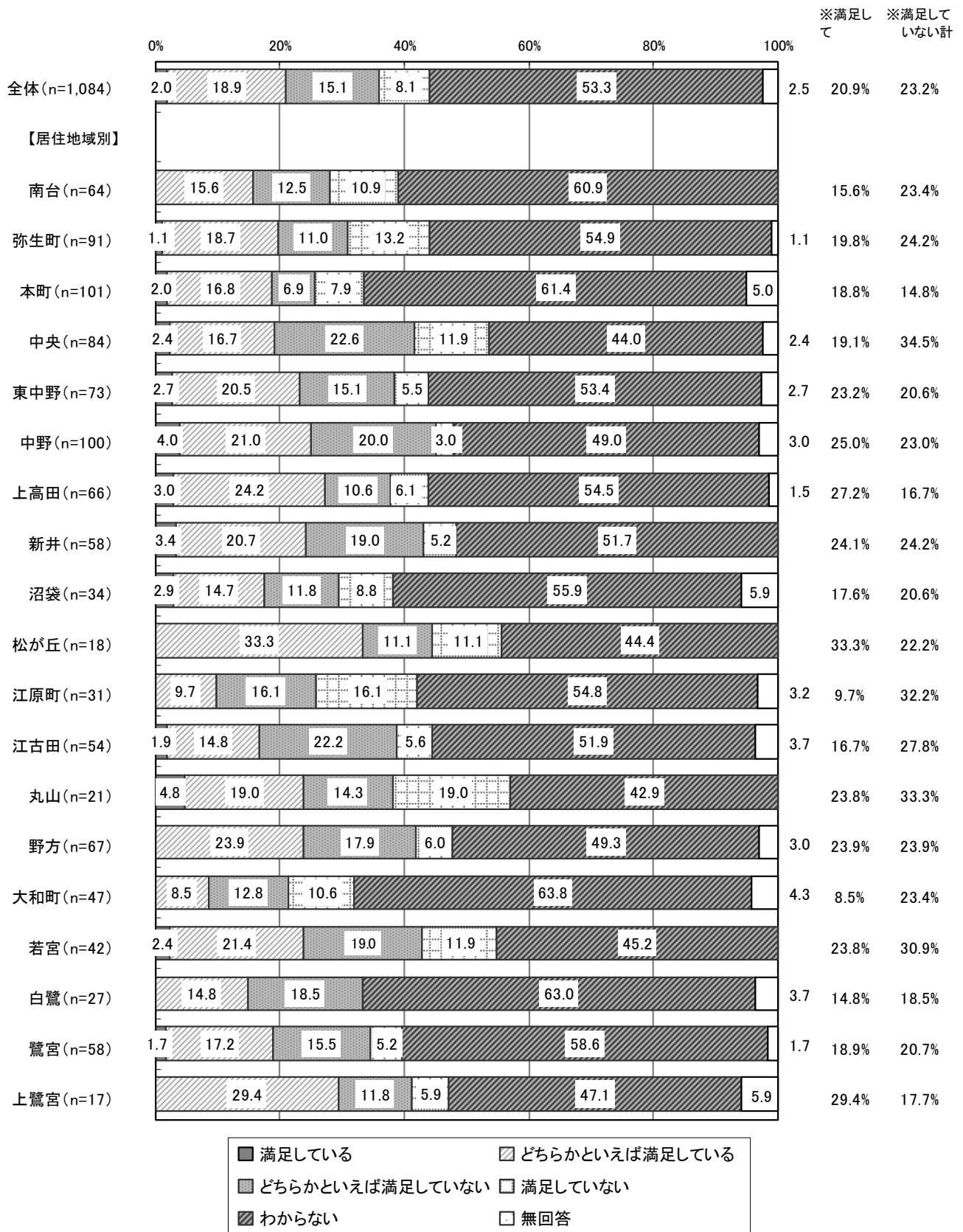
中野区の文化的環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(2.0%)と「どちらかといえば満足している」(18.9%)を合わせた「満足している」(20.9%)は約2割となっている。一方、「どちらかといえば満足していない」(15.1%)と「満足していない」(8.1%)を合わせた「満足していない」(23.2%)は2割前半となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別で見ると、「満足している」は70歳以上で2割後半とやや高くなっている。一方、「満足していない」は60歳代で3割半ばとやや高くなっている。



居住地域別にみると、「満足している」は上高田で2割後半と高くなっている。一方、「満足していない」は中央で3割半ばと高くなっている。

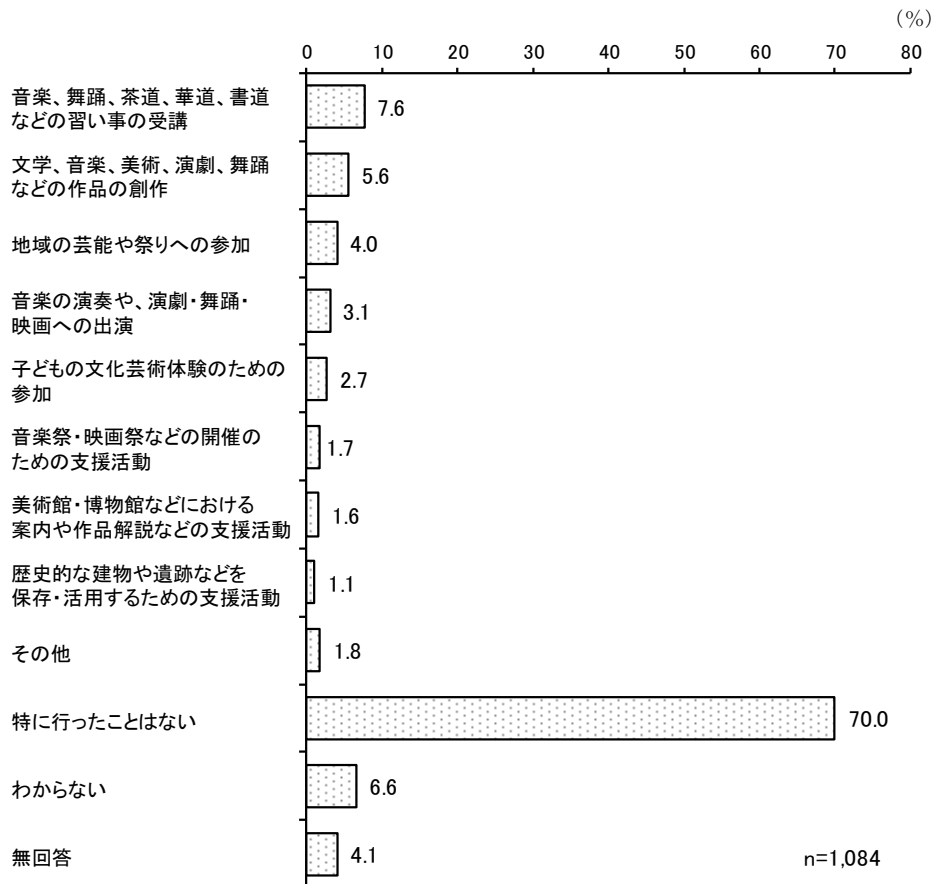


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 1年間で行った文化芸術に関わる活動

「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」が7.6%で最も高い

問 14 文化芸術に関わる活動は、作品鑑賞だけでなく、作品の創作や習い事、あるいはボランティアとしてこれらの活動を支援することがあります。
あなたは、この1年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。
(〇はいくつでも)



1年間で行った文化芸術に関わる活動（複数回答）を聞いたところ、「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」は（7.6%）で最も高く、次いで「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」（5.6%）、「地域の芸能や祭りへの参加」（4.0%）となっている。一方、「特に行ったことはない」は（70.0%）となっている。

性別で見ると、「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」は男性に比べ女性で約1割と、やや高くなっている。

年代別にみると、「子どもの文化芸術体験のための参加」は40歳代で最も高くなっている。

		音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	地域の芸能や祭りへの参加	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演	子どもの文化芸術体験のための参加	音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動	美術館・博物館などの支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特に行ったことはない	わからない	無回答
全体 (n=1,084)		7.6	5.6	4.0	3.1	2.7	1.7	1.6	1.1	1.8	70.0	6.6	4.1
性別	男性 (n=490)	4.9	6.7	3.7	4.1	1.8	2.4	1.8	0.8	1.6	68.6	9.0	4.5
	女性 (n=564)	9.9	4.8	4.1	2.3	3.5	0.9	1.2	1.4	2.1	71.3	4.8	3.4
年代別	20歳代 (n=133)	8.3	6.0	3.0	3.8	0.8	0.8	0.8	0.0	0.8	73.7	10.5	0.8
	30歳代 (n=178)	7.9	6.2	4.5	4.5	3.9	2.8	2.2	1.1	2.2	65.7	10.1	2.2
	40歳代 (n=175)	6.3	6.3	4.0	4.0	8.0	5.1	2.9	0.6	0.6	69.1	5.1	1.7
	50歳代 (n=181)	7.7	7.2	3.3	2.8	3.3	0.6	0.6	0.6	4.4	74.0	3.3	2.8
	60歳代 (n=155)	11.6	8.4	3.9	1.9	0.6	1.3	2.6	1.9	0.6	71.6	5.8	2.6
	70歳以上 (n=241)	5.8	2.1	4.6	2.1	0.0	0.0	0.8	2.1	2.1	67.6	6.2	10.0

居住地域別にみると、「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」は南台で最も高くなっている。一方、「特に行ったことはない」は上高田、江原町で高くなっている。

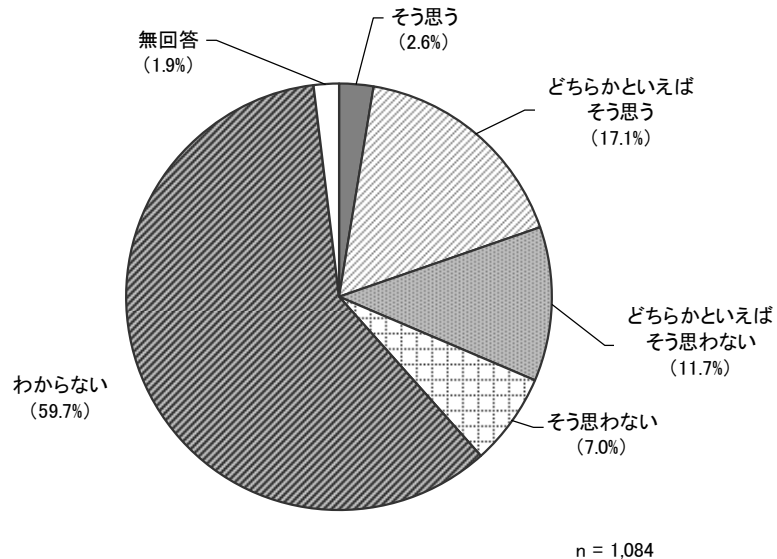
	音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	地域の芸能や祭りへの参加	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演	子どもの文化芸術体験のための参加	音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動	美術館・博物館などにおける活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特に行ったことはない	わからない	無回答	
全体 (n=1,084)	7.6	5.6	4.0	3.1	2.7	1.7	1.6	1.1	1.8	70.0	6.6	4.1	
居住地域別	南台 (n=64)	12.5	9.4	6.3	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	70.3	4.7	4.7
	弥生町 (n=91)	9.9	3.3	2.2	2.2	3.3	4.4	1.1	1.1	2.2	70.3	6.6	4.4
	本町 (n=101)	6.9	5.0	3.0	4.0	0.0	1.0	2.0	0.0	2.0	70.3	9.9	5.0
	中央 (n=84)	8.3	6.0	9.5	2.4	2.4	3.6	2.4	0.0	4.8	72.6	3.6	1.2
	東中野 (n=73)	8.2	8.2	4.1	11.0	6.8	1.4	1.4	0.0	1.4	67.1	4.1	1.4
	中野 (n=100)	6.0	6.0	2.0	4.0	1.0	3.0	0.0	1.0	1.0	68.0	5.0	8.0
	上高田 (n=66)	6.1	9.1	4.5	3.0	4.5	1.5	3.0	4.5	1.5	74.2	3.0	0.0
	新井 (n=58)	12.1	3.4	1.7	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	67.2	8.6	5.2
	沼袋 (n=34)	5.9	8.8	2.9	5.9	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	64.7	8.8	5.9
	松が丘 (n=18)	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	77.8	0.0	11.1
	江原町 (n=31)	9.7	9.7	3.2	0.0	6.5	0.0	6.5	0.0	3.2	74.2	0.0	0.0
	江古田 (n=54)	5.6	3.7	7.4	1.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	68.5	11.1	3.7
	丸山 (n=21)	0.0	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	81.0	4.8	0.0
	野方 (n=67)	9.0	3.0	1.5	3.0	0.0	3.0	0.0	1.5	4.5	70.1	7.5	3.0
	大和町 (n=47)	6.4	8.5	4.3	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	61.7	12.8	6.4
	若宮 (n=42)	4.8	7.1	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	71.4	7.1	2.4
	白鷺 (n=27)	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	81.5	3.7	7.4
鷺宮 (n=58)	8.6	3.4	1.7	1.7	3.4	1.7	1.7	3.4	3.4	72.4	8.6	1.7	
上鷺宮 (n=17)	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	70.6	0.0	11.8	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

7 生涯学習について

「**そう思う**」(「**そう思う**」と「**どちらかといえばそう思う**」)が約2割

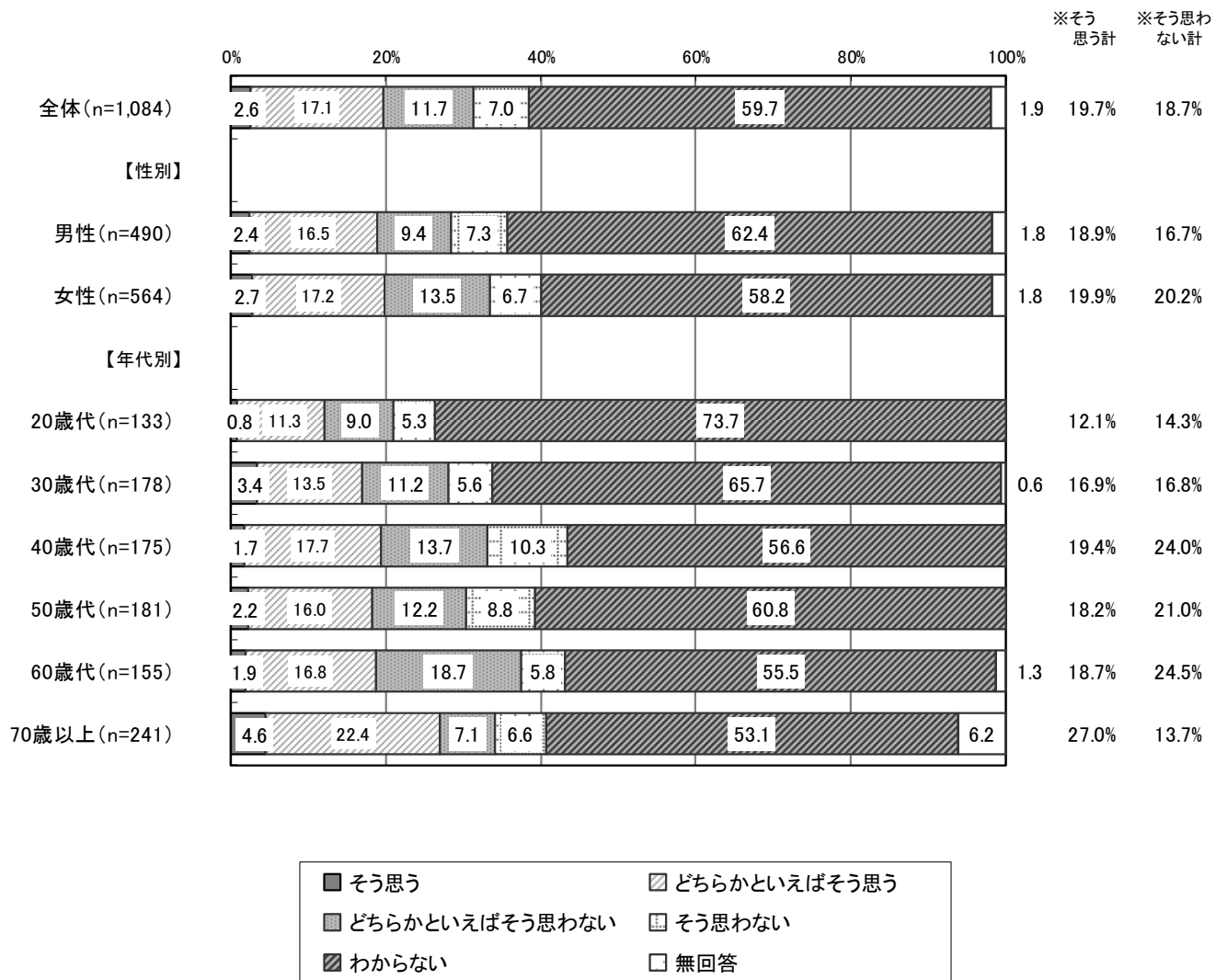
問 15 講座や教室、スポーツ活動や文化芸術活動など、区内における生涯学習の機会は充実していると思いますか。(○は1つ)



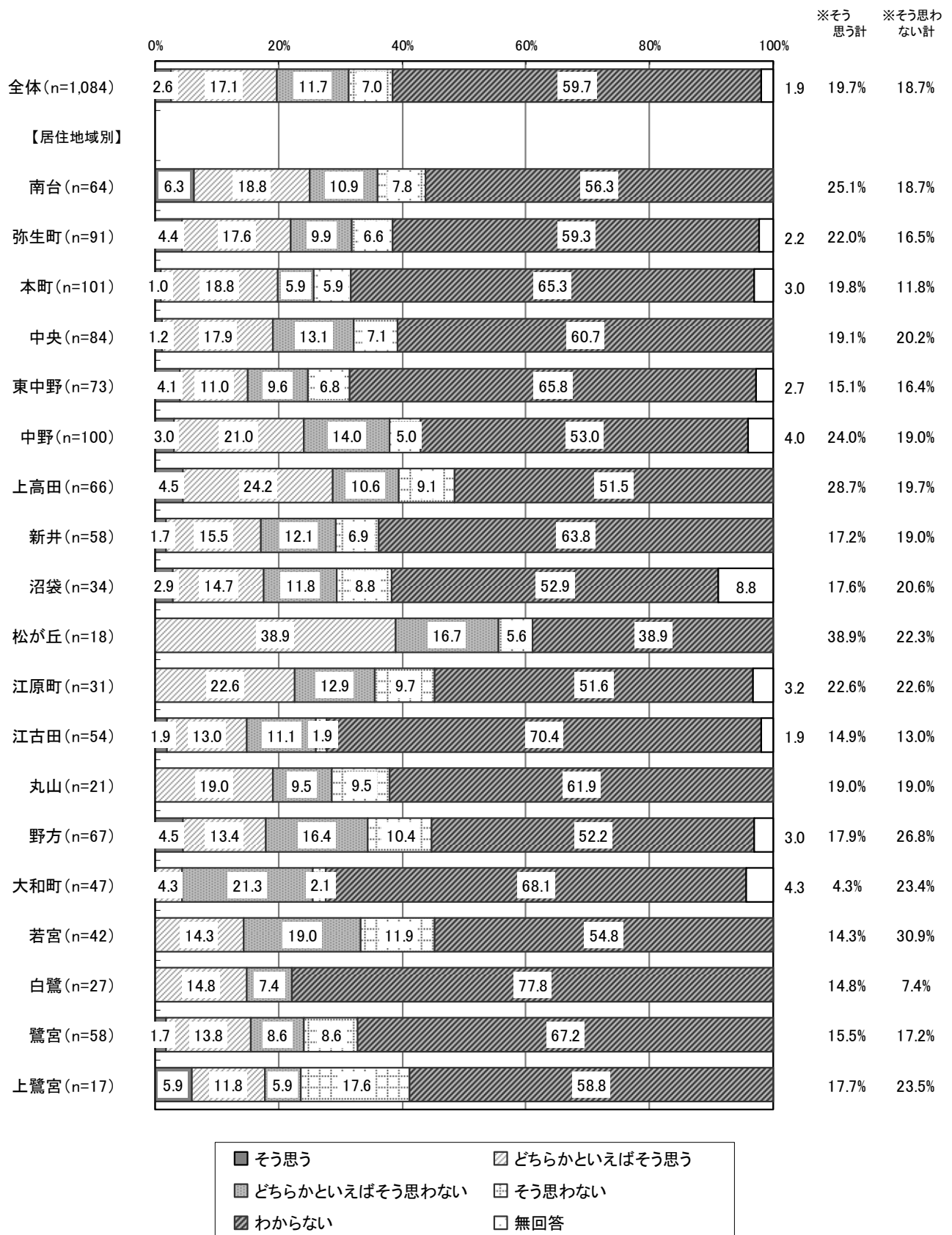
生涯学習の機会の充実について聞いたところ、「**そう思う**」(2.6%)と「**どちらかといえばそう思う**」(17.1%)を合わせた**「そう思う」**(19.7%)は約2割となっている。一方、「**どちらかといえばそう思わない**」(11.7%)と「**そう思わない**」(7.0%)を合わせた**「そう思わない」**(18.7%)は1割後半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「<<そう思う>>」は70歳以上で2割後半と高くなっている。一方、「<<そう思わない>>」は40歳代、60歳代で2割半ばと高くなっている。



居住地域別にみると、「<<そう思う>>」は上高田で2割後半と高くなっている。一方、「<<そう思わない>>」は若宮で約3割と高くなっている。



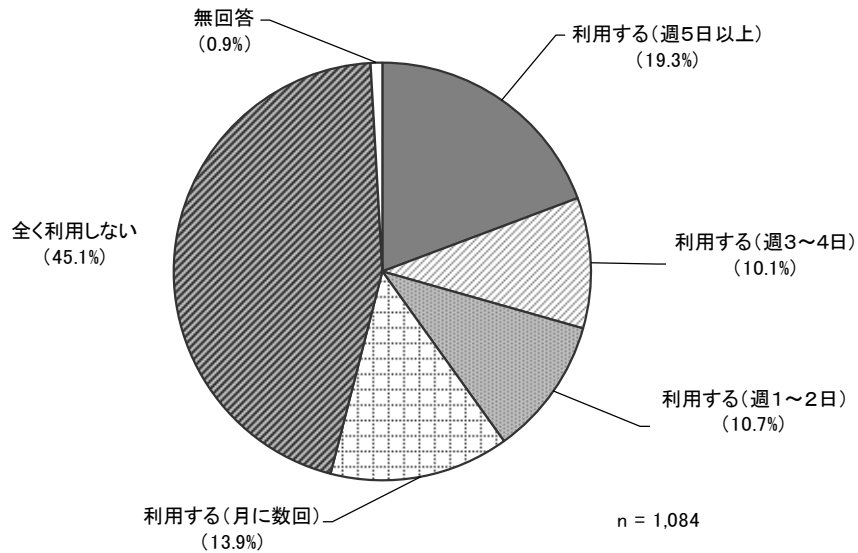
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

8 自転車利用について

(1) 自転車の利用頻度

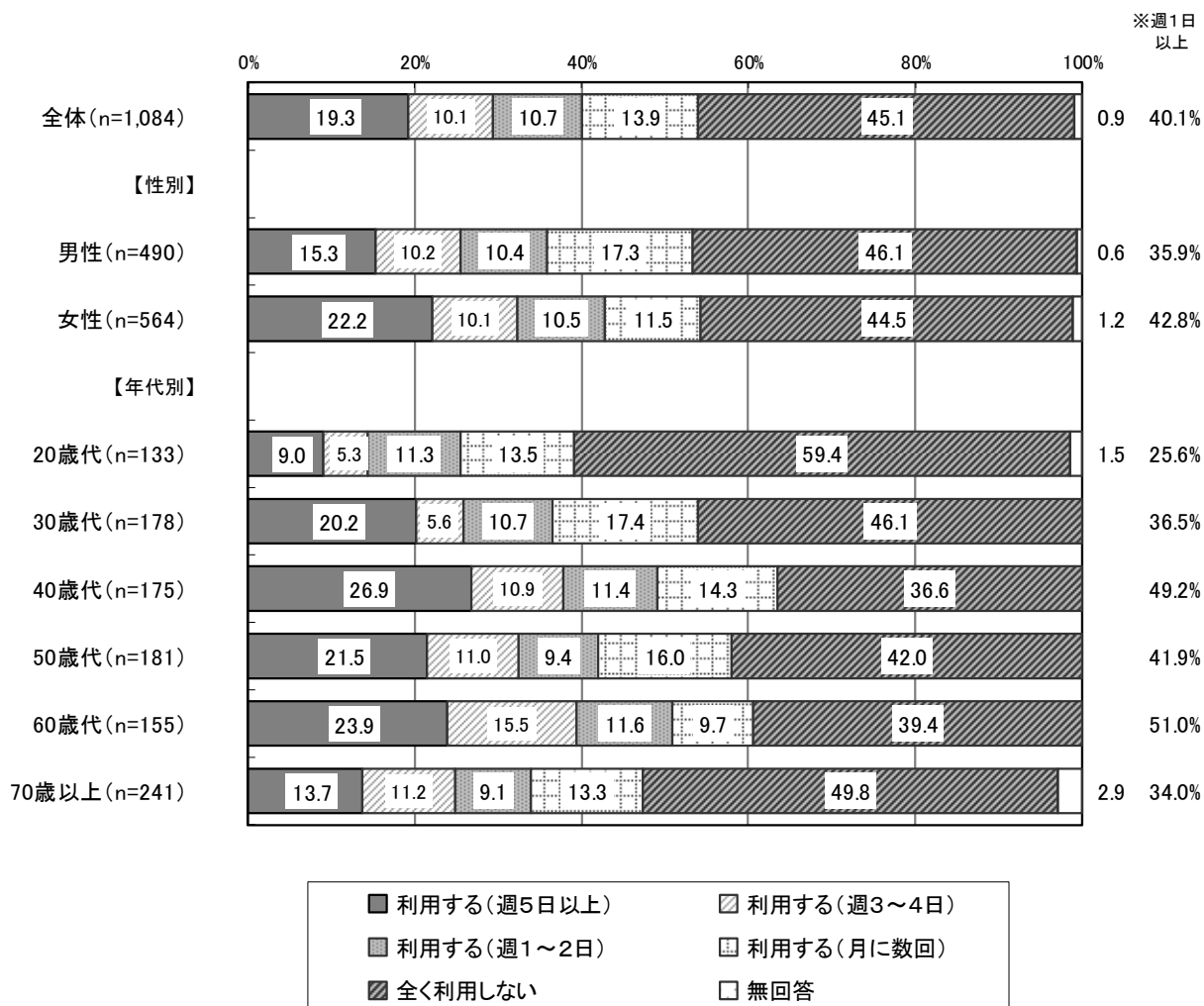
「全く利用しない」が4割半ば

問 16 あなたは自転車を利用しますか、また、利用する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

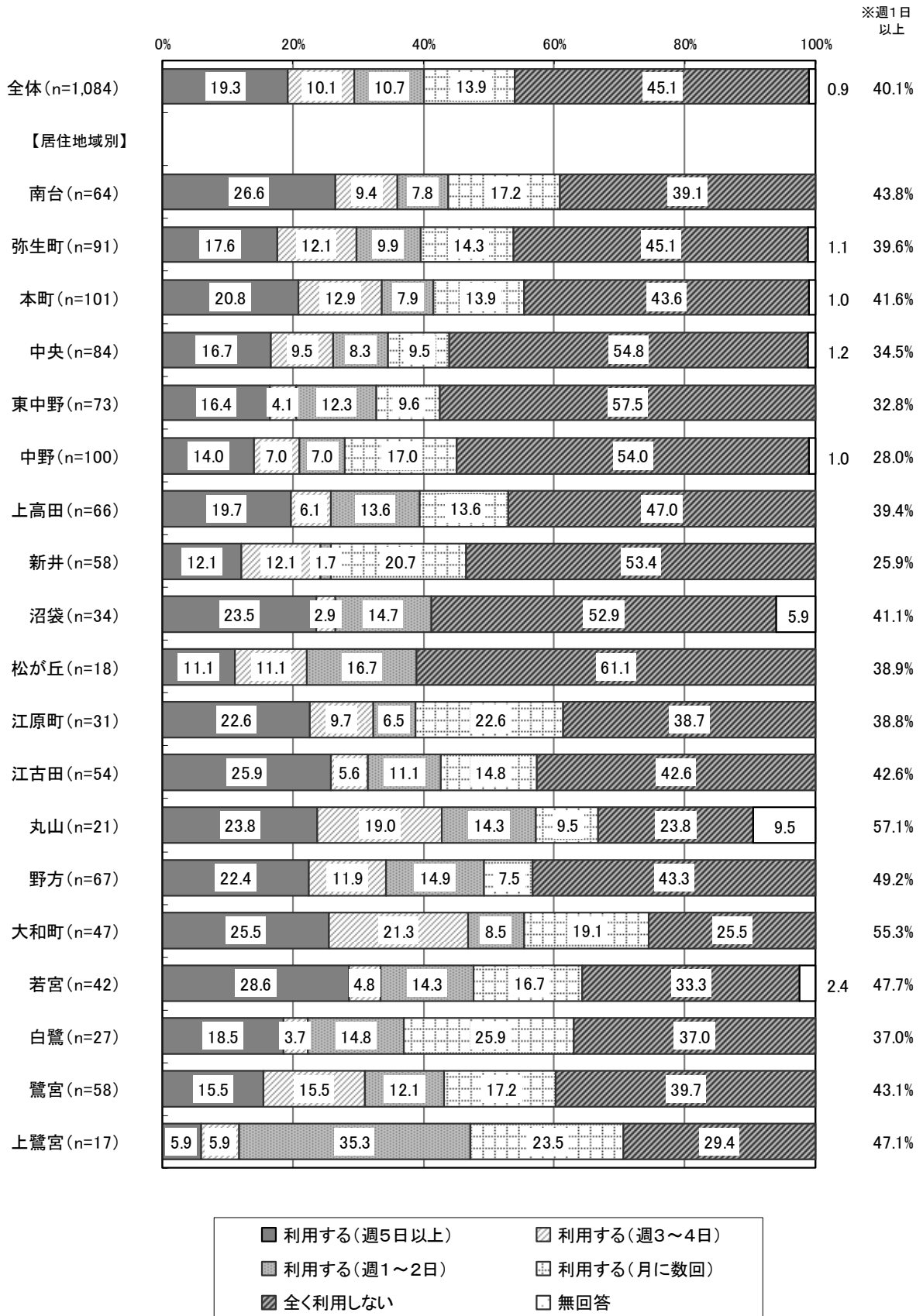


自転車の利用頻度を聞いたところ、「全く利用しない」(45.1%)が4割半ばで最も高く、次いで「利用する(週5日以上)」(19.3%)、「利用する(月に数回)」(13.9%)となっている。「利用する(週5日以上)」(19.3%)、「利用する(週3~4日)」(10.1%)、「利用する(週1~2日)」(10.7%)を合わせた「週1日以上」(40.1%)は約4割となっている。

性別で見ると、「週1日以上」は男性に比べ女性で4割前半と高くなっている。
 年代別で見ると、「週1日以上」は40歳代、60歳代で約5割とやや高くなっている。



居住地域別にみると、「週1日以上」は大和町で5割半ばと高くなっている。



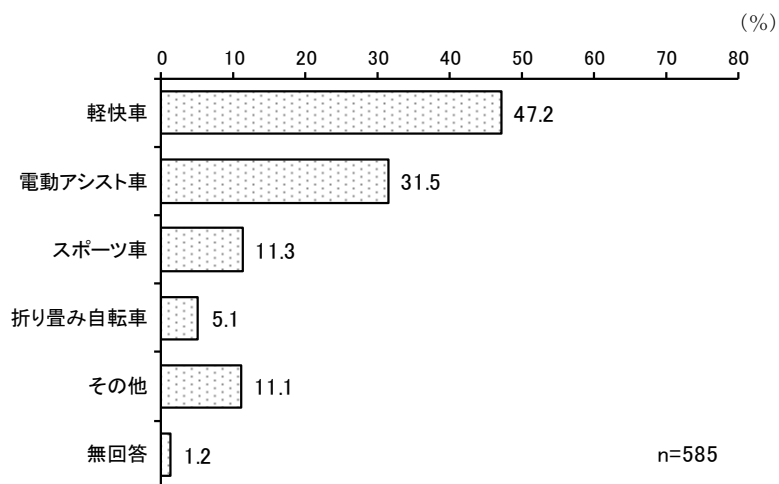
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 持っている自転車

「軽快車」が4割後半で最も高い

【問16で「1～4」と答えた方にお聞きします】

問16-1 あなたはどのような自転車をお持ちですか。
該当するものすべてを選択してください。(〇はいくつでも)



自転車を利用している人に持っている自転車について聞いたところ、「軽快車」(47.2%)が4割後半で最も高く、次いで「電動アシスト車」(31.5%)、「スポーツ車」(11.3%)となっている。

性別で見ると、「スポーツ車」は女性に比べ男性で、「電動アシスト車」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別にみると、「軽快車」は20歳代と50歳代と70歳以上で、「電動アシスト車」は40歳代で、それぞれ高くなっている。

		軽快車	電動アシスト車	スポーツ車	折り畳み自転車	その他	無回答
全体 (n=585)		47.2	31.5	11.3	5.1	11.1	1.2
性別	男性 (n=261)	46.7	22.2	19.9	6.5	14.6	1.1
	女性 (n=306)	48.4	37.9	4.6	4.2	8.5	1.0
年代別	20歳代 (n=52)	57.7	11.5	17.3	7.7	5.8	0.0
	30歳代 (n=96)	35.4	32.3	22.9	6.3	8.3	1.0
	40歳代 (n=111)	37.8	52.3	9.9	5.4	5.4	0.0
	50歳代 (n=105)	54.3	30.5	12.4	6.7	5.7	1.0
	60歳代 (n=94)	48.9	27.7	9.6	3.2	14.9	1.1
	70歳以上 (n=114)	54.4	21.1	1.8	3.5	23.7	3.5

居住地域別にみると、「軽快車」は大和町で、「電動アシスト車」は江古田で、それぞれ高くなっている。

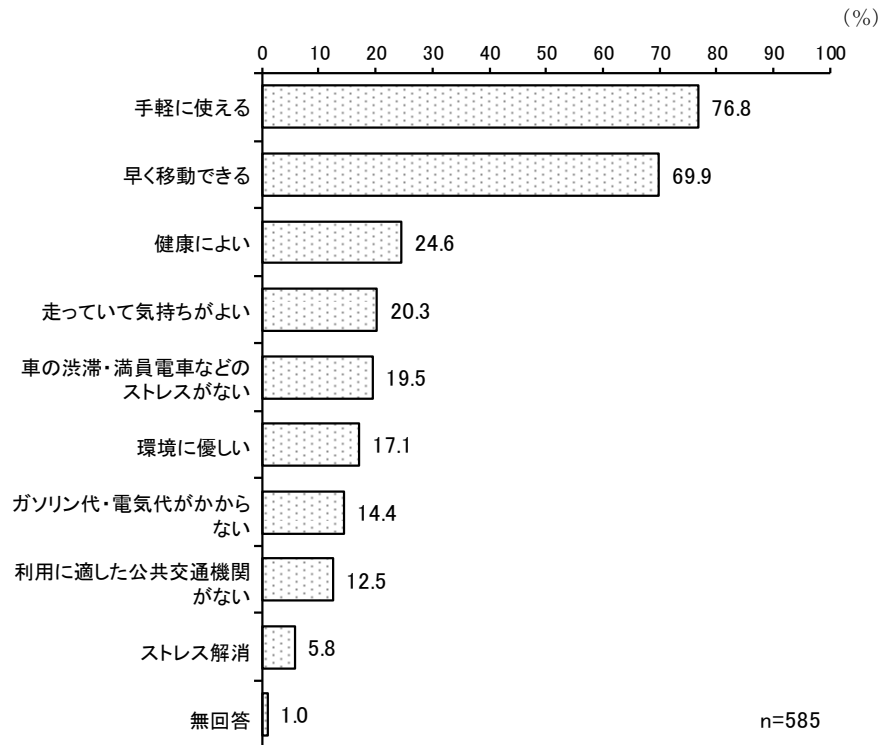
		軽快車	電動アシスト車	スポーツ車	折り畳み自転車	その他	無回答
全体 (n=585)		47.2	31.5	11.3	5.1	11.1	1.2
居住地域別	南台 (n=39)	48.7	33.3	17.9	5.1	5.1	0.0
	弥生町 (n=49)	51.0	28.6	14.3	4.1	4.1	0.0
	本町 (n=56)	44.6	37.5	3.6	5.4	16.1	1.8
	中央 (n=37)	45.9	24.3	13.5	0.0	21.6	2.7
	東中野 (n=31)	32.3	41.9	0.0	12.9	19.4	0.0
	中野 (n=45)	51.1	26.7	17.8	4.4	8.9	0.0
	上高田 (n=35)	42.9	37.1	11.4	2.9	5.7	2.9
	新井 (n=27)	44.4	29.6	18.5	3.7	11.1	0.0
	沼袋 (n=14)	57.1	21.4	0.0	7.1	14.3	0.0
	松が丘 (n=7)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	江原町 (n=19)	63.2	21.1	10.5	5.3	15.8	0.0
	江古田 (n=31)	29.0	54.8	0.0	6.5	9.7	0.0
	丸山 (n=14)	71.4	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0
	野方 (n=38)	47.4	36.8	10.5	5.3	5.3	2.6
	大和町 (n=35)	51.4	22.9	14.3	8.6	14.3	0.0
	若宮 (n=27)	48.1	33.3	7.4	3.7	11.1	0.0
白鷺 (n=17)	29.4	35.3	29.4	11.8	11.8	11.8	
鷺宮 (n=35)	45.7	20.0	22.9	5.7	14.3	2.9	
上鷺宮 (n=12)	75.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 自転車を利用する理由

「手軽に使える」が約7割半ば

問 16-2 あなたが自転車を利用する理由は何ですか。(○はいくつでも)



自転車を利用する人に自転車を利用する理由について聞いたところ、「手軽に使える」(76.8%)が7割半ばで最も高く、次いで「早く移動できる」(69.9%)、「健康によい」(24.6%)となっている。

性別でみると、「早く移動できる」は男性に比べ女性で、「ガソリン代・電気代がかからない」は女性に比べ男性で、やや高くなっている。

年代別にみると、「手軽に使える」は70歳以上で、「早く移動できる」は40歳代、50歳代で、「健康によい」は50歳代で、「ガソリン代・電気代がかからない」は20歳代で、「車の渋滞・満員電車などのストレスがない」は40歳代、50歳代で、「走っていて気持ちがよい」は20歳代、50歳代で、それぞれやや高くなっている。

		手軽に使える	早く移動できる	健康によい	走っていて気持ちがよい	車の渋滞・満員電車などのストレスがない	環境に優しい	ガソリン代・電気代がかからない	利用が適した公共交通機関がない	ストレス解消	無回答
全体(n=585)		76.8	69.9	24.6	20.3	19.5	17.1	14.4	12.5	5.8	1.0
性別	男性(n=261)	77.0	63.6	29.1	21.8	19.5	18.4	18.8	11.1	8.0	0.4
	女性(n=306)	75.8	75.5	20.9	19.0	19.3	15.7	10.5	13.7	3.9	1.3
年代別	20歳代(n=52)	78.8	69.2	28.8	30.8	23.1	19.2	23.1	17.3	7.7	0.0
	30歳代(n=96)	65.6	71.9	25.0	24.0	20.8	14.6	16.7	16.7	8.3	0.0
	40歳代(n=111)	74.8	81.1	27.9	21.6	30.6	16.2	12.6	18.0	8.1	0.0
	50歳代(n=105)	81.9	75.2	32.4	32.4	30.5	29.5	18.1	9.5	6.7	1.9
	60歳代(n=94)	72.3	67.0	20.2	16.0	10.6	18.1	17.0	8.5	3.2	2.1
	70歳以上(n=114)	86.0	55.3	18.4	4.4	2.6	7.0	5.3	5.3	2.6	1.8

居住地域別にみると、「手軽に使える」、「早く移動できる」、「健康によい」、「走っていて気持ちがいい」、「車の渋滞・満員電車などのストレスがない」、「環境に優しい」、「ガソリン代・電気代がかからない」、「利用に適した公共交通機関がない」、「ストレス解消」は野方で、「健康によい」は中野で、「ガソリン代・電気代がかからない」は野方と鷺宮で、それぞれ高くなっている。

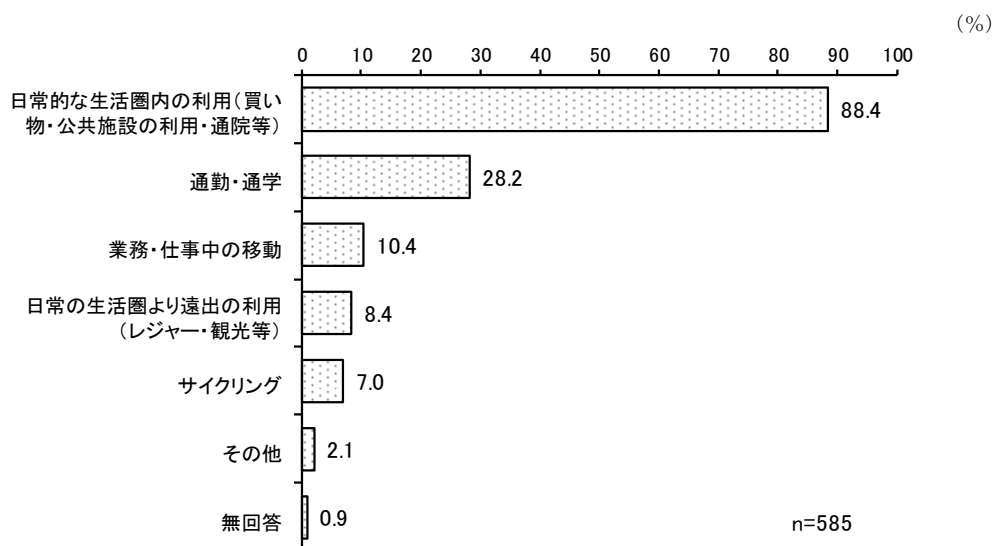
	手軽に使える	早く移動できる	健康によい	走っていて気持ちがいい	車の渋滞・満員電車などのストレスがない	環境に優しい	ガソリン代・電気代がかからない	利用に適した公共交通機関がない	ストレス解消	無回答	
全体(n=585)	76.8	69.9	24.6	20.3	19.5	17.1	14.4	12.5	5.8	1.0	
居住地域別	南台(n=39)	82.1	66.7	15.4	17.9	23.1	10.3	20.5	2.6	2.6	
	弥生町(n=49)	71.4	59.2	28.6	16.3	24.5	28.6	18.4	16.3	4.1	0.0
	本町(n=56)	83.9	67.9	21.4	23.2	21.4	10.7	12.5	3.6	8.9	0.0
	中央(n=37)	70.3	67.6	29.7	29.7	13.5	16.2	13.5	10.8	5.4	2.7
	東中野(n=31)	83.9	61.3	29.0	25.8	19.4	9.7	12.9	3.2	3.2	0.0
	中野(n=45)	75.6	68.9	42.2	22.2	22.2	15.6	17.8	8.9	11.1	0.0
	上高田(n=35)	80.0	74.3	22.9	20.0	17.1	25.7	14.3	8.6	5.7	0.0
	新井(n=27)	70.4	66.7	14.8	22.2	3.7	7.4	11.1	14.8	7.4	0.0
	沼袋(n=14)	85.7	57.1	28.6	7.1	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0
	松が丘(n=7)	85.7	71.4	0.0	28.6	28.6	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0
	江原町(n=19)	78.9	73.7	26.3	26.3	21.1	26.3	10.5	10.5	0.0	5.3
	江古田(n=31)	61.3	71.0	16.1	6.5	16.1	9.7	12.9	19.4	6.5	3.2
	丸山(n=14)	92.9	71.4	35.7	28.6	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
	野方(n=38)	86.8	86.8	34.2	23.7	34.2	15.8	21.1	18.4	5.3	0.0
	大和町(n=35)	60.0	71.4	20.0	25.7	14.3	17.1	5.7	17.1	11.4	2.9
	若宮(n=27)	70.4	81.5	14.8	18.5	14.8	18.5	7.4	7.4	3.7	0.0
白鷺(n=17)	76.5	58.8	23.5	23.5	17.6	29.4	11.8	29.4	0.0	0.0	
鷺宮(n=35)	82.9	82.9	25.7	17.1	14.3	20.0	20.0	14.3	5.7	2.9	
上鷺宮(n=12)	75.0	58.3	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 自転車を利用する主目的

「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」が8割後半

問16-3 あなたが自転車を利用する主な目的は何ですか。（○はいくつでも）



自転車を利用する人に自転車を利用する主目的について聞いたところ、「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」(88.4%)が8割後半で最も高く、次いで「通勤・通学」(28.2%)、「業務・仕事中の移動」(10.4%)となっている。

性別で見ると、「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」、「通勤・通学」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別にみると、「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」は70歳以上で9割前半と高くなっている。

		の日常的な生活圏内の利用（買い物・通院等）	通勤・通学	業務・仕事中の移動	の日常生活圏より遠出（レジャー・観光等）	サイクリング	その他	無回答
全体(n=585)		88.4	28.2	10.4	8.4	7.0	2.1	0.9
性別	男性(n=261)	85.1	25.3	10.0	8.0	10.7	2.3	0.4
	女性(n=306)	90.5	31.7	11.1	9.2	4.2	2.0	1.3
年代別	20歳代(n=52)	80.8	38.5	13.5	3.8	11.5	1.9	0.0
	30歳代(n=96)	87.5	37.5	3.1	12.5	9.4	2.1	1.0
	40歳代(n=111)	87.4	42.3	7.2	14.4	8.1	2.7	0.9
	50歳代(n=105)	91.4	35.2	15.2	11.4	12.4	0.0	0.0
	60歳代(n=94)	85.1	18.1	14.9	5.3	1.1	4.3	2.1
	70歳以上(n=114)	93.0	6.1	11.4	1.8	2.6	1.8	0.9

居住地域別にみると、「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」は野方と上高田でやや高くなっている。

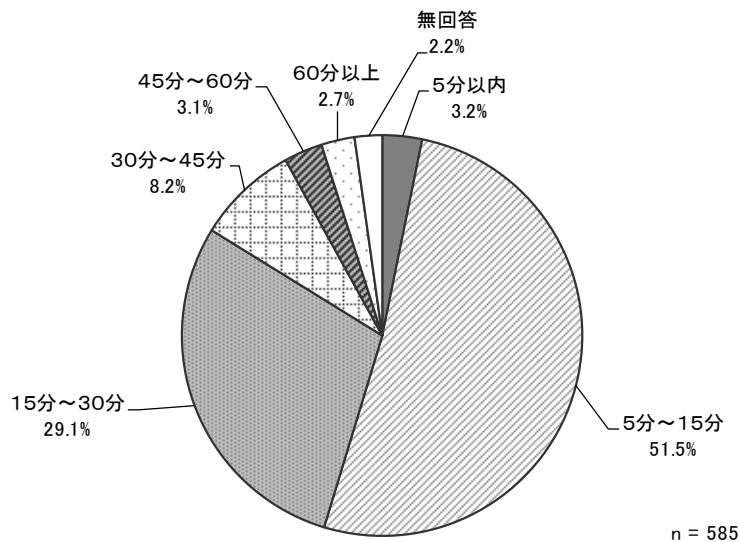
		設 利 日 常 的 な 生 活 圏 内 の 利 用 （ 買 い 物 ・ 通 院 等 ）	通 勤 ・ 通 学	業 務 ・ 仕 事 中 の 移 動	日 常 の 生 活 圏 よ り 遠 出 の 利 用 （ レ ジ ャ ー ・ 観 光 等 ）	サ イ ク リ ン グ	そ の 他	無 回 答
全体 (n=585)		88.4	28.2	10.4	8.4	7.0	2.1	0.9
居住地域別	南台 (n=39)	84.6	38.5	5.1	7.7	2.6	5.1	2.6
	弥生町 (n=49)	81.6	32.7	10.2	10.2	8.2	4.1	0.0
	本町 (n=56)	87.5	26.8	12.5	12.5	10.7	1.8	5.4
	中央 (n=37)	91.9	29.7	13.5	5.4	2.7	2.7	0.0
	東中野 (n=31)	87.1	16.1	3.2	16.1	6.5	6.5	0.0
	中野 (n=45)	88.9	24.4	6.7	2.2	17.8	0.0	0.0
	上高田 (n=35)	94.3	37.1	11.4	5.7	8.6	2.9	0.0
	新井 (n=27)	88.9	11.1	14.8	7.4	18.5	0.0	0.0
	沼袋 (n=14)	92.9	35.7	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
	松が丘 (n=7)	100.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	江原町 (n=19)	84.2	31.6	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0
	江古田 (n=31)	87.1	22.6	19.4	12.9	3.2	3.2	0.0
	丸山 (n=14)	92.9	35.7	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0
	野方 (n=38)	94.7	28.9	15.8	15.8	10.5	0.0	0.0
	大和町 (n=35)	85.7	37.1	11.4	2.9	8.6	0.0	0.0
	若宮 (n=27)	81.5	40.7	3.7	7.4	3.7	0.0	0.0
	白鷺 (n=17)	88.2	17.6	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0
鷺宮 (n=35)	85.7	31.4	11.4	2.9	2.9	2.9	2.9	
上鷺宮 (n=12)	91.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 片道の所要時間

「5分～15分」が約5割

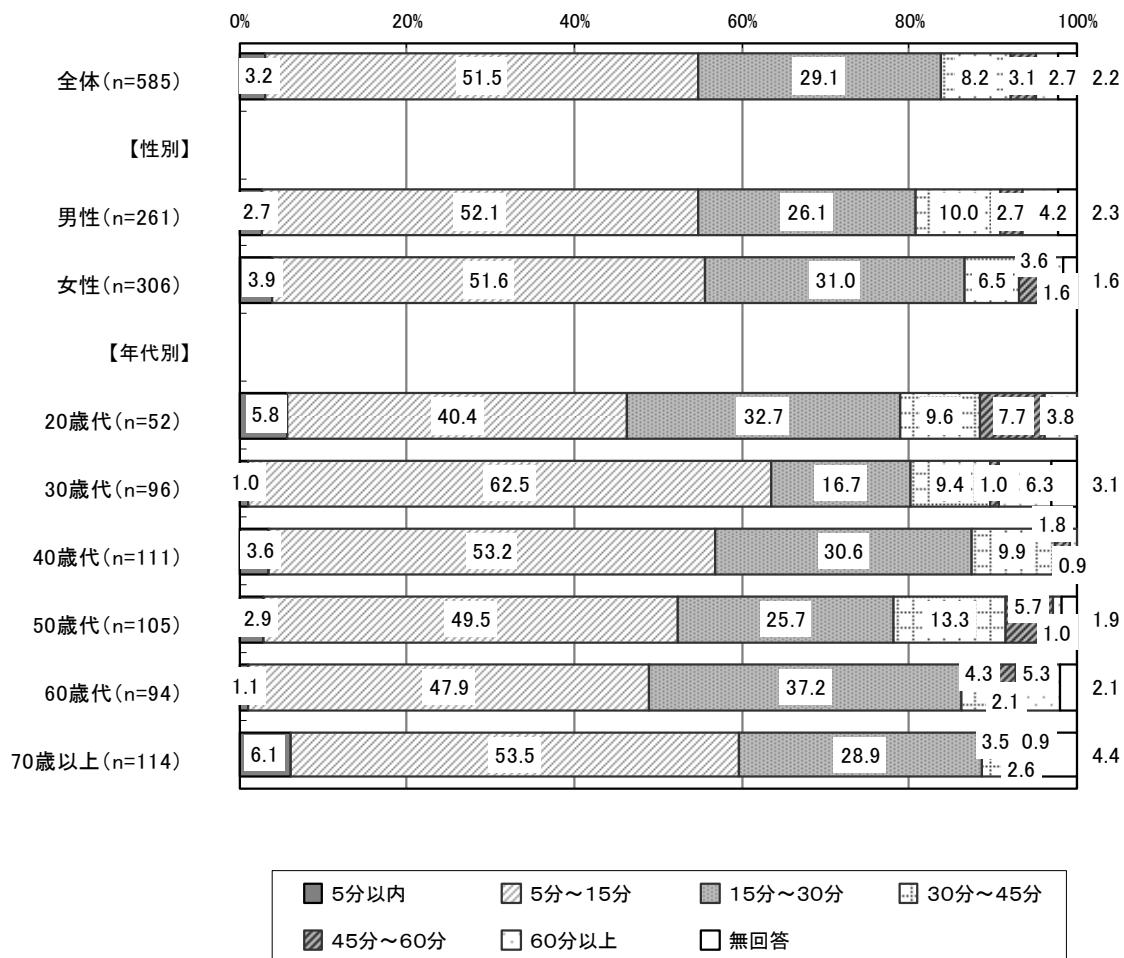
問 16-4 あなたが問 16-3 で選択した自転車の主な利用目的において、自転車に乗っている所要時間は片道どのくらいですか。(○は1つ)



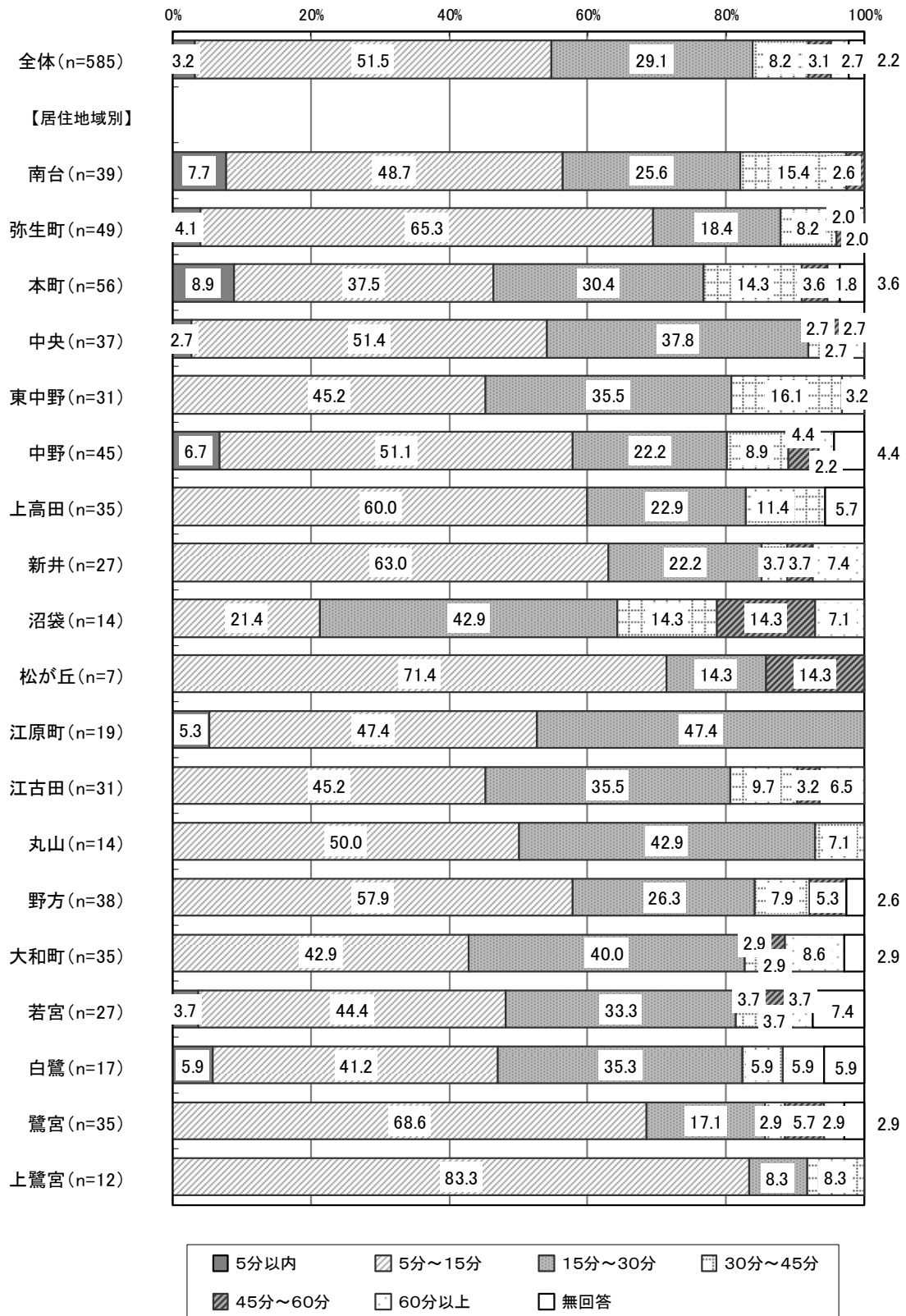
自転車を利用する人に片道の所要時間について聞いたところ、「5分～15分」(51.5%)が約5割で最も高く、次いで「15分～30分」(29.1%)、「30分～45分」(8.2%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「15分～30分」は60歳代でやや高くなっている。



居住地域別にみると、「15分～30分」は大和町でやや高く、「5分～15分」は鷺宮で、それぞれ高くなっている。

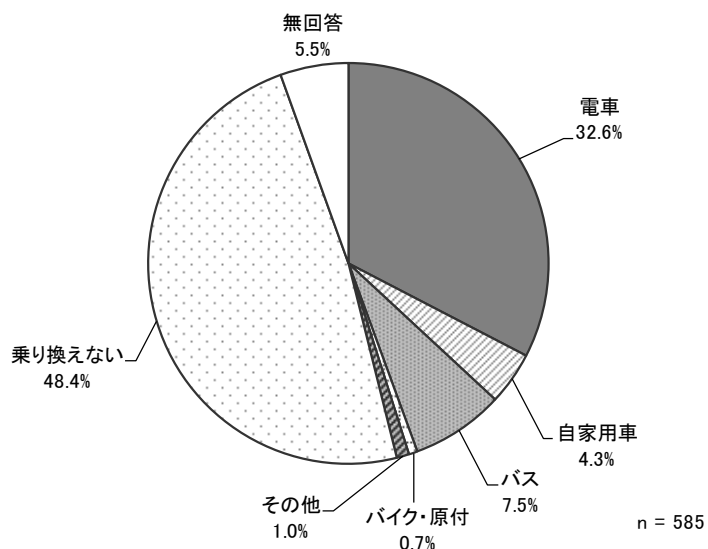


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 乗り換える交通機関

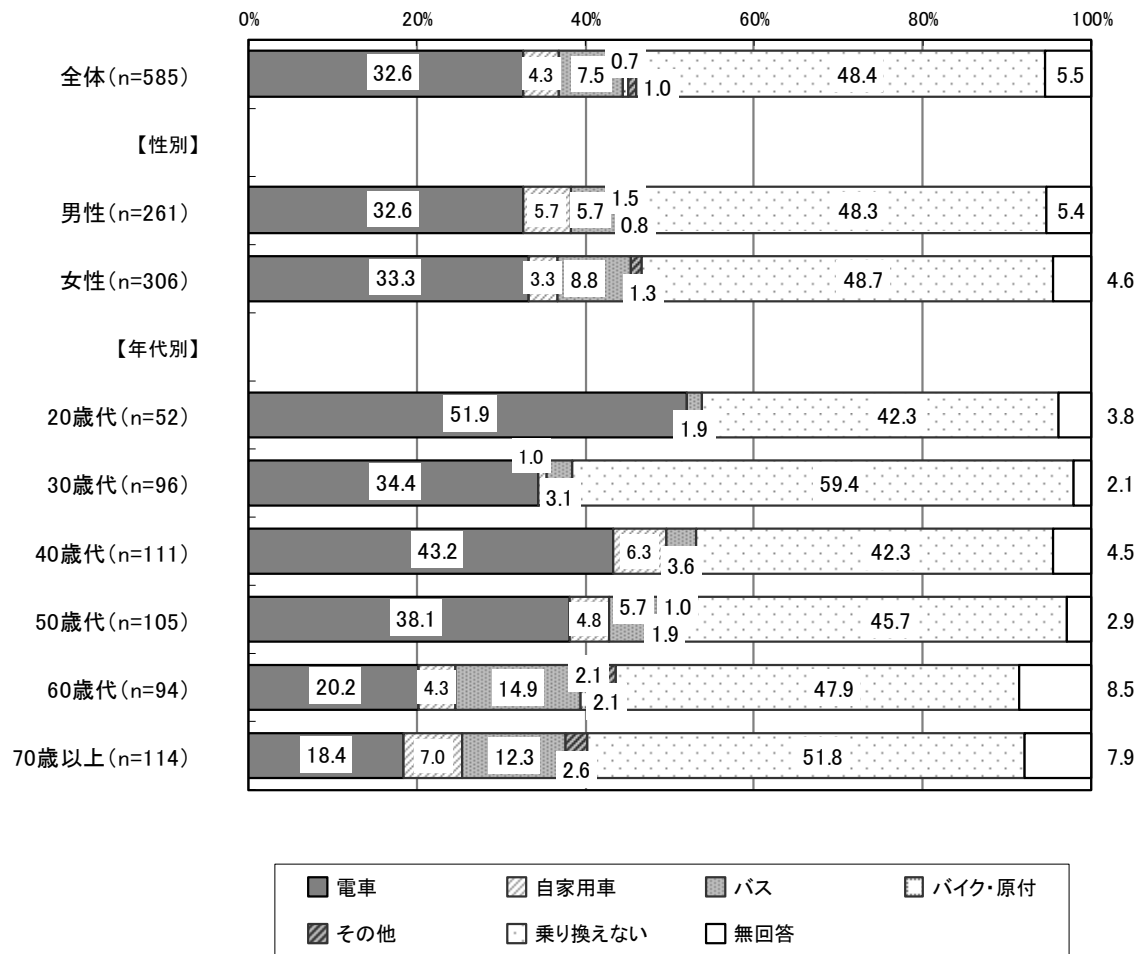
「電車」が3割前半

問 16-5 あなたが自転車の主な利用目的において、自転車から他の交通機関へ乗り換えることがありますか。乗り換える場合は、その主な交通手段を1つ選んでください。(○は1つ)

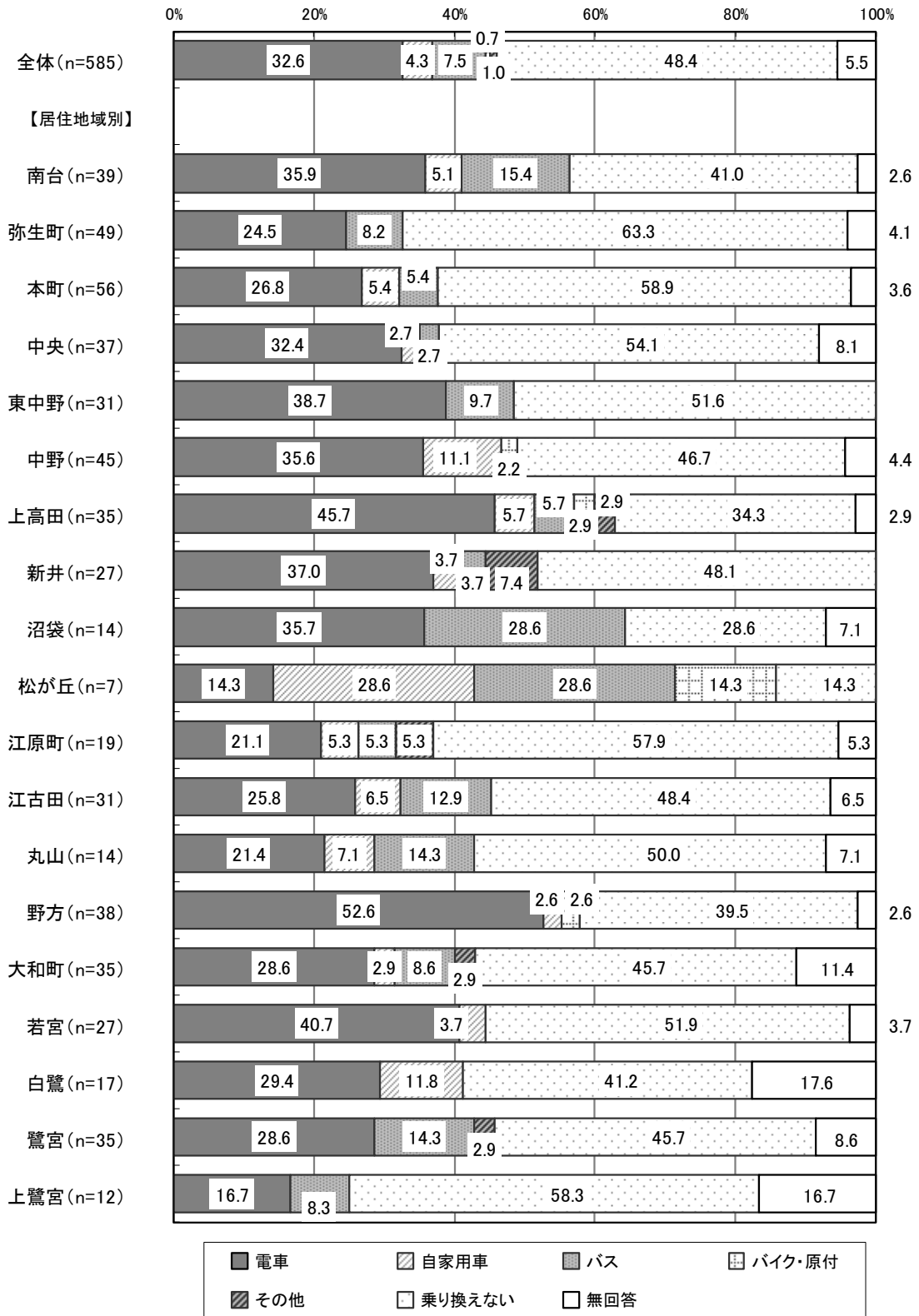


自転車を利用する人に乗り換える交通機関について聞いたところ、「電車」(32.6%)が3割前半で最も高く、次いで「バス」(7.5%)、「自家用車」(4.3%)となっている。一方、「乗り換えなし」(48.4%)は4割後半となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。
 年代別にみると、「電車」は20歳代で高くなっている。



居住地域別にみると、「電車」は野方で、「乗り換えなし」は弥生町で、それぞれ高くなっている。

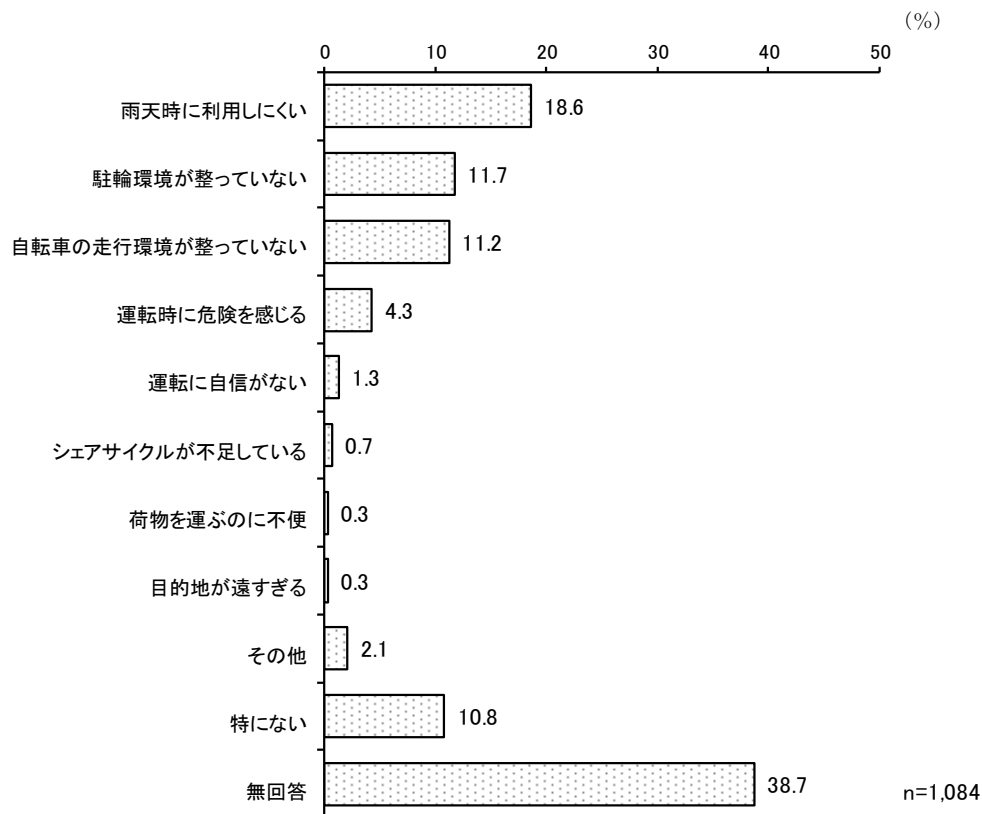


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(7) 不便な点

「雨天時に利用しにくい」が1割後半で最も高い

問 17 あなたが自転車の利用に関して不便に思う点はなんですか。(○は1つ)



自転車の利用に関して不便に思う点について聞いたところ、「雨天時に利用しにくい」(18.6%)が1割後半で最も高く、次いで「駐輪環境が整っていない」(11.7%)、「自転車の走行環境が整っていない」(11.2%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「雨天時に利用しにくい」、「自転車の走行環境が整っていない」は30歳代、50歳代で、「駐輪環境が整っていない」は40歳代～50歳代で、「運転時に危険を感じる」「シェアサイクルが不足している」は20歳代で、それぞれやや高くなっている。

		雨天時に利用しにくい	駐輪環境が整っていない	自転車 の走行環境が 整っていない	運転時に危険を感じる	運転に自信がない	シェアサイクルが不足している	荷物を運ぶのに不便	目的地が遠すぎる	その他	特にない	無回答
全体(n=1,084)		18.6	11.7	11.2	4.3	1.3	0.7	0.3	0.3	2.1	10.8	38.7
性別	男性(n=490)	18.4	11.6	12.4	3.9	0.8	1.0	0.4	0.4	2.0	15.1	33.9
	女性(n=564)	18.4	11.9	9.8	4.8	1.8	0.5	0.2	0.2	2.3	7.3	42.9
年代別	20歳代(n=133)	16.5	12.0	7.5	7.5	1.5	3.0	1.5	0.0	3.0	17.3	30.1
	30歳代(n=178)	21.3	10.1	12.9	4.5	1.1	1.1	0.6	0.0	1.7	6.7	39.9
	40歳代(n=175)	18.3	14.9	10.9	2.3	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	12.6	40.0
	50歳代(n=181)	20.4	16.6	12.2	3.9	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	9.4	34.3
	60歳代(n=155)	19.4	11.0	11.0	3.9	1.9	0.6	0.0	0.0	3.2	12.3	36.8
	70歳以上(n=241)	16.2	7.9	10.8	5.0	2.1	0.0	0.0	0.0	3.7	10.0	44.4

居住地域別にみると、「雨天時に利用しにくい」、「運転時に危険を感じる」は江原町で、「自転車の走行環境が整っていない」は中央、上高田で、「駐輪環境が整っていない」は大和町で、それぞれ高くなっている。

		雨天時に利用しにくい	駐輪環境が整っていない	自転車の走行環境が整っていない	運転時に危険を感じる	運転に自信がない	シェアサイクルが不足している	荷物を運ぶのに不便	目的地が遠すぎる	その他	特にない	無回答
全体(n=1,084)		18.6	11.7	11.2	4.3	1.3	0.7	0.3	0.3	2.1	10.8	38.7
居住地域別	南台(n=64)	21.9	12.5	9.4	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	1.6	14.1	31.3
	弥生町(n=91)	16.5	13.2	11.0	5.5	2.2	0.0	1.1	0.0	3.3	11.0	36.3
	本町(n=101)	21.8	8.9	11.9	4.0	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	13.9	35.6
	中央(n=84)	14.3	13.1	16.7	7.1	1.2	1.2	0.0	0.0	3.6	6.0	36.9
	東中野(n=73)	17.8	13.7	11.0	1.4	2.7	1.4	1.4	0.0	0.0	11.0	39.7
	中野(n=100)	20.0	8.0	12.0	4.0	1.0	1.0	0.0	0.0	2.0	10.0	42.0
	上高田(n=66)	13.6	12.1	16.7	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	12.1	36.4
	新井(n=58)	15.5	12.1	13.8	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	12.1	41.4
	沼袋(n=34)	20.6	5.9	5.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	5.9	8.8	44.1
	松が丘(n=18)	16.7	16.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	44.4
	江原町(n=31)	25.8	3.2	12.9	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	19.4	25.8
	江古田(n=54)	16.7	11.1	11.1	1.9	0.0	1.9	1.9	0.0	3.7	13.0	38.9
	丸山(n=21)	28.6	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	38.1
	野方(n=67)	17.9	17.9	4.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	9.0	46.3
	大和町(n=47)	17.0	25.5	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6	38.3
	若宮(n=42)	14.3	9.5	14.3	7.1	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	9.5	40.5
	白鷺(n=27)	22.2	18.5	14.8	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	33.3
鷺宮(n=58)	22.4	6.9	5.2	8.6	0.0	1.7	0.0	0.0	3.4	10.3	41.4	
上鷺宮(n=17)	29.4	0.0	17.6	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	23.5	

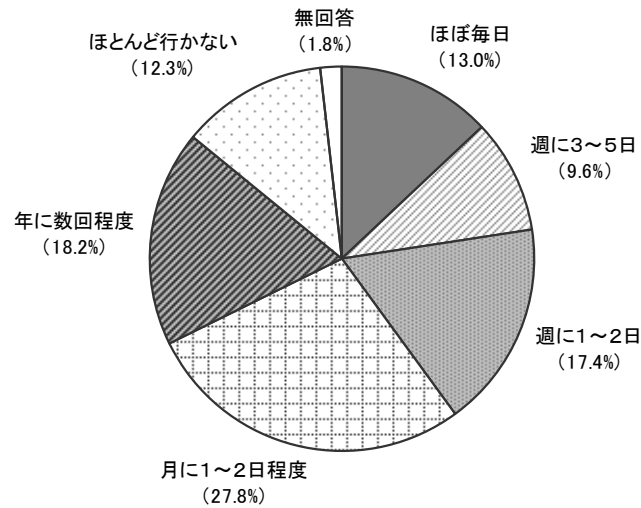
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

9 中野駅周辺について

(1) 中野駅周辺に行く頻度

「週1日以上」(「ほぼ毎日」と「週に3日～5日」と「週に1日～2日」)が4割

問 18 中野駅周辺に行くことは、どの程度の頻度でありますか。(○は1つ)



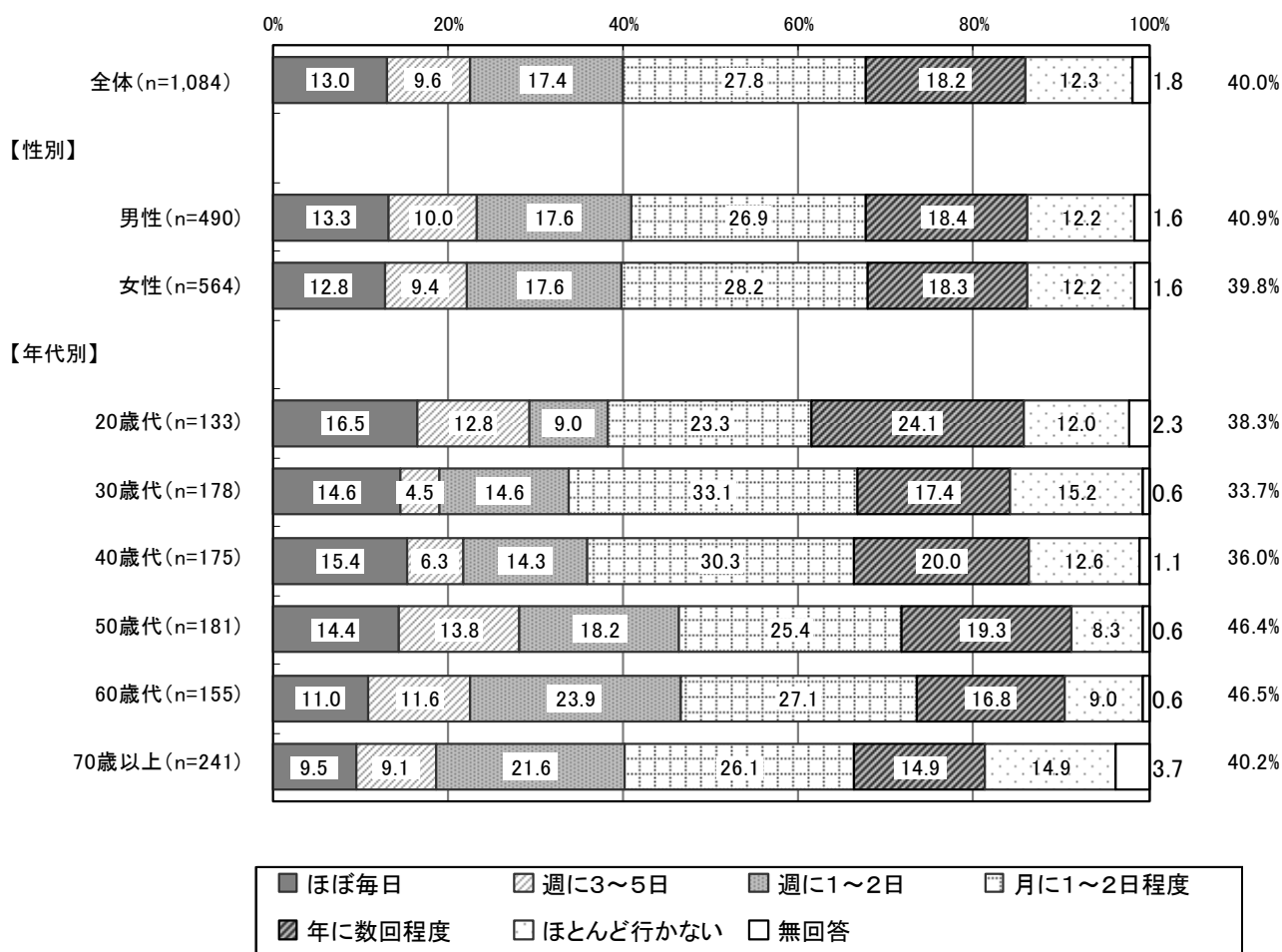
中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に1日～2日程度」(27.8%)が2割後半で最も高く、次いで「年に数回程度」(18.2%)、「週に1日～2日」(17.4%)となっている。

「ほぼ毎日」(13.0%)、「週に3日～5日」(9.6%)、「週に1日～2日」(17.4%)を合わせた「週1日以上」は4割となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

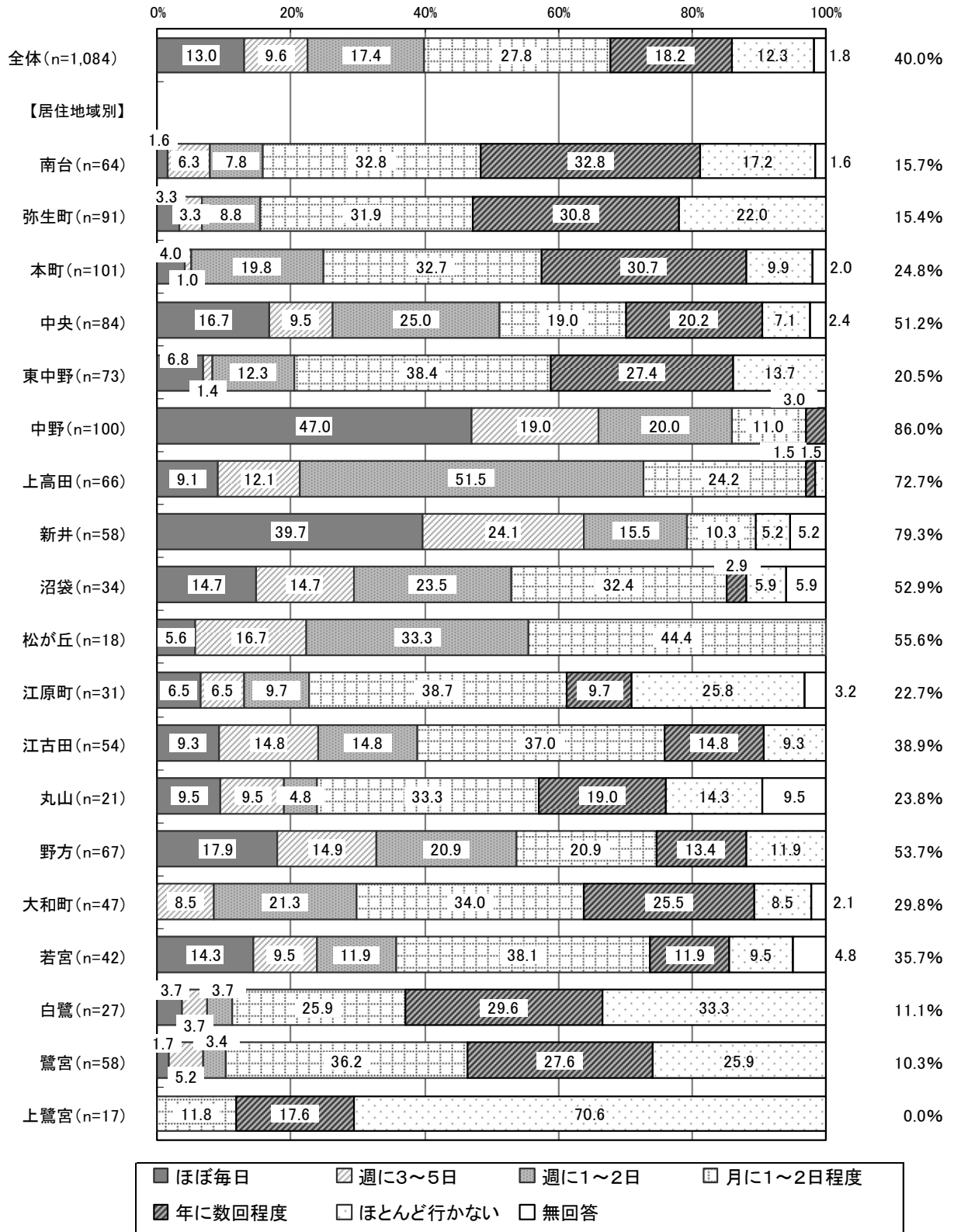
年代別にみると、「週1日以上」は50歳代、60歳代で4割半ばとやや高くなっている。

※週1日
以上



居住地域別でみると、「週1日以上」は中野で8割半ばと高くなっている。

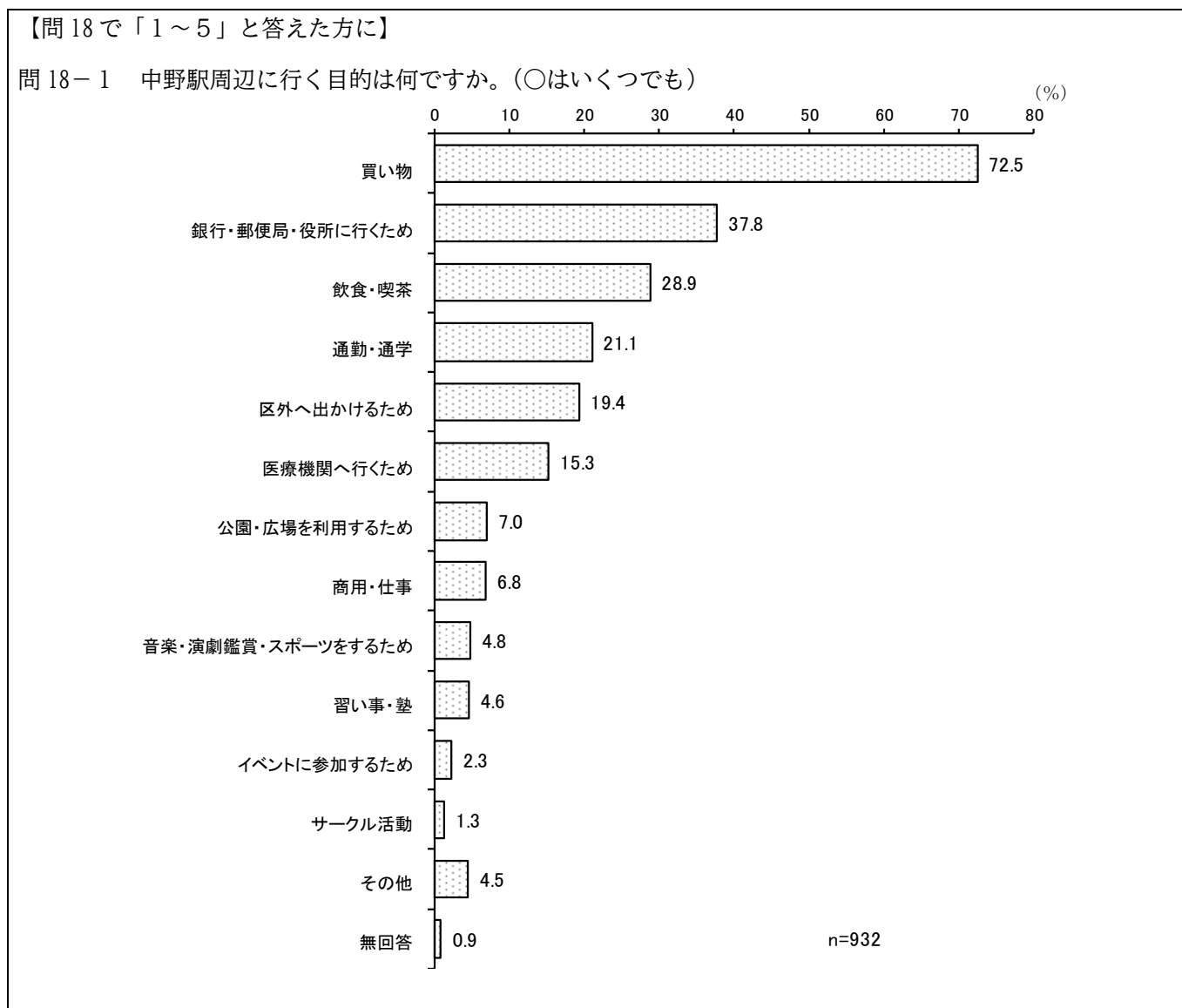
※週1日
以上



※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 中野駅周辺に行く目的

「買い物」が7割前半と最も高い



中野駅周辺に行く人に、目的（複数回答）を聞いたところ、「買い物」（72.5%）が7割前半と最も高く、次いで「銀行・郵便局・役所に行くため」（37.8%）、「飲食・喫茶」（28.9%）となっている。

性別で見ると、「飲食・喫茶」は女性に比べ男性で3割前半とやや高くなっている。

年代別にみると、「銀行・郵便局・役所に行くため」は60歳代と70歳以上で、「通勤・通学」は20歳代で、「医療機関へ行くため」は70歳以上で、それぞれ高くなっている。

		買い物	銀行・郵便局・役所に行くため	飲食・喫茶	通勤・通学	区外へ出かけるため	医療機関へ行くため	公園・広場を利用するため	商用・仕事	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	イベントに参加するため	サークル活動	その他	無回答
全体(n=932)		72.5	37.8	28.9	21.1	19.4	15.3	7.0	6.8	4.8	4.6	2.3	1.3	4.5	0.9
性別	男性(n=422)	68.5	36.5	32.2	23.9	18.0	13.3	6.9	10.4	3.6	2.4	2.1	1.4	4.3	0.9
	女性(n=486)	75.1	38.5	25.5	19.3	20.6	17.5	7.4	3.7	5.6	6.4	2.5	1.2	4.7	0.8
年代別	20歳代(n=114)	57.0	33.3	38.6	33.3	23.7	8.8	5.3	5.3	2.6	0.9	2.6	0.0	2.6	0.9
	30歳代(n=150)	67.3	32.7	37.3	24.0	16.7	6.0	12.0	3.3	2.7	2.7	2.0	0.0	3.3	0.7
	40歳代(n=151)	74.8	33.1	33.8	26.5	23.2	13.9	13.2	7.3	6.6	13.9	2.6	0.7	5.3	0.7
	50歳代(n=165)	80.0	33.9	23.6	29.1	20.0	10.3	3.0	11.5	4.2	4.2	3.6	1.2	4.8	1.2
	60歳代(n=140)	76.4	44.3	25.0	15.0	17.1	16.4	4.3	10.7	3.6	3.6	2.9	2.1	3.6	0.0
	70歳以上(n=196)	74.0	45.9	18.9	6.1	16.3	31.1	5.1	3.6	7.7	2.0	0.5	3.1	6.6	1.5

居住地域別にみると、「買い物」は沼袋で、「銀行・郵便局・役所に行くため」は本町、東中野で、「飲食・喫茶」は中野で、「通勤・通学」は新井で、「区外へ出かけるため」は新井で、それぞれ高くなっている。

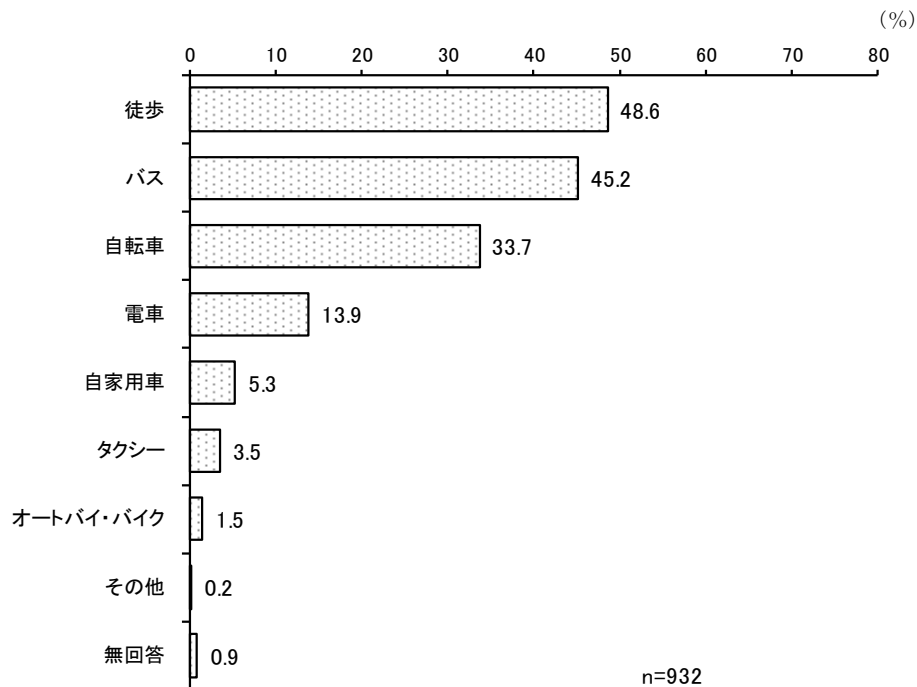
		買 い 物	行 銀 行 く た め	飲 食 ・ 喫 茶	通 勤 ・ 通 学	区 外 へ 出 か け る た め	医 療 機 関 へ 行 く た め	公 園 ・ 広 場 を 利 用 す る た め	商 用 ・ 仕 事	音 楽 ・ 演 劇 鑑 賞 ・ ス ポ ー ツ を す る た め	習 い 事 ・ 塾	メ ー カ ン パ イ ン ト に 参 加 す る た め	サ ー ク ル 活 動	そ の 他	無 回 答	
全 体 (n=932)		72.5	37.8	28.9	21.1	19.4	15.3	7.0	6.8	4.8	4.6	2.3	1.3	4.5	0.9	
居 住 地 域 別	南台 (n=52)	61.5	38.5	26.9	15.4	5.8	19.2	1.9	0.0	3.8	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	
	弥生町 (n=71)	60.6	40.8	28.2	7.0	7.0	9.9	1.4	8.5	1.4	5.6	1.4	1.4	2.8	0.0	
	本町 (n=89)	73.0	46.1	31.5	2.2	7.9	14.6	5.6	6.7	3.4	3.4	0.0	0.0	1.1	2.2	
	中央 (n=76)	81.6	36.8	34.2	23.7	23.7	10.5	10.5	3.9	7.9	6.6	2.6	1.3	6.6	0.0	
	東中野 (n=63)	68.3	46.0	28.6	11.1	1.6	6.3	6.3	7.9	4.8	4.8	0.0	1.6	12.7	1.6	
	中野 (n=100)	82.0	38.0	42.0	46.0	31.0	25.0	6.0	7.0	6.0	6.0	5.0	2.0	2.0	2.0	1.0
	上高田 (n=65)	83.1	30.8	33.8	21.5	21.5	15.4	10.8	7.7	4.6	6.2	1.5	1.5	9.2	0.0	
	新井 (n=52)	76.9	34.6	36.5	53.8	40.4	19.2	3.8	3.8	7.7	5.8	3.8	0.0	7.7	0.0	
	沼袋 (n=30)	93.3	36.7	10.0	26.7	26.7	23.3	10.0	6.7	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	
	松が丘 (n=18)	83.3	50.0	16.7	16.7	27.8	11.1	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	
	江原町 (n=22)	59.1	45.5	22.7	13.6	27.3	9.1	4.5	9.1	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	0.0	
	江古田 (n=49)	71.4	40.8	20.4	18.4	34.7	12.2	8.2	6.1	2.0	4.1	4.1	4.1	6.1	0.0	
	丸山 (n=16)	43.8	25.0	31.3	25.0	18.8	25.0	6.3	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	
	野方 (n=59)	86.4	37.3	28.8	23.7	39.0	11.9	13.6	10.2	6.8	5.1	3.4	0.0	1.7	1.7	
	大和町 (n=42)	76.2	26.2	19.0	16.7	16.7	16.7	9.5	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	若宮 (n=36)	58.3	25.0	16.7	22.2	11.1	27.8	5.6	11.1	8.3	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	
	白鷺 (n=18)	33.3	44.4	5.6	22.2	0.0	5.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	
	鷺宮 (n=43)	58.1	37.2	23.3	14.0	2.3	14.0	7.0	9.3	4.7	0.0	2.3	0.0	2.3	2.3	
上鷺宮 (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0		

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 中野区周辺に行く際の交通手段

「徒歩」が4割後半で最も高い

問 18-2 中野駅周辺に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。(○はいくつでも)



中野駅周辺に行く際の交通手段（複数回答）を聞いたところ、「徒歩」（48.6%）が4割後半で最も高く、次いで「バス」（45.2%）、「自転車」（33.7%）となっている。

性別で見ると、「バス」は男性に比べ女性で4割後半とやや高くなっている。

年代別にみると、「バス」は70歳以上で、「自転車」は40歳代で、それぞれ高くなっている。

		徒歩	バス	自転車	電車	自家用車	タクシー	オートバイ・バイク	その他	無回答
全体(n=932)		48.6	45.2	33.7	13.9	5.3	3.5	1.5	0.2	0.9
性別	男性(n=422)	47.6	41.0	30.1	14.9	6.2	2.6	2.6	0.5	0.9
	女性(n=486)	50.4	47.9	36.4	13.2	4.5	4.3	0.6	0.0	0.8
年代別	20歳代(n=114)	59.6	39.5	27.2	23.7	3.5	0.0	0.0	0.0	0.9
	30歳代(n=150)	50.0	34.7	33.3	22.7	2.0	2.7	1.3	0.0	0.7
	40歳代(n=151)	49.7	35.8	43.7	11.3	6.6	1.3	0.7	0.0	1.3
	50歳代(n=165)	55.2	41.8	35.2	10.9	4.8	4.8	4.2	1.2	1.2
	60歳代(n=140)	46.4	47.1	39.3	11.4	9.3	4.3	2.1	0.0	0.0
	70歳以上(n=196)	38.8	63.8	24.5	7.7	5.1	6.6	0.5	0.0	1.0

居住地域別にみると、「徒歩」は中央、中野、新井で、「バス」は南台、弥生町で、「自転車」は野方で、「電車」は東中野で、それぞれ高くなっている。

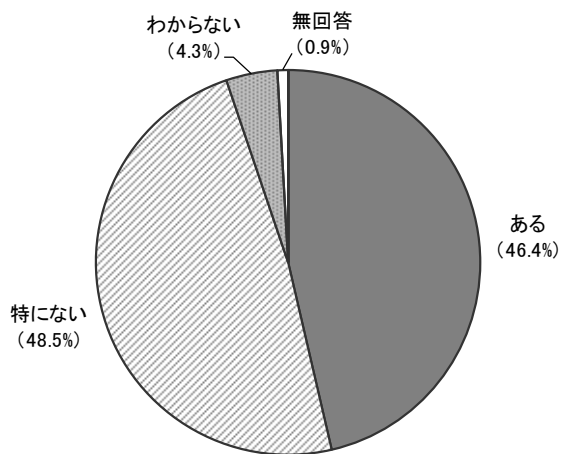
		徒歩	バス	自転車	電車	自家用車	タクシー	オートバイ・バイク	その他	無回答
全体(n=932)		48.6	45.2	33.7	13.9	5.3	3.5	1.5	0.2	0.9
居住地域別	南台(n=52)	13.5	73.1	25.0	7.7	9.6	5.8	1.9	0.0	0.0
	弥生町(n=71)	26.8	73.2	26.8	8.5	1.4	8.5	4.2	1.4	0.0
	本町(n=89)	53.9	55.1	43.8	5.6	3.4	1.1	0.0	0.0	0.0
	中央(n=76)	77.6	28.9	28.9	6.6	1.3	2.6	1.3	0.0	0.0
	東中野(n=63)	42.9	19.0	22.2	76.2	3.2	3.2	0.0	0.0	1.6
	中野(n=100)	89.0	9.0	24.0	5.0	3.0	1.0	2.0	0.0	1.0
	上高田(n=65)	73.8	32.3	41.5	4.6	4.6	3.1	0.0	0.0	0.0
	新井(n=52)	94.2	23.1	23.1	1.9	1.9	5.8	1.9	0.0	0.0
	沼袋(n=30)	33.3	63.3	40.0	0.0	3.3	6.7	0.0	0.0	3.3
	松が丘(n=18)	38.9	61.1	38.9	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0
	江原町(n=22)	22.7	72.7	27.3	9.1	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0
	江古田(n=49)	26.5	61.2	44.9	6.1	6.1	2.0	0.0	0.0	0.0
	丸山(n=16)	25.0	75.0	43.8	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方(n=59)	49.2	55.9	49.2	3.4	6.8	1.7	5.1	0.0	3.4
	大和町(n=42)	31.0	47.6	45.2	33.3	7.1	4.8	2.4	0.0	0.0
	若宮(n=36)	25.0	47.2	36.1	19.4	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8
	白鷺(n=18)	5.6	27.8	27.8	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6
鷺宮(n=43)	14.0	55.8	37.2	27.9	18.6	4.7	2.3	0.0	2.3	
上鷺宮(n=5)	20.0	60.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 中野駅周辺利用時の不満の有無

不満が「特にない」が4割後半

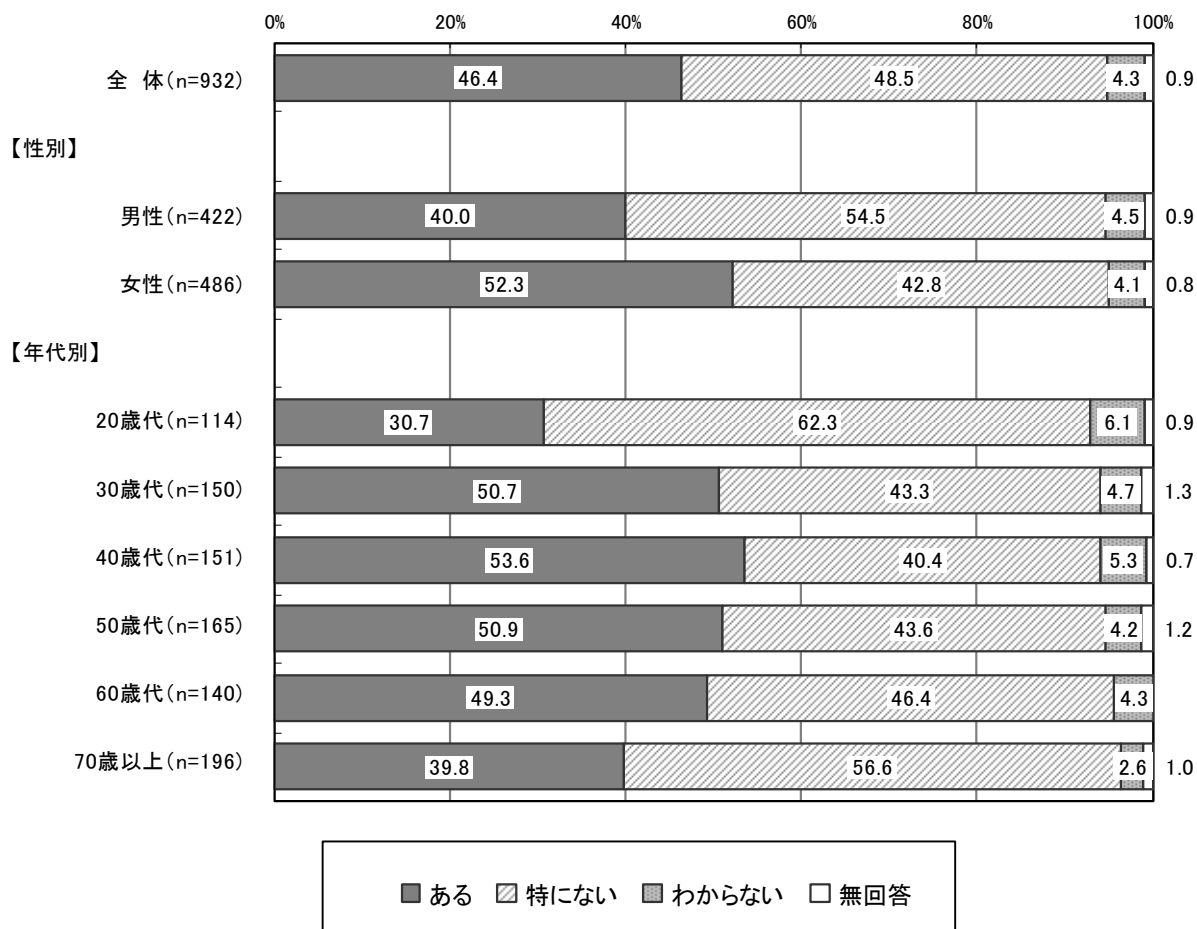
問 18-3 中野駅周辺を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。(○は1つ)



n=932

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「特にない」(48.5%)が4割後半で「ある」(46.6%)をやや上回っている。

性別で見ると、不満が「ある」は男性に比べ女性で5割前半とやや高くなっている。
 年代別にみると、不満が「ある」は40歳代で5割前半と高くなっている。

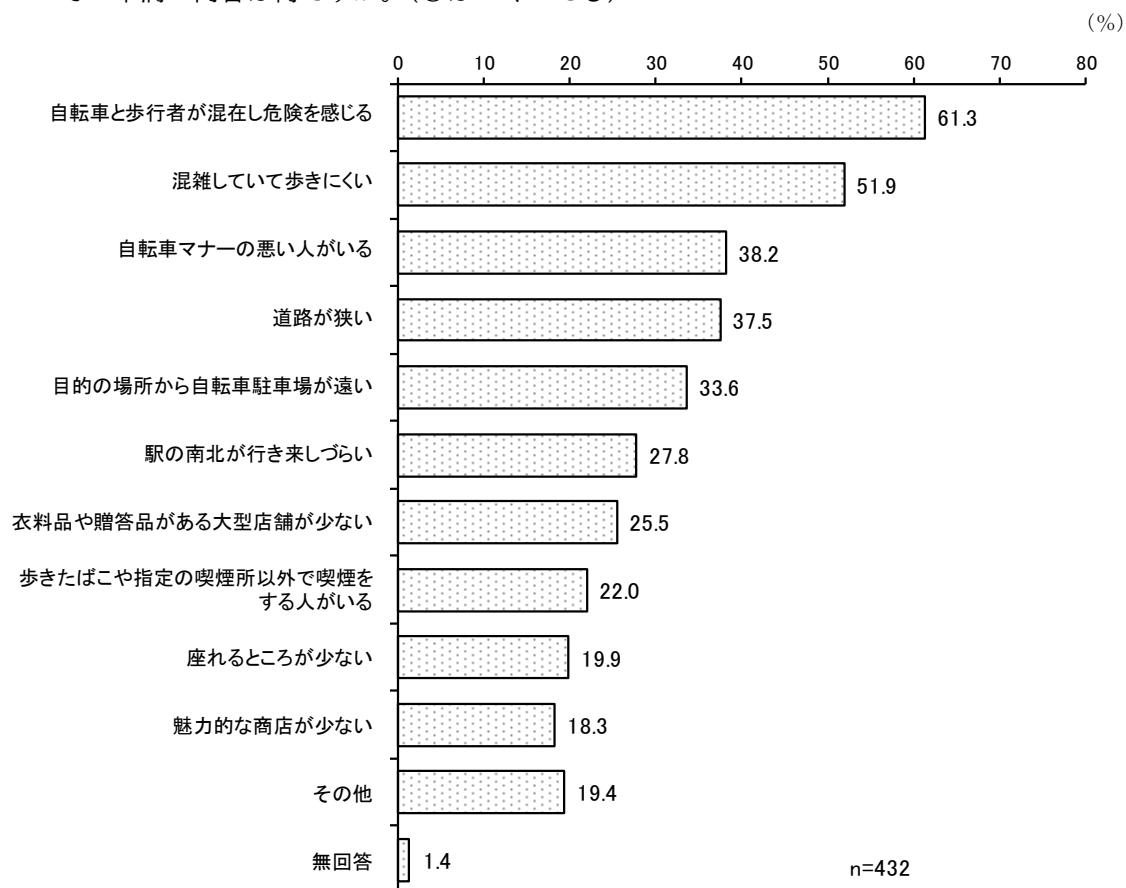


(5) 中野駅周辺利用時の不満の内容

「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」が約6割と最も高い

【問 18-3 で「1」と答えた方に】

問 18-4 その不満の内容は何ですか。(○はいくつでも)



中野駅周辺の利用に不満を感じている人に、不満の内容（複数回答）を聞いたところ、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」（61.3%）が約6割と最も高く、次いで「混雑していて歩きにくい」（51.9%）、「自転車マナーの悪い人がいる」（38.2%）となっている。

性別で見ると、「自転車マナーの悪い人がいる」は女性に比べ男性で高くなっている。

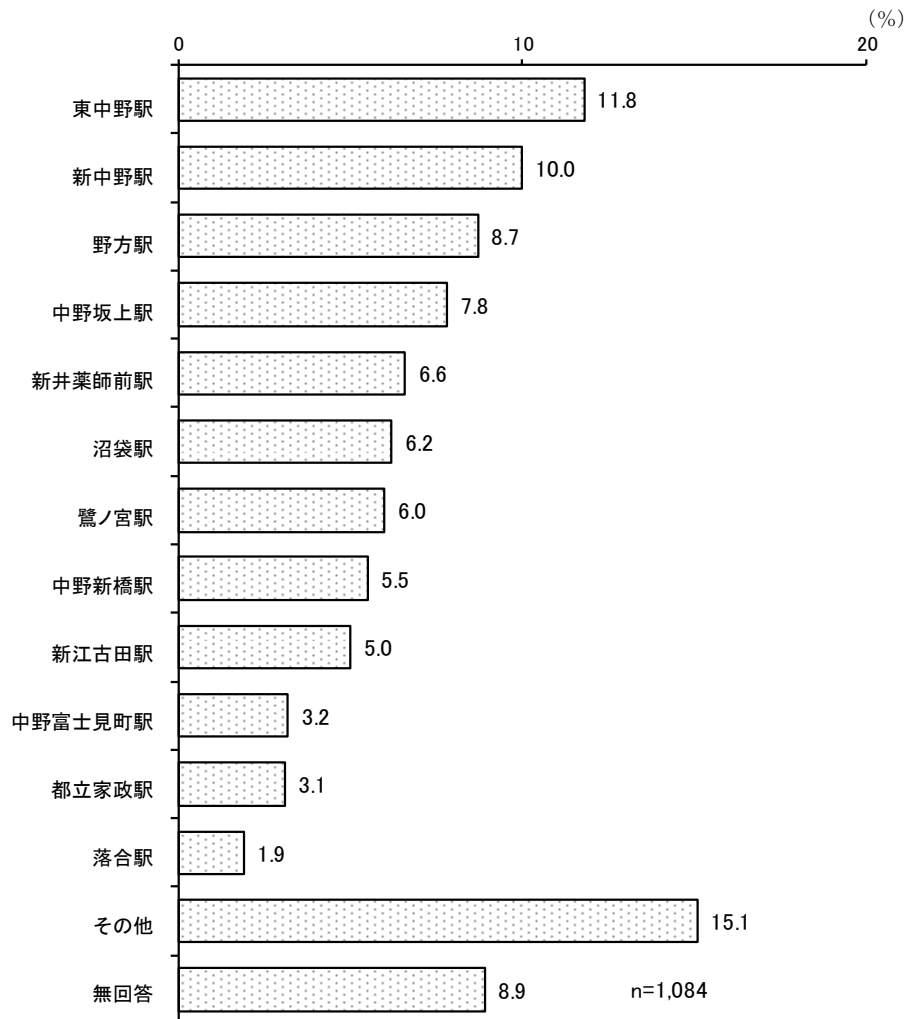
年代別にみると、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」は60歳代で、「道路が狭い」は40歳代で、「座れるところが少ない」は70歳以上で、それぞれ高くなっている。

		感じる	自転車と歩行者が混在し危険を感じる	混雑して歩いて歩きにくい	自転車マナーの悪い人がいる	道路が狭い	遠い	目的の場所から自転車駐車が	駅の南北が行き来しづらい	衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない	歩きタバコや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる	座れるところが少ない	魅力的な商店が少ない	その他	無回答
全体(n=432)		61.3	51.9	38.2	37.5	33.6	27.8	25.5	22.0	19.9	18.3	19.4	1.4		
性別	男性(n=169)	56.2	40.2	41.4	36.7	29.0	26.6	15.4	19.5	14.2	13.0	23.1	1.2		
	女性(n=254)	64.6	60.2	36.6	38.2	35.8	28.3	32.3	24.0	24.0	22.0	17.3	1.2		
年代別	20歳代(n=35)	62.9	57.1	31.4	42.9	20.0	25.7	25.7	34.3	17.1	17.1	14.3	0.0		
	30歳代(n=76)	53.9	59.2	32.9	31.6	30.3	22.4	32.9	27.6	17.1	14.5	23.7	1.3		
	40歳代(n=81)	64.2	59.3	38.3	46.9	43.2	30.9	25.9	30.9	18.5	13.6	23.5	1.2		
	50歳代(n=84)	54.8	52.4	35.7	35.7	39.3	26.2	21.4	14.3	20.2	20.2	20.2	0.0		
	60歳代(n=69)	68.1	56.5	42.0	40.6	40.6	31.9	24.6	20.3	21.7	18.8	14.5	1.4		
	70歳以上(n=78)	65.4	33.3	46.2	29.5	19.2	29.5	24.4	11.5	24.4	26.9	19.2	2.6		

10 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について
(1) 日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）

東中野駅が約1割と最も高い

問 19 日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）はどこですか。（○は1つ）



日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を聞いたところ、「東中野駅」（11.8%）が約1割と最も高く、次いで「新中野駅」（10.0%）、「野方駅」（8.7%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「野方駅」は60歳代、70歳以上でやや高くなっている。

		東中野駅	新中野駅	野方駅	中野坂上駅	新井薬師前駅	沼袋駅	鷺ノ宮駅	中野新橋駅	新江古田駅	中野富士見町駅	都立家政駅	落合駅	その他	無回答
全体(n=1,084)		11.8	10.0	8.7	7.8	6.6	6.2	6.0	5.5	5.0	3.2	3.1	1.9	15.1	8.9
性別	男性(n=490)	11.4	10.4	8.8	7.1	6.1	7.1	7.1	5.5	3.9	3.3	2.2	2.9	15.5	8.6
	女性(n=564)	12.6	9.8	8.3	8.2	7.3	5.5	4.6	5.9	5.7	3.2	3.9	1.2	14.9	9.0
年代別	20歳代(n=133)	12.8	12.8	6.8	7.5	6.0	3.8	7.5	7.5	6.0	3.8	5.3	0.8	15.0	4.5
	30歳代(n=178)	16.3	10.7	6.2	9.6	3.9	6.2	5.6	6.7	5.1	2.2	2.8	3.9	14.6	6.2
	40歳代(n=175)	15.4	9.7	5.1	9.1	6.3	6.3	5.7	4.6	6.3	2.9	3.4	1.7	16.0	7.4
	50歳代(n=181)	15.5	9.9	7.7	8.8	8.3	5.0	6.6	5.0	2.2	5.5	2.2	1.7	16.0	5.5
	60歳代(n=155)	7.7	6.5	11.6	7.1	9.0	7.7	5.2	6.5	6.5	4.5	1.9	1.9	14.2	9.7
	70歳以上(n=241)	6.2	11.2	12.0	5.8	6.6	7.5	5.0	4.1	4.6	1.7	2.9	1.7	14.9	15.8

居住地域別でみると、「東中野駅」は東中野、で、「新中野駅」は中央で、「野方駅」は野方で、「新井薬師前駅」は上高田、新井で、「沼袋駅」は沼袋、江古田で、「鷺ノ宮駅」は鷺宮で、「中野新橋駅」は弥生町で、「新江古田駅」は江原町、江古田で、「都立家政駅」は若宮、鷺宮で、それぞれ全体の5倍以上と高くなっている。

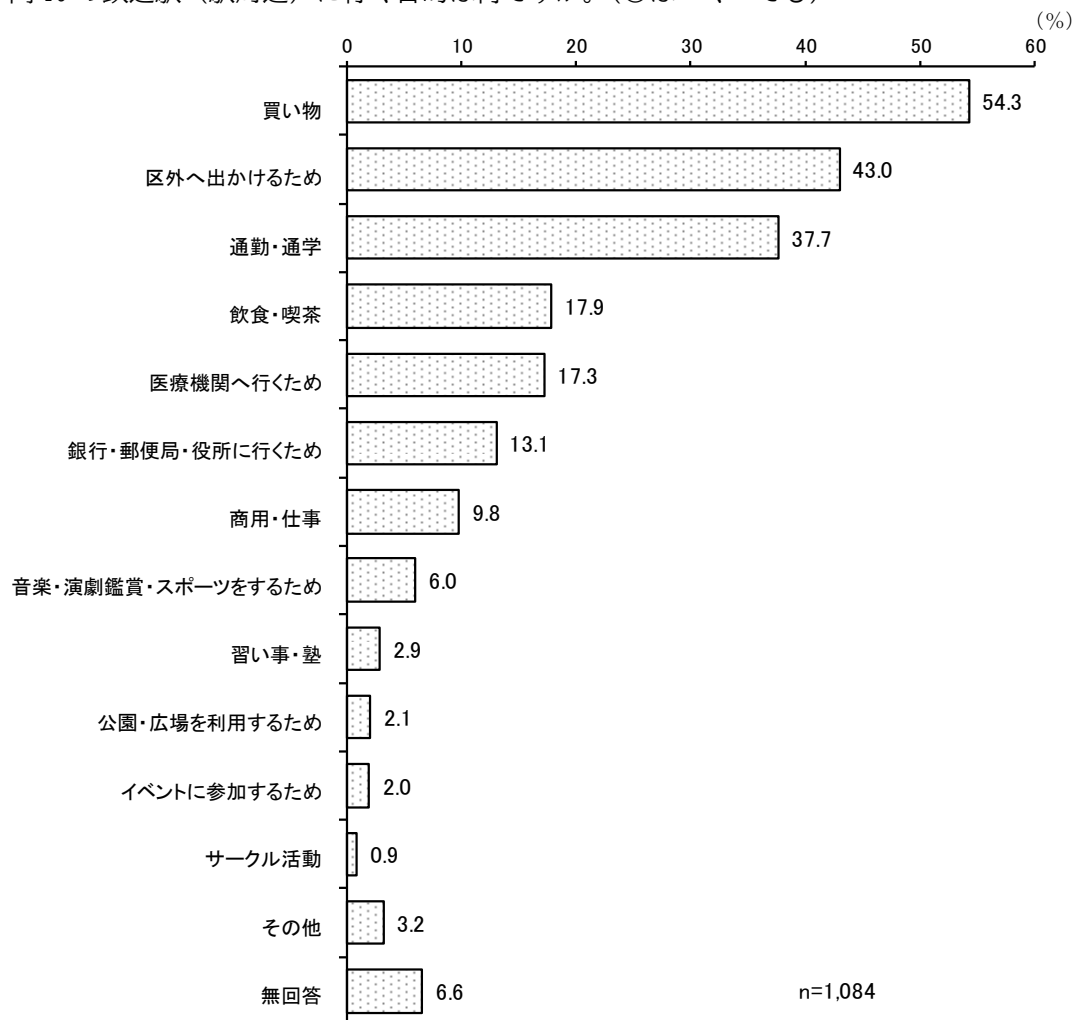
	東中野駅	新中野駅	野方駅	中野坂上駅	新井薬師前駅	沼袋駅	鷺ノ宮駅	中野新橋駅	新江古田駅	中野富士見町駅	都立家政駅	落合駅	その他	無回答	
全体(n=1,084)	11.8	10.0	8.7	7.8	6.6	6.2	6.0	5.5	5.0	3.2	3.1	1.9	15.1	8.9	
居住地域別	南台(n=64)	0.0	1.6	0.0	6.3	0.0	0.0	10.9	0.0	18.8	0.0	1.6	56.3	4.7	
	弥生町(n=91)	0.0	1.1	1.1	13.2	0.0	0.0	1.1	40.7	0.0	23.1	0.0	0.0	13.2	6.6
	本町(n=101)	0.0	44.6	0.0	28.7	1.0	0.0	0.0	11.9	0.0	2.0	0.0	0.0	4.0	7.9
	中央(n=84)	3.6	52.4	1.2	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.8
	東中野(n=73)	83.6	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	1.4	2.7
	中野(n=100)	31.0	12.0	1.0	5.0	2.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0	22.0
	上高田(n=66)	33.3	0.0	0.0	0.0	37.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	9.1	6.1	12.1
	新井(n=58)	6.9	3.4	1.7	0.0	43.1	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	13.8	13.8
	沼袋(n=34)	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	82.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	11.8
	松が丘(n=18)	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6
	江原町(n=31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	90.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
	江古田(n=54)	3.7	0.0	1.9	0.0	3.7	35.2	0.0	0.0	42.6	0.0	0.0	0.0	7.4	5.6
	丸山(n=21)	0.0	0.0	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8
	野方(n=67)	1.5	1.5	65.7	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	16.4	6.0
	大和町(n=47)	6.4	0.0	4.3	2.1	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	70.2	8.5
	若宮(n=42)	2.4	0.0	38.1	0.0	0.0	2.4	9.5	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	9.5	9.5
白鷺(n=27)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.4	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	18.5	7.4	
鷺宮(n=58)	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	46.6	0.0	0.0	0.0	27.6	0.0	10.3	12.1	
上鷺宮(n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	5.9	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 鉄道駅（駅周辺）に行く目的

「買い物」が5割半ばで最も高い

問 19—1 問 19 の鉄道駅（駅周辺）に行く目的は何ですか。（○はいくつでも）



鉄道駅（駅周辺）に行く目的（複数回答）を聞いたところ、「買い物」（54.3%）が5割半ばで最も高く、次いで「区外へ出かけるため」（43.0%）、「通勤・通学」（37.7%）となっている。

性別で見ると、「買い物」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別にみると、「通勤・通学」は20歳代～40歳代で、「医療機関へ行くため」は70歳以上で、それぞれ高くなっている。

		買い物	区外へ出かけるため	通勤・通学	飲食・喫茶	医療機関へ行くため	銀行・郵便局・役所に行くため	商用・仕事	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	公園・広場を利用するため	イベントに参加するため	サークル活動	その他	無回答
全体(n=1,084)		54.3	43.0	37.7	17.9	17.3	13.1	9.8	6.0	2.9	2.1	2.0	0.9	3.2	6.6
性別	男性(n=490)	48.4	40.6	42.0	18.6	15.1	13.7	13.3	4.9	1.0	2.9	2.0	0.4	4.1	6.9
	女性(n=564)	59.0	45.6	34.8	17.7	19.1	12.8	6.6	6.7	4.4	1.6	2.1	1.4	2.5	6.6
年代別	20歳代(n=133)	51.1	40.6	62.4	21.1	5.3	5.3	10.5	3.8	2.3	0.8	2.3	0.0	4.5	5.3
	30歳代(n=178)	52.8	44.4	56.2	27.0	12.9	6.2	9.0	4.5	1.1	3.4	3.4	0.6	2.8	4.5
	40歳代(n=175)	57.1	44.6	53.7	20.6	14.3	8.6	10.3	4.6	3.4	1.7	0.6	0.0	1.1	2.9
	50歳代(n=181)	56.4	48.6	37.6	14.4	15.5	15.5	11.0	7.2	2.8	0.6	1.7	1.1	4.4	3.9
	60歳代(n=155)	52.9	42.6	25.2	12.3	18.1	14.8	11.0	5.8	3.2	3.9	3.2	0.6	3.9	6.5
	70歳以上(n=241)	54.8	39.0	7.9	14.1	29.9	22.8	7.5	8.3	3.7	2.5	1.7	2.5	3.3	13.7

居住地域別にみると、「区外へ出かけるため」は中央、東中野、沼袋で、「通勤・通学」は東中野、若宮でそれぞれ高くなっている。

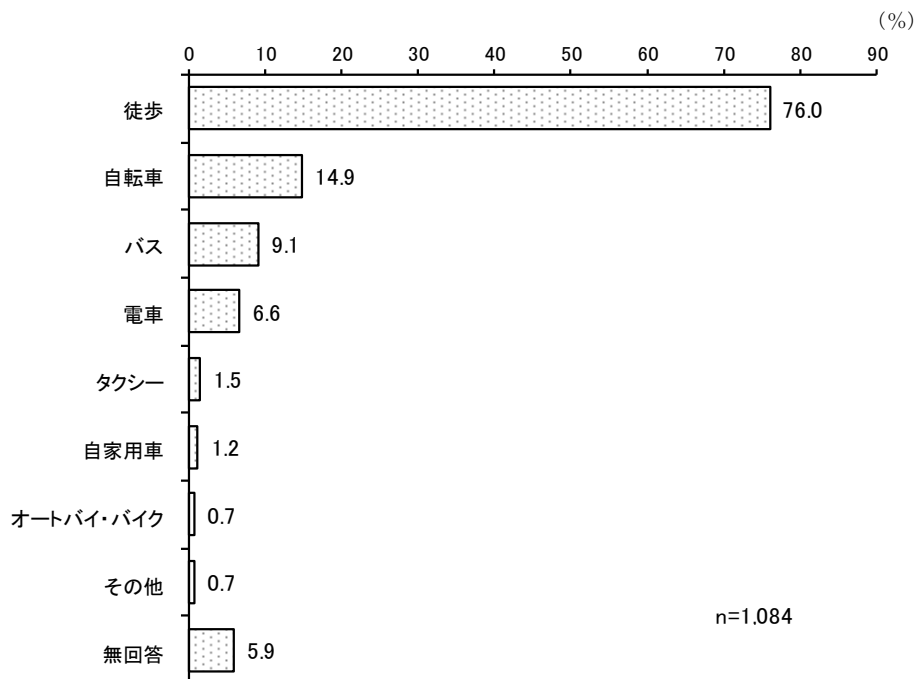
	買い物	区外へ出かけるため	通勤・通学	飲食・喫茶	医療機関へ行くため	銀行・郵便局・役所に行くため	商用・仕事	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	公園・広場を利用するため	イベントに参加するため	サークル活動	その他	無回答	
全体(n=1,084)	54.3	43.0	37.7	17.9	17.3	13.1	9.8	6.0	2.9	2.1	2.0	0.9	3.2	6.6	
居住地域別	南台(n=64)	57.8	37.5	42.2	20.3	18.8	15.6	6.3	7.8	1.6	1.6	0.0	3.1	6.3	
	弥生町(n=91)	52.7	48.4	45.1	14.3	11.0	12.1	13.2	4.4	0.0	1.1	4.4	2.2	4.4	
	本町(n=101)	64.4	42.6	42.6	22.8	25.7	17.8	13.9	3.0	1.0	2.0	2.0	0.0	5.0	
	中央(n=84)	63.1	52.4	38.1	21.4	16.7	13.1	8.3	8.3	4.8	7.1	6.0	7.1	3.6	
	東中野(n=73)	63.0	57.5	61.6	24.7	19.2	16.4	13.7	21.9	8.2	2.7	4.1	4.1	2.7	0.0
	中野(n=100)	37.0	25.0	22.0	15.0	12.0	8.0	3.0	1.0	5.0	1.0	2.0	0.0	5.0	17.0
	上高田(n=66)	65.2	45.5	31.8	16.7	15.2	9.1	9.1	7.6	1.5	1.5	3.0	3.0	6.1	4.5
	新井(n=58)	44.8	41.4	22.4	19.0	12.1	13.8	6.9	5.2	3.4	0.0	0.0	0.0	5.2	15.5
	沼袋(n=34)	52.9	52.9	26.5	5.9	23.5	5.9	2.9	0.0	2.9	5.9	0.0	2.9	0.0	8.8
	松が丘(n=18)	55.6	50.0	27.8	5.6	11.1	22.2	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0
	江原町(n=31)	41.9	32.3	22.6	16.1	19.4	3.2	19.4	9.7	0.0	3.2	3.2	3.2	0.0	12.9
	江古田(n=54)	35.2	40.7	38.9	18.5	14.8	11.1	16.7	3.7	3.7	1.9	1.9	1.9	0.0	3.7
	丸山(n=21)	61.9	61.9	42.9	28.6	23.8	14.3	14.3	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方(n=67)	65.7	43.3	25.4	22.4	20.9	14.9	7.5	3.0	3.0	4.5	0.0	1.5	3.0	3.0
	大和町(n=47)	57.4	44.7	40.4	19.1	19.1	21.3	10.6	4.3	8.5	0.0	2.1	0.0	6.4	6.4
	若宮(n=42)	59.5	45.2	57.1	9.5	21.4	14.3	7.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	白鷺(n=27)	44.4	40.7	48.1	3.7	22.2	22.2	7.4	3.7	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	3.7
	鷺宮(n=58)	53.4	37.9	44.8	17.2	15.5	12.1	13.8	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	6.9
上鷺宮(n=17)	41.2	41.2	47.1	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 鉄道駅（駅周辺）に行く際の交通手段

「徒歩」が7割半ばで最も高い

問 19—2 問 19 の鉄道駅に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。(○はいくつでも)



鉄道駅（駅周辺）に行く際の交通手段（複数回答）を聞いたところ、「徒歩」（76.0%）が7割半ばで最も高く、次いで「自転車」（14.9%）、「バス」（9.1%）となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「自転車」は40歳代、50歳代で、「バス」は70歳以上で高くなっている。

		徒歩	自転車	バス	電車	タクシー	自家用車	オートバイ・バイク	その他	無回答
全体(n=1,084)		76.0	14.9	9.1	6.6	1.5	1.2	0.7	0.7	5.9
性別	男性(n=490)	78.6	12.0	7.3	5.3	0.8	1.0	1.2	0.2	5.9
	女性(n=564)	73.9	16.7	10.3	8.0	1.8	1.4	0.4	1.1	6.0
年代別	20歳代(n=133)	82.0	6.0	4.5	7.5	0.0	0.0	0.0	0.8	6.8
	30歳代(n=178)	80.9	12.4	3.4	9.6	1.7	0.6	0.6	0.0	4.5
	40歳代(n=175)	81.1	22.3	2.9	6.3	0.6	1.1	0.6	1.1	2.3
	50歳代(n=181)	77.3	22.7	4.4	7.2	0.6	0.0	1.7	0.0	4.4
	60歳代(n=155)	78.7	16.8	9.7	5.2	1.9	1.3	1.9	0.6	5.2
	70歳以上(n=241)	64.3	8.7	22.8	4.6	2.9	3.3	0.0	1.2	10.4

居住地域別にみると、「徒歩」は本町、中央、東中野、上高田、沼袋、江原町、野方、若宮が8割以上で高くなっており、「自転車」は大和町で、「バス」は南台、江古田で、「電車」は中野で、それぞれ高くなっている。

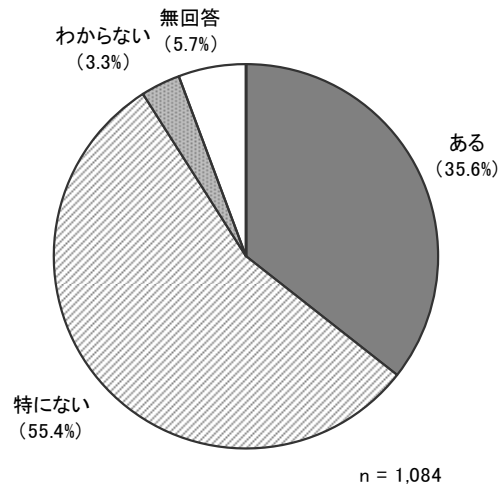
		徒歩	自転車	バス	電車	タクシー	自家用車	オートバイ・バイク	その他	無回答
全体(n=1,084)		76.0	14.9	9.1	6.6	1.5	1.2	0.7	0.7	5.9
居住地域別	南台(n=64)	64.1	21.9	25.0	9.4	3.1	1.6	0.0	0.0	4.7
	弥生町(n=91)	79.1	13.2	9.9	5.5	4.4	1.1	1.1	0.0	3.3
	本町(n=101)	87.1	12.9	7.9	5.0	0.0	1.0	0.0	0.0	4.0
	中央(n=84)	86.9	7.1	0.0	6.0	0.0	1.2	0.0	0.0	4.8
	東中野(n=73)	86.3	8.2	4.1	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	中野(n=100)	57.0	14.0	2.0	18.0	1.0	2.0	2.0	1.0	16.0
	上高田(n=66)	86.4	15.2	4.5	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	4.5
	新井(n=58)	63.8	10.3	10.3	12.1	1.7	1.7	0.0	3.4	13.8
	沼袋(n=34)	82.4	8.8	8.8	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9
	松が丘(n=18)	77.8	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0
	江原町(n=31)	80.6	3.2	6.5	0.0	3.2	0.0	0.0	6.5	3.2
	江古田(n=54)	72.2	13.0	22.2	3.7	0.0	1.9	0.0	0.0	3.7
	丸山(n=21)	71.4	23.8	14.3	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方(n=67)	80.6	22.4	9.0	1.5	0.0	3.0	1.5	1.5	3.0
	大和町(n=47)	66.0	40.4	12.8	12.8	2.1	0.0	4.3	0.0	6.4
	若宮(n=42)	85.7	19.0	4.8	4.8	2.4	2.4	0.0	0.0	2.4
	白鷺(n=27)	85.2	14.8	14.8	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
鷺宮(n=58)	77.6	19.0	5.2	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	
上鷺宮(n=17)	64.7	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の有無

不満が「ある」が3割半ば

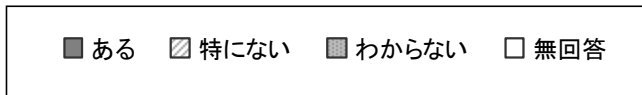
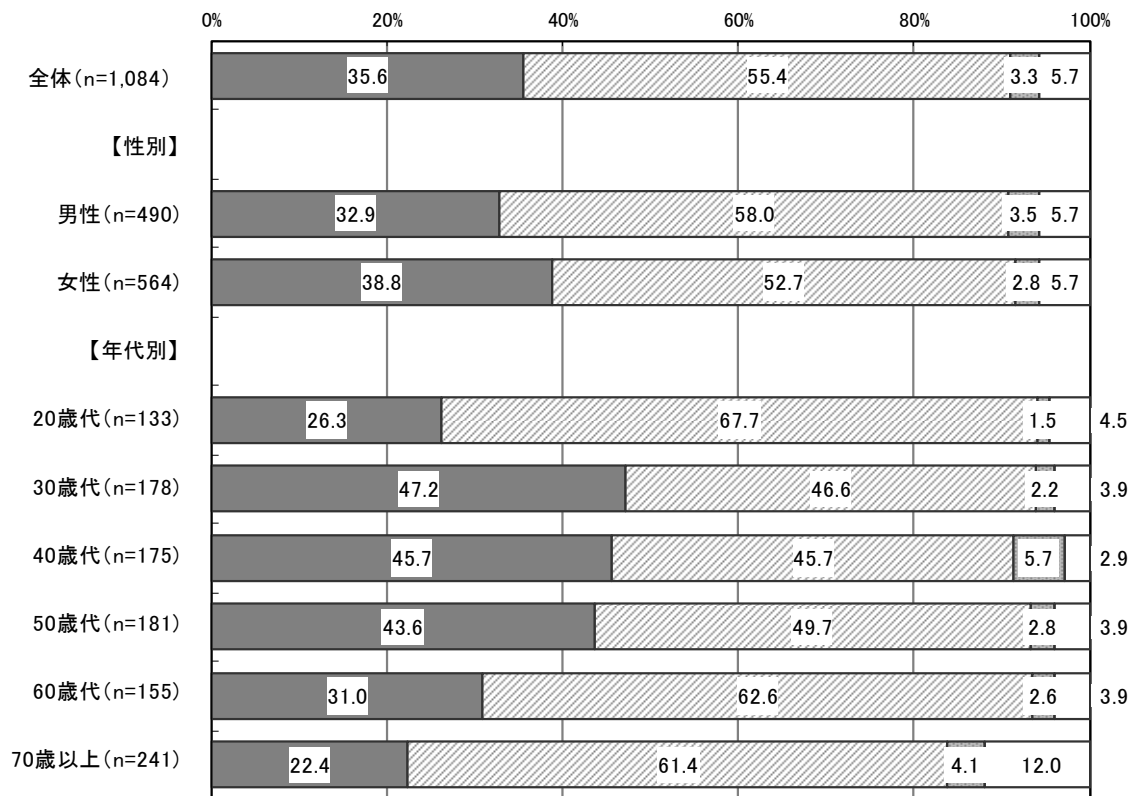
問 19-3 問 19の鉄道駅（駅周辺）を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。（○は1つ）



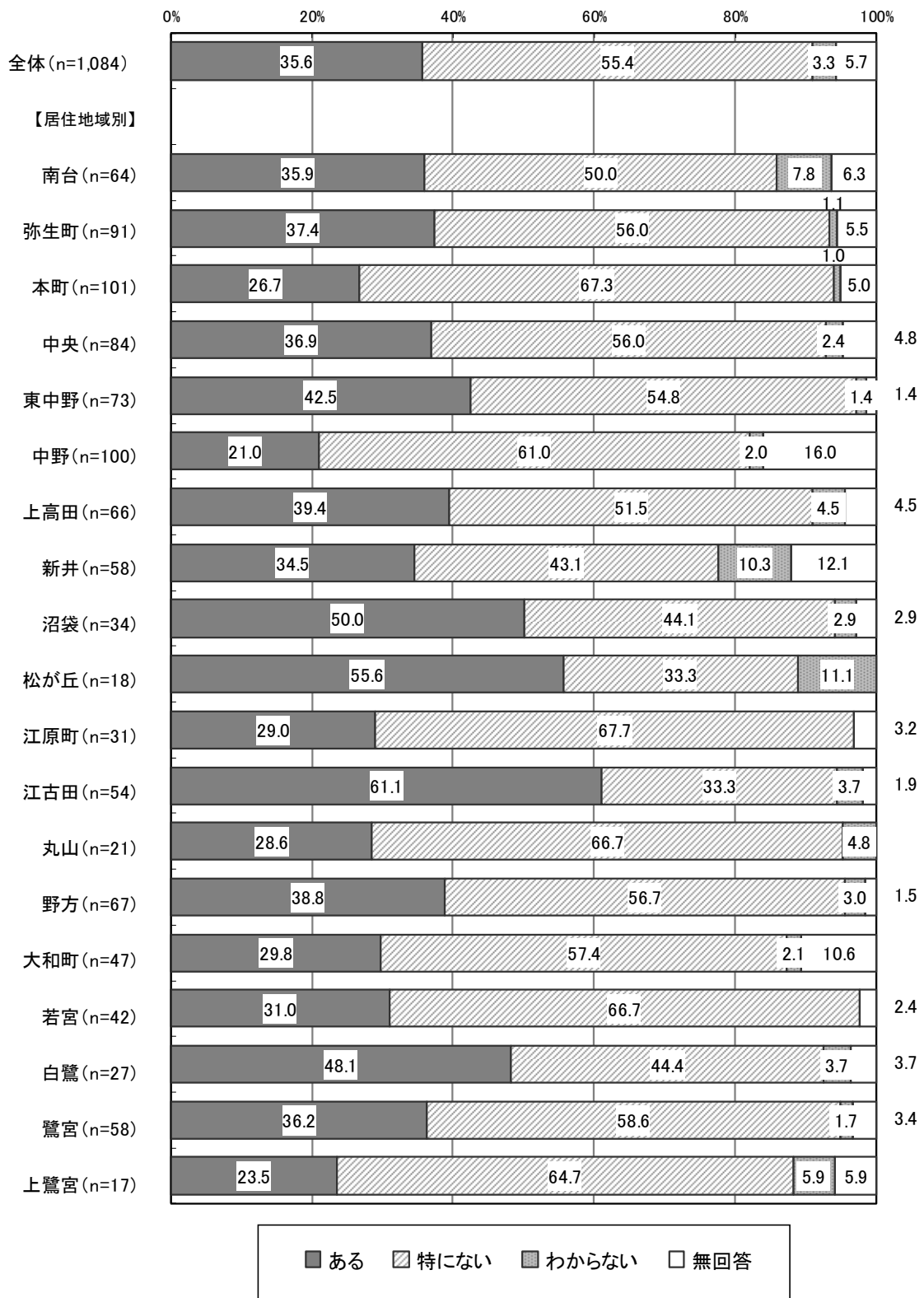
鉄道駅（駅周辺）利用時の不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「特にない」（55.4%）が5割半ばで「ある」（35.6%）を上回っている。

性別で見ると、不満が「ある」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、不満が「ある」は30歳代、40歳代で4割半ば～4割後半とやや高くなっている。



居住地域別にみると、不満が「ある」は江古田で約6割と高くなっている。



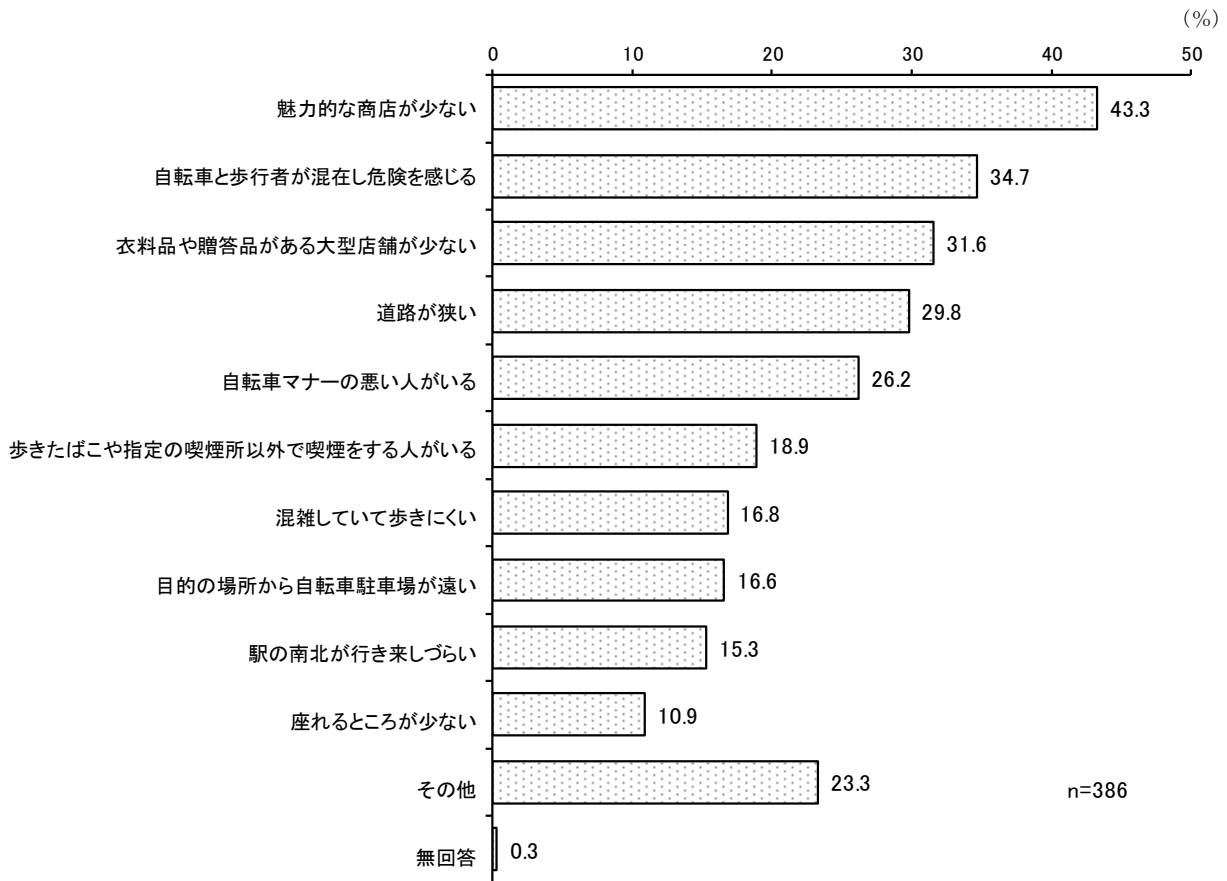
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の内容

「魅力的な商店が少ない」が4割前半と最も高い

【問 19-3 で「1」と答えた方に】

問 19-4 その不満の内容は何ですか。(○はいくつでも)



鉄道駅（駅周辺）の利用に不満を感じている人に、不満の内容（複数回答）を聞いたところ、「魅力的な商店が少ない」（43.3%）が4割前半と最も高く、次いで「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」（34.7%）、「衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない」（31.6%）となっている。

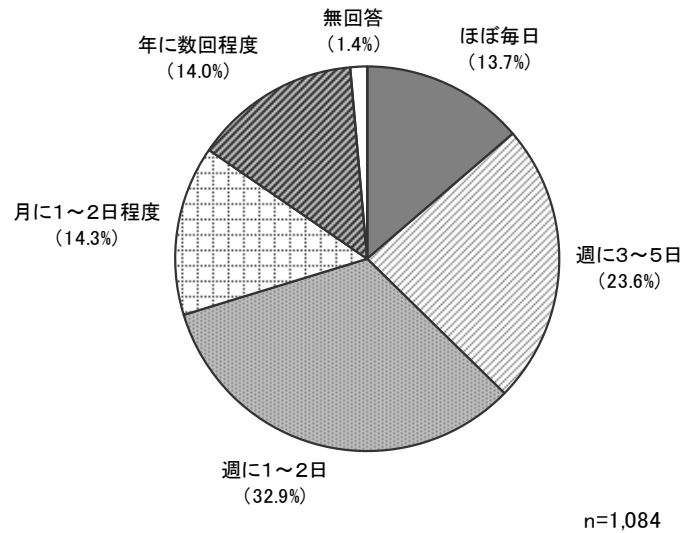
性別で見ると、「魅力的な商店が少ない」は女性に比べ男性でやや低くなっている。
 年代別にみると、「道路が狭い」は70歳以上で高くなっている。

		魅力的な商店が少ない	自転車を歩行者が混在し危険を感じる	衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない	道路が狭い	自転車マナーの悪い人がいる	歩きタバコや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる	混雑していて歩きにくい	目的の場所から自転車駐車場が遠い	駅の南北が行き来しづらい	座れるところが少ない	その他	無回答
全体 (n=386)		43.3	34.7	31.6	29.8	26.2	18.9	16.8	16.6	15.3	10.9	23.3	0.3
性別	男性 (n=161)	38.5	35.4	24.8	32.3	30.4	17.4	15.5	16.8	19.3	9.3	18.6	0.6
	女性 (n=219)	47.0	34.7	36.5	28.3	23.3	20.1	18.3	16.4	12.8	11.9	26.5	0.0
年代別	20歳代 (n=35)	57.1	31.4	34.3	34.3	25.7	22.9	22.9	8.6	20.0	14.3	20.0	0.0
	30歳代 (n=84)	36.9	27.4	36.9	20.2	14.3	17.9	14.3	10.7	13.1	10.7	26.2	1.2
	40歳代 (n=80)	43.8	40.0	28.8	32.5	22.5	23.8	13.8	22.5	16.3	5.0	20.0	0.0
	50歳代 (n=79)	38.0	29.1	30.4	26.6	32.9	13.9	17.7	16.5	12.7	8.9	29.1	0.0
	60歳代 (n=48)	54.2	39.6	29.2	29.2	31.3	25.0	18.8	20.8	20.8	18.8	25.0	0.0
	70歳以上 (n=54)	44.4	44.4	31.5	42.6	35.2	11.1	18.5	16.7	14.8	14.8	14.8	0.0

1.1 商店街に行く頻度について

「週1日以上」(「ほぼ毎日」と「週に3日～5日」と「週に1日～2日」)が約7割

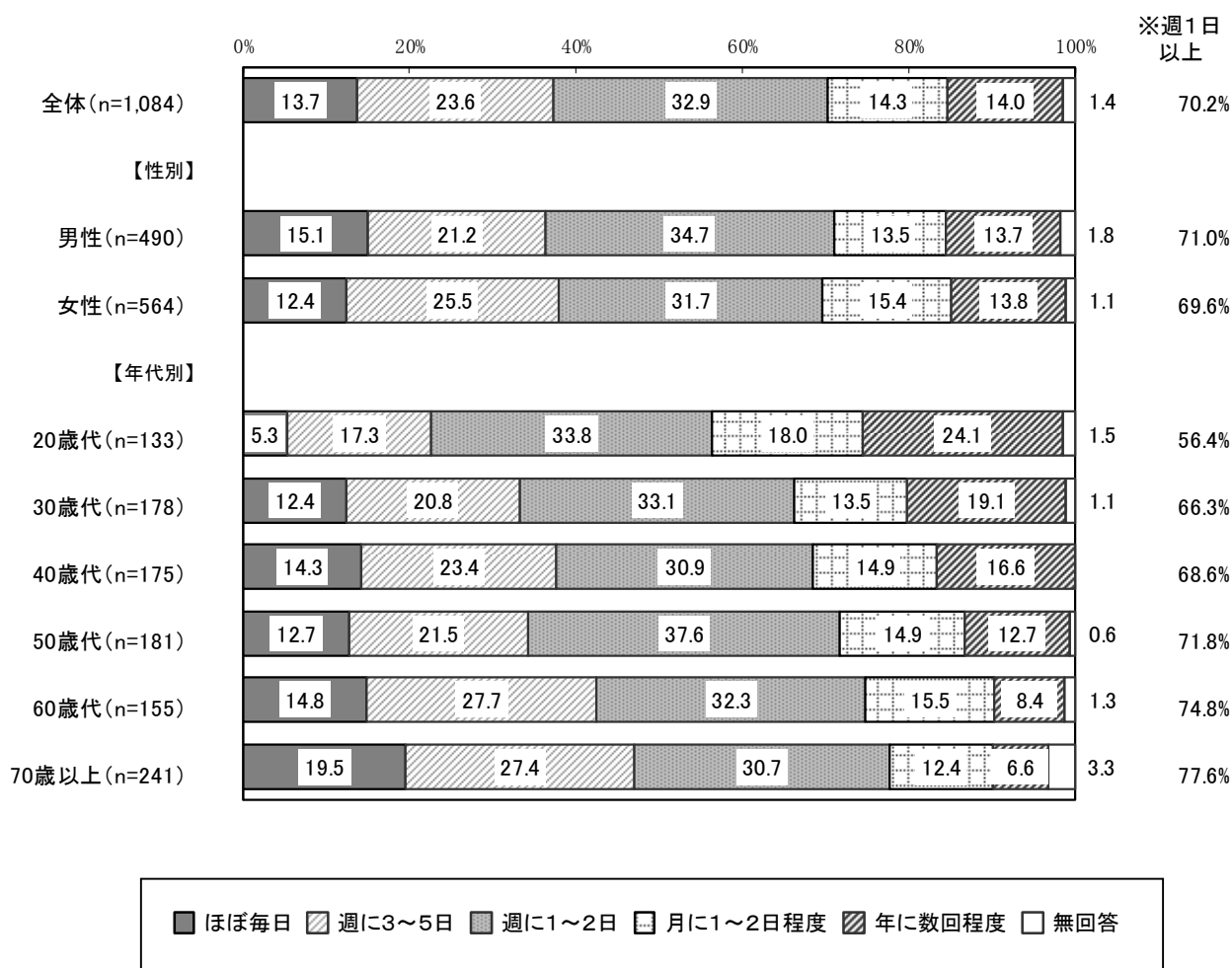
問 20 買い物やサービス等利用のため、商店街へはどの程度の頻度で行きますか。(○は1つ)



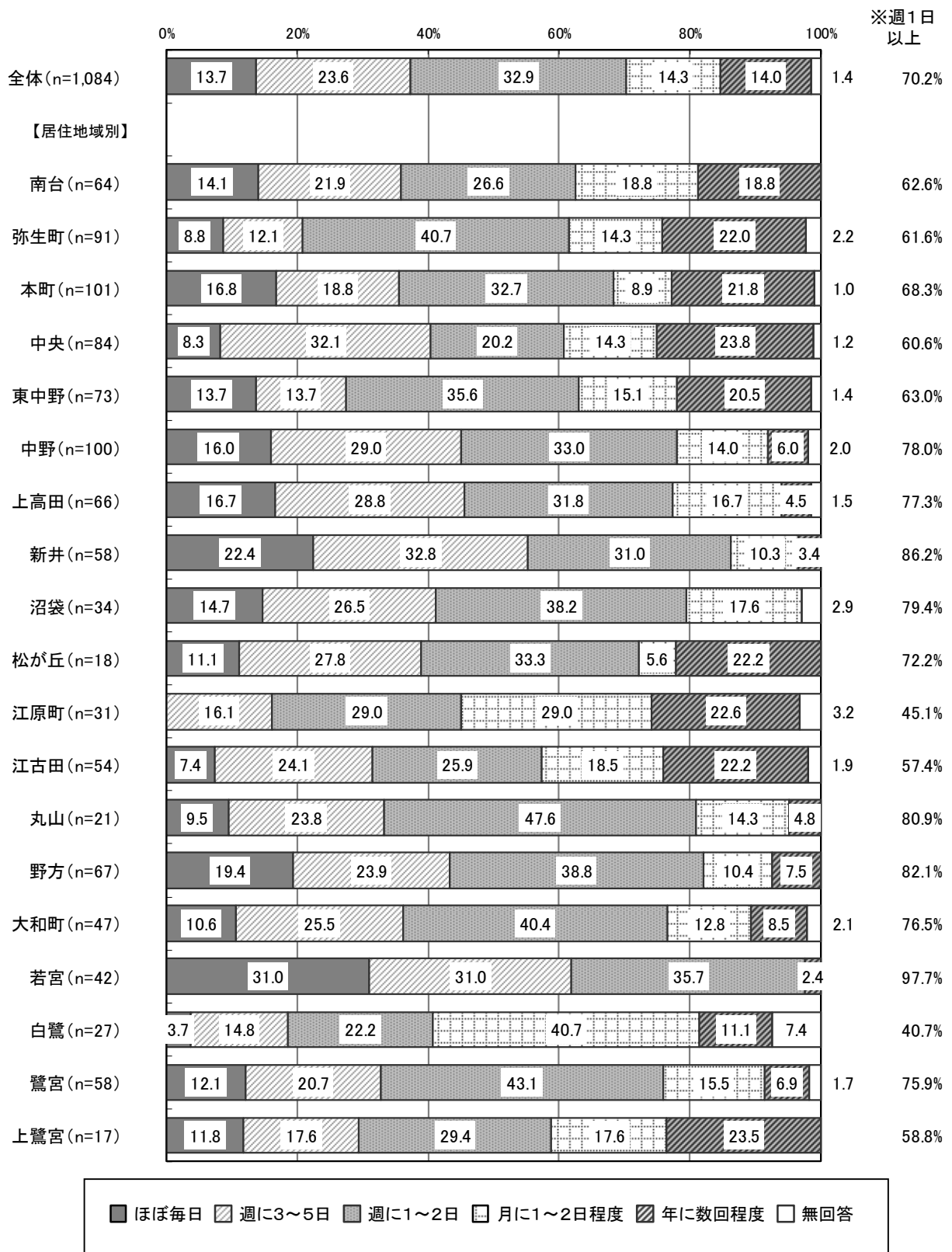
商店街に行く頻度を聞いたところ、「週に1日～2日」(32.9%)が3割前半と最も高く、次いで「週に3日～5日」(23.6%)、「月に1～2日程度」(14.3%)となっている。

「ほぼ毎日」(13.7%)、「週に3日～5日」(23.6%)、「週に1日～2日」(32.9%)を合わせた「週1日以上」(70.2%)行く人は約7割となっている。

性別で見ると、「週に1日～2日」は女性に比べ男性で3割半ばと高くなっている。
 年代別にみると、「週1日以上」は70歳以上で7割後半と高くなっている。



居住地域別でみると、「週1日以上」は若宮で9割後半と高くなっている。

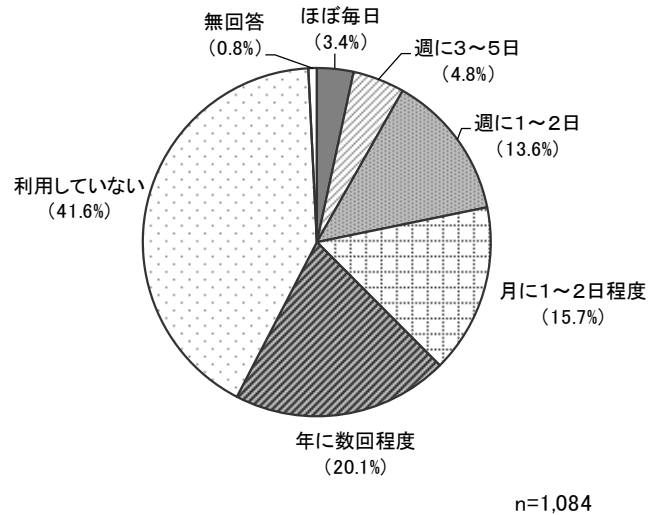


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

1 2 公園・広場等の利用について
(1) 区内の公園や広場の利用頻度

「利用していない」が約4割超え

問 21 区内の公園や広場を、どの程度の頻度で利用していますか。(○は1つ)

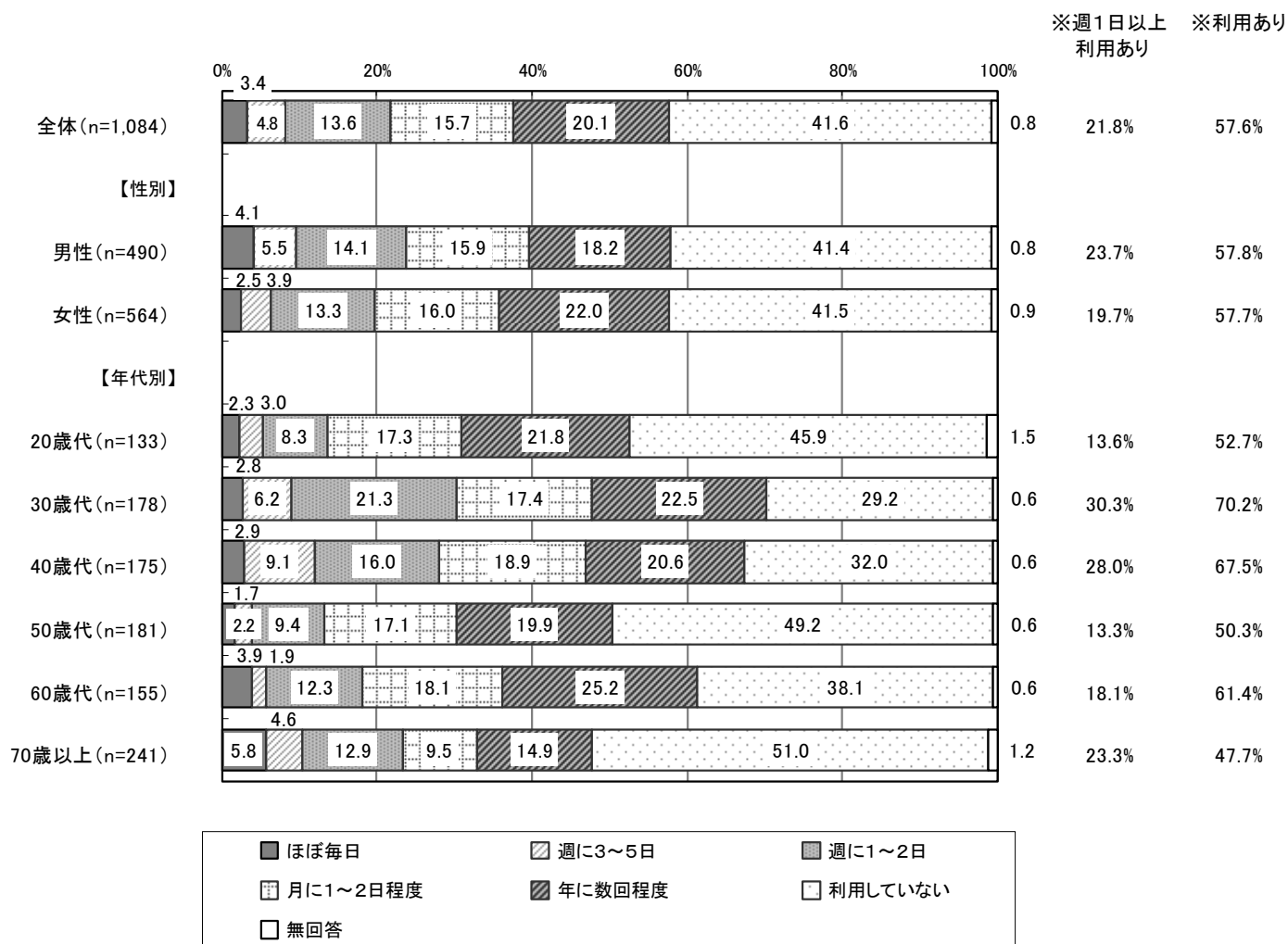


公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(41.6%)が約4割と最も高く、次いで「年に数回程度」(20.1%)、「月に1日~2日程度」(15.7%)となっている。

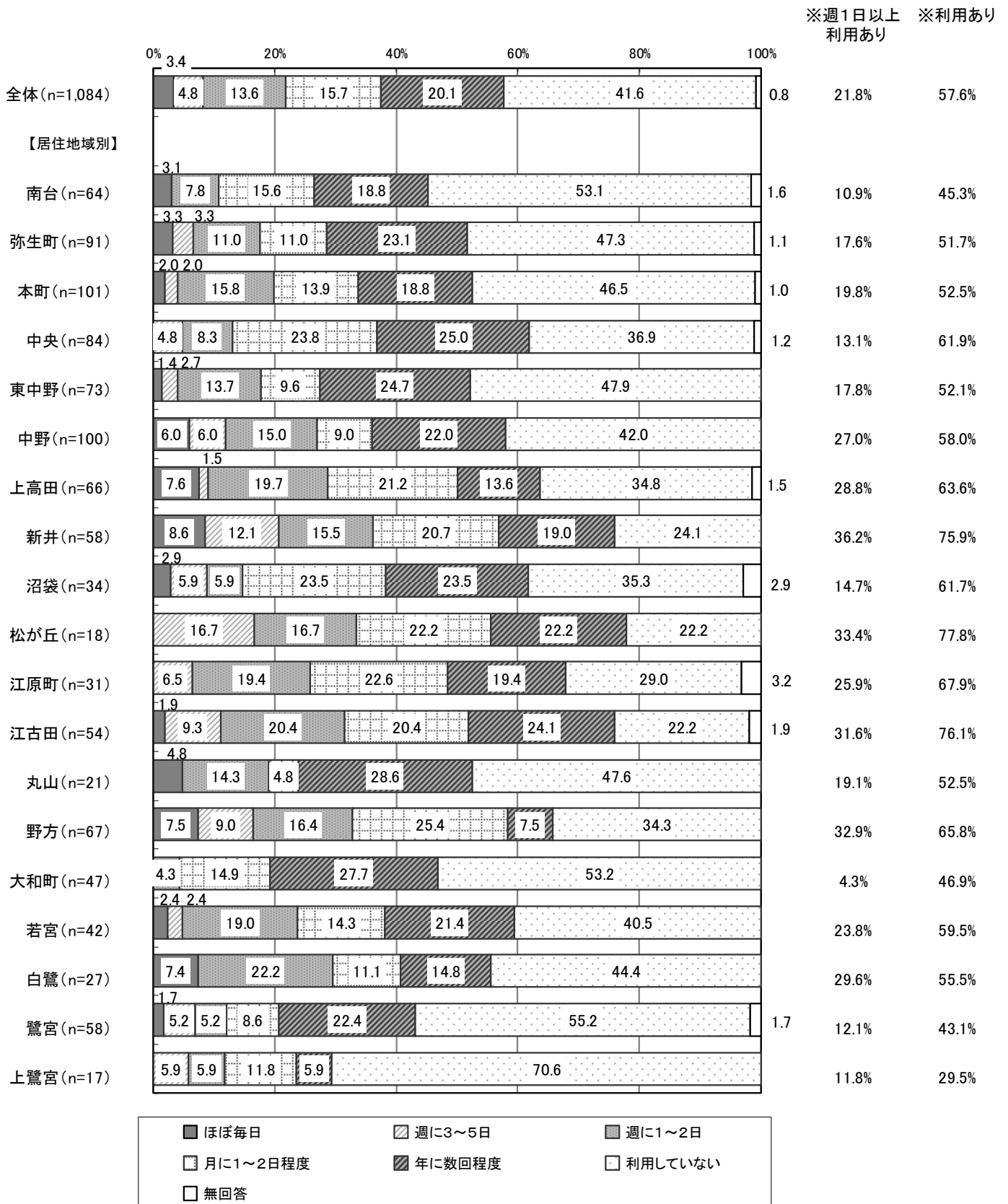
「ほぼ毎日」(3.4%)、「週に3日~5日」(4.8%)、「週に1日~2日」(13.6%)を合わせた「週1日以上利用あり」(21.8%)は約2割となっている。

性別で見ると、「ほぼ毎日」と「週に3日～5日」と「週に1日～2日」と「月に1日～2日程度」と「年に数回程度」を合わせた《利用あり》では男女の差はみられない。

年代別にみると、《利用あり》は30歳代で約7割となっている。



居住地域別でみると、「利用あり」は新井、江古田で7割半ばと高くなっている。一方、「利用していない」は鷺宮で5割半ばと高くなっている。



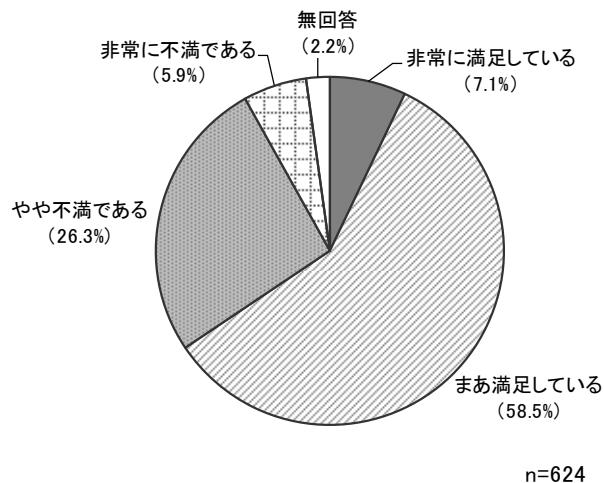
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 区内の公園や広場の満足度

《満足している》（「非常に満足している」と「まあ満足している」）が6割半ば

【問 21 で「1～5」と答えた方に】

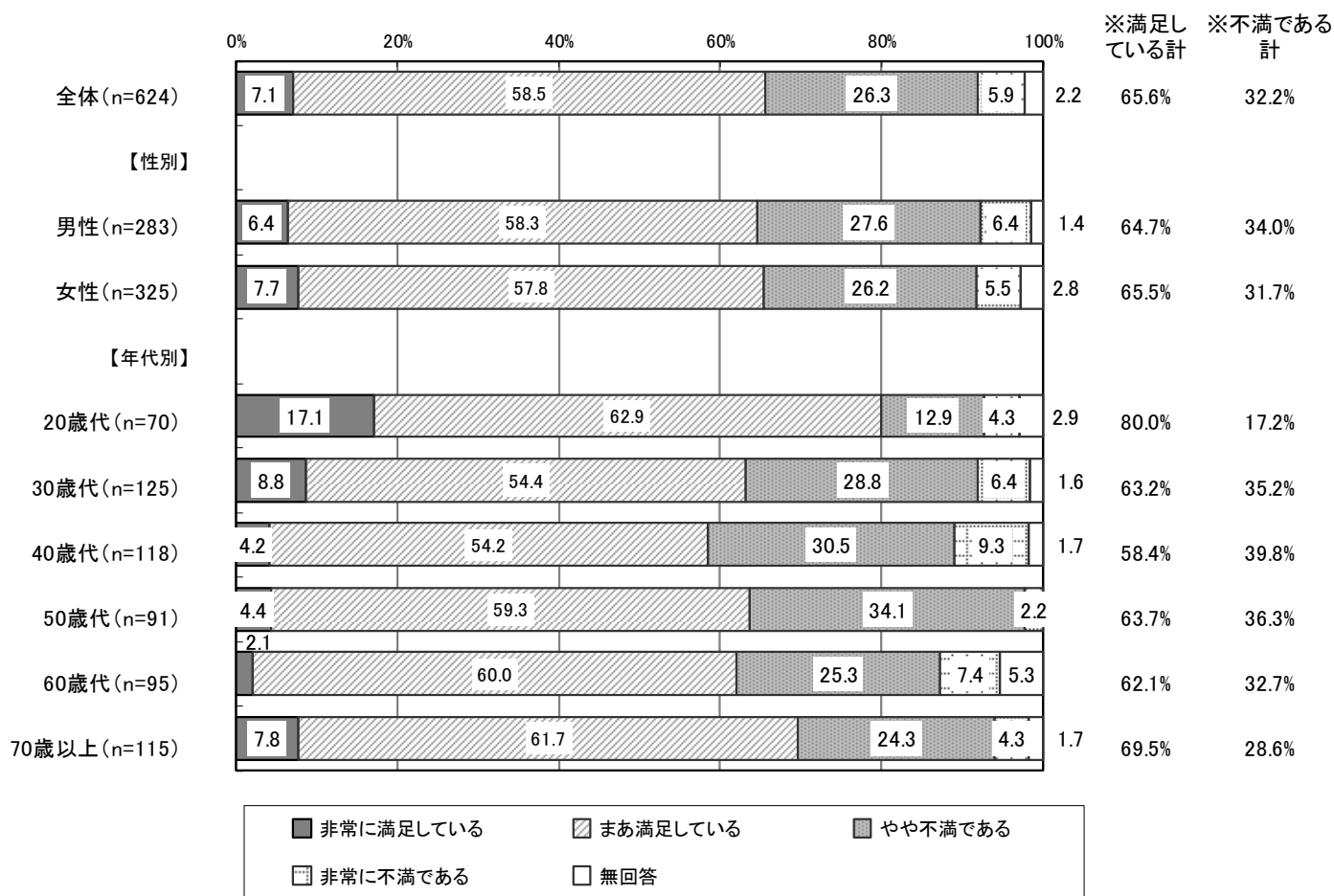
問 21-1 現在の区内の公園や広場に満足していますか。（○は1つ）



公園や広場の利用者に満足度を聞いたところ、「非常に満足している」(7.1%)と「まあ満足している」(58.5%)を合わせた《満足している》(65.6%)は6割半ばとなっている。一方、「やや不満である」(26.3%)と「非常に不満である」(5.9%)を合わせた《不満である》(32.2%)は3割前半となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「満足している」は20歳代で8割と高くなっている。一方、「不満である」は40歳代で約4割と高くなっている。

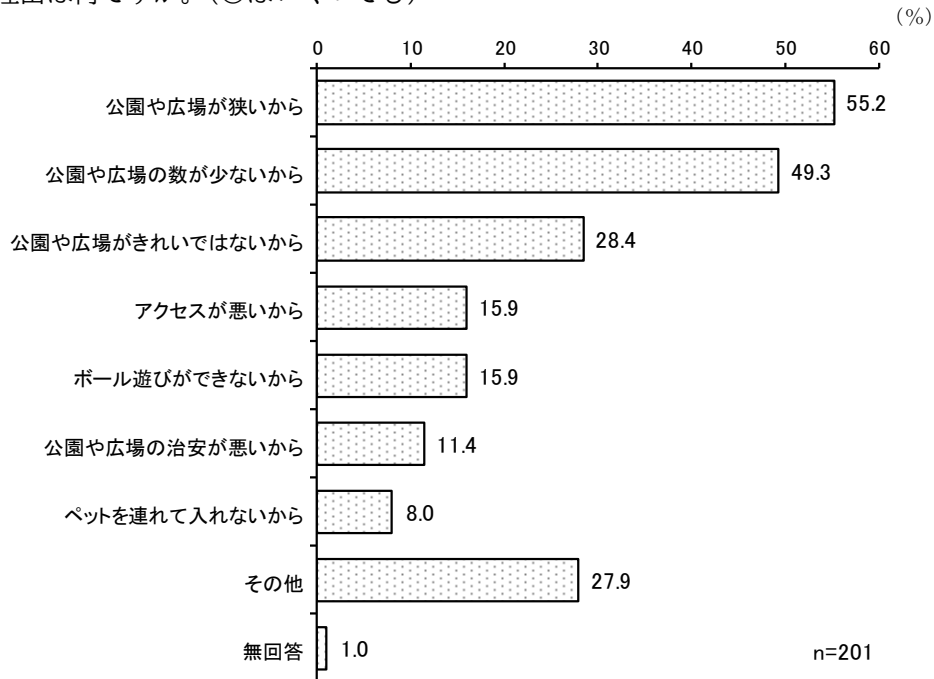


(3) 区内の公園や広場の不満の理由

「公園や広場が狭いから」が5割半ばで最も高い

【問 21-1 で「3~4」と答えた方に】

問 21-2 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)



公園や広場に不満がある人に、不満の理由（複数回答）を聞いたところ、「公園や広場が狭いから」（55.2%）が5割半ばで最も高く、次いで「公園や広場の数が少ないから」（49.3%）、「公園や広場がきれいではないから」（28.4%）となっている。

性別で見ると、「公園や広場の数が少ないから」は男性に比べ女性でやや高くなっている。
 年代別にみると、「公園や広場が狭いから」は40歳代で高くなっている。

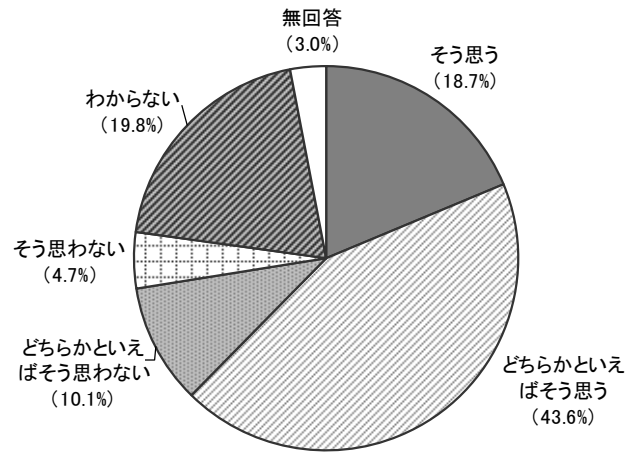
		公園や広場が狭いから	公園や広場の数が少ないから	公園や広場の数がきれいではないから	アクセスが悪いから	ボール遊びができないから	公園や広場の治安が悪いから	ペットを連れて入れないから	その他	無回答
全体(n=201)		55.2	49.3	28.4	15.9	15.9	11.4	8.0	27.9	1.0
性別	男性(n=96)	55.2	40.6	28.1	17.7	12.5	9.4	8.3	29.2	0.0
	女性(n=103)	54.4	57.3	28.2	13.6	19.4	13.6	7.8	27.2	1.9
年代別	20歳代(n=12)	41.7	58.3	50.0	25.0	0.0	41.7	8.3	0.0	0.0
	30歳代(n=44)	54.5	45.5	38.6	22.7	25.0	13.6	0.0	20.5	0.0
	40歳代(n=47)	59.6	57.4	23.4	4.3	29.8	12.8	8.5	42.6	0.0
	50歳代(n=33)	57.6	36.4	18.2	15.2	9.1	9.1	12.1	36.4	0.0
	60歳代(n=31)	58.1	48.4	38.7	16.1	6.5	9.7	6.5	22.6	6.5
	70歳以上(n=33)	48.5	51.5	15.2	18.2	6.1	0.0	15.2	24.2	0.0

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

1.3 次世代に渡る定住意向について

「**そう思う**」(「**そう思う**」と「**どちらかといえばそう思う**」)が**6割前半**

問 22 中野区のまちは、次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思いますか。(○は1つ)

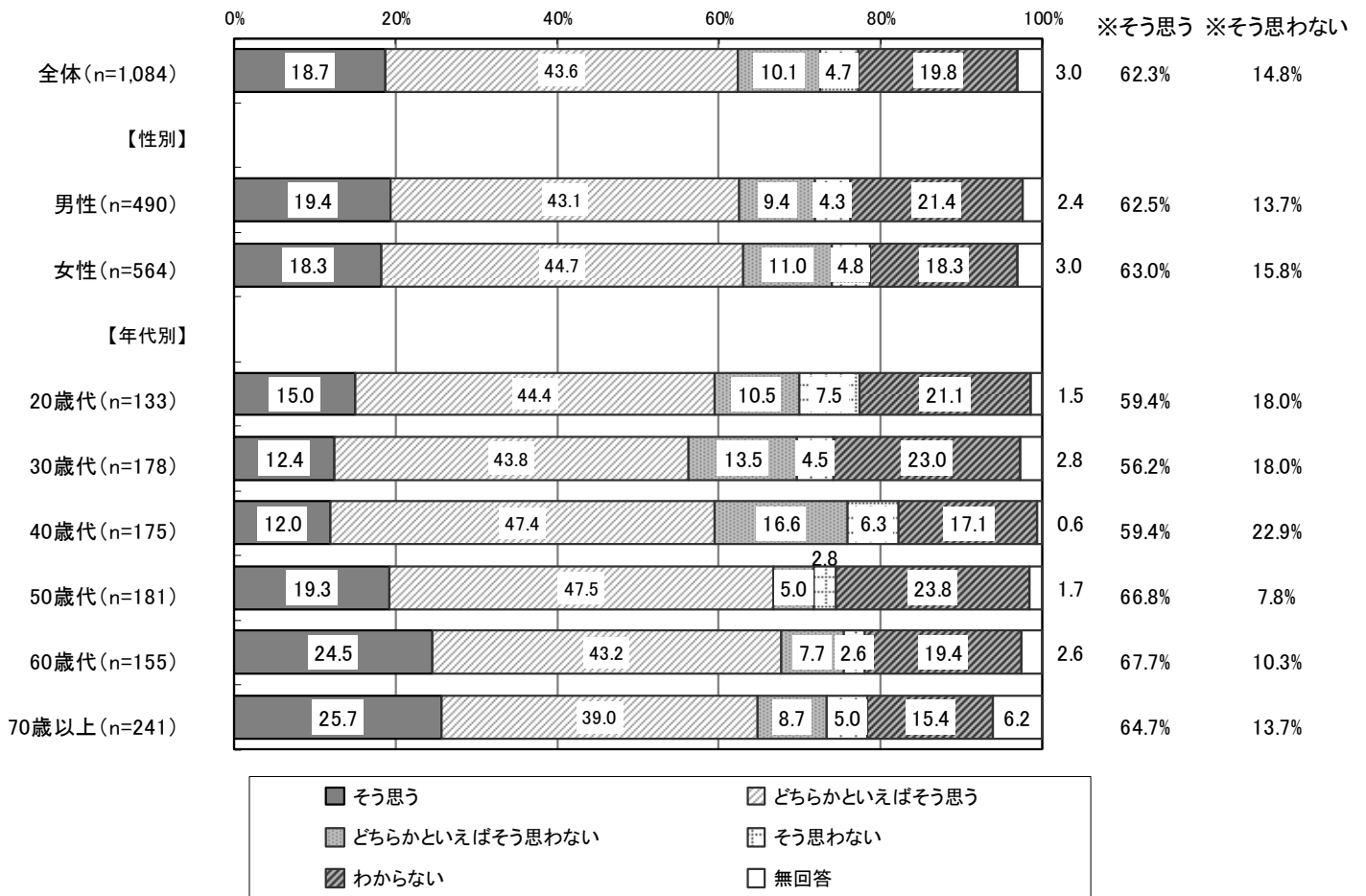


n=1,084

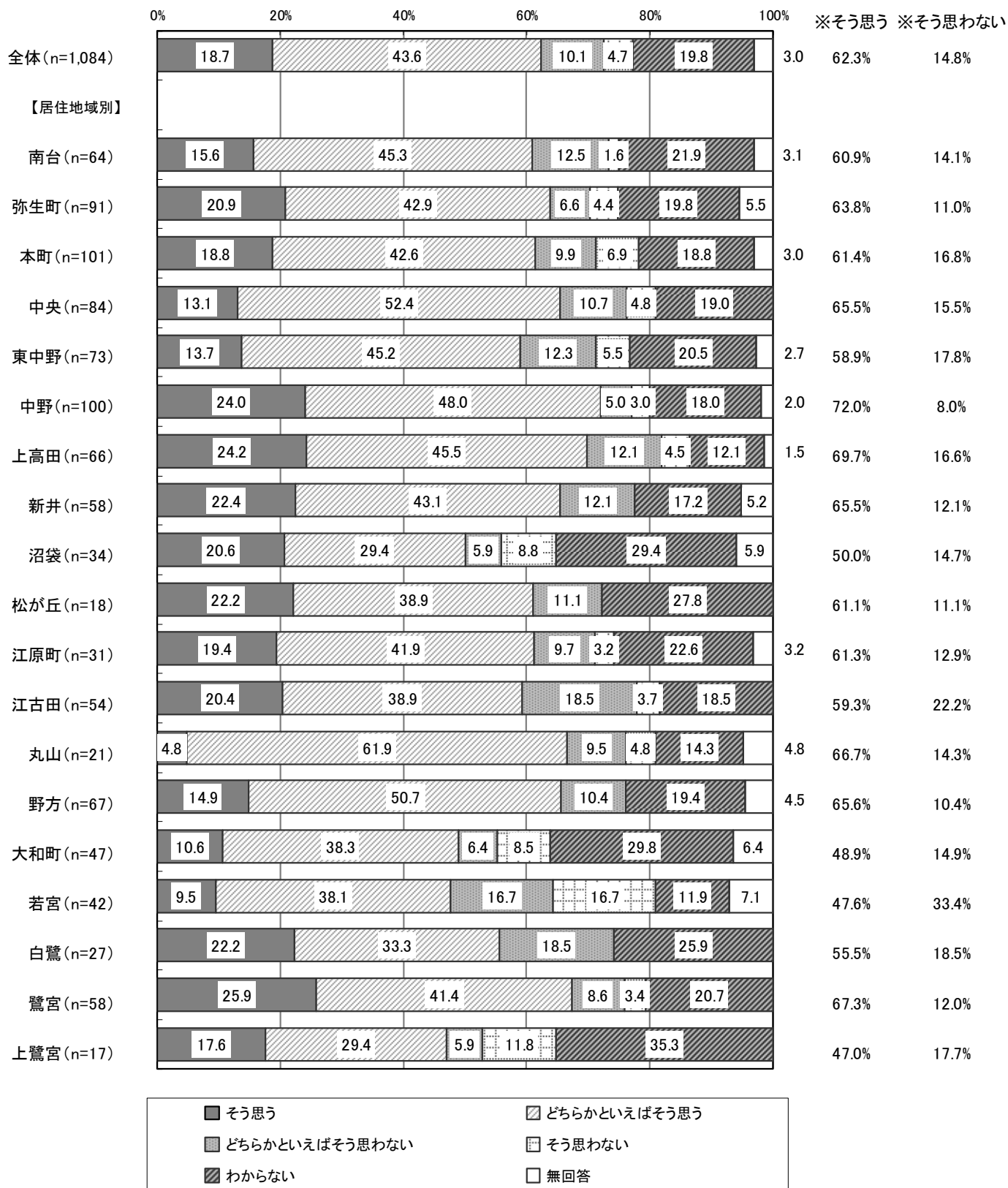
中野区のまちは、次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思うかを聞いたところ、「**そう思う**」(18.7%)と「**どちらかといえばそう思う**」(43.6%)を合わせた**「**そう思う**」**(62.3%)が**6割前半**を超え、「**そう思わない**」(4.7%)と「**どちらかといえばそう思わない**」(10.1%)を合わせた**「**そう思わない**」**(14.8%)が**1割半ば**となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、《そう思う》は50歳代~70歳以上で6割半ば以上と高くなっている。



居住地域別でみると、「<<そう思う>>」は中野で7割前半と高くなっている。一方、「<<そう思わない>>」は若宮で3割前半と高くなっている。

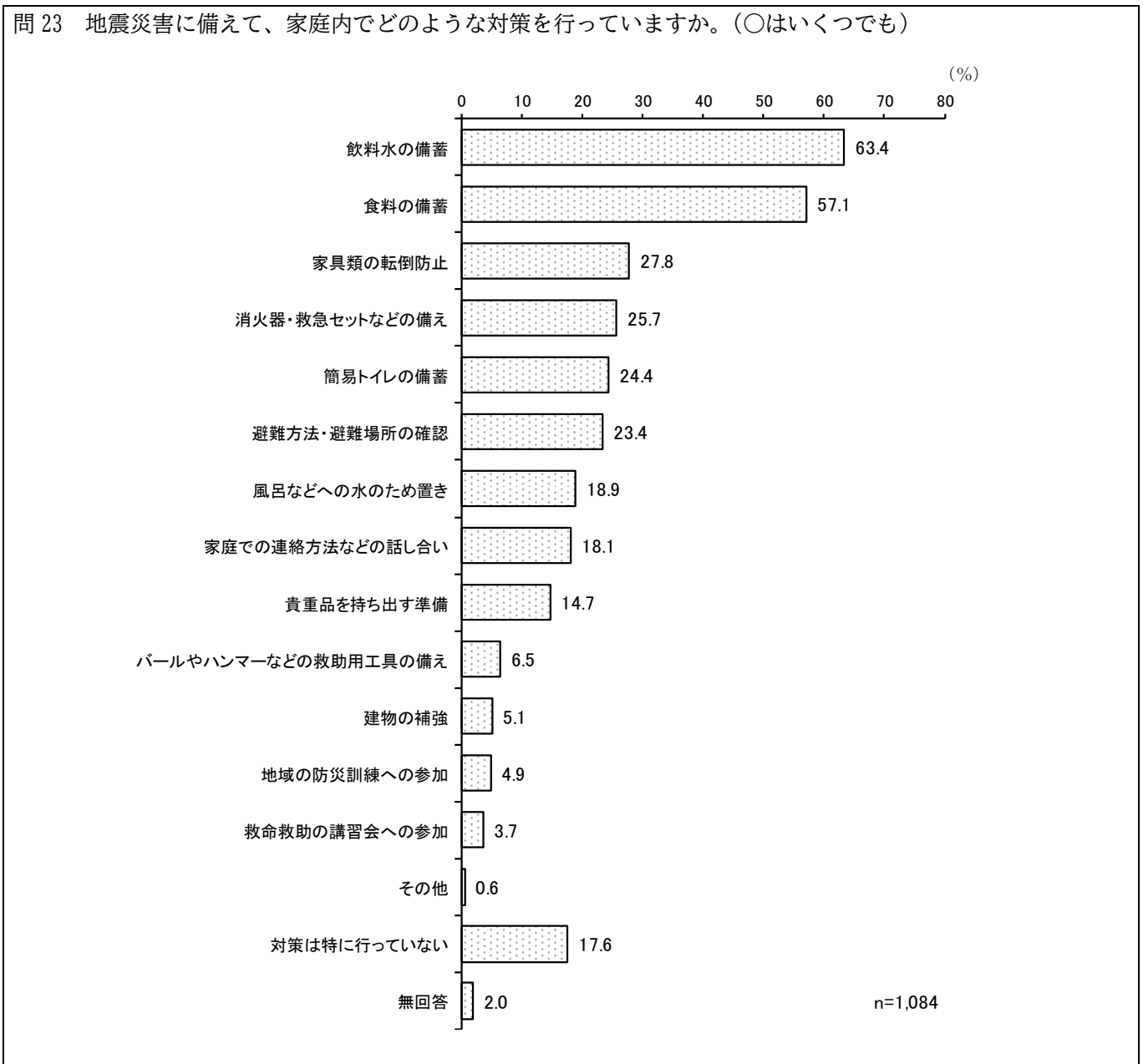


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

14 地震災害への対策について

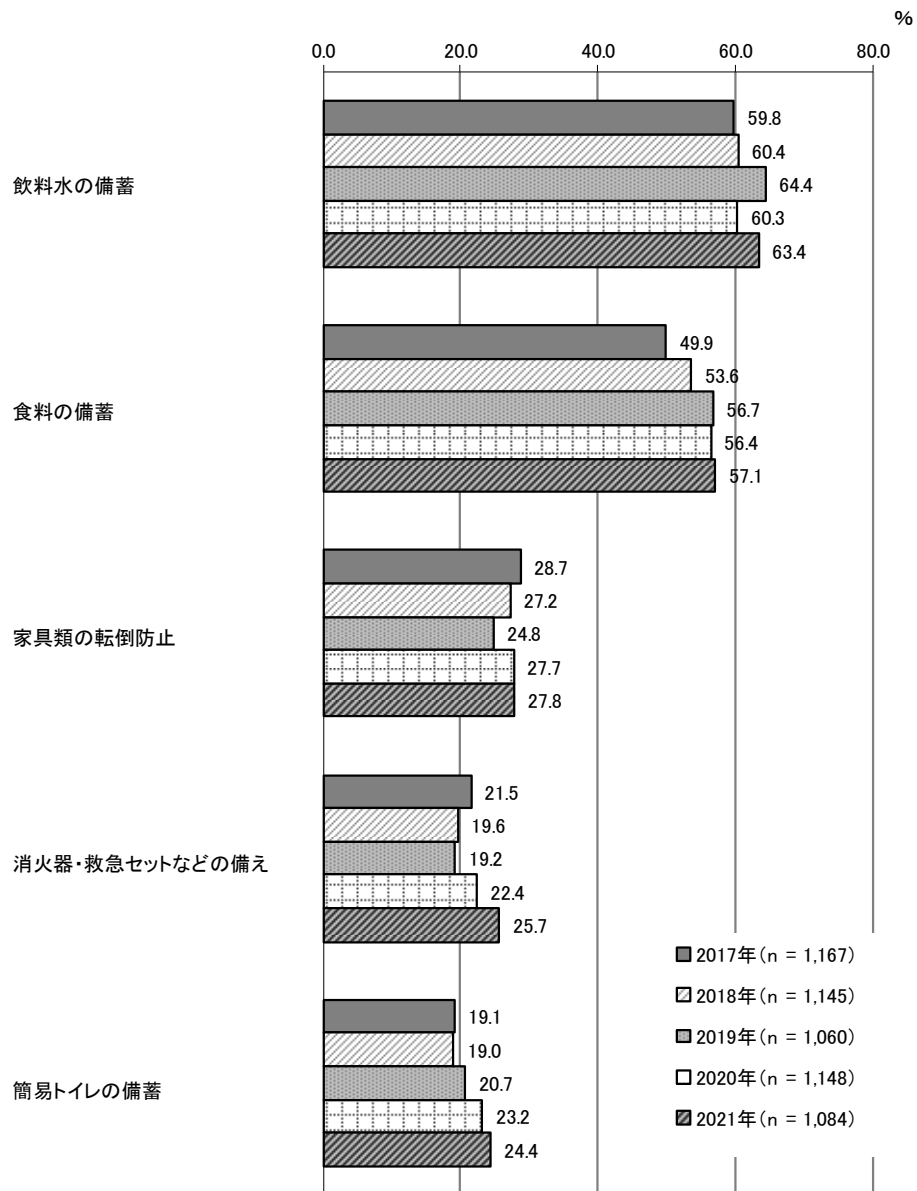
(1) 家庭での備え

「飲料水の備蓄」が6割前半で最も高い



地震災害に備えて家庭内で行っている対策を聞いたところ、「飲料水の備蓄」(63.4%)が6割前半で最も高く、次いで「食料の備蓄」(57.1%)、「家具類の転倒防止」(27.8%)となっている。

過去5年間の調査との比較（2021年上位5項目を対象）



性別で見ると、「飲料水の備蓄」、「食料の備蓄」、「家具類の転倒防止」、「消火器・救急セットなどの備え」、「簡易トイレの備蓄」、「風呂などへの水のため置き」、「家庭での連絡方法などの話し合い」は男性に比べ女性でそれぞれやや高くなっている。

年代別にみると、「飲料水の備蓄」、「家具類の転倒防止」は40歳代～70歳以上で、「風呂などへの水のため置き」は70歳以上で、それぞれ高くなっている。

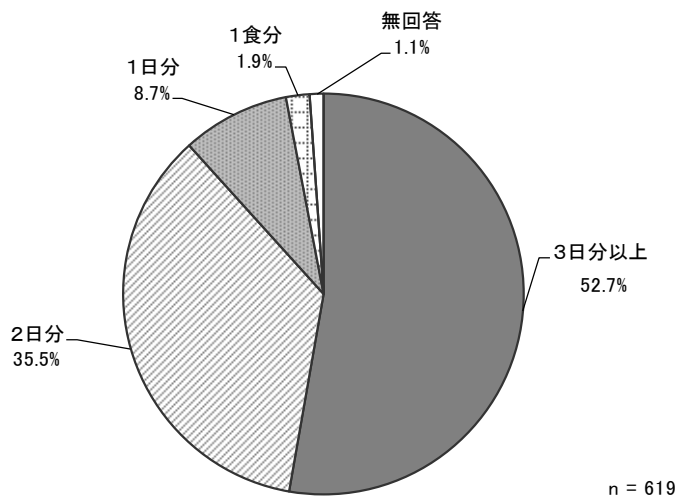
		飲料水の備蓄	食料の備蓄	家具類の転倒防止	消火器・救急セットなどの備え	簡易トイレの備蓄	避難方法・避難場所の確認	風呂などへの水のため置き	話し合い	家庭での連絡方法などの話し合い	貴重品を持ち出す準備	救急用具の備え	バールやハンマーなどの	建物の補強	地域の防災訓練への参加	救命救助の講習会への参加	その他	対策は特に行っていない	無回答
全体(n=1,084)		63.4	57.1	27.8	25.7	24.4	23.4	18.9	18.1	14.7	6.5	5.1	4.9	3.7	0.6	17.6	2.0		
性別	男性(n=490)	57.3	52.0	24.5	21.2	18.6	21.8	15.1	14.5	12.2	7.8	3.9	3.7	2.2	0.2	22.4	2.7		
	女性(n=564)	68.6	62.1	31.2	29.6	30.3	25.0	22.0	21.5	16.3	5.7	5.7	6.2	5.1	1.1	13.5	1.2		
年代別	20歳代(n=133)	51.1	49.6	22.6	20.3	20.3	12.8	9.8	9.8	9.8	5.3	1.5	0.8	3.8	0.0	25.6	1.5		
	30歳代(n=178)	57.3	52.8	14.0	18.5	24.7	15.2	6.2	11.8	9.0	2.2	1.1	2.2	1.1	0.6	25.3	2.2		
	40歳代(n=175)	69.1	65.1	32.6	25.7	30.9	28.6	13.1	23.4	11.4	7.4	3.4	3.4	6.3	0.0	16.6	0.0		
	50歳代(n=181)	67.4	54.7	32.6	25.4	21.0	24.9	14.9	21.0	14.4	6.1	6.1	4.4	2.2	2.2	16.0	2.2		
	60歳代(n=155)	67.1	58.7	32.9	32.9	24.5	27.7	25.8	22.6	20.6	9.7	7.1	6.5	4.5	1.3	14.8	1.3		
	70歳以上(n=241)	64.7	59.3	31.5	29.5	24.9	27.8	36.5	18.7	19.1	7.9	7.9	10.0	4.6	0.0	11.6	3.7		

(2) 食料の備蓄量

「3日分以上」が5割前半

【問 23 で「1. 食料の備蓄」と答えた方に】

問 23-1 備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ)



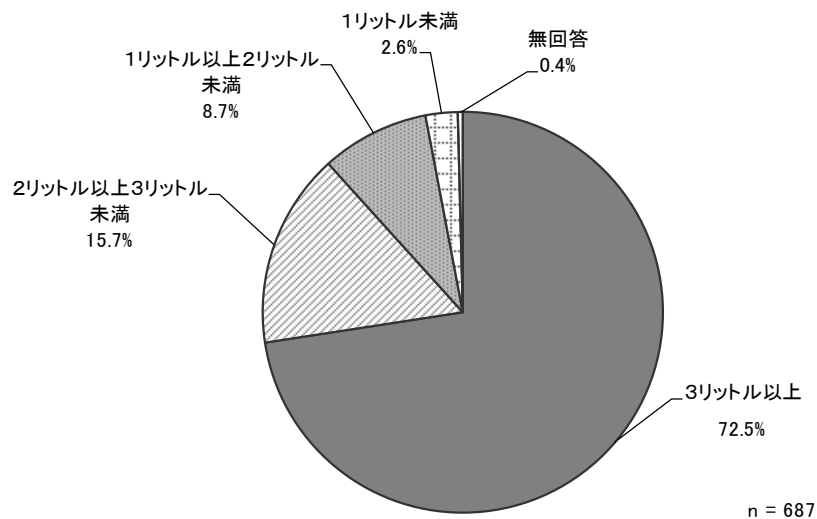
食料を備蓄している人に、食料の備蓄量を聞いたところ、「3日分以上」(52.7%)が5割前半で最も高く、次いで「2日分」(35.5%)、「1日分」(8.7%)となっている。

(3) 飲料水の備蓄量

「3リットル以上」が7割前半

【問 23 で「2. 飲料水の備蓄」と答えた方に】

問 23-2 備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ)

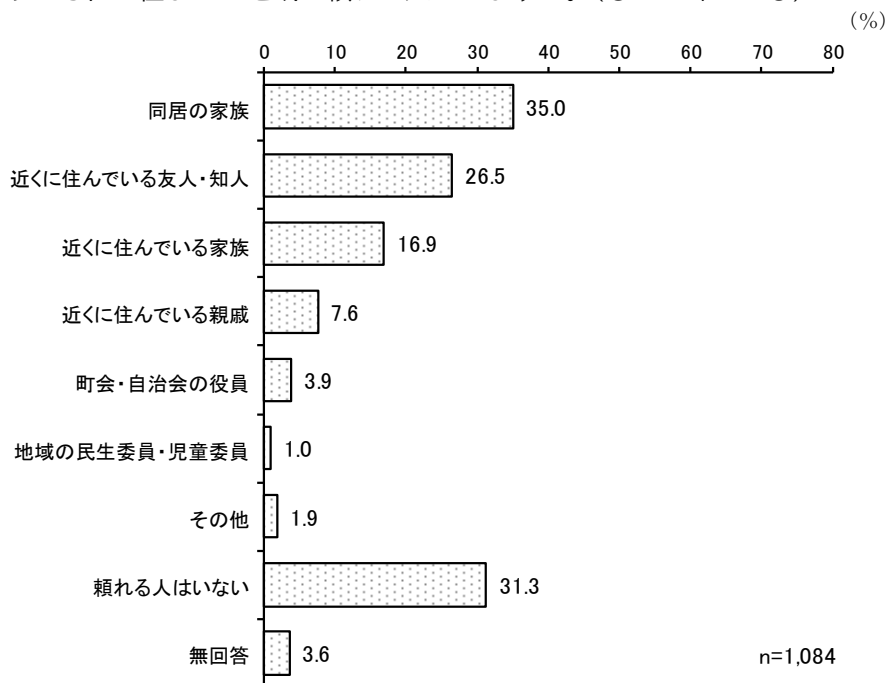


飲料水を備蓄している人に、飲料水の備蓄量を聞いたところ、「3リットル以上」(72.5%)が7割前半で最も高く、次いで「2リットル以上3リットル未満」(15.7%)、「1リットル以上2リットル未満」(8.7%)となっている。

(4) 地域で頼れる人の有無と属性

「同居の家族」が3割半ばで最も高い。「頼れる人はいない」は約3割

問24 いざというとき、お住まいの地域に頼れる人はいますか。(○はいくつでも)



いざというとき、お住まいの地域で頼れる人はいるか（複数回答）を聞いたところ、「同居の家族」（35.0%）が3割半ばで最も高く、次いで「近くに住んでいる友人・知人」（26.5%）、「近くに住んでいる家族」（16.9%）となっている。一方、「頼れる人はいない」（31.3%）は約3割となっている。

性別で見ると、「同居の家族」は男性に比べ女性で、「頼れる人はいない」は女性に比べ男性で、それぞれ高くなっている。

年代別にみると、「同居の家族」は50歳代～70歳以上で高くなっている。一方、「頼れる人はいない」は20歳代～40歳代で高くなっている。

		同居の家族	近くに住んでいる友人・知人	近くに住んでいる家族	近くに住んでいる親戚	町会・自治会の役員	地域の民生委員・児童委員	その他	頼れる人はいない	無回答
全体 (n=1,084)		35.0	26.5	16.9	7.6	3.9	1.0	1.9	31.3	3.6
性別	男性 (n=490)	27.6	23.3	14.9	9.0	4.5	1.0	1.4	36.7	4.5
	女性 (n=564)	41.5	29.8	18.8	6.6	3.4	1.1	2.5	26.1	2.5
年代別	20歳代 (n=133)	30.1	30.1	7.5	6.0	1.5	0.8	2.3	39.8	2.3
	30歳代 (n=178)	25.8	24.7	14.6	9.0	0.6	0.0	1.7	37.1	3.9
	40歳代 (n=175)	29.1	30.3	13.7	6.9	1.7	1.1	0.6	40.6	1.1
	50歳代 (n=181)	41.4	21.5	13.8	9.9	5.0	0.0	2.2	29.3	3.9
	60歳代 (n=155)	40.0	29.0	20.6	4.5	3.9	1.9	2.6	29.0	2.6
	70歳以上 (n=241)	41.5	25.7	27.0	8.3	8.3	2.1	2.5	18.3	5.0

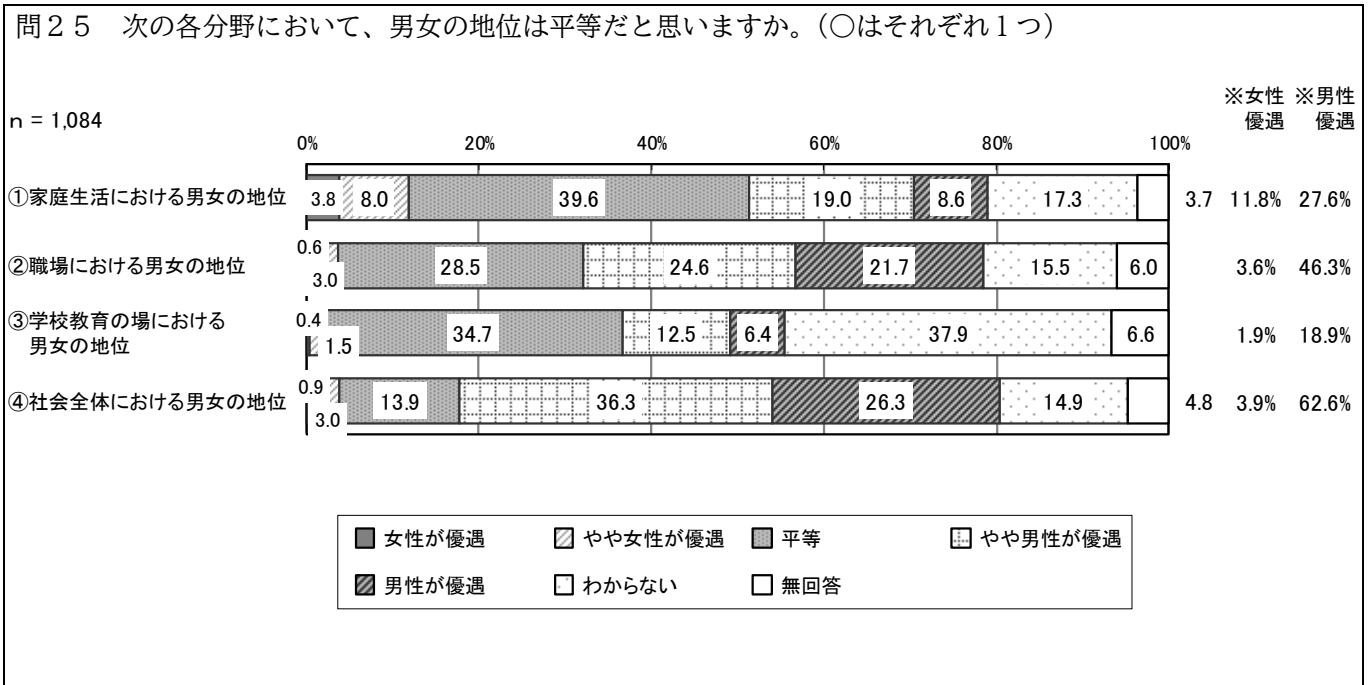
居住地域別にみると、「同居の家族」は鷺宮で高くなっている。一方、「頼れる人はいない」は江原町で、やや高くなっている。

		同居の家族	近くに住んでいる友人・知人	近くに住んでいる家族	近くに住んでいる親戚	町会・自治会の役員	地域の民生委員・児童委員	その他	頼れる人はいない	無回答
全体(n=1,084)		35.0	26.5	16.9	7.6	3.9	1.0	1.9	31.3	3.6
居住地域別	南台(n=64)	29.7	37.5	17.2	7.8	6.3	0.0	0.0	31.3	3.1
	弥生町(n=91)	35.2	27.5	22.0	6.6	2.2	1.1	2.2	27.5	4.4
	本町(n=101)	38.6	22.8	16.8	4.0	5.0	2.0	1.0	35.6	3.0
	中央(n=84)	38.1	20.2	21.4	7.1	4.8	1.2	3.6	27.4	1.2
	東中野(n=73)	28.8	37.0	15.1	8.2	1.4	0.0	0.0	28.8	2.7
	中野(n=100)	34.0	23.0	13.0	5.0	5.0	1.0	3.0	34.0	4.0
	上高田(n=66)	42.4	27.3	19.7	7.6	3.0	0.0	4.5	34.8	1.5
	新井(n=58)	25.9	24.1	13.8	10.3	1.7	1.7	3.4	32.8	5.2
	沼袋(n=34)	41.2	26.5	11.8	5.9	2.9	0.0	0.0	35.3	2.9
	松が丘(n=18)	55.6	38.9	11.1	16.7	11.1	0.0	0.0	16.7	0.0
	江原町(n=31)	25.8	22.6	9.7	6.5	0.0	3.2	3.2	45.2	3.2
	江古田(n=54)	29.6	25.9	20.4	9.3	3.7	3.7	3.7	33.3	0.0
	丸山(n=21)	42.9	28.6	19.0	4.8	4.8	0.0	4.8	28.6	0.0
	野方(n=67)	40.3	29.9	17.9	3.0	3.0	3.0	1.5	22.4	4.5
	大和町(n=47)	25.5	29.8	23.4	10.6	4.3	0.0	0.0	21.3	12.8
	若宮(n=42)	38.1	31.0	14.3	9.5	0.0	0.0	2.4	26.2	9.5
	白鷺(n=27)	25.9	18.5	11.1	11.1	7.4	0.0	0.0	51.9	0.0
鷺宮(n=58)	43.1	20.7	15.5	8.6	5.2	0.0	1.7	36.2	1.7	
上鷺宮(n=17)	47.1	23.5	17.6	23.5	5.9	0.0	0.0	23.5	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

15 人権・男女共同参画について
 (1) 男女の地位の平等感

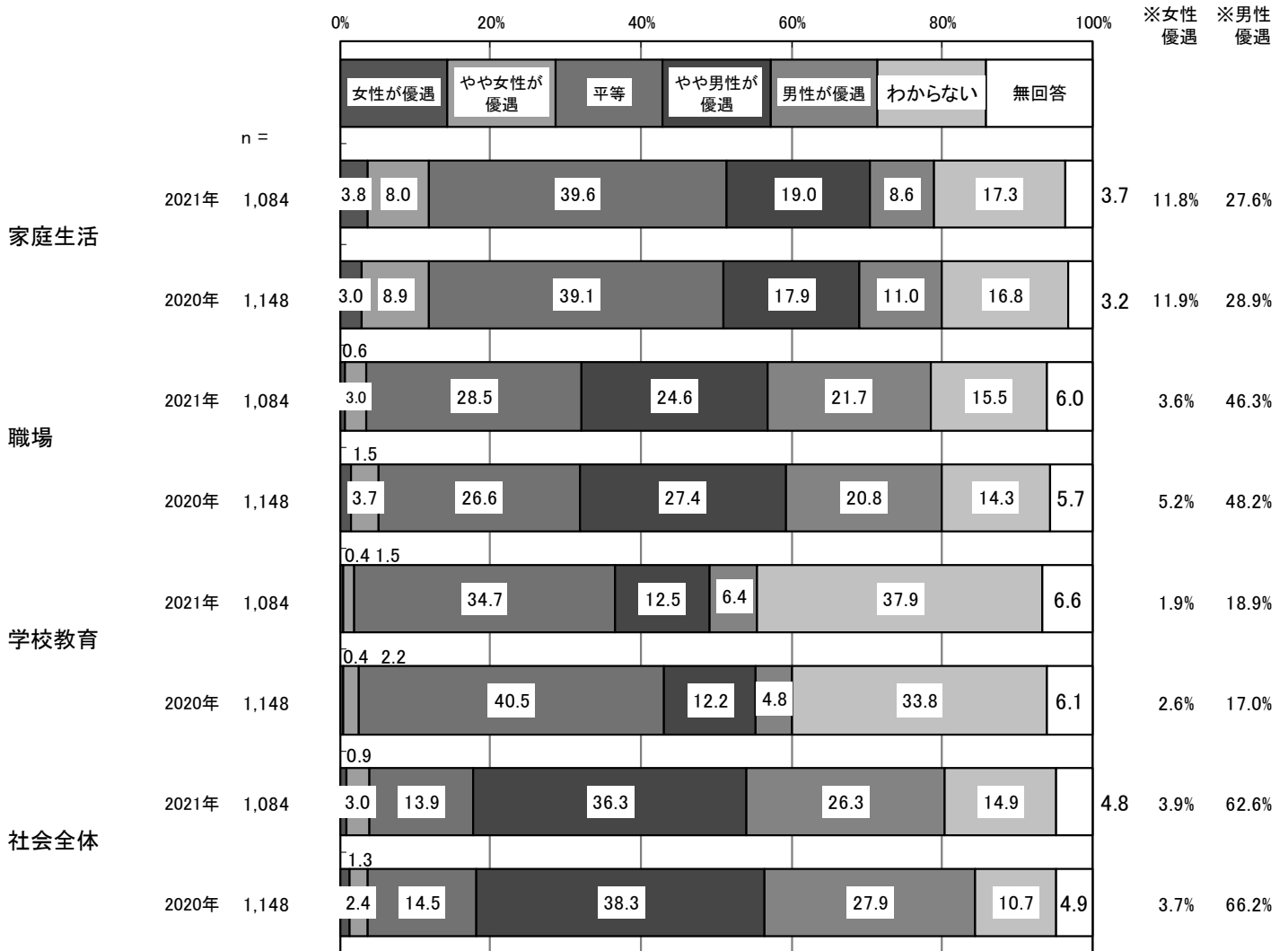
『家庭生活における男女の地位』で「平等」が約4割



4つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『①家庭生活における男女の地位』(39.6%)であり、次いで『③学校教育の場における男女の地位』(34.7%)、『②職場における男女の地位』(28.5%)、『④社会全体における男女の地位』(13.9%)となっている。

4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた「男性優遇」が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた「女性優遇」を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、「男性優遇」(62.6%)と「女性優遇」(3.9%)の格差が58.7ポイントと最も大きくなっている。

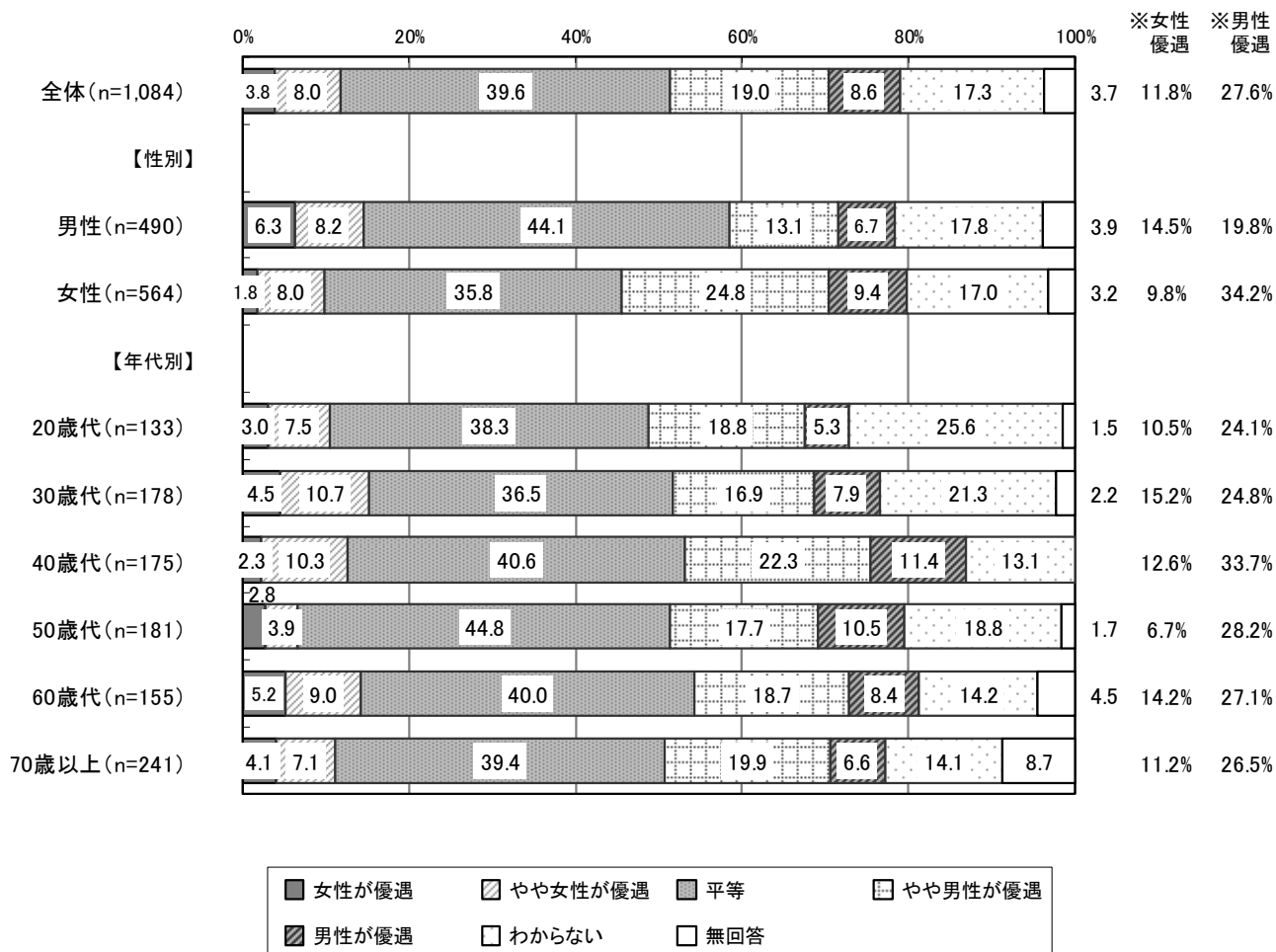
男女の地位の平等感について、前回（2020年）と比較した結果は、以下のとおりである。



① 家庭生活における男女の地位

性別で見ると、「平等」は女性に比べ男性で、「男性優遇」は男性に比べ女性で、それぞれやや高くなっている。

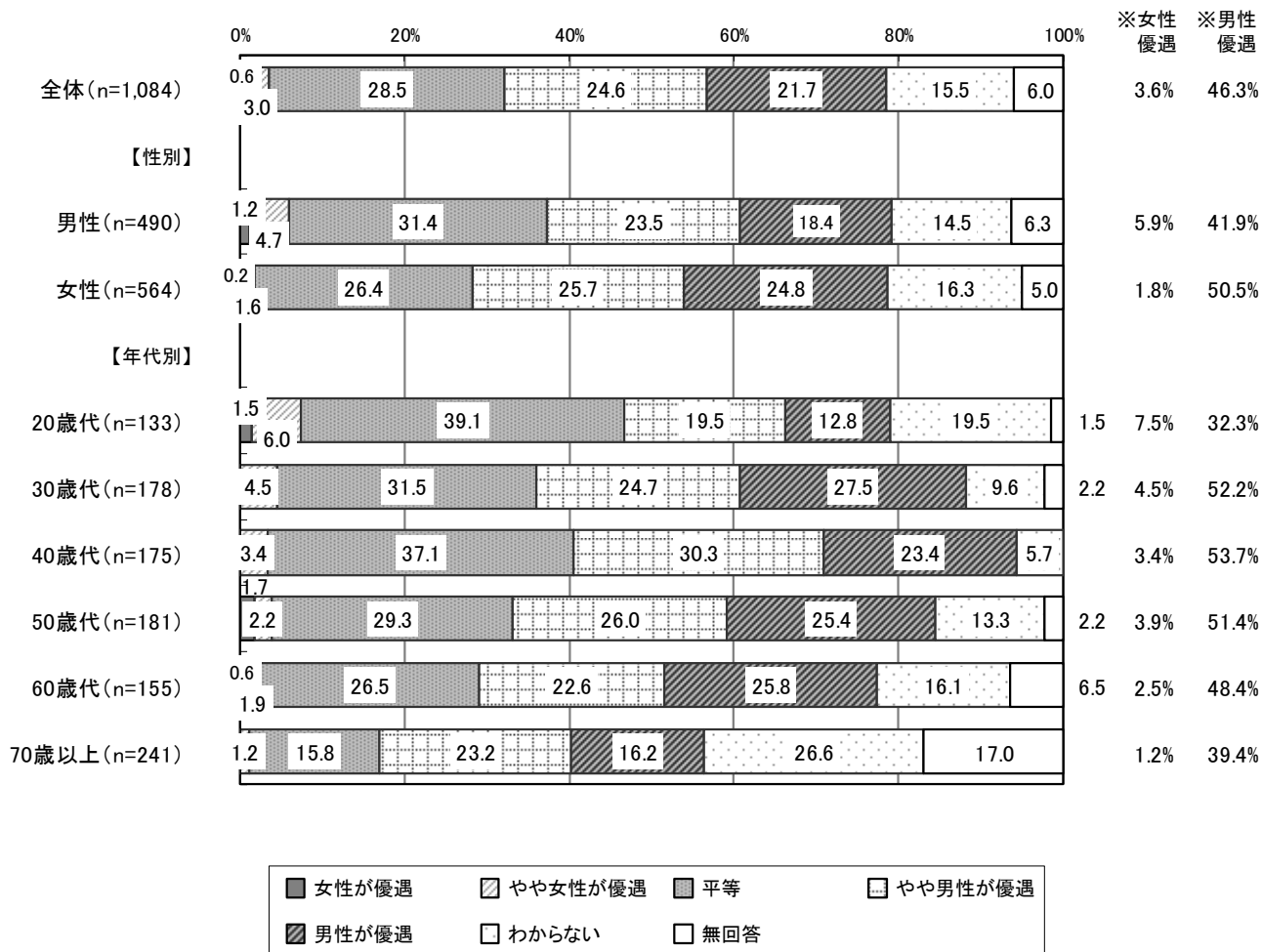
年代別にみると、「平等」は50歳代で4割半ばとやや高く、「男性優遇」は40歳代で3割前半とやや高くなっている。



② 職場における男女の地位

性別で見ると、「平等」は女性に比べ男性で、「男性優遇」は男性に比べ女性で、それぞれやや高くなっている。

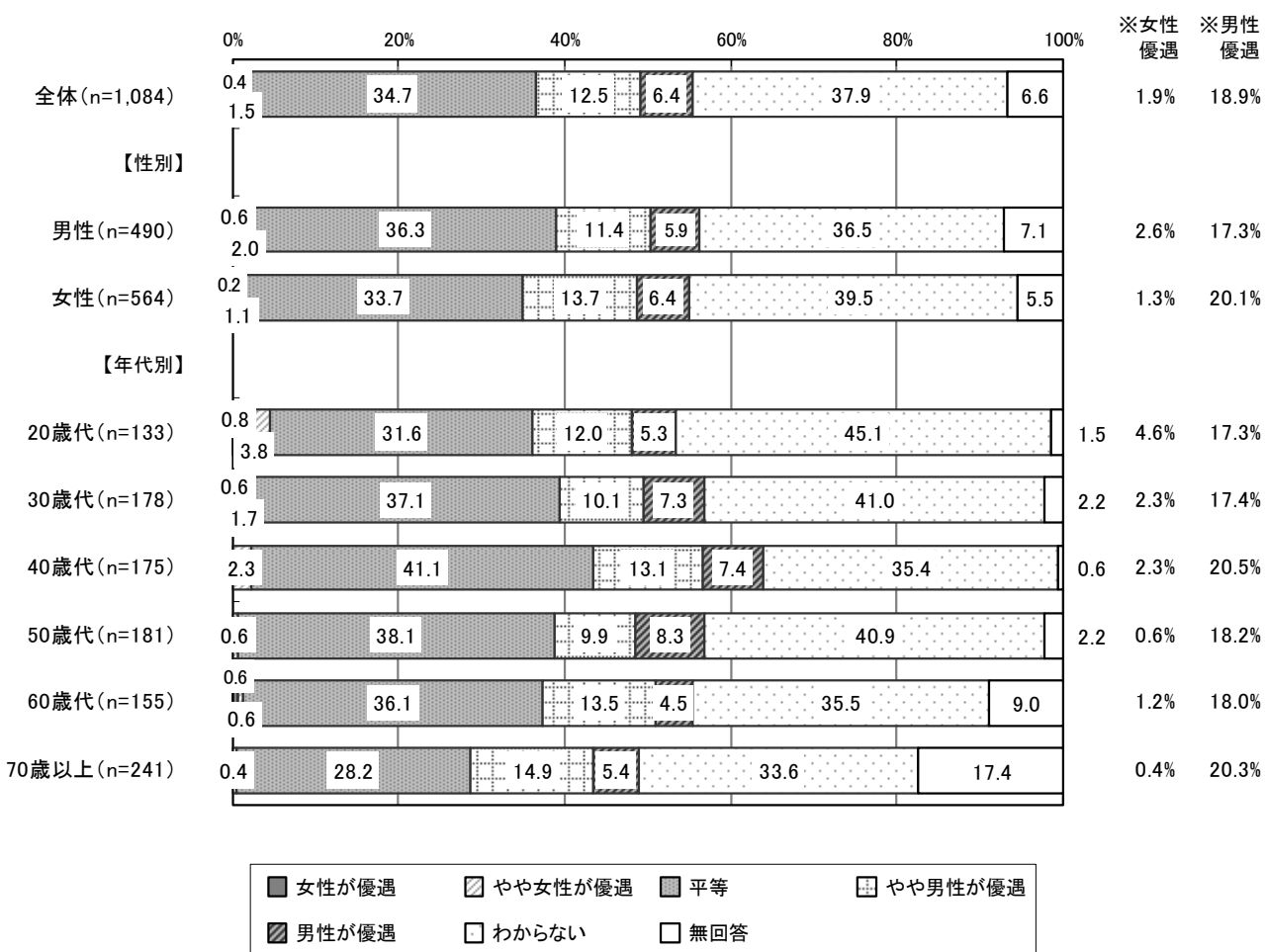
年代別にみると、「平等」は20歳代で約4割と高く、「男性優遇」は40歳代で5割前半とやや高くなっている。



③ 学校教育の場における男女の地位

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

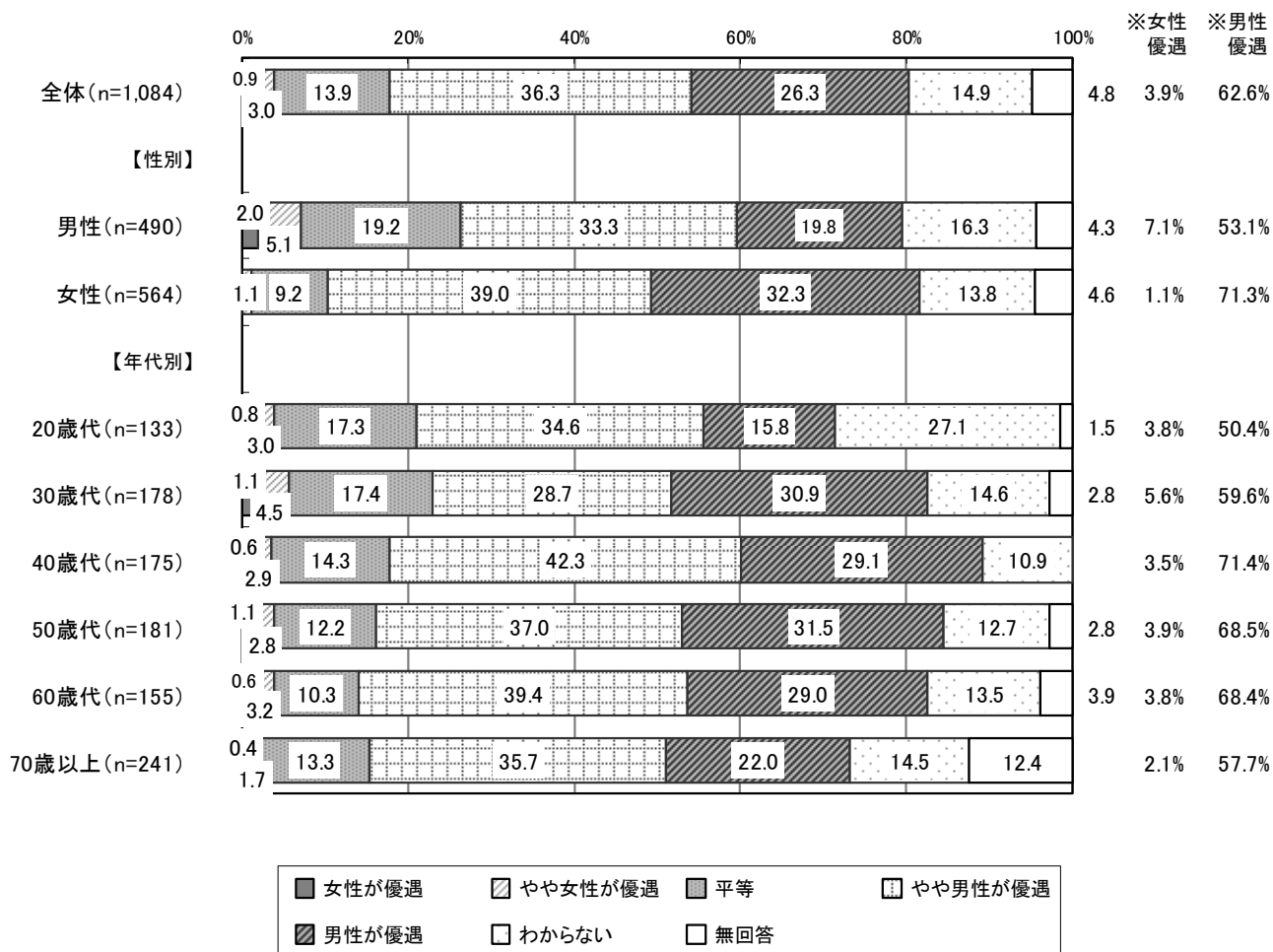
年代別にみると、「男性優遇」は40歳代で約2割とやや高くなっている。



④ 社会全体における男女の地位

性別でみると、「平等」は女性に比べ男性で、「男性優遇」は男性に比べ女性で、それぞれやや高くなっている。

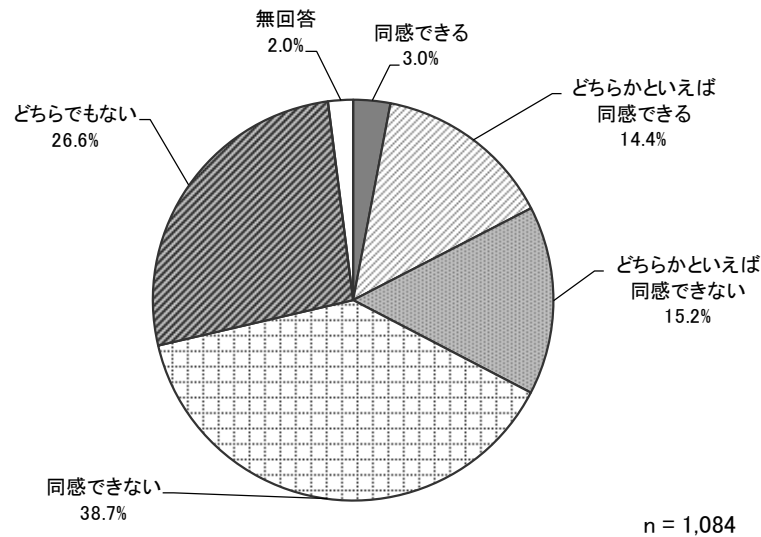
年代別にみると、「男性優遇」は40歳代で約7割とやや高くなっている。



(2) 性別役割分担意識の同感度

「同感できる」が1割後半、「同感できない」が5割前半

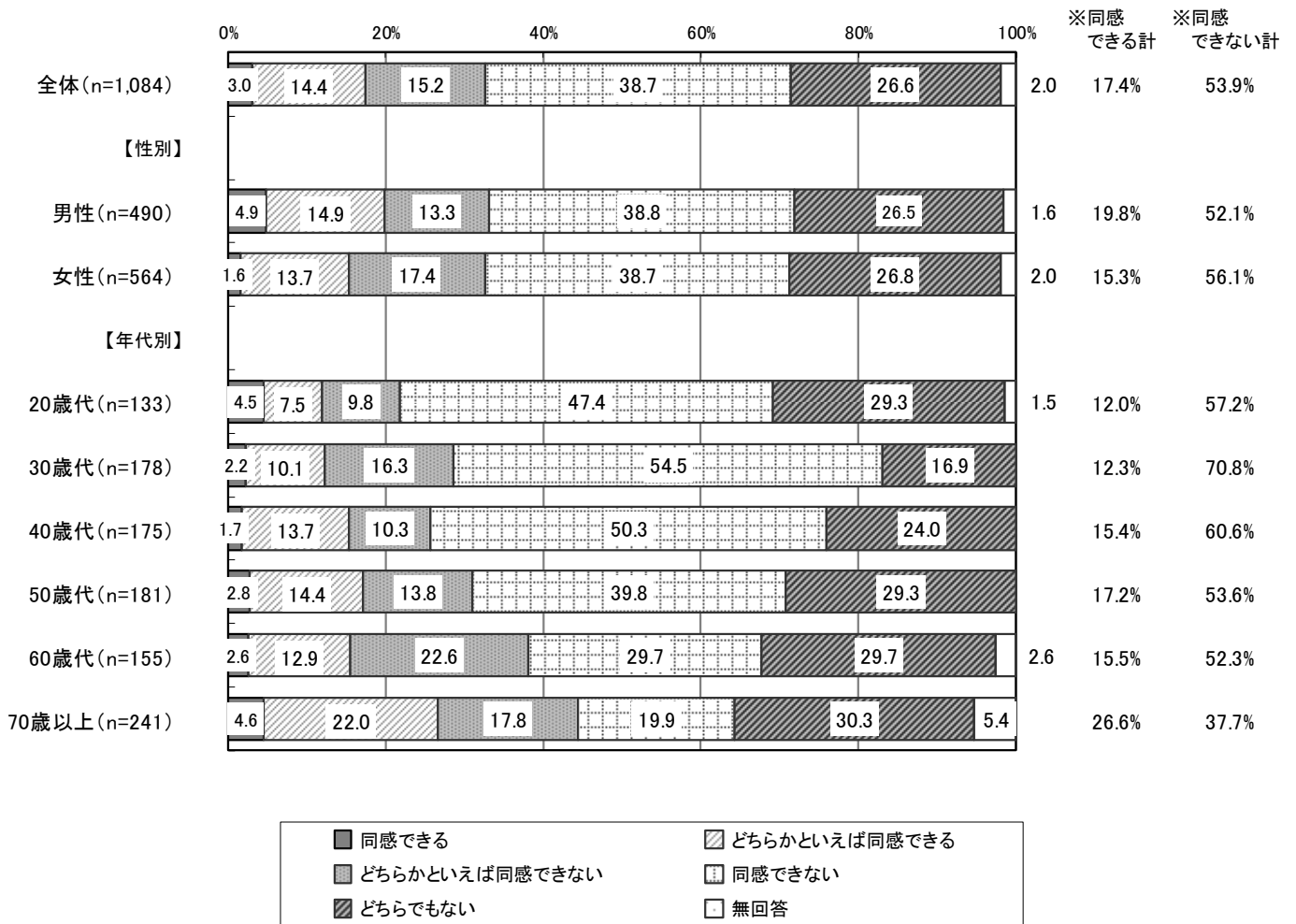
問 26 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。(○は1つ)



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について同感できるか否かを聞いたところ、「同感できる」(3.0%)と「どちらかといえば同感できる」(14.4%)を合わせた「同感できる」(17.4%)が1割後半、「どちらかといえば同感できない」(15.2%)と「同感できない」(38.7%)を合わせた「同感できない」(53.9%)が5割前半で、「同感できない」が36.5ポイント高くなっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「同感できる」は70歳以上で2割半ば、「同感できない」は30歳代で約7割と高くなっている。

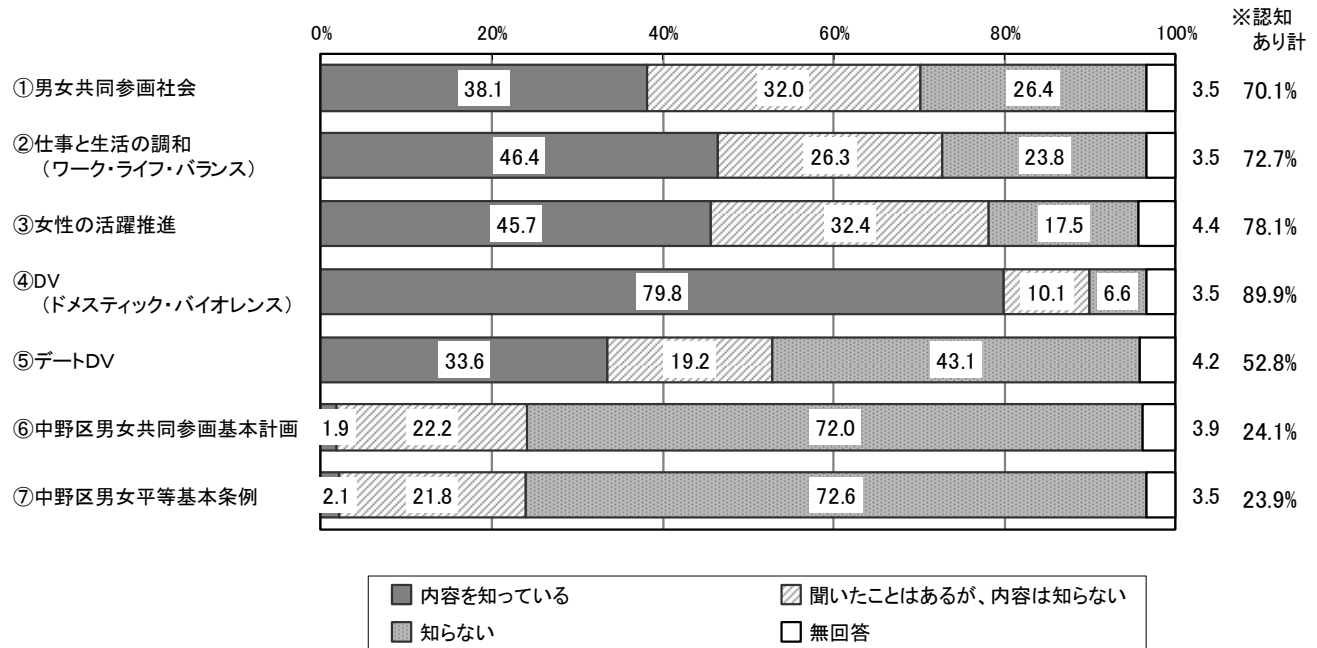


(3) 男女共同参画関連用語の認知度

『DV』の「内容を知っている」が約8割

問 27 次の男女共同参画社会に関連する用語について、見たり聞いたりしたことはありますか。
(○はそれぞれ1つ)

n = 1,084

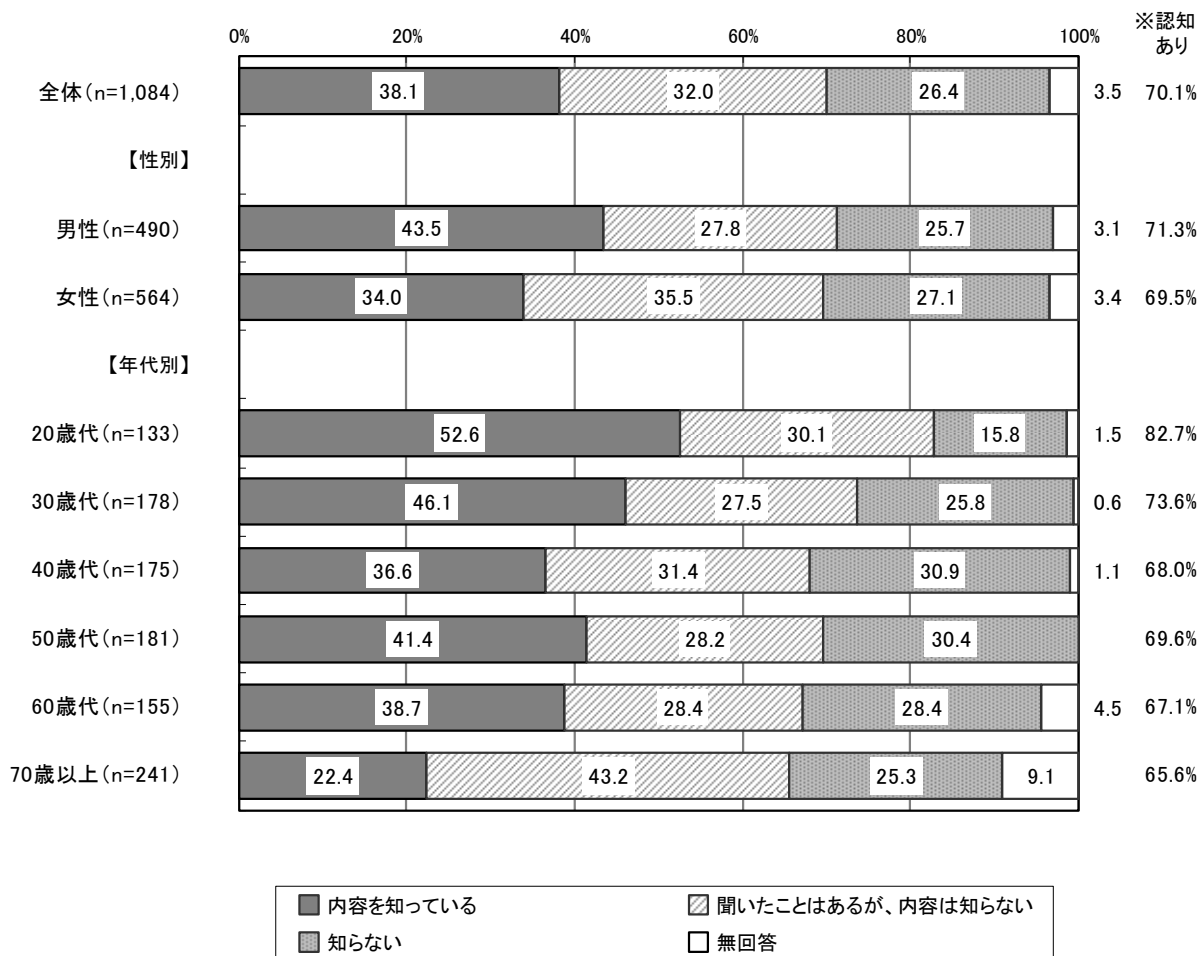


男女共同参画関連用語の認知度を聞いたところ、「内容を知っている」は『④DV (ドメスティック・バイオレンス)』(79.8%)で約8割と最も高く、次いで『②仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)』(46.4%)、『③女性の活躍推進』(45.7%)となっている。

① 男女共同参画社会

性別で見ると、「内容を知っている」は女性に比べ男性でやや高くなっている。

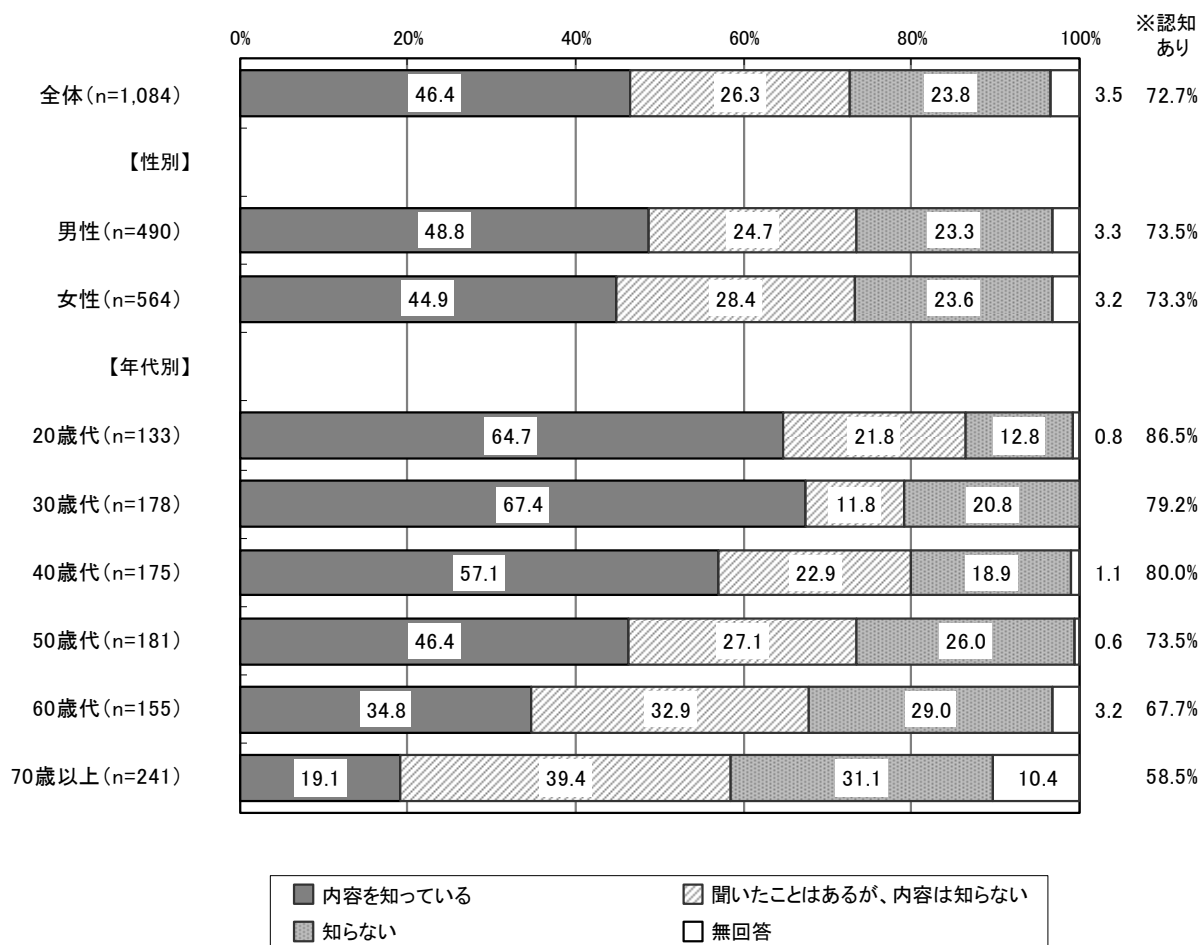
年代別にみると、「内容を知っている」は20歳代では5割前半と高く、年代が高くなるにつれ徐々に低くなる傾向にある。



② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

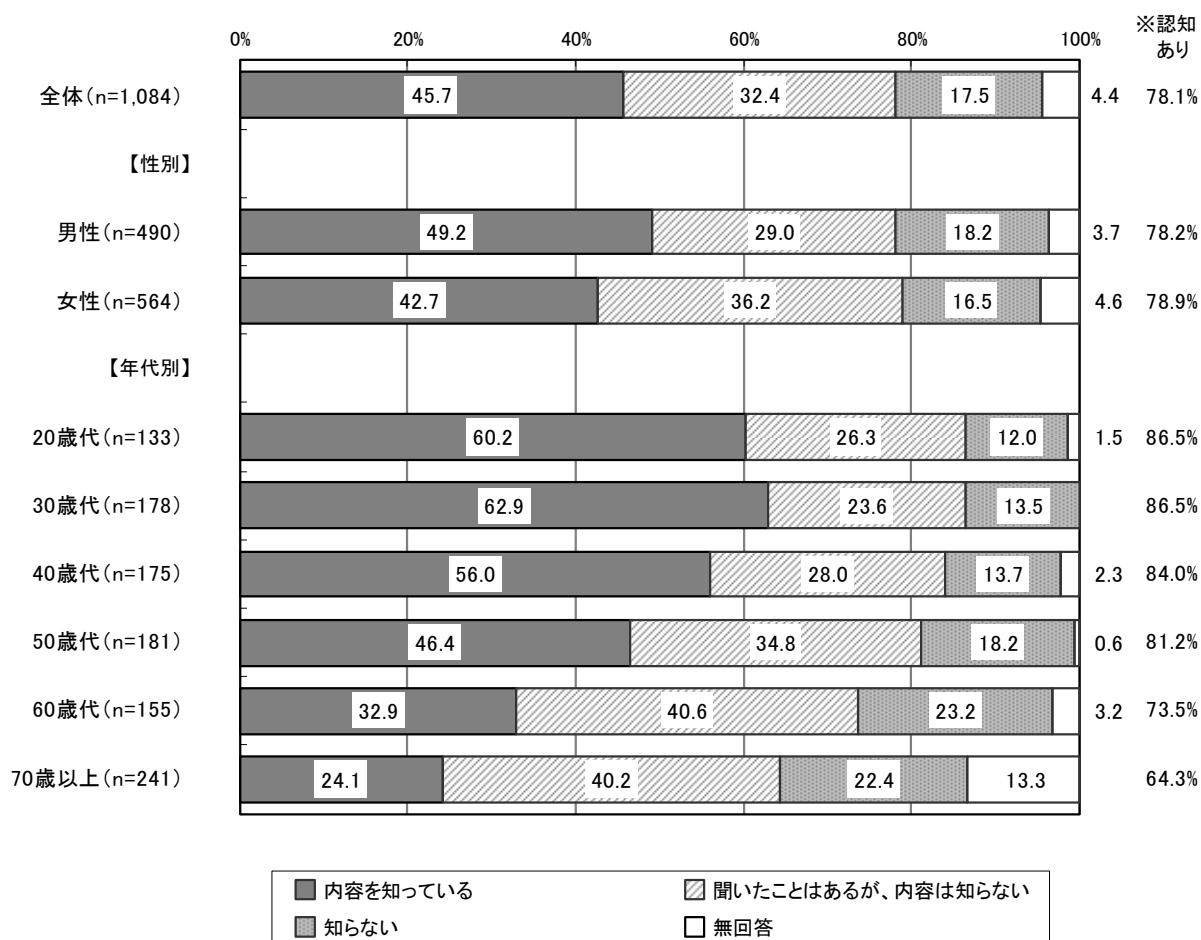
性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「内容を知っている」は年代が高くなるにつれ徐々に低くなる傾向にあり、30歳代では6割後半と最も高くなっている。一方、70歳以上は約2割と低くなっている。



③ 女性の活躍推進

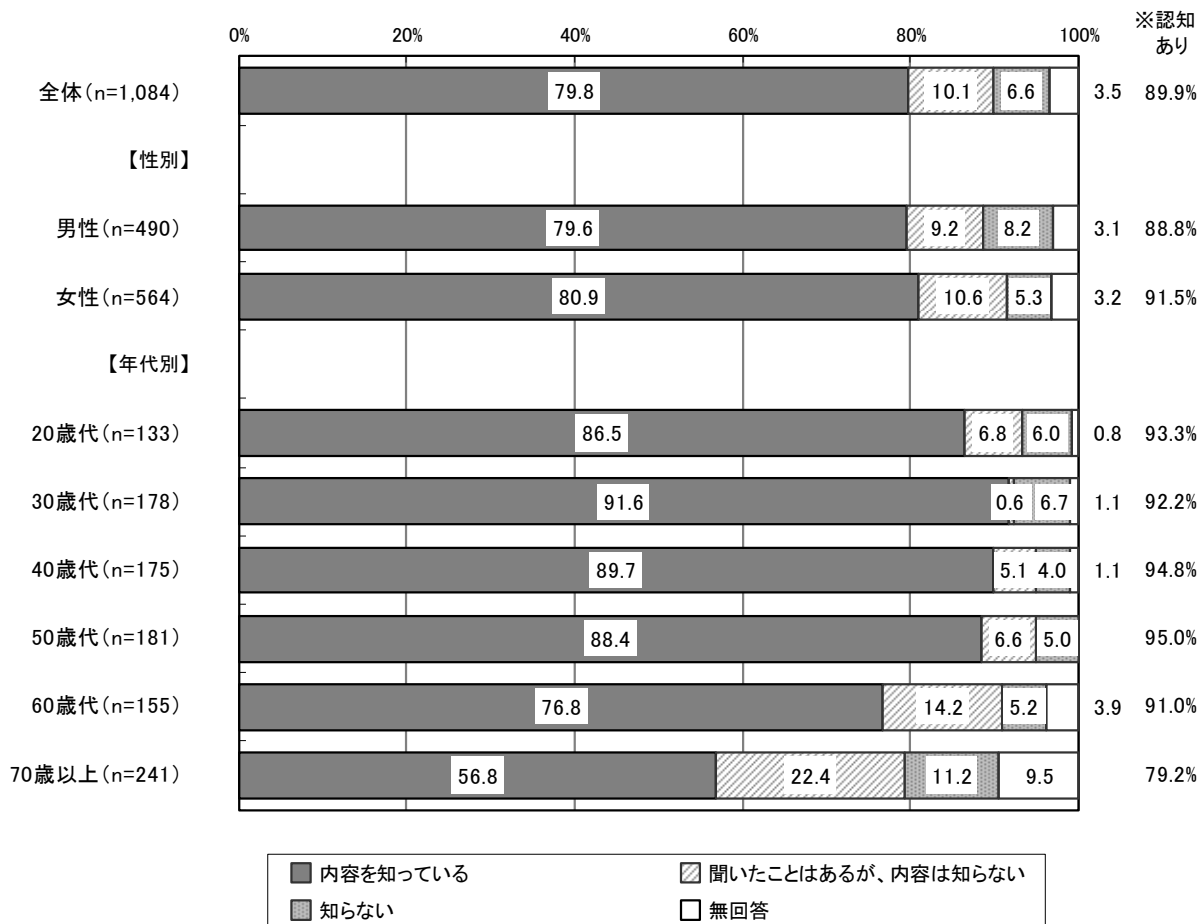
性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は男性に比べ女性で、やや高くなっている。年代別にみると、「内容を知っている」は年代が高くなるにつれ徐々に低くなる傾向にあり、30歳代では6割前半と最も高くなっている。一方、70歳以上は2割半ばと低くなっている。



④ DV（ドメスティック・バイオレンス）

性別でみると、特徴的な差はみられない。

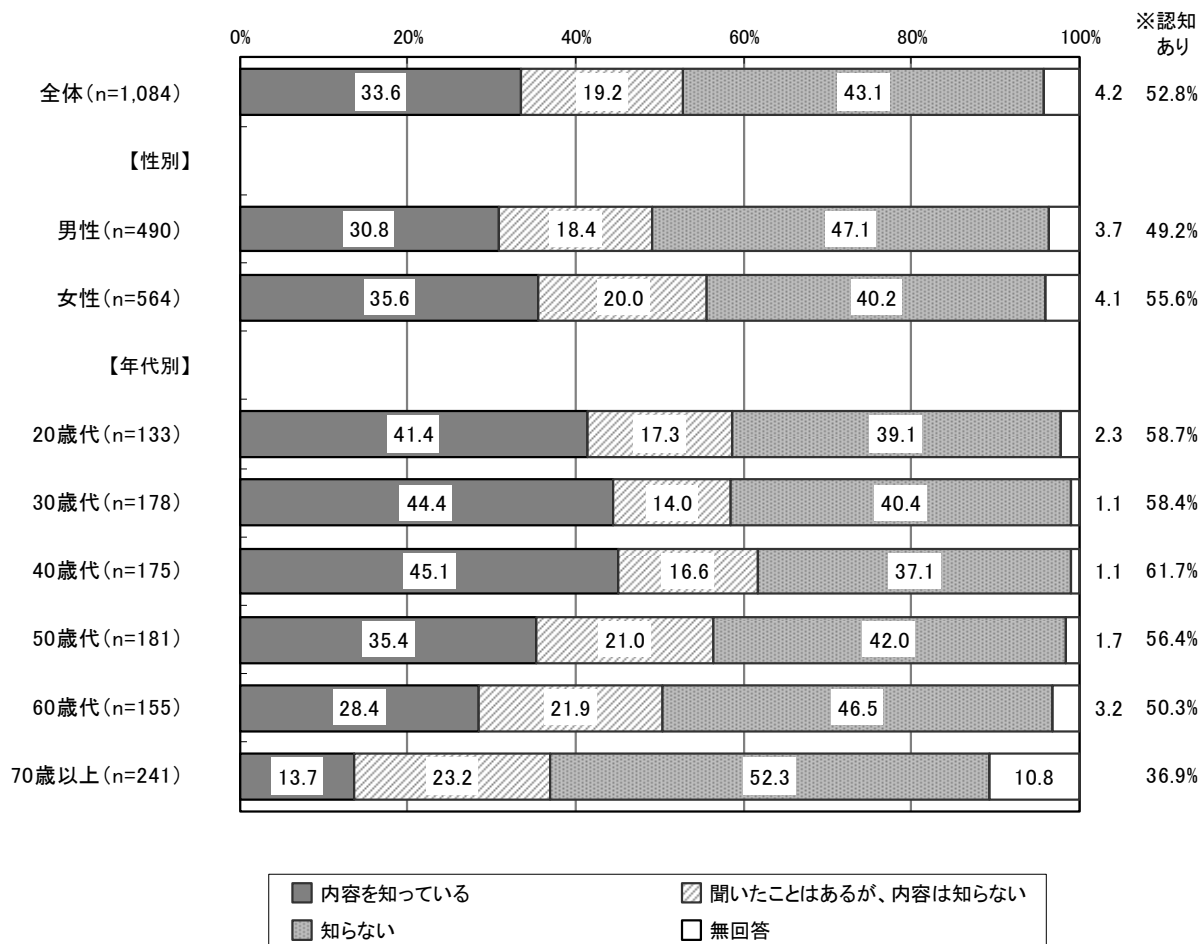
年代別にみると、「内容を知っている」は20歳代から50歳代の各年代で8割半ばを超え、30歳代では約9割と高くなっている。一方、70歳以上は5割半ばと低くなっている。



⑤ デートDV

性別で見ると、「知らない」は女性に比べ男性でやや高くなっている。

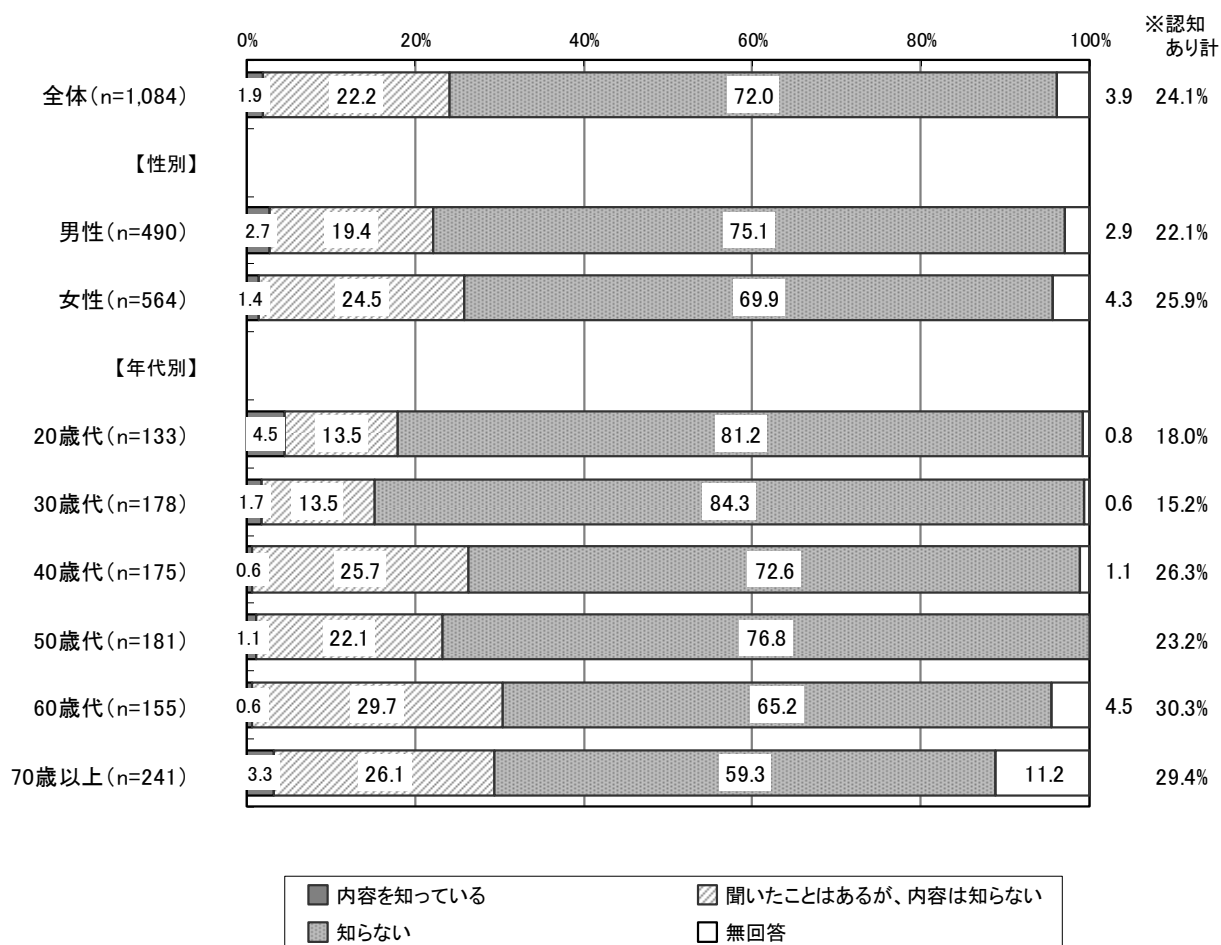
年代別にみると、「内容を知っている」は20歳代から40歳代の各年代で約4割を超え、40歳代では4割半ばと最も高くなっている。一方、70歳以上は1割前半と低くなっている。



⑥ 中野区男女共同参画基本計画

性別でみると、「知らない」は女性に比べ男性でやや高くなっている。

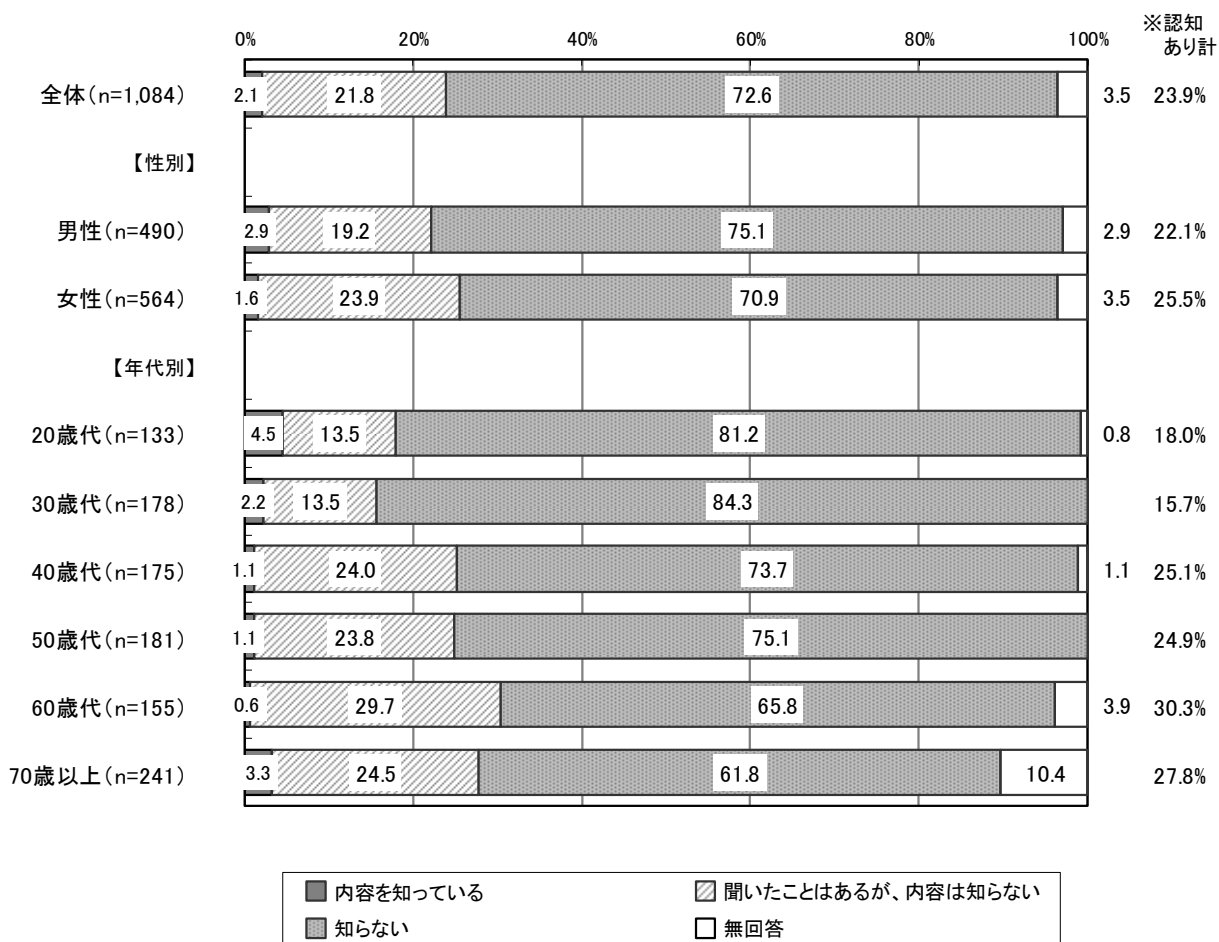
年代別でみると、「認知あり」は60歳代、70歳以上で約3割であるが、30歳代では1割半ばと低くなっている。



⑦ 中野区男女平等基本条例

性別でみると、特徴的な差はみられない。

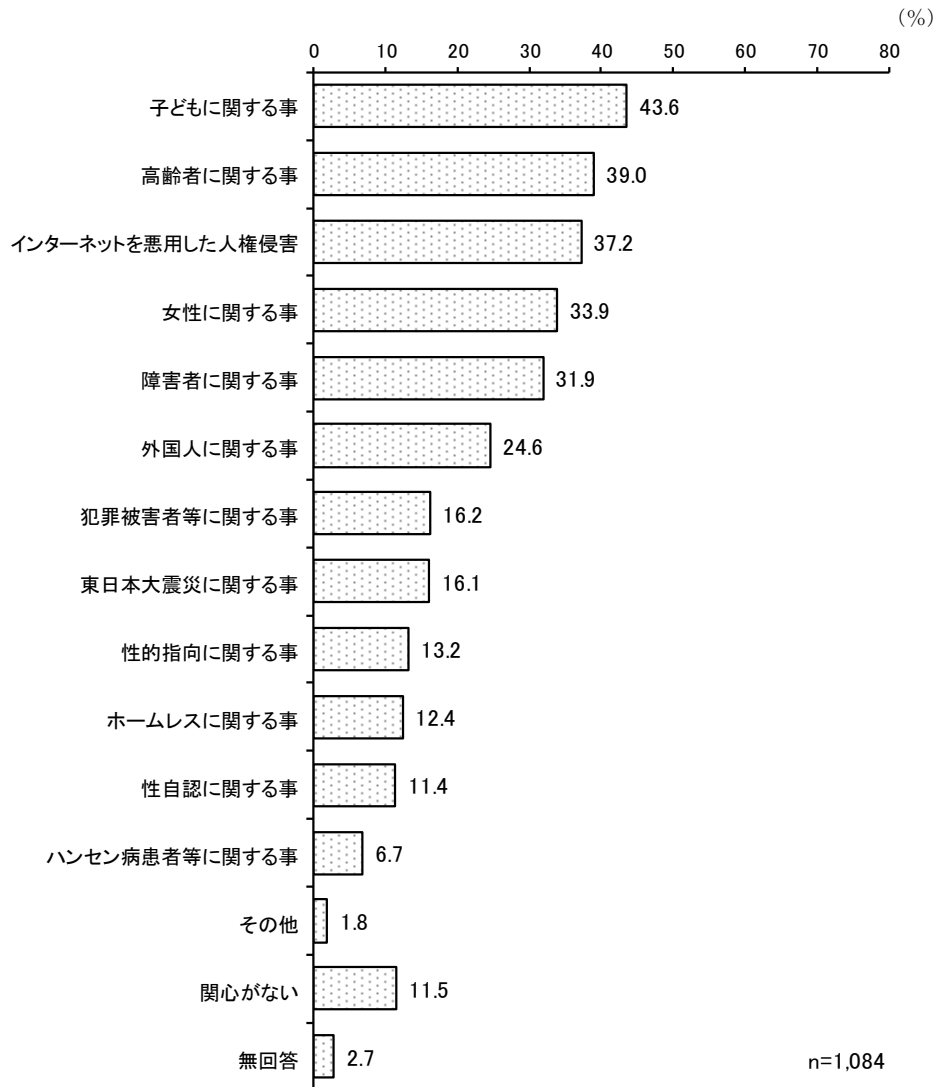
年代別でみると、《認知あり》は60歳代で約3割であるが、30歳代では1割半ばと低くなっている。



(4) 関心のある人権問題

「子どもに関する事」が4割前半

問 28 次の人権問題について、関心のあるものを教えてください。(○はいくつでも)



関心のある人権問題（複数回答）を聞いたところ、「子どもに関する事」（43.6%）が4割前半で最も高く、次いで「高齢者に関する事」（39.0%）、「インターネットを悪用した人権侵害」（37.2%）となっている。

性別で見ると、「子どもに関する事」、「女性に関する事」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、「インターネットを悪用した人権侵害」は50歳代で、「子どもに関する事」は30歳代、40歳代で、「外国人に関する事」、「性自認に関する事」は20歳代で、「高齢者に関する事」は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。

		子どもに関する事	高齢者に関する事	インターネットを悪用した人権侵害	女性に関する事	障害者に関する事	外国人に関する事	犯罪被害者等に関する事	東日本大震災に関する事	性的指向に関する事	ホームレスに関する事	性自認に関する事	ハンセン病患者等に関する事	その他	関心がない	無回答
全体(n=1,084)		43.6	39.0	37.2	33.9	31.9	24.6	16.2	16.1	13.2	12.4	11.4	6.7	1.8	11.5	2.7
性別	男性(n=490)	39.4	34.3	38.8	21.6	31.0	27.6	17.1	14.9	13.5	14.3	12.2	6.7	2.0	14.1	2.9
	女性(n=564)	47.7	42.6	35.5	44.7	32.4	22.5	16.0	16.8	12.8	10.6	10.6	6.6	1.4	9.4	2.0
年代別	20歳代(n=133)	38.3	21.8	35.3	42.1	21.1	33.8	11.3	15.0	21.8	12.8	21.8	3.0	0.8	15.8	1.5
	30歳代(n=178)	53.4	17.4	30.9	41.0	24.7	28.7	14.0	12.4	14.6	12.9	16.3	2.2	1.1	12.9	0.6
	40歳代(n=175)	52.0	22.9	40.0	38.3	32.6	25.7	20.6	14.3	18.9	14.3	14.3	5.7	2.9	13.1	1.1
	50歳代(n=181)	42.5	37.6	43.6	33.1	37.0	23.2	18.8	17.1	12.2	12.2	10.5	8.3	3.3	11.0	1.1
	60歳代(n=155)	39.4	53.5	41.3	29.7	33.5	20.0	11.6	13.5	9.7	12.9	8.4	8.4	1.3	13.5	2.6
	70歳以上(n=241)	38.2	68.0	33.2	24.9	37.3	21.2	19.9	20.7	6.6	10.8	2.9	10.4	0.8	6.2	5.8

居住地域別にみると、「子どもに関する事」は東中野、上高田、江古田で、「高齢者に関する事」は上高田、沼袋、鷺宮で、「東日本大震災に関する事」は沼袋で、それぞれ高くなっている。

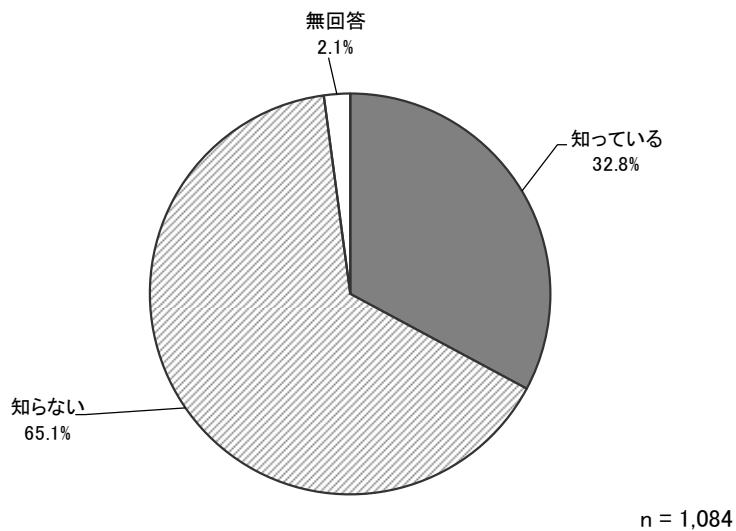
		子どもに関する事	高齢者に関する事	悪用したインターネットを侵害	女性に関する事	障害者に関する事	外国人に関する事	犯罪被害者等に関する事	東日本大震災に関する事	性的指向に関する事	ホームレスに関する事	性自認に関する事	ハンセン病患者等に関する事	その他	関心がない	無回答
全体 (n=1,084)		43.6	39.0	37.2	33.9	31.9	24.6	16.2	16.1	13.2	12.4	11.4	6.7	1.8	11.5	2.7
居住地域別	南台 (n=64)	46.9	46.9	40.6	37.5	43.8	23.4	20.3	17.2	20.3	12.5	15.6	6.3	0.0	10.9	0.0
	弥生町 (n=91)	44.0	34.1	31.9	38.5	23.1	20.9	15.4	19.8	12.1	7.7	8.8	5.5	2.2	12.1	4.4
	本町 (n=101)	41.6	45.5	33.7	31.7	30.7	23.8	17.8	18.8	8.9	12.9	11.9	5.0	2.0	7.9	6.9
	中央 (n=84)	40.5	39.3	46.4	47.6	32.1	28.6	25.0	15.5	22.6	11.9	23.8	9.5	1.2	10.7	1.2
	東中野 (n=73)	53.4	30.1	38.4	41.1	20.5	32.9	13.7	9.6	20.5	13.7	27.4	4.1	4.1	5.5	0.0
	中野 (n=100)	42.0	35.0	31.0	34.0	33.0	21.0	17.0	19.0	12.0	12.0	6.0	9.0	1.0	16.0	1.0
	上高田 (n=66)	50.0	51.5	43.9	40.9	42.4	37.9	15.2	13.6	10.6	12.1	9.1	7.6	1.5	4.5	1.5
	新井 (n=58)	44.8	36.2	37.9	24.1	36.2	22.4	15.5	13.8	8.6	10.3	6.9	8.6	0.0	12.1	3.4
	沼袋 (n=34)	38.2	50.0	38.2	23.5	26.5	23.5	17.6	26.5	2.9	17.6	5.9	8.8	0.0	2.9	0.0
	松が丘 (n=18)	50.0	50.0	33.3	38.9	38.9	16.7	11.1	11.1	11.1	27.8	16.7	16.7	0.0	27.8	5.6
	江原町 (n=31)	45.2	35.5	32.3	32.3	41.9	25.8	16.1	12.9	19.4	25.8	12.9	6.5	0.0	6.5	3.2
	江古田 (n=54)	50.0	29.6	46.3	29.6	25.9	29.6	25.9	18.5	11.1	14.8	7.4	5.6	1.9	11.1	1.9
	丸山 (n=21)	42.9	38.1	42.9	52.4	47.6	23.8	14.3	9.5	14.3	19.0	14.3	0.0	0.0	19.0	0.0
	野方 (n=67)	35.8	35.8	35.8	28.4	29.9	26.9	13.4	7.5	11.9	13.4	6.0	10.4	4.5	17.9	1.5
	大和町 (n=47)	34.0	29.8	31.9	17.0	31.9	19.1	6.4	19.1	10.6	10.6	8.5	2.1	2.1	21.3	4.3
	若宮 (n=42)	42.9	40.5	33.3	38.1	23.8	19.0	4.8	16.7	11.9	11.9	4.8	2.4	4.8	11.9	2.4
	白鷺 (n=27)	40.7	33.3	37.0	18.5	25.9	14.8	18.5	14.8	3.7	3.7	11.1	3.7	0.0	11.1	0.0
	鷺宮 (n=58)	48.3	50.0	34.5	27.6	41.4	25.9	15.5	13.8	13.8	8.6	10.3	3.4	1.7	8.6	3.4
上鷺宮 (n=17)	29.4	17.6	29.4	41.2	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	5.9	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 人権侵害に関する相談体制の認知度

「知っている」は3割前半、「知らない」が6割半ば

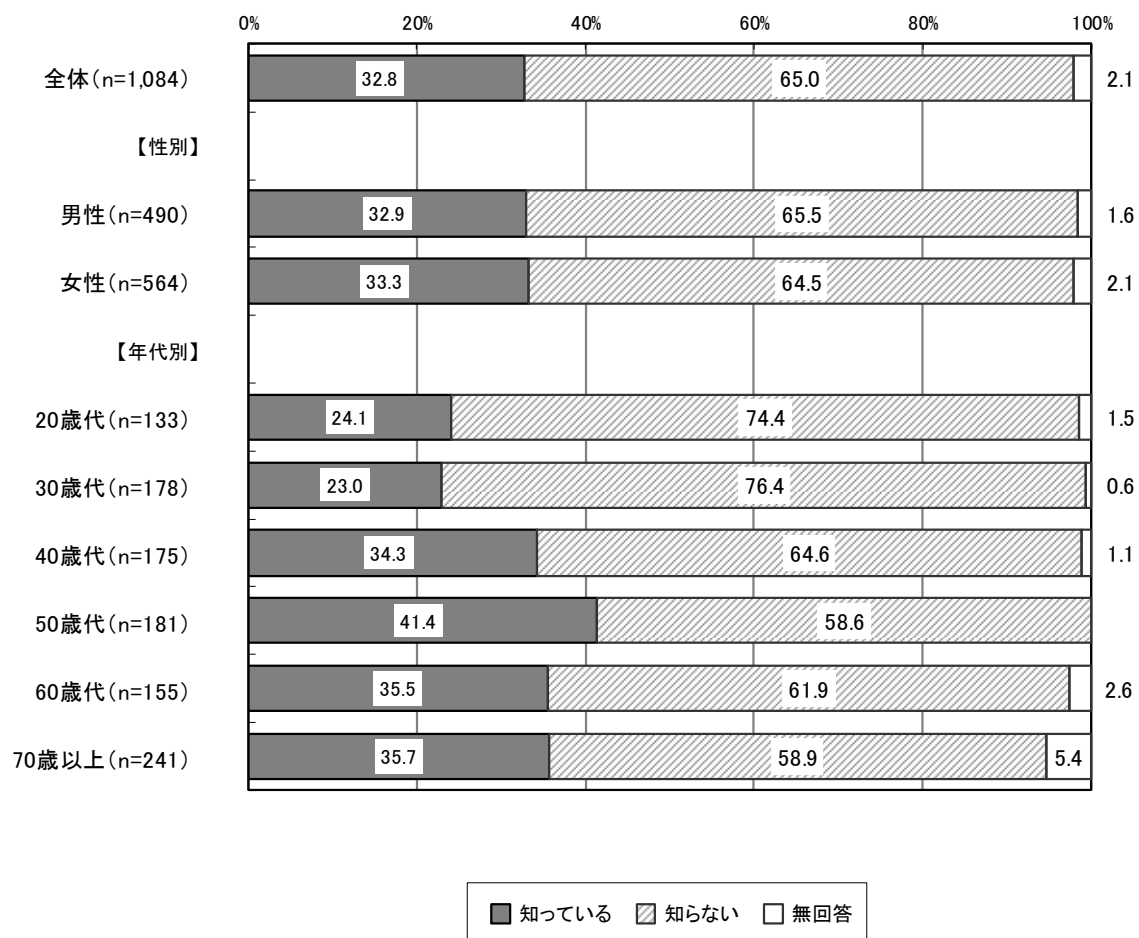
問 29 国や区に人権侵害に関する相談体制があることを知っていますか。(○は1つ)



人権侵害に関する相談体制の認知について聞いたところ、「知っている」(32.8%)が3割前半、「知らない」(65.1%)が6割半ばとなっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

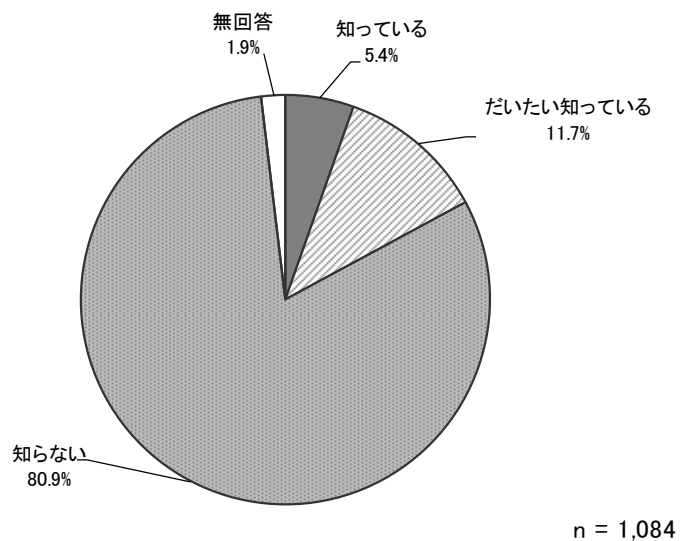
年代別にみると、「知っている」は50歳代で約4割とやや高くなっている。



(6) 人権擁護委員の認知度

「知らない」が約8割

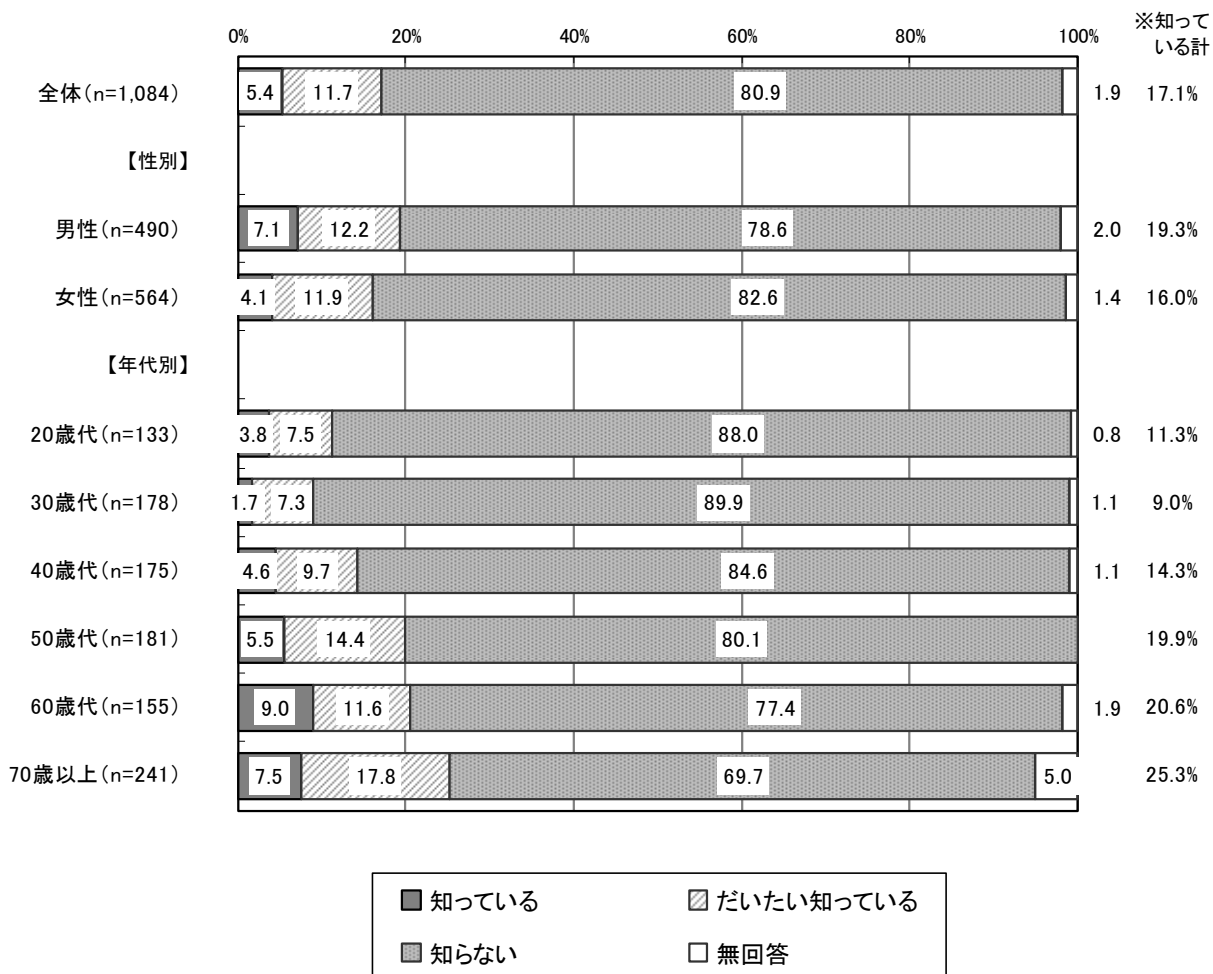
問 30 人権擁護相談や人権啓発活動を行っている「人権擁護委員」を知っていますか。(○は1つ)



人権擁護委員の認知度を聞いたところ、「知っている」(5.4%)と「だいたい知っている」(11.7%)を合わせた「知っている」(17.1%)が1割後半で、「知らない」(80.9%)が約8割を占めている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

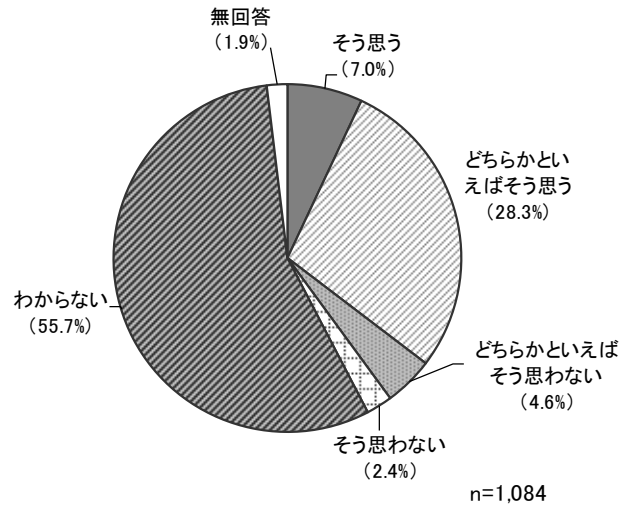
年代別にみると、「知っている」は70歳以上で2割半ばと高くなっている。



16 子どもの権利について

《そう思う》（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」）が3割半ば

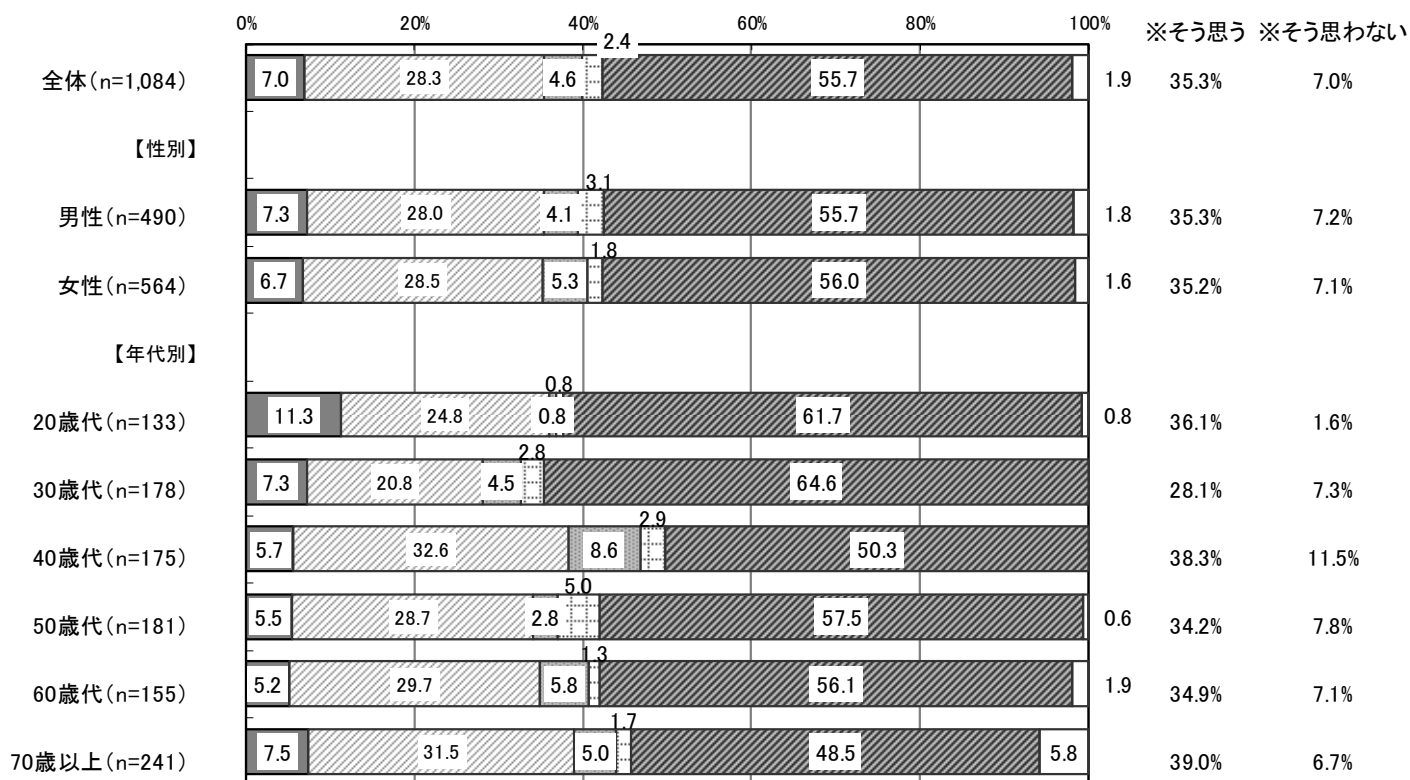
問31 中野区において、子どもの権利が守られていると思いますか。（○は1つ）



子どもの権利が守られているかを聞いたところ、「そう思う」（7.0%）と「どちらかといえばそう思う」（28.3%）を合わせた《そう思う》（35.3%）は3割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（4.6%）と「そう思わない」（2.4%）を合わせた《そう思わない》（7.0%）は1割未満となっている。

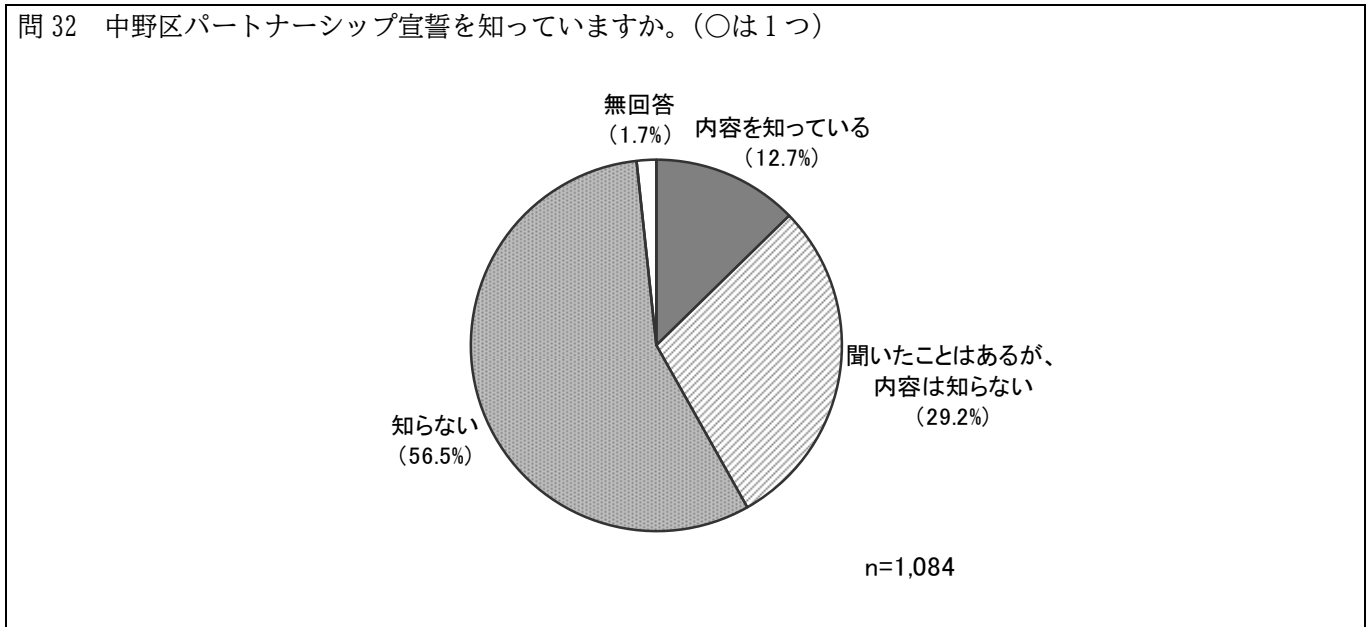
性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「そう思わない」は40歳代で約1割とやや高くなっている。



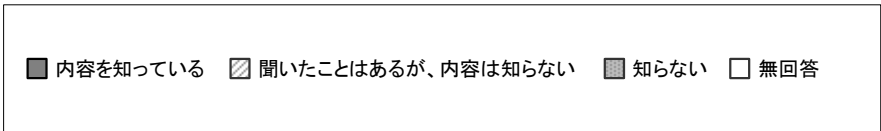
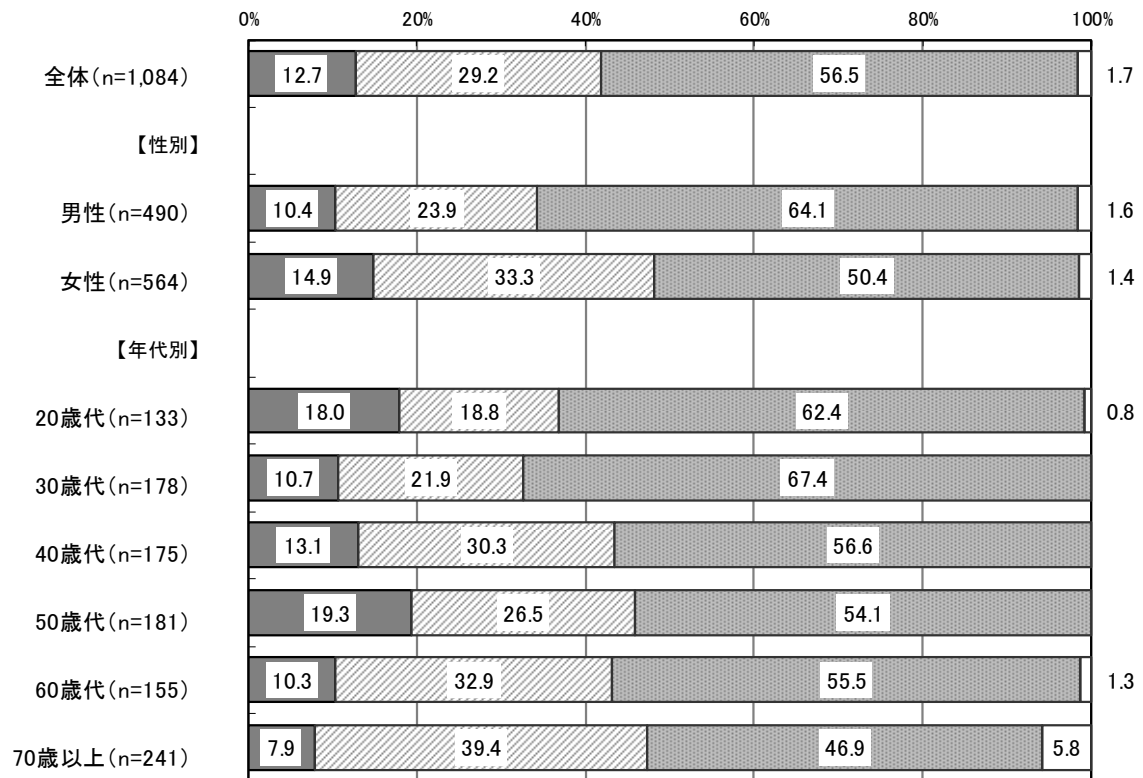
17 パートナーシップ宣誓について
(1) 中野区パートナーシップ宣誓の認知度

「知らない」が5割半ば

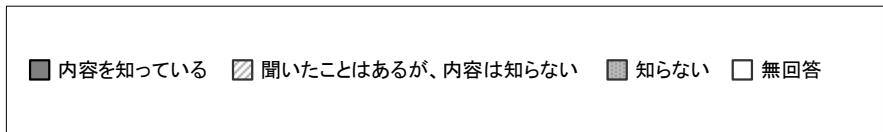
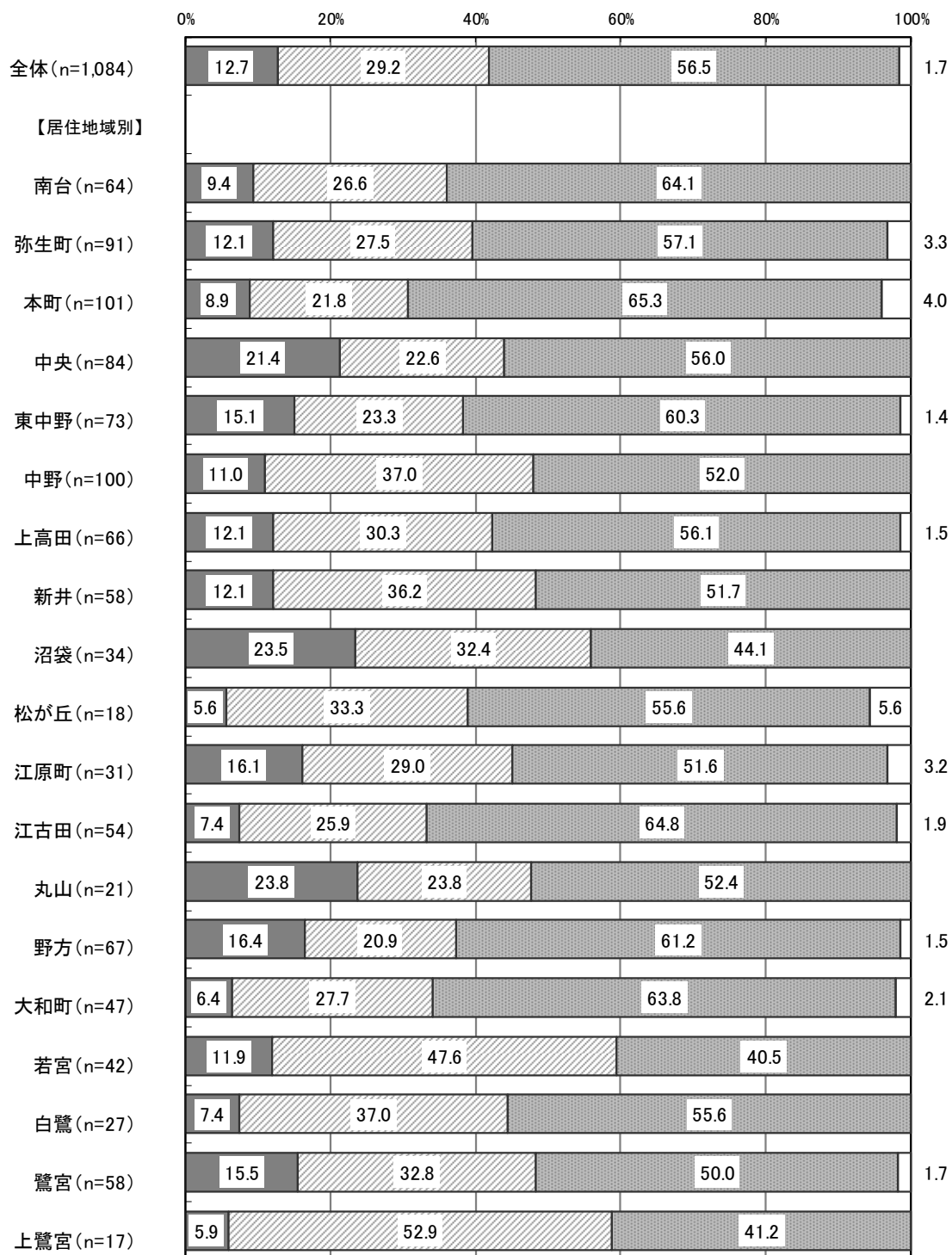


中野区パートナーシップ宣誓の認知度を聞いたところ、「知らない」(56.5%)が5割半ばと最も高く、ついで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(29.2%)、「内容を知っている」(12.7%)となっている。

性別で見ると、「知らない」は女性に比べ男性で高くなっている。
 年代別にみると、「知らない」は30歳代で6割後半とやや高くなっている。



居住地域別にみると、「内容を知っている」は沼袋で2割前半とやや高く、「知らない」は南台、本町、江古田で6割半ばと高くなっている。



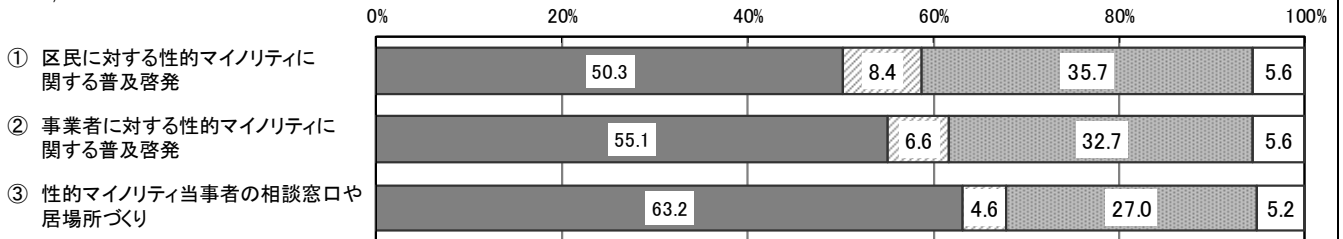
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 性的マイノリティに関する取組への必要の可否

『性的マイノリティ当事者の相談窓口や居場所づくり』の取組が「必要」が6割前半

問 33 多様な生き方や個性、価値観を受け入れる地域社会の実現のため、性的マイノリティに関して、次の取組を進めていく必要の可否を教えてください。(○はそれぞれ1つ)

n= 1,084



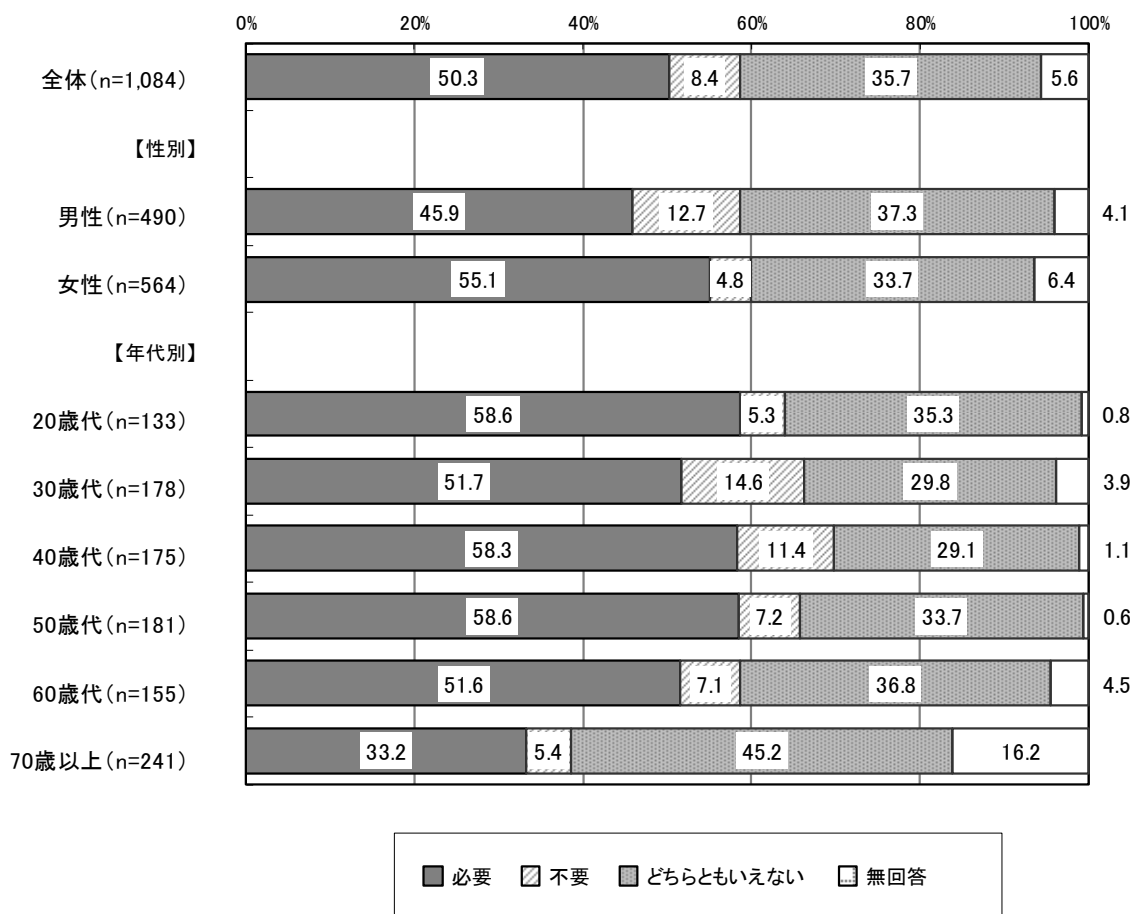
■ 必要 □ 不要 ▨ どちらともいえない □ 無回答

性的マイノリティに関する取組への必要の可否を聞いたところ、「必要」は『③性的マイノリティ当事者の相談窓口や居場所づくり』(63.2%)で6割前半と最も高く、次いで『②事業者に対する性的マイノリティに関する普及啓発』(55.1%)、『①区民に対する性的マイノリティに関する普及啓発』(50.3%)となっている。

① 区民に対する性的マイノリティに関する普及啓発

性別でみると、「必要」は男性に比べ女性で高くなっている。

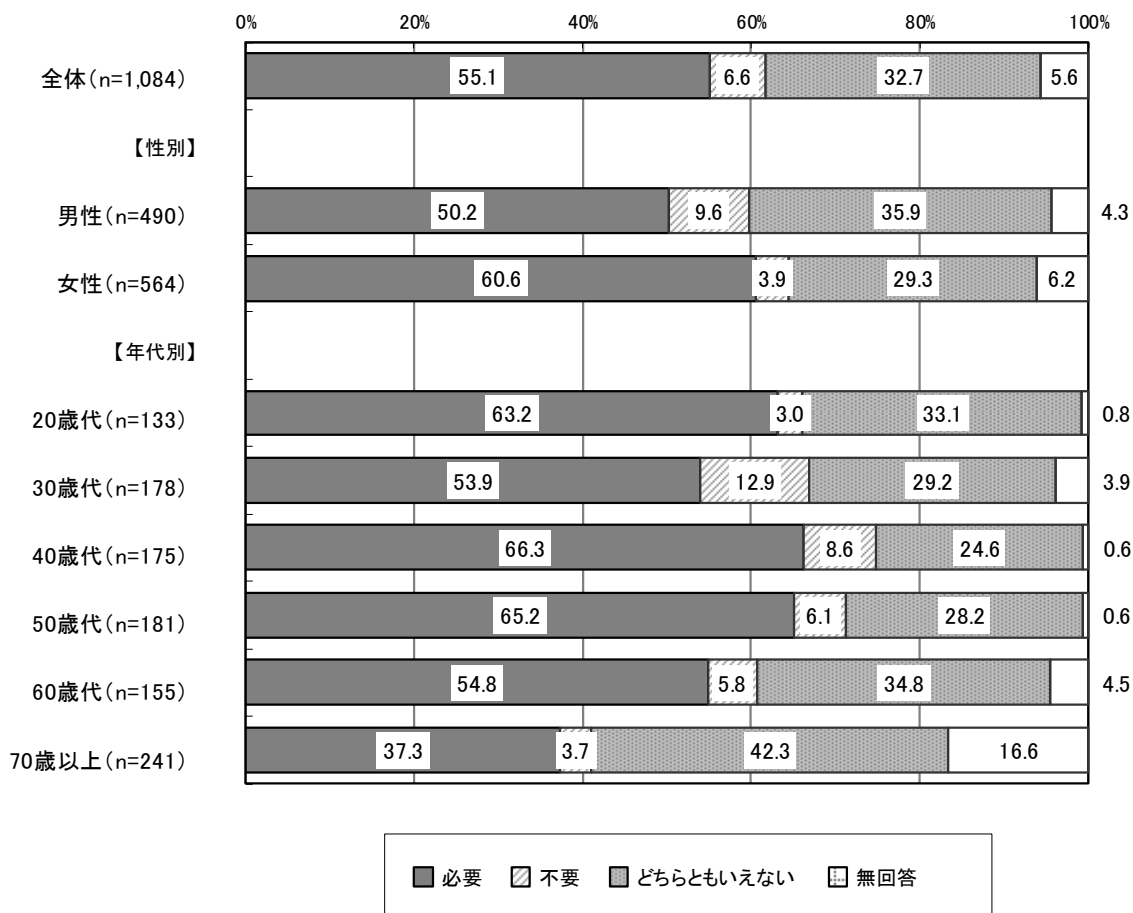
年代別にみると、「必要」は20歳代、40歳代、50歳代では5割後半と高くなっている。



② 事業者に対する性的マイノリティに関する普及啓発

性別でみると、「必要」は男性に比べ女性で高くなっている。

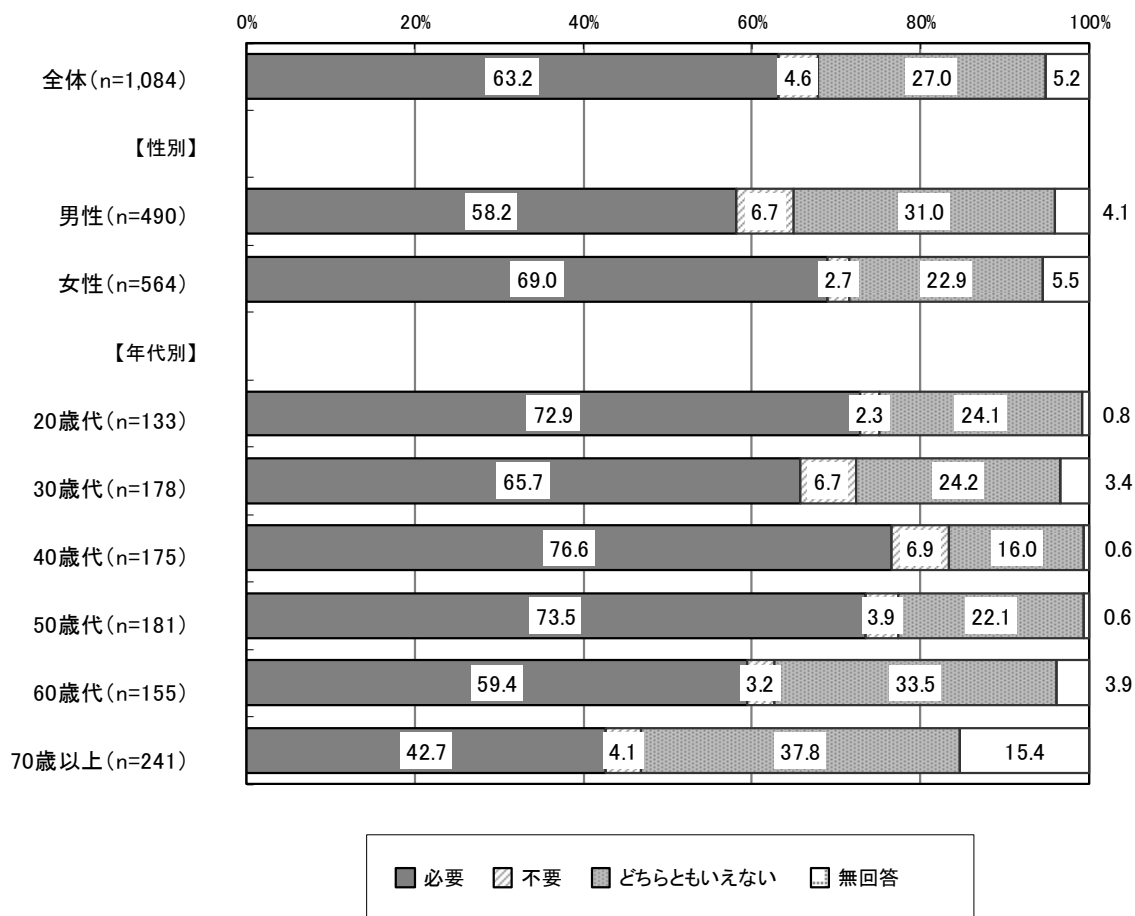
年代別にみると、「必要」は40歳代、50歳代で6割半ばと高くなっている。一方、70歳以上は3割後半と低くなっている。



③ 性的マイノリティ当事者の相談窓口や居場所づくり

性別で見ると、「必要」は男性に比べ女性で高くなっている。

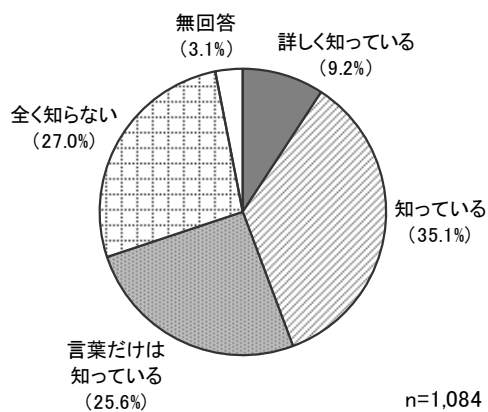
年代別にみると、「必要」は40歳代で7割半ばと最も高くなっている。一方、70歳以上は4割前半と低くなっている。



18 ユニバーサルデザインについて
(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

「知っている」(「詳しく知っている」と「知っている」と「言葉だけは知っている」)が約7割

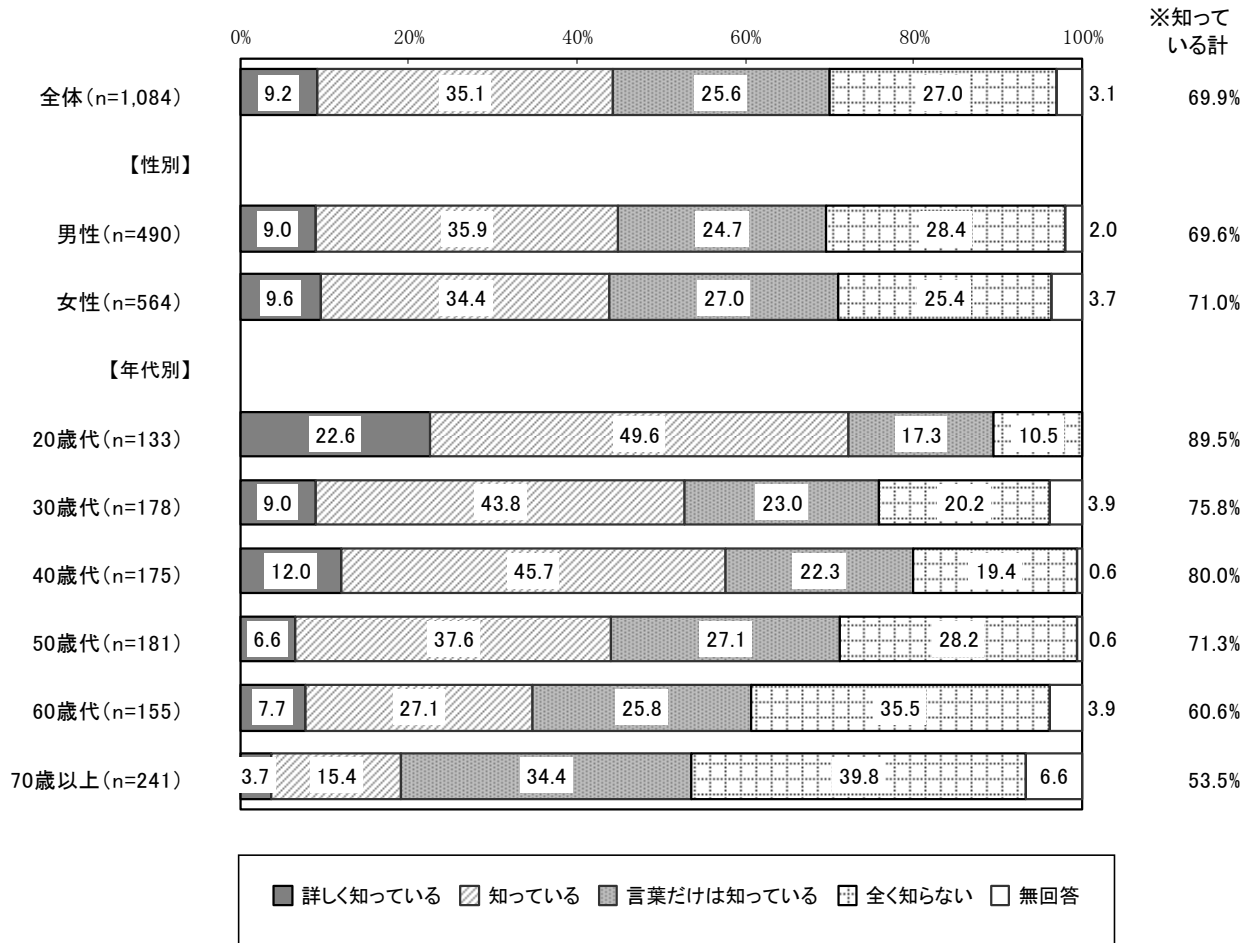
問 34 「ユニバーサルデザイン」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ)



「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(9.2%)、「知っている」(35.1%)、「言葉だけは知っている」(25.6%)を合わせた「知っている」(69.9%)が約7割で、「全く知らない」(27.0%)が2割後半となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「知っている」は20歳代で約9割と高くなっている。一方、70歳以上では5割前半と低くなっている。

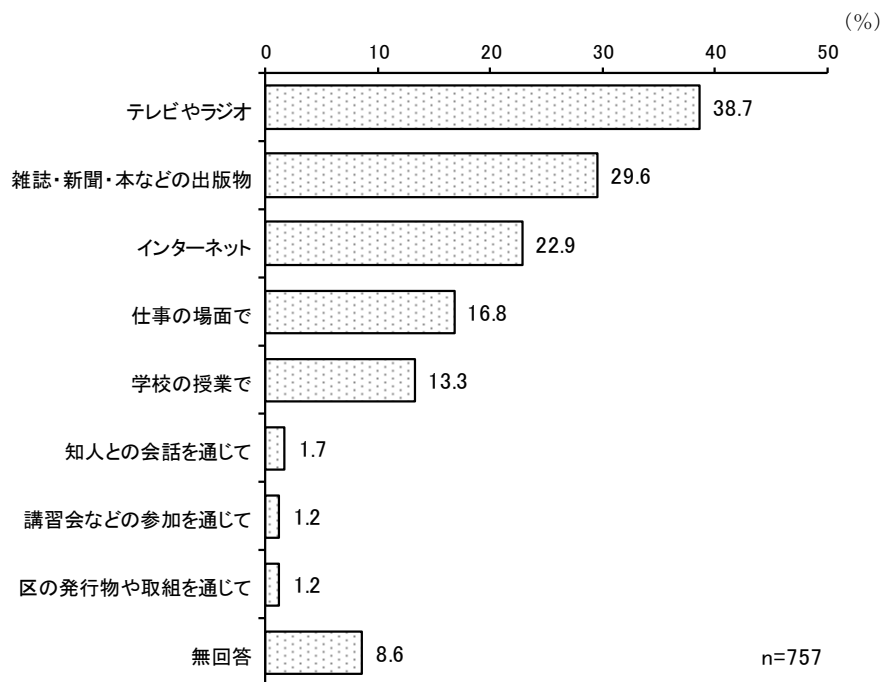


(2) 「ユニバーサルデザイン」を知ったきっかけ

「テレビやラジオ」が3割後半

【問 34 で「1～3」と答えた方に】

問 34-1 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知った主なきっかけはどれですか。(○は2つ以内)



ユニバーサルデザインを知っている人に、知ったきっかけ（2つまで回答）を聞いたところ、「テレビやラジオ」（38.7%）が3割後半で最も高く、次いで「雑誌・新聞・本などの出版物」（29.6%）、「インターネット」（22.9%）となっている。

性別で見ると、「テレビやラジオ」は男性に比べ女性で、「インターネット」、「仕事の場面で」は女性に比べ男性でそれぞれやや高くなっている。

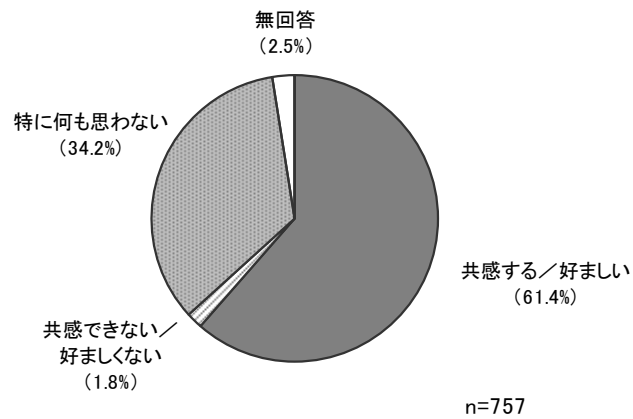
年代別にみると、「雑誌・新聞・本などの出版物」は60歳代、70歳以上で、「学校の授業で」は20歳代でそれぞれ高くなっている。

		テレビやラジオ	雑誌・新聞・本などの出版物	インターネット	仕事の場面で	学校の授業で	知人との会話を通じて	講習会などの参加を通じて	区の発行物や取組を通じて	無回答
全体(n=757)		38.7	29.6	22.9	16.8	13.3	1.7	1.2	1.2	8.6
性別	男性(n=341)	29.0	31.7	25.5	20.8	12.3	1.8	1.5	1.2	8.8
	女性(n=400)	47.0	28.0	19.8	14.0	14.3	1.5	1.0	1.3	8.5
年代別	20歳代(n=119)	21.0	4.2	17.6	11.8	58.0	0.0	0.8	0.0	9.2
	30歳代(n=135)	34.1	23.0	29.6	20.0	17.8	4.4	0.7	0.7	5.9
	40歳代(n=140)	31.4	23.6	32.1	22.1	2.1	2.1	0.7	0.0	17.1
	50歳代(n=129)	47.3	36.4	17.8	25.6	0.0	1.6	2.3	1.6	4.7
	60歳代(n=94)	45.7	40.4	27.7	12.8	2.1	1.1	2.1	1.1	5.3
	70歳以上(n=129)	54.3	50.4	10.1	7.8	1.6	0.8	0.8	3.9	7.8

(3) 「ユニバーサルデザイン」についての印象

「共感する／好ましい」が約6割

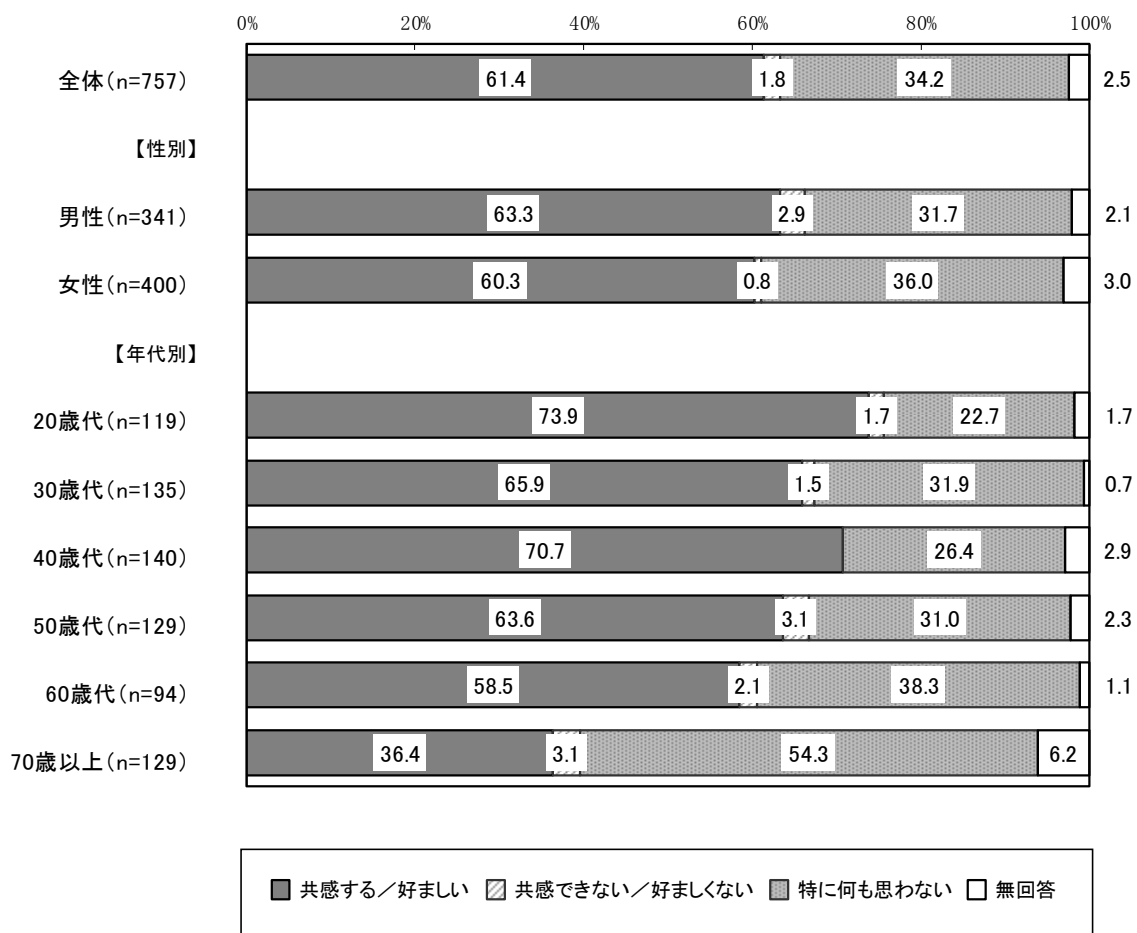
問 34-2 「ユニバーサルデザイン」という言葉について、どのような印象を持っていますか。(○は1つ)



ユニバーサルデザインについての印象を聞いたところ、「共感する／好ましい」(61.4%)が約6割と最も高く、「特に何も思わない」(34.2%)が3割半ばとなっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「共感する／好ましい」は20歳代で7割前半と高くなっている。

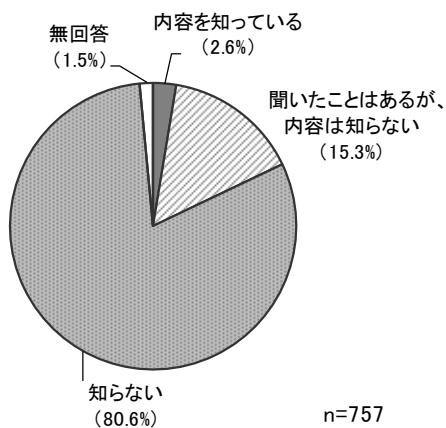


(4) 中野区ユニバーサルデザイン推進条例の認知度

「知らない」が約8割

【問 34 で「1～3」と答えた方に】

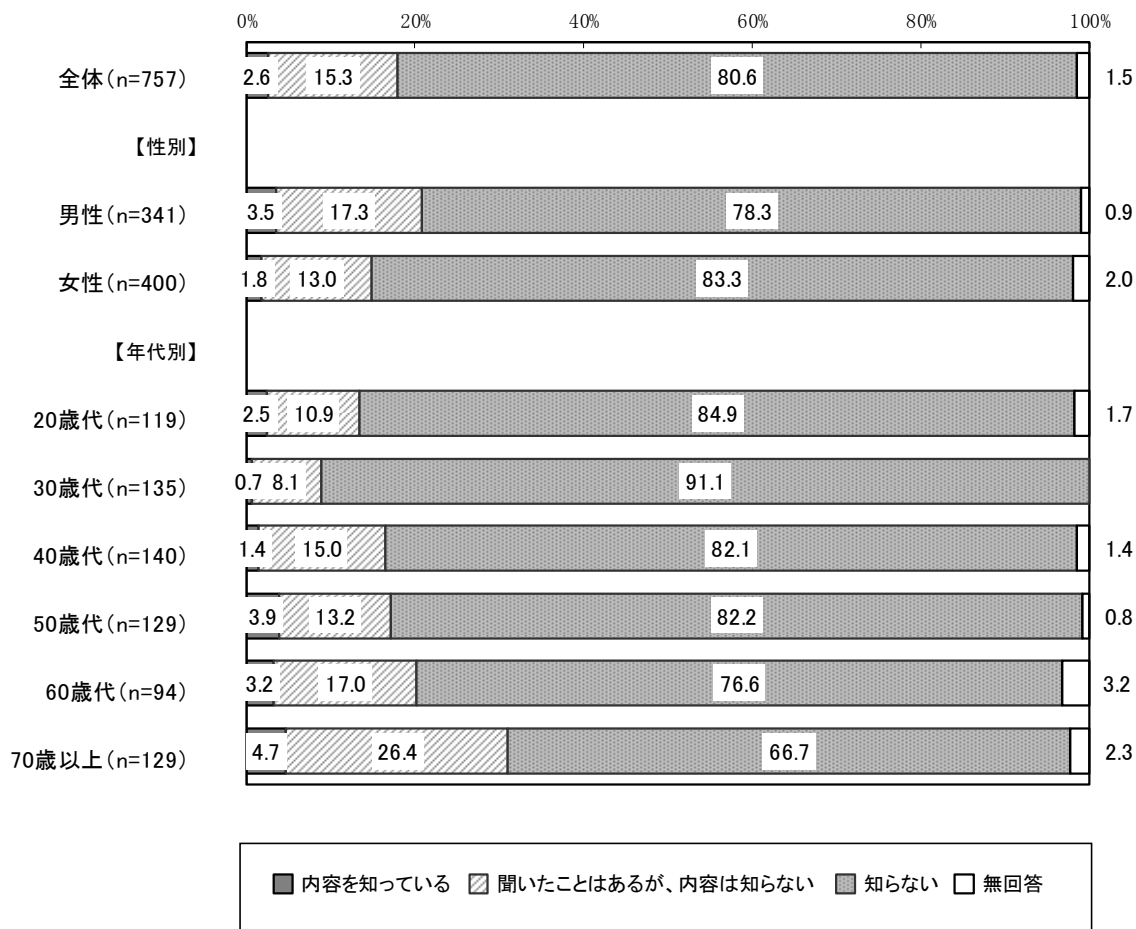
問 34-3 「全員参加型社会」や地域の活性化の実現を目指すための中野区ユニバーサルデザイン推進条例があることを知っていますか。(○は1つ)



中野区ユニバーサルデザイン推進条例の認知度を聞いたところ、「知らない」(80.6%)が約8割で最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」(15.3%)が1割半ば、「内容を知っている」(2.6%)が1割未満、となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「知らない」は30歳代で約9割と高くなっている。

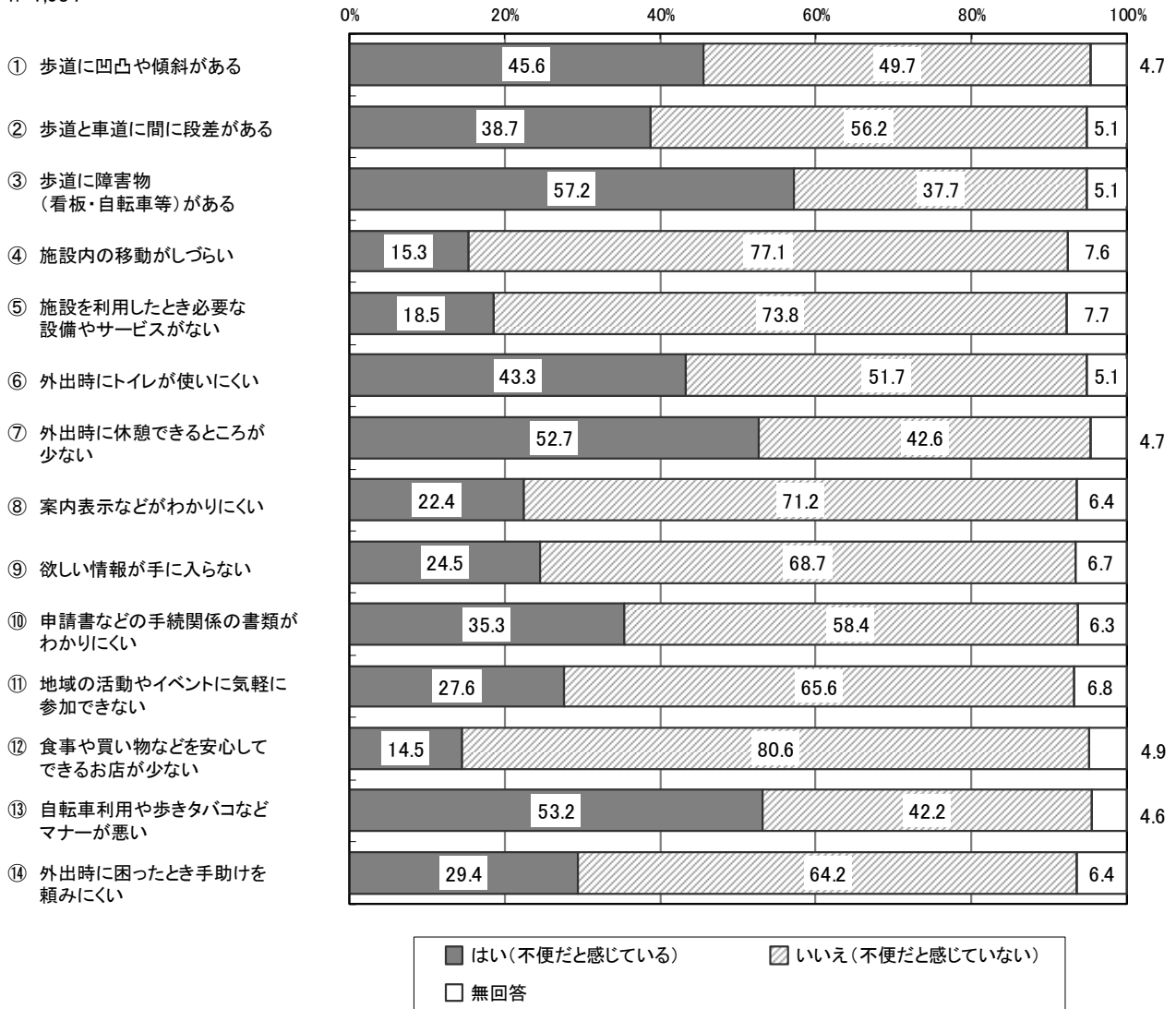


(5) 普段の生活で感じる不便

『歩道に障害物（看板・自転車等）がある』が5割後半

問 35 あなたが、普段の生活の中で中野区内において不便だと感じている場合は「はい」、不便だとあまり感じることがない場合は「いいえ」でお答えください。（○はそれぞれ1つ）

n=1,084



普段の生活で感じる不便について、『③歩道に障害物（看板・自転車等）がある』（57.2%）が5割後半となっている。次いで、『⑦外出時に休憩できるところが少ない』（52.7%）、『⑬自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い』（53.2%）の2項目が5割前半となっている。

性別でみると、『①歩道に凹凸や傾斜がある』、『②歩道と車道に間に段差がある』、『⑦外出時に休憩できるところが少ない』、『⑬自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い』、『⑭外出時に困ったとき手助けを頼みにくい』は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、『③歩道に障害物（看板・自転車等）がある』は40歳代、60歳代、70歳以上で、『⑧案内表示などがわかりにくい』、『⑨欲しい情報が手に入らない』は70歳以上で高くなっている。

		① 歩道に凹凸や傾斜がある	② 歩道と車道に間に段差がある	③ 歩道に障害物 (看板・自転車等)がある	④ 施設内の移動がしづらい	⑤ 施設を利用したとき必要な 設備やサービスがない	⑥ 外出時にトイレが使いにくい	⑦ 外出時に休憩できるところが 少ない	⑧ 案内表示などがわかりにくい	⑨ 欲しい情報が手に入らない	⑩ 申請書などの手続関係の書類が わかりにくい	⑪ 地域の活動やイベントに気軽に 参加できない	⑫ 食事や買い物などを安心して できるお店が少ない	⑬ 自転車利用や歩きタバコなど マナーが悪い	⑭ 外出時に困ったとき手助けを 頼みにくい
全体 (n=1,084)		45.6	38.7	57.2	15.3	18.5	43.3	52.7	22.4	24.5	35.3	27.6	14.5	53.2	29.4
性別	男性 (n=490)	39.2	33.5	56.5	14.3	18.0	43.9	48.2	20.2	23.3	34.7	27.6	12.4	50.0	23.9
	女性 (n=564)	51.2	43.1	57.6	16.1	18.6	42.6	56.7	23.6	25.7	35.6	27.8	15.6	56.2	33.9
年代別	20歳代 (n=133)	28.6	25.6	43.6	12.0	17.3	43.6	47.4	12.8	18.0	36.1	30.1	12.0	38.3	32.3
	30歳代 (n=178)	39.3	34.8	48.3	20.2	18.5	42.1	47.2	14.0	18.0	39.9	30.9	12.4	51.7	28.7
	40歳代 (n=175)	50.3	45.7	63.4	18.9	22.9	46.9	57.7	21.1	26.3	34.9	26.3	14.3	50.3	27.4
	50歳代 (n=181)	49.7	40.9	58.0	11.6	12.2	42.0	48.6	20.4	25.4	32.0	26.5	10.5	59.1	28.7
	60歳代 (n=155)	53.5	43.9	62.6	14.8	18.7	40.6	54.8	25.8	24.5	35.5	25.8	17.4	53.5	26.5
	70歳以上 (n=241)	47.7	37.8	62.2	13.3	19.1	43.2	58.9	32.8	30.3	32.8	27.0	17.0	59.8	31.1

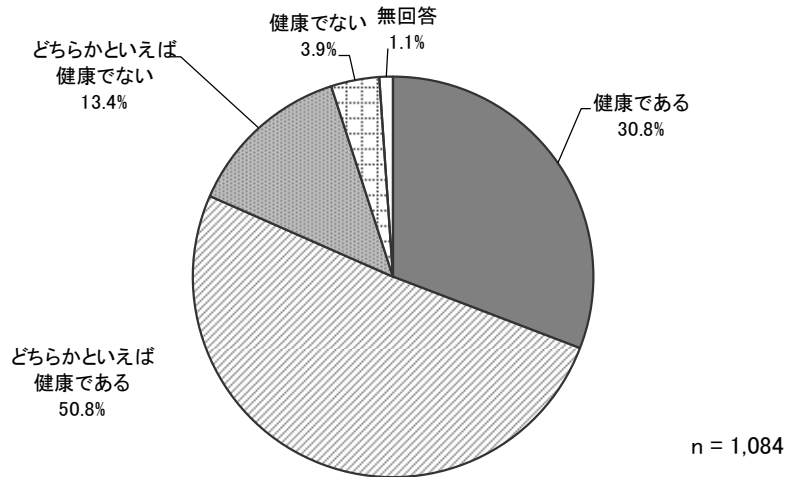
※上記表は「はい（不便だと感じている）」の割合を示したものである。

19 医療保険・国民年金制度について

(1) 健康状態の自覚

《健康である》（「健康である」と「どちらかといえば健康である」）が約8割

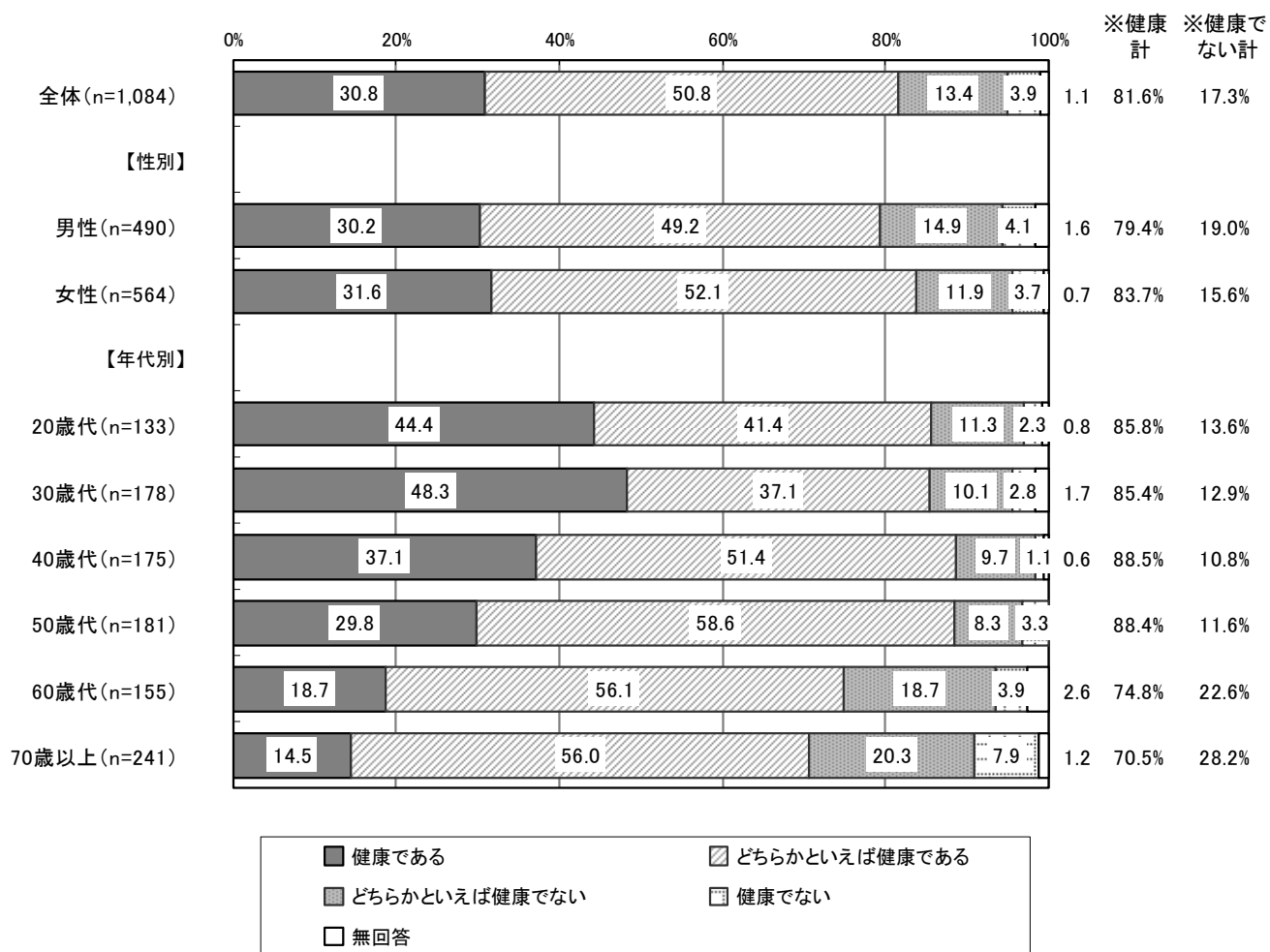
問 36 あなたの健康状態をどのように感じていますか。（○は1つ）



健康状態の自覚について聞いたところ、「健康である」（30.8%）と「どちらかといえば健康である」（50.8%）を合わせた《健康》（81.6%）が約8割となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、《健康》は40歳代、50歳代で8割後半と高くなっている。

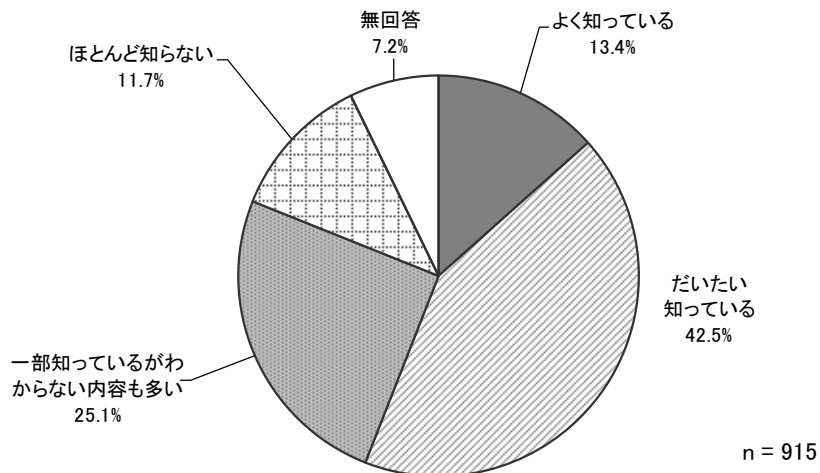


(2) 国民健康保険のしくみ認知度

「知っている」(「よく知っている」と「だいたい知っている」)が5割半ば

【74歳以下の方にお聞きます】

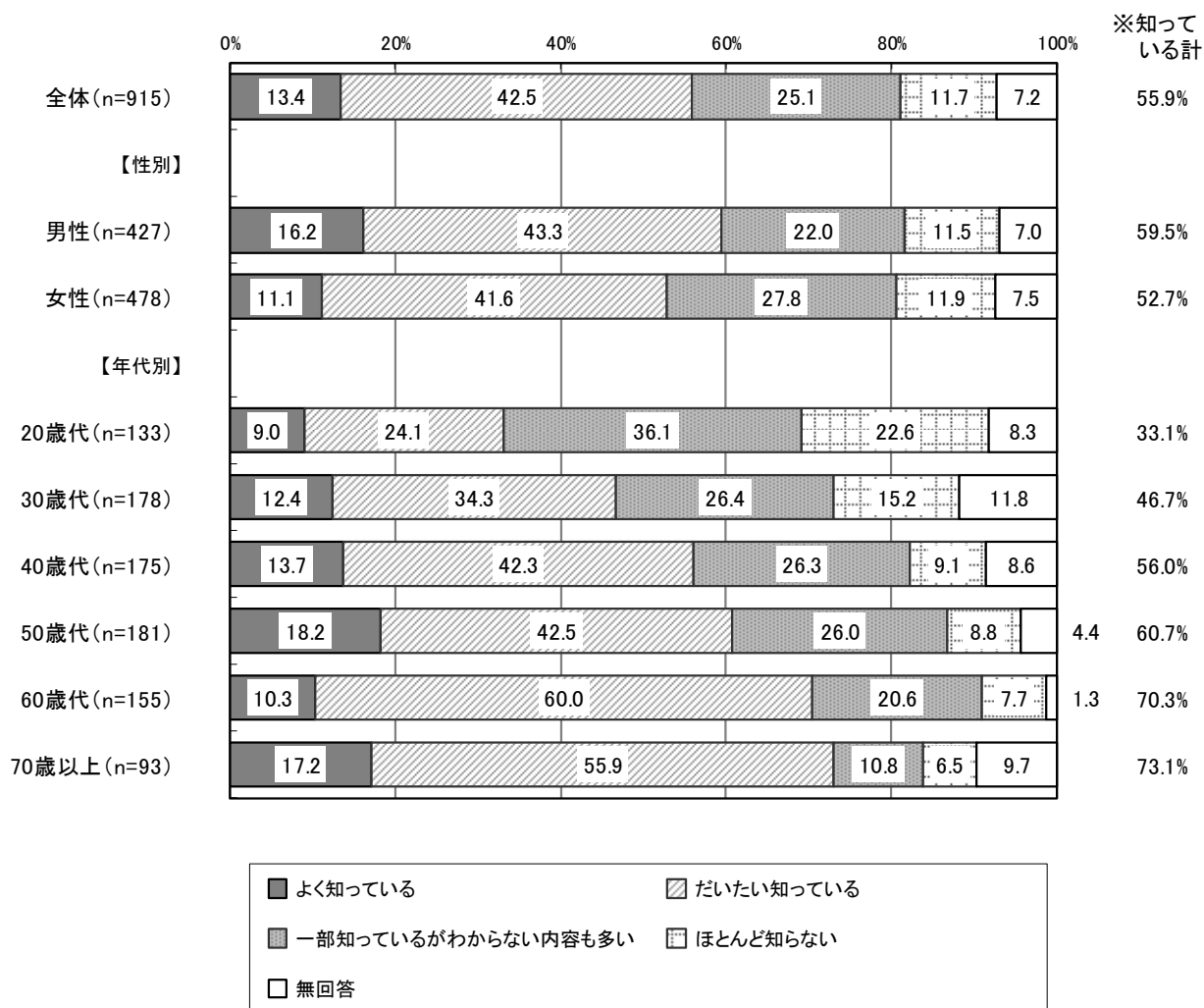
問 37 国民健康保険のしくみ(手続き・保険料の納め方など)について、どの程度ご存知ですか。
(○は1つ)



74歳以下の方に国民健康保険のしくみをどの程度知っているか聞いたところ、「だいたい知っている」(42.5%)が4割前半で最も高く、次いで「一部知っているがわからない内容も多い」(25.1%)、「よく知っている」(13.4%)となっている。

「よく知っている」(13.4%)と「だいたい知っている」(42.5%)を合わせた「知っている」(55.9%)は5割半ばとなっている。

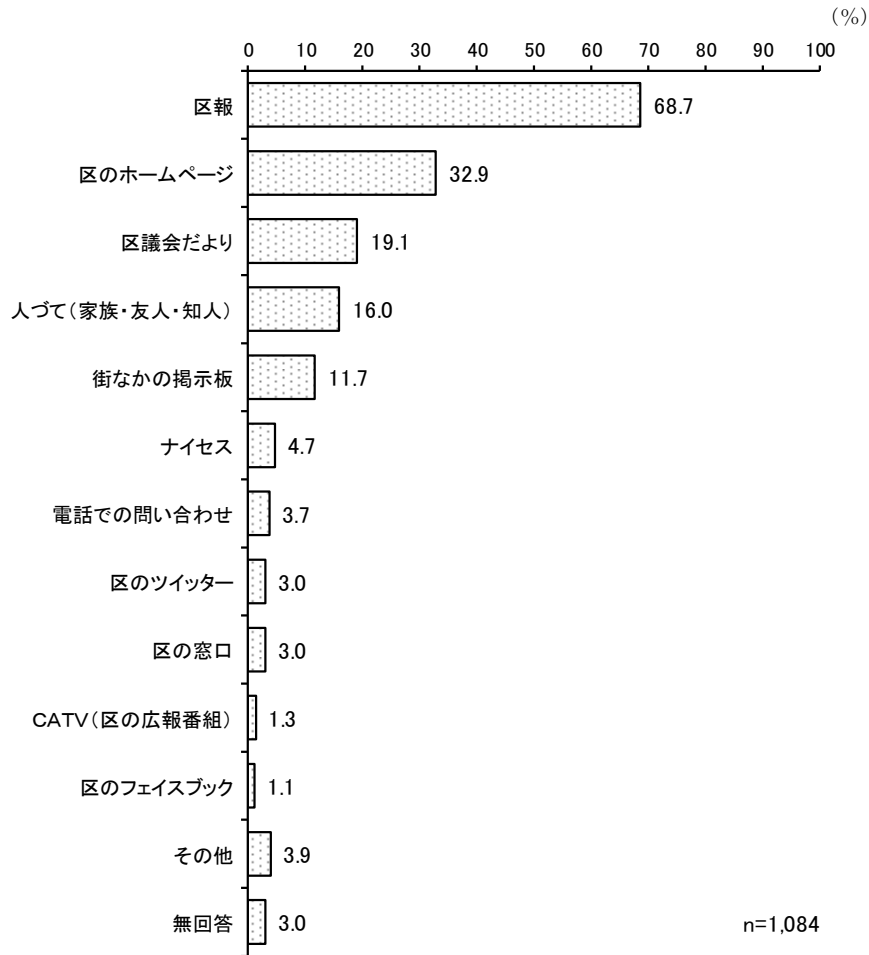
性別で見ると、「よく知っている」は女性に比べ男性でやや高くなっている。
 年代別にみると、「知っている」は70歳以上で7割前半と最も高くなっている。



20 区政情報の入手について

「区報」が6割後半

問 38 あなたは中野区の情報を、主に何から得ていますか。(〇はいくつでも)



中野区の区政情報を得られている人に主な入手先(複数回答)を聞いたところ、「区報」(68.7%)が6割後半で最も高く、次いで「区のホームページ」(32.9%)、「区議会だより」(19.1%)となっている。

性別で見ると、「区報」、「人づて（家族・友人・知人）」は女性に比べ男性でそれぞれやや低くなっている。

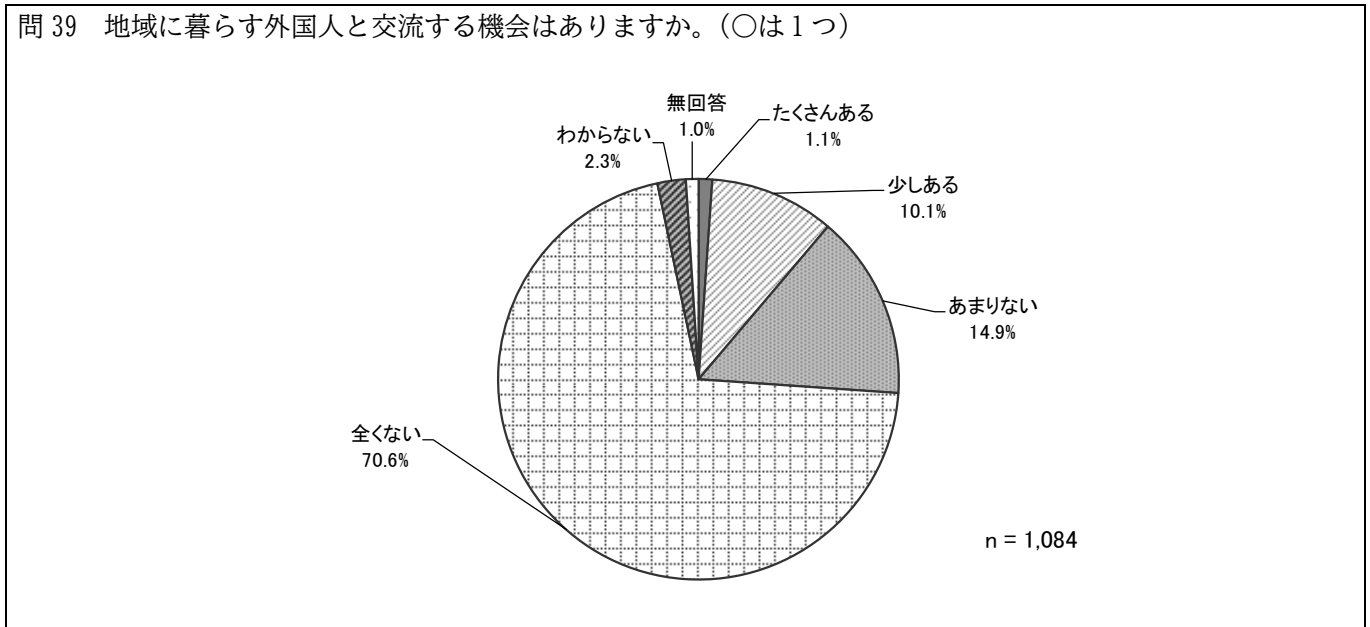
年代別にみると、「区報」、「街なかの掲示板」は70歳以上で、「区のホームページ」は40歳代で、それぞれ高くなっている。

		区報	区のホームページ	区議会だより	人づて (家族・友人・知人)	街なかの 掲示板	ナイス セス	電話での 問い合わせ	区の ツイッター	区 の窓 口	C A T V (区 の 広 報 番 組)	区 の フ ェ ィ ス ブ ッ ク	そ の 他	無 回 答
全体(n=1,084)		68.7	32.9	19.1	16.0	11.7	4.7	3.7	3.0	3.0	1.3	1.1	3.9	3.0
性別	男性(n=490)	65.1	32.9	19.6	12.9	10.0	2.0	3.7	2.0	3.5	1.6	1.0	4.3	3.9
	女性(n=564)	71.6	33.3	19.0	19.3	13.1	6.9	3.7	4.1	2.8	1.1	1.1	3.4	2.5
年代別	20歳代(n=133)	38.3	23.3	7.5	27.1	13.5	0.8	2.3	4.5	3.0	0.8	0.0	6.8	5.3
	30歳代(n=178)	52.2	42.1	15.2	15.2	5.1	2.8	2.8	4.5	1.1	0.0	0.0	7.3	3.9
	40歳代(n=175)	62.3	50.9	17.1	8.6	5.1	2.3	1.7	5.7	2.3	0.6	2.9	5.1	4.0
	50歳代(n=181)	75.1	40.9	21.0	13.3	6.1	5.0	5.5	2.8	3.3	2.2	1.1	1.7	0.6
	60歳代(n=155)	76.1	38.1	20.6	14.8	18.7	9.0	3.9	1.3	3.9	0.6	1.3	2.6	2.6
	70歳以上(n=241)	92.5	10.0	28.2	19.1	20.3	7.1	5.0	0.4	4.6	2.9	0.8	1.7	2.1

2.1 多文化共生について

(1) 地域に暮らす外国人と交流する機会の有無

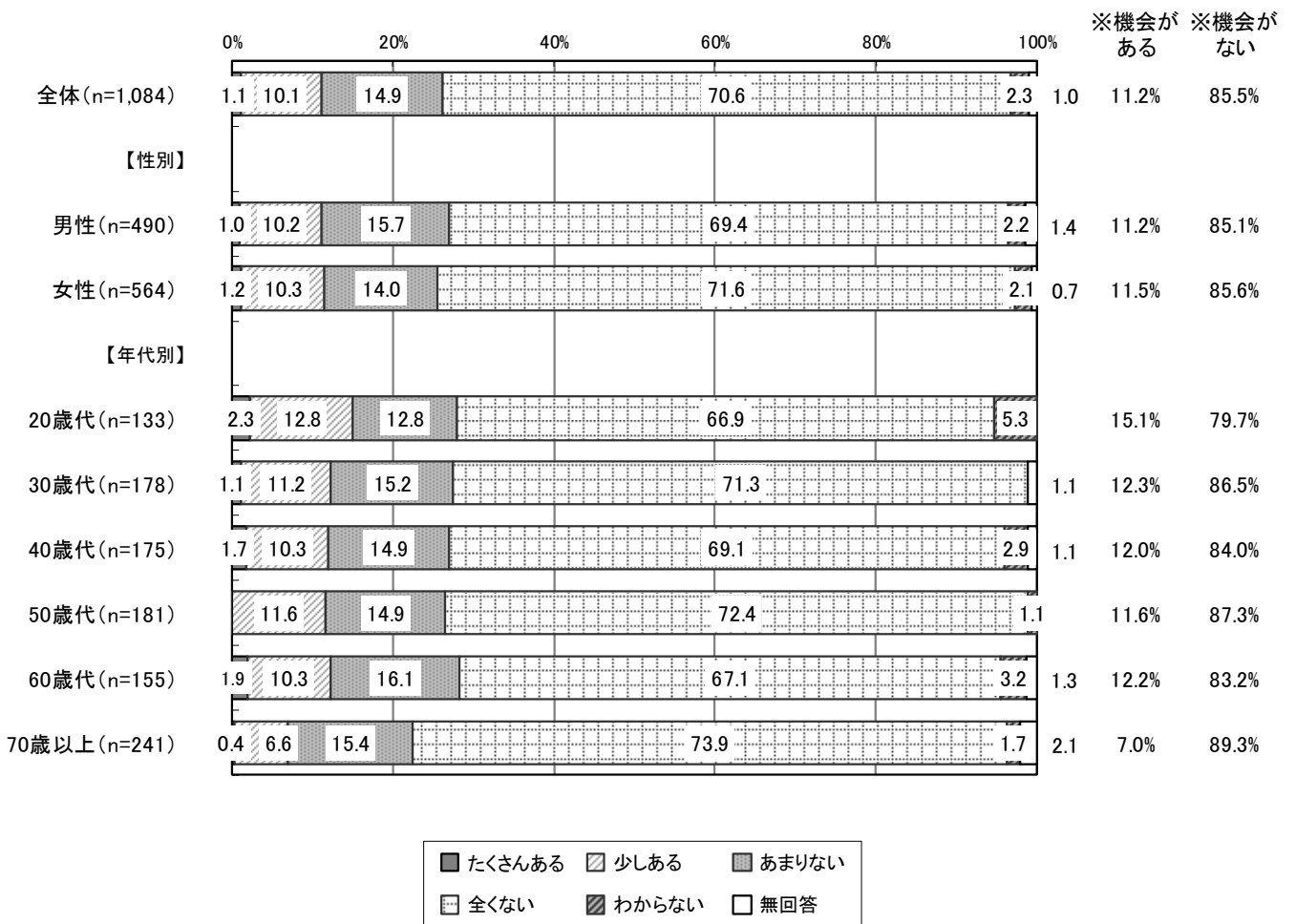
「機会がない」が8割半ば



地域に暮らす外国人と交流する機会の有無について聞いたところ、「たくさんある」(1.1%)と「少しある」(10.1%)を合わせた「機会がある」(11.2%)が約1割、「あまりない」(14.9%)と「全くない」(70.6%)を合わせた「機会がない」(85.5%)が8割半ばで、「機会がない」が74.3ポイント高くなっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

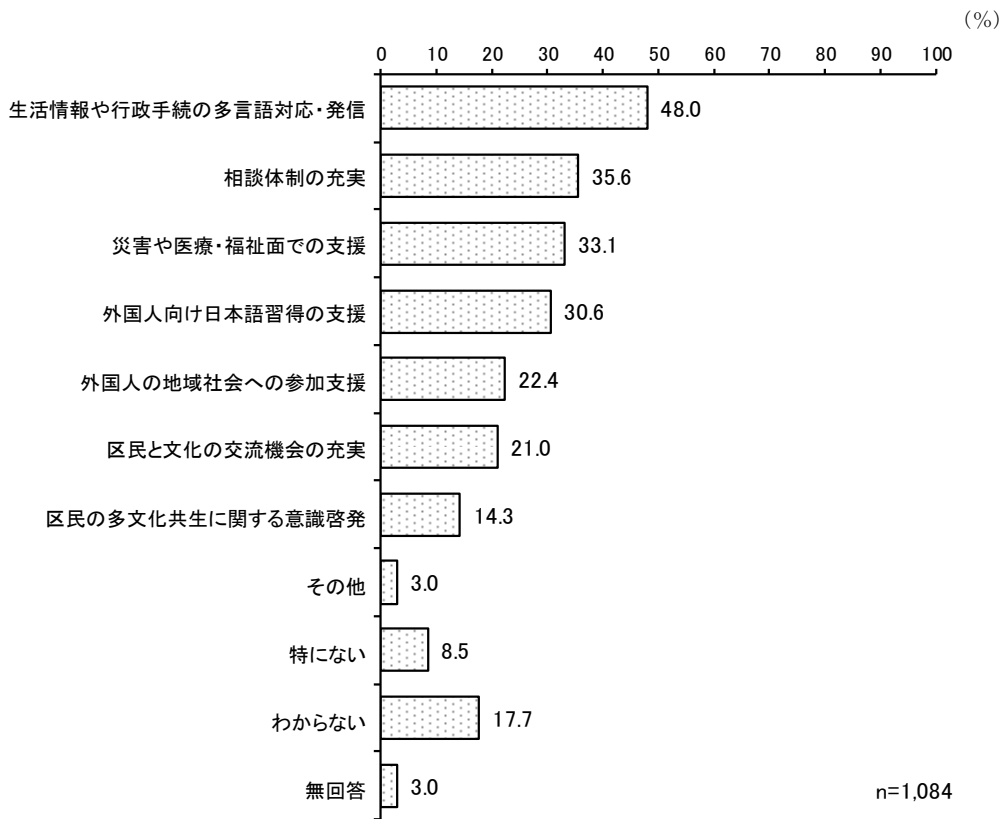
年代別にみると、「機会がある」は20歳代で1割半ば、「機会がない」は70歳以上で約9割と高くなっている。



(2) 外国人が住みやすいまちづくりのために力を入れるべきこと

「生活情報や行政手続の多言語対応・発信」が4割後半

問 39-1 地域で区民と外国人が理解しあい、外国人が住みやすいまちづくりを進めるために、中野区が力を入れるべきだと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)



外国人が住みやすいまちづくりのために力を入れるべきことについて聞いたところ、「生活情報や行政手続の多言語対応・発信」(48.0%)が4割後半で最も高く、次いで「相談体制の充実」(35.6%)、「災害や医療・福祉面での支援」(33.1%)となっている。

性別で見ると、「生活情報や行政手続の多言語対応・発信」は男性に比べ女性で高くなっている。
 年代別にみると、「相談体制の充実」は60歳代で4割前半と高くなっている。

		生活情報や行政手続の多言語対応・発信	相談体制の充実	災害や医療・福祉面の支援	外国人向け日本語習得の支援	外国人の地域社会への参加支援	区民と文化の交流機会の充実	区民の多文化共生に関する意識啓発	その他	特になし	わからない	無回答
全体(n=1,084)		48.0	35.6	33.1	30.6	22.4	21.0	14.3	3.0	8.5	17.7	3.0
性別	男性(n=490)	44.1	32.2	30.4	31.6	23.1	21.2	14.3	2.9	12.0	16.3	2.4
	女性(n=564)	53.0	39.2	36.7	31.0	22.3	21.5	14.7	3.0	5.1	18.3	2.5
年代別	20歳代(n=133)	48.9	32.3	27.8	25.6	18.8	18.0	10.5	4.5	3.8	21.1	0.8
	30歳代(n=178)	55.1	30.9	29.8	33.1	19.7	24.2	11.8	1.7	9.6	12.9	1.1
	40歳代(n=175)	55.4	36.6	33.1	33.7	25.7	27.4	15.4	2.9	8.0	13.7	1.1
	50歳代(n=181)	45.9	38.7	39.8	29.8	28.2	19.9	16.6	1.7	9.4	19.3	0.0
	60歳代(n=155)	52.3	43.2	38.7	33.5	21.9	21.3	22.6	5.2	7.7	14.2	1.9
	70歳以上(n=241)	37.8	34.9	31.5	29.5	20.7	17.0	11.2	2.9	10.4	22.0	8.3

居住地域別にみると、「災害や医療・福祉面での支援」、「外国人向け日本語習得の支援」、「外国人の地域社会への参加支援」は上高田で、「相談体制の充実」は南台でそれぞれ高くなっている。

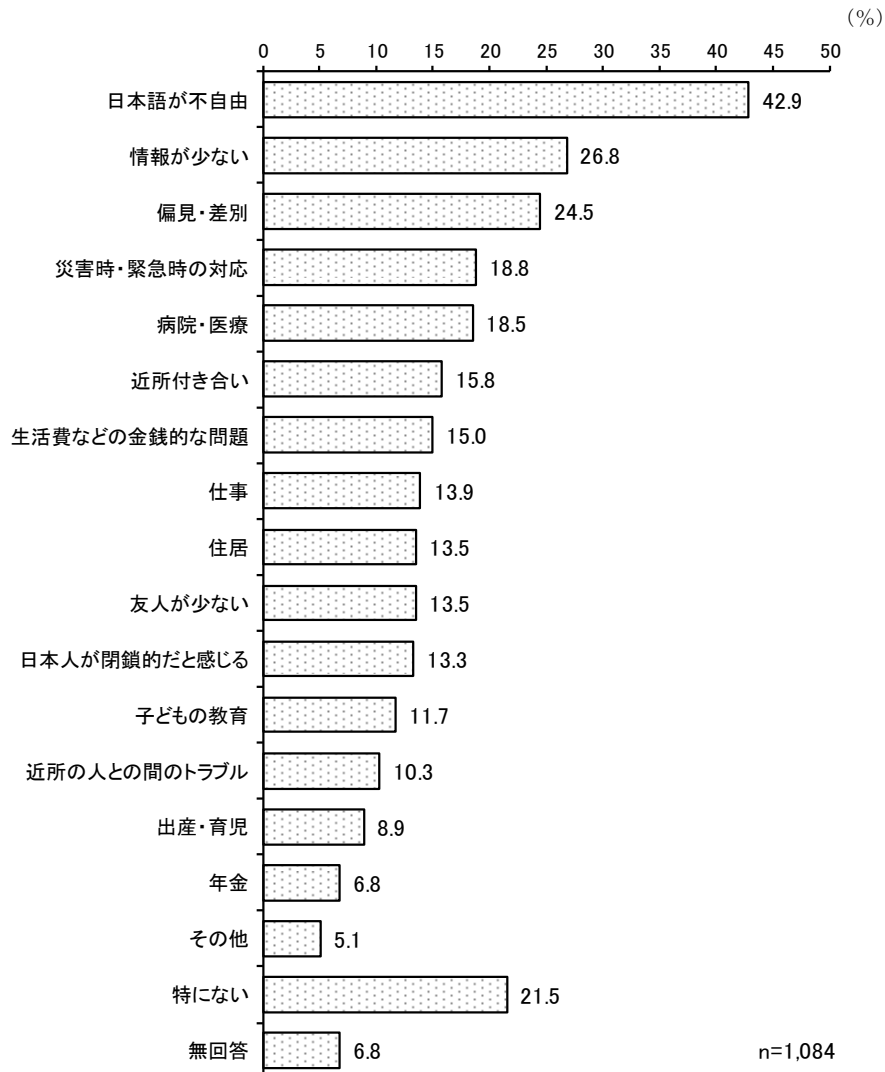
	多 言 語 対 応 や 行 政 手 続 の 充 実	相 談 体 制 の 充 実	の 災 害 や 医 療 ・ 福 祉 面 で の 支 援	の 外 国 人 向 け 日 本 語 習 得 の 支 援	参 加 支 援 の 外 国 人 の 地 域 社 会 へ の 支 援	区 民 と 文 化 の 交 流 機 会 の 充 実	区 民 の 多 文 化 共 生 に 関 する 意 識 啓 発	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体(n=1,084)	48.0	35.6	33.1	30.6	22.4	21.0	14.3	3.0	8.5	17.7	3.0	
居住地域別	南台(n=64)	56.3	48.4	37.5	28.1	21.9	15.6	9.4	1.6	7.8	7.8	3.1
	弥生町(n=91)	50.5	34.1	31.9	28.6	19.8	16.5	9.9	3.3	9.9	24.2	2.2
	本町(n=101)	43.6	32.7	30.7	36.6	21.8	18.8	9.9	5.0	6.9	17.8	5.9
	中央(n=84)	53.6	44.0	32.1	32.1	29.8	25.0	19.0	3.6	9.5	10.7	1.2
	東中野(n=73)	54.8	34.2	37.0	31.5	21.9	20.5	15.1	2.7	5.5	16.4	1.4
	中野(n=100)	44.0	30.0	34.0	31.0	19.0	23.0	20.0	1.0	7.0	21.0	4.0
	上高田(n=66)	62.1	43.9	43.9	42.4	37.9	24.2	15.2	0.0	1.5	12.1	0.0
	新井(n=58)	50.0	36.2	32.8	24.1	22.4	24.1	12.1	5.2	6.9	17.2	0.0
	沼袋(n=34)	58.8	41.2	35.3	26.5	26.5	17.6	8.8	8.8	11.8	2.9	5.9
	松が丘(n=18)	44.4	27.8	27.8	22.2	22.2	16.7	33.3	0.0	16.7	22.2	0.0
	江原町(n=31)	48.4	29.0	32.3	35.5	9.7	22.6	16.1	12.9	6.5	22.6	0.0
	江古田(n=54)	35.2	35.2	33.3	31.5	20.4	27.8	16.7	3.7	9.3	22.2	1.9
	丸山(n=21)	52.4	57.1	38.1	38.1	28.6	19.0	19.0	0.0	0.0	14.3	4.8
	野方(n=67)	43.3	28.4	31.3	26.9	14.9	23.9	16.4	3.0	10.4	20.9	3.0
	大和町(n=47)	42.6	34.0	25.5	23.4	19.1	19.1	12.8	0.0	8.5	25.5	6.4
	若宮(n=42)	35.7	40.5	26.2	38.1	19.0	23.8	16.7	0.0	19.0	11.9	4.8
	白鷺(n=27)	44.4	33.3	18.5	29.6	22.2	25.9	11.1	7.4	11.1	22.2	0.0
	鷺宮(n=58)	50.0	31.0	39.7	25.9	22.4	17.2	12.1	3.4	8.6	19.0	3.4
上鷺宮(n=17)	35.3	29.4	29.4	11.8	23.5	5.9	17.6	0.0	17.6	23.5	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 外国の方の生活に対するイメージ

「日本語が不自由」が4割前半

問 40 あなたは、あなたの周りにいる外国人にとって、生活で困っていること、不満なことはなんであると思いますか。(○はいくつでも)



外国の方が生活で困っていること、不満なことはなんであると思うか聞いたところ、「日本語が不自由」(42.9%)が4割前半で最も高く、次いで「情報が少ない」(26.8%)、「偏見・差別」(24.5%)となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「日本語が不自由」は60歳代で高くなっている。

		日本語が不自由	情報が少ない	偏見・差別	災害時・緊急時の対応	病院・医療	近所付き合い	生活費などの金銭的な問題	仕事	住居	友人が少ない	日本人が閉鎖的だと感じる	子どもの教育	近所の人との間のトラブル	出産・育児	年金	その他	特にない	無回答
全体 (n=1,084)		42.9	26.8	24.5	18.8	18.5	15.8	15.0	13.9	13.5	13.5	13.3	11.7	10.3	8.9	6.8	5.1	21.5	6.8
性別	男性 (n=490)	43.7	24.9	26.5	14.3	17.3	16.7	14.9	14.1	13.5	12.4	14.3	11.2	10.4	9.4	4.5	4.5	26.3	3.7
	女性 (n=564)	42.7	28.7	23.0	22.7	19.7	14.9	15.6	14.2	13.7	14.4	12.8	12.2	10.5	8.5	8.7	5.5	17.4	8.9
年代別	20歳代 (n=133)	42.1	29.3	28.6	18.0	13.5	16.5	20.3	12.8	12.8	18.0	18.8	7.5	9.8	6.8	6.0	3.8	16.5	1.5
	30歳代 (n=178)	47.8	25.8	27.0	18.5	17.4	14.0	16.3	14.0	14.0	14.6	17.4	9.0	10.7	10.1	8.4	3.9	22.5	2.2
	40歳代 (n=175)	44.6	35.4	27.4	17.7	17.1	13.7	13.7	12.0	9.1	14.3	15.4	16.0	9.1	13.1	5.1	2.3	22.9	4.0
	50歳代 (n=181)	43.6	24.3	28.2	22.7	26.5	16.6	19.3	16.6	18.2	13.3	12.7	12.2	12.7	7.7	9.4	8.8	16.6	5.0
	60歳代 (n=155)	50.3	31.0	29.0	22.6	21.3	21.9	17.4	20.6	17.4	15.5	11.0	20.0	12.3	10.3	7.1	3.9	20.6	5.8
	70歳以上 (n=241)	34.0	19.1	14.1	15.4	15.8	14.1	8.3	10.0	10.8	8.7	7.9	7.5	8.7	6.2	5.4	7.1	26.6	15.8

居住地域別にみると、「日本語が不自由」は上高田で、「病院・医療」は南台で、「災害時・緊急時の対応」は鷺宮、江古田で、「友人が少ない」は江古田で、それぞれ高くなっている。

	日本語が不自由	情報が少ない	偏見・差別	災害時・緊急時の対応	病院・医療	近所付き合い	生活費などの金銭的な問題	仕事	住居	友人が少ない	日本人が閉鎖的だと感じる	子どもの教育	近所の人との間のトラブル	出産・育児	年金	その他	特にない	無回答	
全体(n=1,084)	42.9	26.8	24.5	18.8	18.5	15.8	15.0	13.9	13.5	13.5	13.3	11.7	10.3	8.9	6.8	5.1	21.5	6.8	
居住地域別	南台(n=64)	45.3	28.1	25.0	20.3	29.7	9.4	14.1	17.2	14.1	17.2	15.6	6.3	9.4	14.1	7.8	9.4	20.3	4.7
	弥生町(n=91)	44.0	23.1	19.8	19.8	22.0	14.3	16.5	15.4	11.0	12.1	15.4	11.0	12.1	5.5	3.3	4.4	20.9	6.6
	本町(n=101)	33.7	23.8	17.8	15.8	16.8	11.9	11.9	7.9	9.9	8.9	7.9	5.0	7.9	5.9	5.0	5.9	28.7	8.9
	中央(n=84)	41.7	26.2	29.8	19.0	16.7	15.5	15.5	10.7	14.3	9.5	20.2	6.0	7.1	6.0	8.3	3.6	20.2	7.1
	東中野(n=73)	41.1	27.4	19.2	19.2	23.3	13.7	9.6	12.3	15.1	16.4	12.3	13.7	15.1	13.7	13.7	4.1	16.4	4.1
	中野(n=100)	52.0	30.0	30.0	20.0	22.0	18.0	17.0	16.0	15.0	14.0	11.0	18.0	10.0	7.0	7.0	3.0	17.0	7.0
	上高田(n=66)	56.1	30.3	24.2	15.2	10.6	18.2	15.2	10.6	16.7	19.7	13.6	9.1	15.2	9.1	9.1	3.0	16.7	9.1
	新井(n=58)	36.2	25.9	22.4	17.2	19.0	15.5	10.3	10.3	13.8	10.3	6.9	13.8	13.8	8.6	5.2	12.1	22.4	3.4
	沼袋(n=34)	55.9	29.4	17.6	5.9	23.5	14.7	8.8	5.9	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	2.9	2.9	5.9	8.8	14.7
	松が丘(n=18)	38.9	16.7	16.7	11.1	0.0	11.1	11.1	16.7	11.1	11.1	16.7	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	27.8	0.0
	江原町(n=31)	29.0	16.1	25.8	22.6	19.4	19.4	16.1	19.4	19.4	12.9	19.4	16.1	12.9	16.1	16.1	9.7	29.0	6.5
	江古田(n=54)	42.6	29.6	31.5	24.1	20.4	24.1	18.5	20.4	13.0	27.8	18.5	20.4	13.0	20.4	5.6	3.7	31.5	3.7
	丸山(n=21)	71.4	47.6	28.6	33.3	42.9	14.3	28.6	19.0	33.3	14.3	28.6	38.1	19.0	19.0	19.0	0.0	4.8	0.0
	野方(n=67)	28.4	20.9	17.9	17.9	11.9	11.9	17.9	11.9	7.5	11.9	13.4	7.5	7.5	11.9	4.5	3.0	28.4	7.5
	大和町(n=47)	42.6	29.8	31.9	17.0	23.4	23.4	10.6	25.5	17.0	6.4	10.6	14.9	4.3	6.4	10.6	2.1	21.3	12.8
	若宮(n=42)	31.0	21.4	42.9	16.7	14.3	19.0	26.2	23.8	21.4	21.4	9.5	14.3	7.1	4.8	7.1	4.8	16.7	4.8
	白鷺(n=27)	33.3	33.3	18.5	18.5	7.4	11.1	25.9	11.1	7.4	3.7	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0	14.8	22.2	7.4
	鷺宮(n=58)	50.0	29.3	29.3	24.1	13.8	19.0	15.5	17.2	15.5	15.5	13.8	8.6	17.2	6.9	3.4	5.2	24.1	5.2
上鷺宮(n=17)	47.1	23.5	17.6	17.6	11.8	17.6	11.8	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8	29.4	0.0	

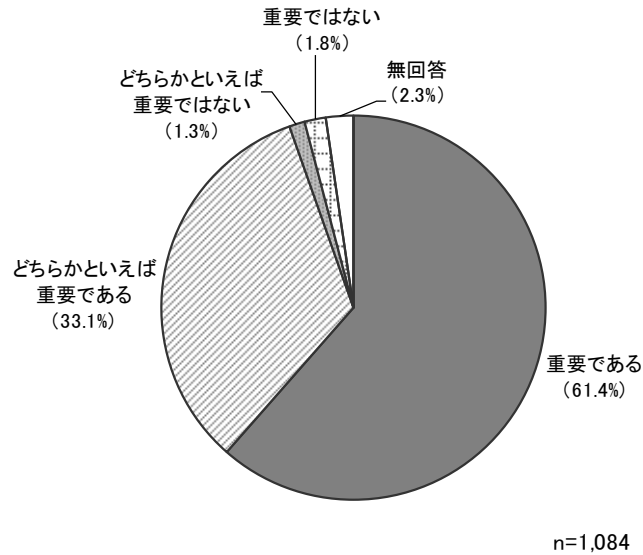
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

2.2 環境に関する理解・関心について

(1) 環境問題対策の重要度

「重要である」(「重要である」と「どちらかといえば重要である」)は9割半ば

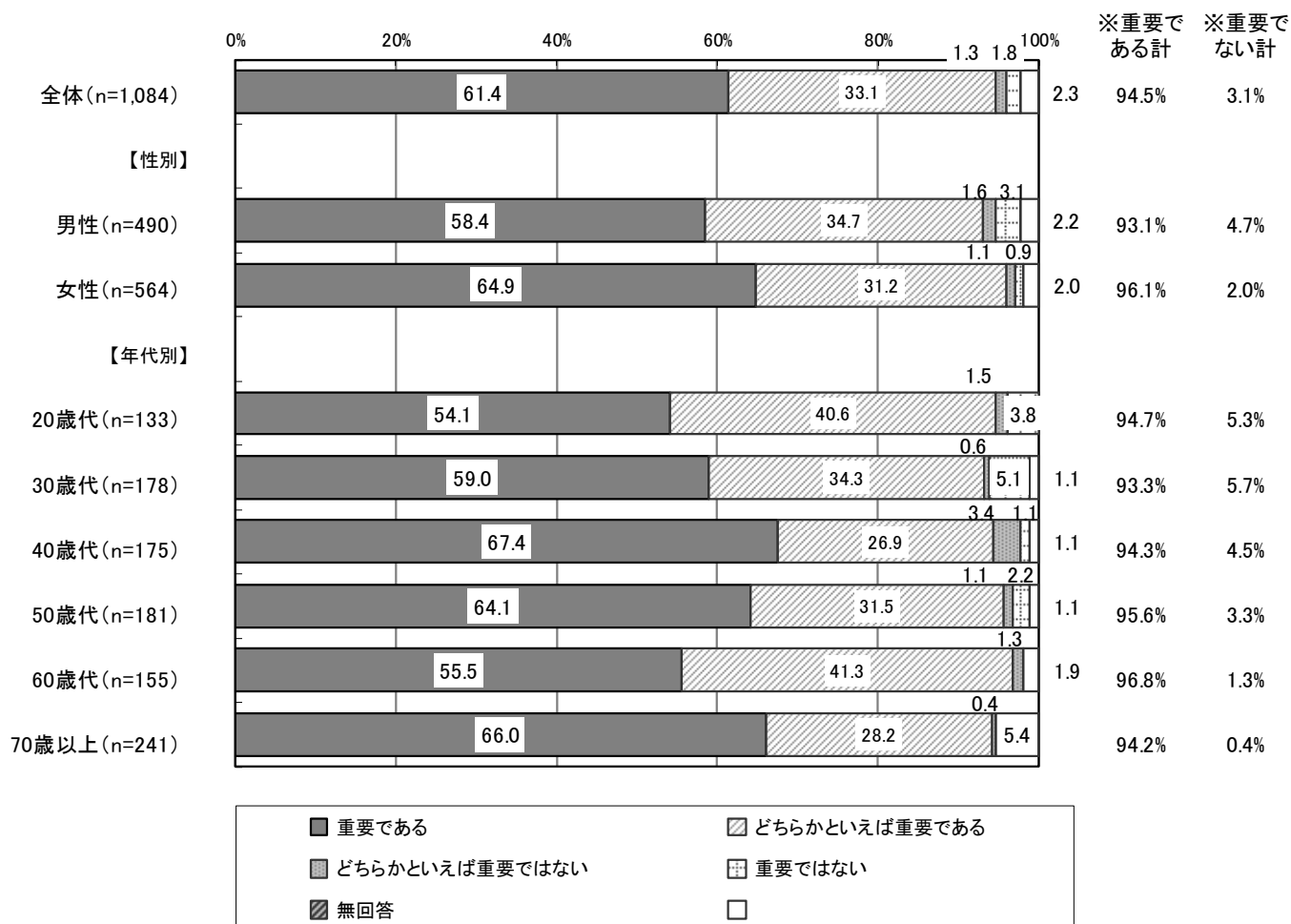
問 41 環境問題への対策について、どのように考えていますか。(○は1つ)



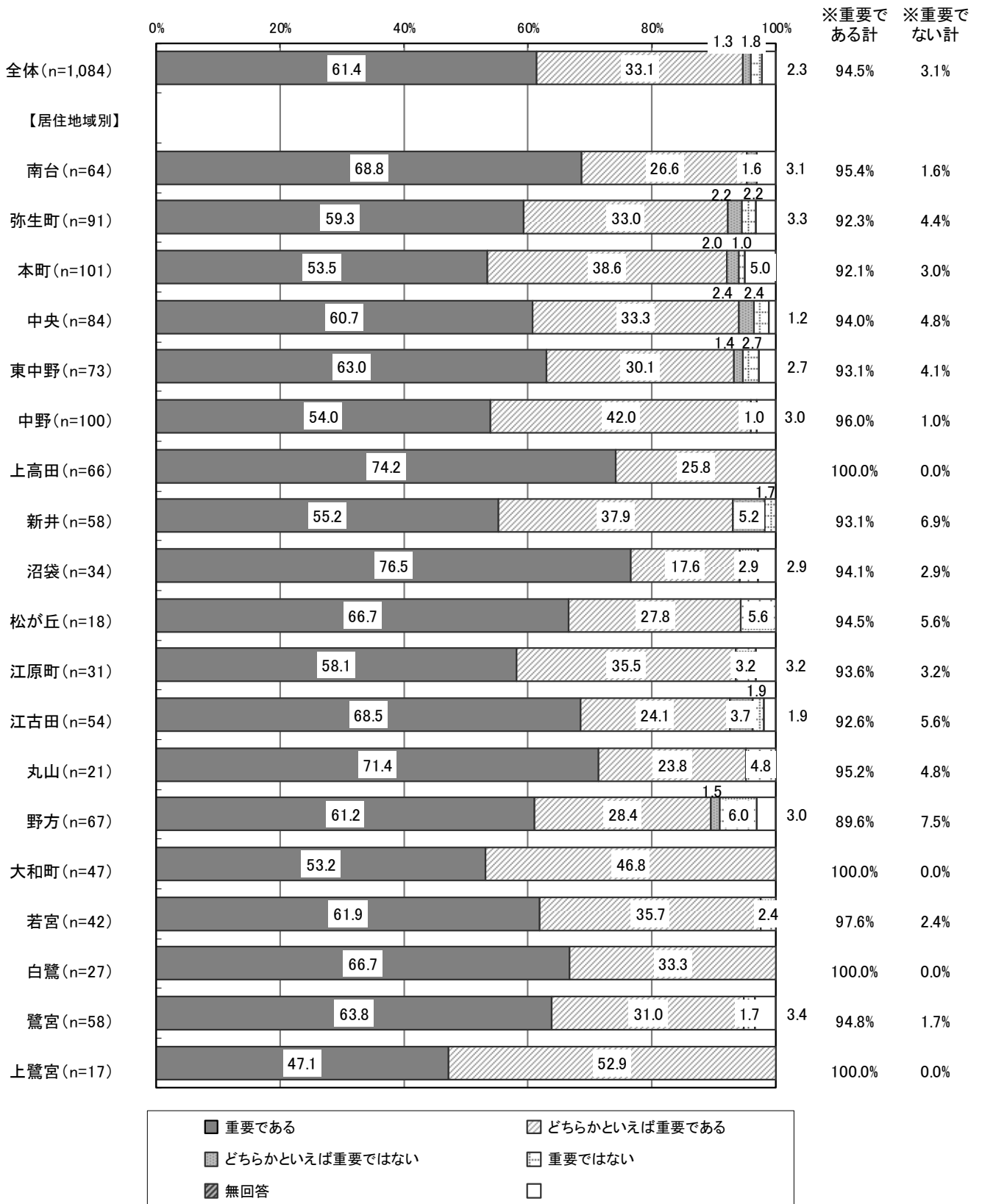
環境問題対策の重要度を聞いたところ、「重要である」(61.4%)、「どちらかといえば重要である」(33.1%)を合わせた「重要である」(94.5%)は9割半ばとなっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「重要である」はすべての年代で9割前半以上と高くなっている。



居住地域別にみると、「重要である」はいずれの地域でも約9割以上と高くなっている。

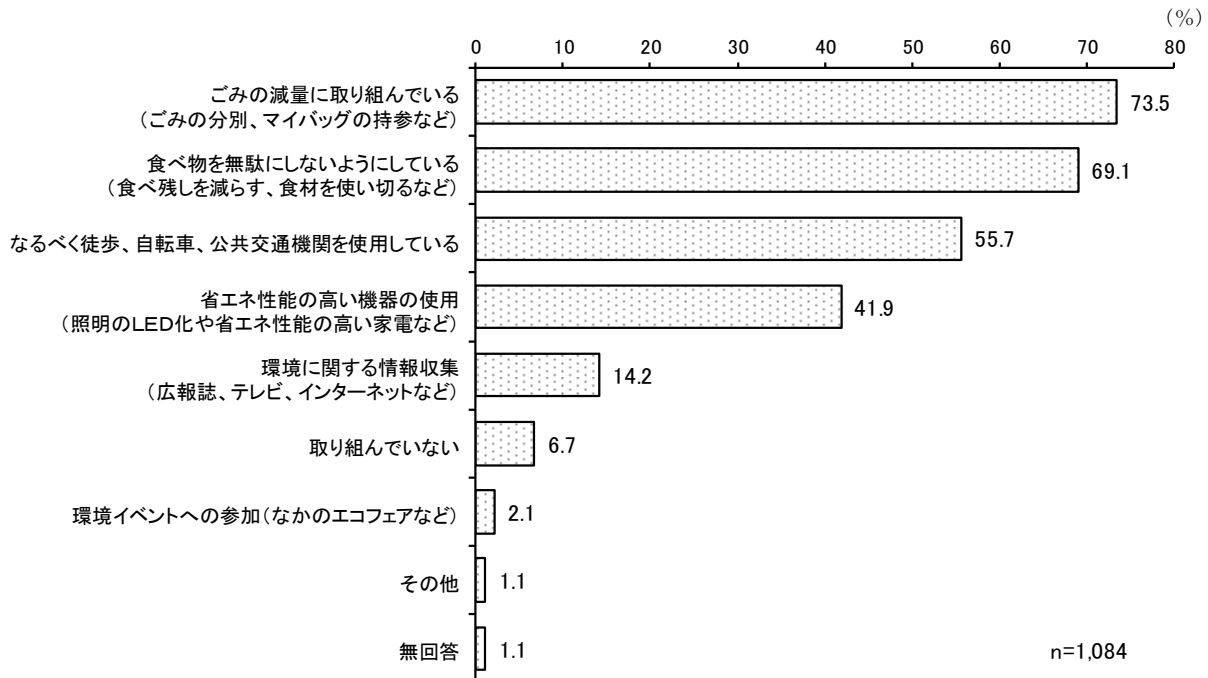


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 取り組んでいる環境に配慮した行動

「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」が7割前半と最も高い

問 41-1 あなたが、取り組んでいる環境に配慮した行動について教えてください。（○はいくつでも）



取り組んでいる環境に配慮した行動を聞いたところ、「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」(73.5%) が7割前半と最も高く、次いで「食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）」(69.1%)、「なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している」(55.7%) となっている。

性別で見ると、「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」、「食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）」、「なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している」、「省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）」、「環境に関する情報収集（広報誌、テレビ、インターネットなど）」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、「省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）」が60歳代で高くなっている。

		のごみ分別、減量にマイバッグの持参など（ごみ）	食べる（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）	なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している	省エネ性能の高い機器の使用（照明LED化や省エネ性能の高い家電など）	環境に関する情報収集（広報誌、テレビ、インターネットなど）	取り組んでいない	環境イベントへの参加（なかのエコフェアなど）	その他	無回答
全体 (n=1,084)		73.5	69.1	55.7	41.9	14.2	6.7	2.1	1.1	1.1
性別	男性 (n=490)	61.6	63.7	51.2	38.2	11.2	11.4	2.0	0.8	1.0
	女性 (n=564)	83.5	74.1	59.8	45.7	17.0	3.0	2.3	1.4	0.9
年代別	20歳代 (n=133)	59.4	62.4	57.1	22.6	8.3	9.8	2.3	0.0	0.8
	30歳代 (n=178)	62.4	70.2	47.8	32.6	9.6	7.3	2.8	1.1	0.6
	40歳代 (n=175)	77.7	76.6	49.7	43.4	14.3	4.0	2.9	1.1	0.6
	50歳代 (n=181)	83.4	69.6	61.9	47.5	13.8	5.0	0.6	1.7	0.0
	60歳代 (n=155)	72.9	62.6	58.7	52.3	15.5	10.3	1.3	1.3	0.6
	70歳以上 (n=241)	79.3	70.1	59.3	48.5	21.6	6.2	2.9	1.2	2.1

居住地域別にみると、「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」は新井、鷺宮で、「なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している」は南台で、「省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）」は鷺宮で、それぞれ高くなっている

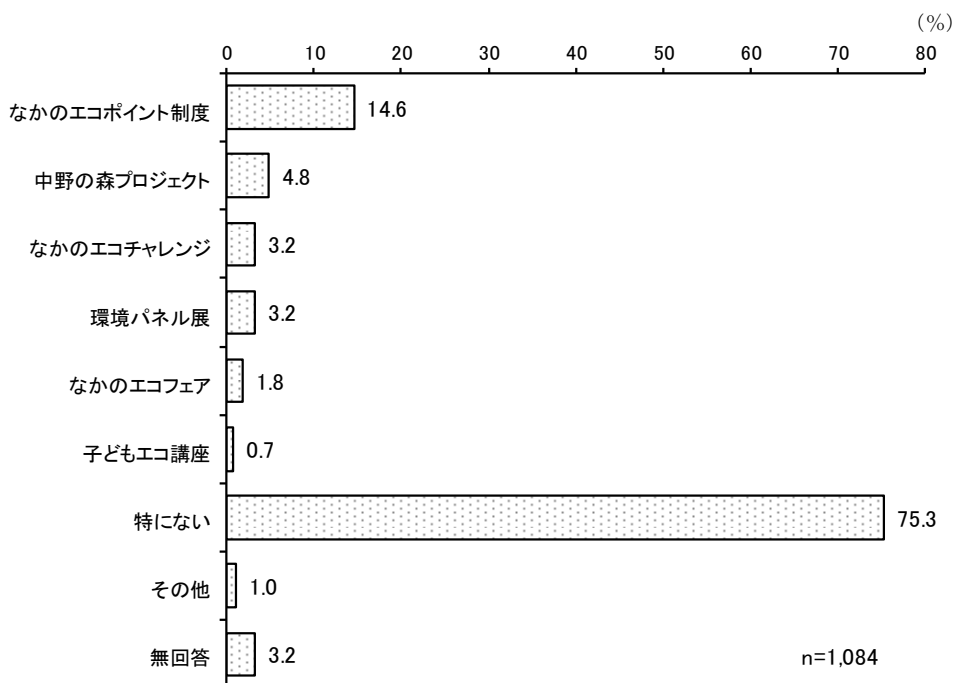
		ごみの減量にマイバッグの持参など	食べる（食物を無駄にしない）ようにしている（食残しを減らす、食材を切るなど）	なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している	省エネ性能の高い機器の使用（LED化や省エネ性能の高い家電など）	環境に関する情報収集（広報紙、テレビ、インターネットなど）	取り組んでいない	環境イベントへの参加（なかのエコフェアなど）	その他	無回答
全体(n=1,084)		73.5	69.1	55.7	41.9	14.2	6.7	2.1	1.1	1.1
居住地域別	南台(n=64)	70.3	68.8	70.3	43.8	25.0	4.7	1.6	0.0	1.6
	弥生町(n=91)	74.7	67.0	59.3	42.9	15.4	7.7	4.4	2.2	1.1
	本町(n=101)	77.2	73.3	59.4	37.6	16.8	5.0	4.0	0.0	1.0
	中央(n=84)	71.4	69.0	52.4	34.5	14.3	9.5	0.0	0.0	0.0
	東中野(n=73)	72.6	71.2	52.1	38.4	11.0	6.8	0.0	2.7	0.0
	中野(n=100)	71.0	60.0	52.0	37.0	9.0	9.0	4.0	1.0	2.0
	上高田(n=66)	74.2	77.3	54.5	51.5	13.6	3.0	1.5	3.0	0.0
	新井(n=58)	79.3	65.5	56.9	44.8	10.3	6.9	0.0	0.0	0.0
	沼袋(n=34)	73.5	73.5	58.8	29.4	14.7	0.0	2.9	0.0	2.9
	松が丘(n=18)	72.2	72.2	44.4	61.1	16.7	5.6	11.1	0.0	0.0
	江原町(n=31)	74.2	80.6	41.9	38.7	25.8	6.5	3.2	0.0	6.5
	江古田(n=54)	64.8	72.2	53.7	44.4	9.3	13.0	3.7	0.0	1.9
	丸山(n=21)	66.7	71.4	52.4	38.1	23.8	14.3	0.0	0.0	0.0
	野方(n=67)	77.6	71.6	55.2	43.3	11.9	4.5	1.5	0.0	0.0
	大和町(n=47)	68.1	63.8	55.3	31.9	14.9	6.4	2.1	4.3	4.3
	若宮(n=42)	69.0	61.9	54.8	42.9	14.3	14.3	0.0	2.4	0.0
白鷺(n=27)	70.4	63.0	59.3	51.9	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	
鷺宮(n=58)	81.0	65.5	55.2	63.8	17.2	3.4	0.0	3.4	0.0	
上鷺宮(n=17)	70.6	64.7	41.2	29.4	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 知っている（参加したことがある）環境事業

「特にない」が7割半ば

問 41-2 区が実施している環境事業について、あなたが、知っているまたは参加したことがある事業について教えてください。（○はいくつでも）



区が実施している環境事業について、知っているまたは参加したことがある事業を聞いたところ、「特にない」(75.3%)が7割半ばとなっており、次いで「なかのエコポイント制度」(14.6%)、「中野の森プロジェクト」(4.8%)となっている。

性別で見ると、「特にない」は女性に比べ男性で、「なかのエコポイント制度」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、「特にない」は20歳代で8割半ばと高くなっている。

		なかの エコポ イント 制度	中 野の 森 プロ ジェ クト	なか の エコ チャ レン ジ	環 境 パ ネ ル 展	なか の エコ フ ェ ア	子 ど も エコ 講 座	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全体(n=1,084)		14.6	4.8	3.2	3.2	1.8	0.7	75.3	1.0	3.2
性別	男性(n=490)	9.2	4.7	2.0	1.4	2.2	0.4	82.7	0.6	2.7
	女性(n=564)	19.3	4.8	4.4	4.8	1.4	1.1	69.3	1.2	3.2
年代別	20歳代(n=133)	7.5	3.0	1.5	1.5	0.8	0.0	86.5	0.8	0.8
	30歳代(n=178)	11.8	1.7	1.7	1.1	1.1	1.1	82.6	0.6	1.7
	40歳代(n=175)	22.9	8.0	8.6	4.0	2.3	1.7	69.1	0.6	0.6
	50歳代(n=181)	18.2	5.5	3.3	1.7	0.0	1.7	76.8	0.0	1.1
	60歳代(n=155)	14.8	5.2	2.6	5.8	5.2	0.0	72.3	3.2	1.9
	70歳以上(n=241)	10.8	4.6	2.1	4.6	1.7	0.0	71.8	0.8	8.3

居住地域別にみると、「なかのエコポイント制度」は大和町で、「特にない」は南台で、それぞれ高くなっている。

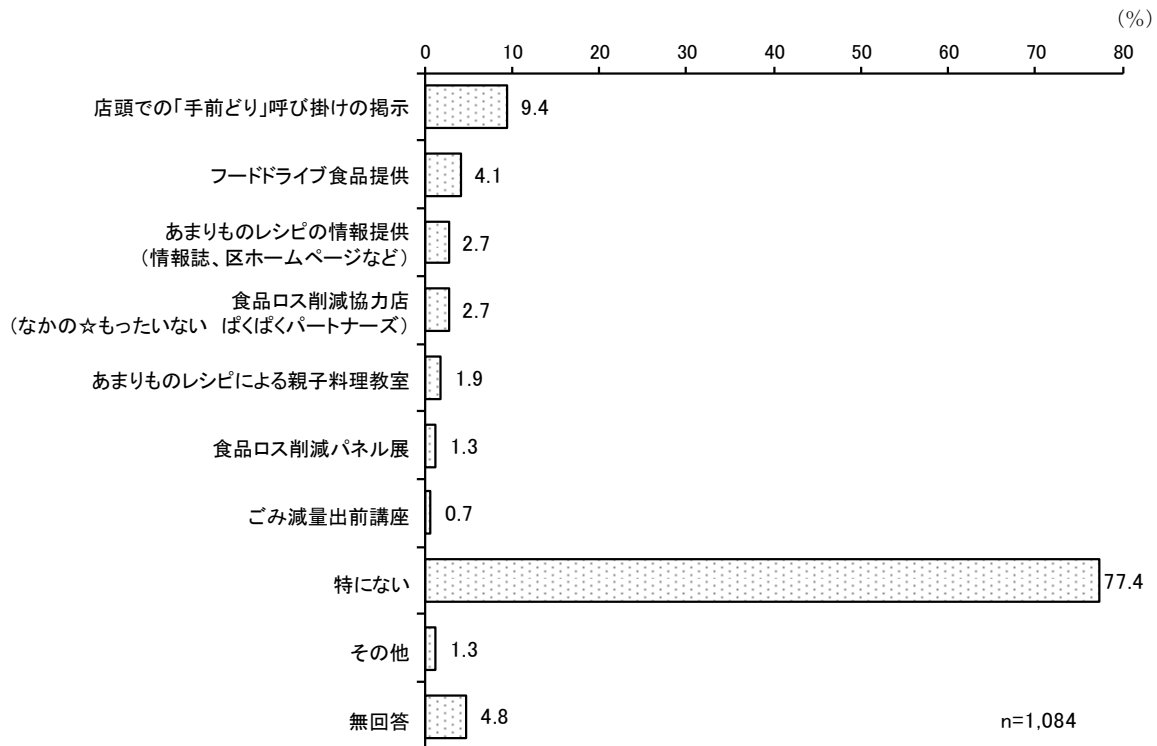
		なかの エコポ イント 制度	中 野の 森 プ ロ ジ ェ ク ト	なか の エ コ チ ャ レ ン ジ	環 境 パ ネ ル 展	なか の エ コ フ ェ ア	子 ど も エ コ 講 座	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体 (n=1,084)		14.6	4.8	3.2	3.2	1.8	0.7	75.3	1.0	3.2
居住地 域別	南台 (n=64)	7.8	4.7	3.1	1.6	0.0	1.6	84.4	0.0	3.1
	弥生町 (n=91)	15.4	3.3	5.5	2.2	3.3	1.1	74.7	1.1	3.3
	本町 (n=101)	15.8	2.0	1.0	3.0	1.0	0.0	78.2	1.0	1.0
	中央 (n=84)	10.7	4.8	1.2	1.2	0.0	0.0	81.0	1.2	2.4
	東中野 (n=73)	15.1	4.1	1.4	5.5	1.4	1.4	74.0	0.0	1.4
	中野 (n=100)	10.0	6.0	4.0	6.0	2.0	2.0	78.0	0.0	3.0
	上高田 (n=66)	19.7	4.5	4.5	6.1	3.0	1.5	66.7	0.0	3.0
	新井 (n=58)	19.0	3.4	1.7	0.0	3.4	0.0	77.6	0.0	1.7
	沼袋 (n=34)	14.7	5.9	2.9	5.9	2.9	0.0	70.6	0.0	8.8
	松が丘 (n=18)	22.2	11.1	0.0	11.1	5.6	0.0	66.7	0.0	0.0
	江原町 (n=31)	6.5	6.5	0.0	3.2	0.0	0.0	67.7	3.2	12.9
	江古田 (n=54)	11.1	5.6	5.6	7.4	1.9	1.9	77.8	1.9	1.9
	丸山 (n=21)	23.8	19.0	9.5	0.0	9.5	0.0	66.7	0.0	4.8
	野方 (n=67)	11.9	1.5	4.5	3.0	0.0	1.5	79.1	3.0	1.5
	大和町 (n=47)	21.3	4.3	4.3	0.0	2.1	0.0	68.1	0.0	6.4
	若宮 (n=42)	11.9	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	4.8
	白鷺 (n=27)	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	3.7
鷺宮 (n=58)	19.0	12.1	8.6	3.4	1.7	0.0	67.2	5.2	0.0	
上鷺宮 (n=17)	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.1	0.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 知っている（参加したことがある）「食品ロス削減事業」

「特にない」が7割後半

問 41-3 区が実施している食品ロス削減事業について、あなたが知っているまたは参加したことがある事業について教えてください。（○はいくつでも）



区が実施している「食品ロス削減事業」について、知っているまたは参加したことがある事業を聞いたところ、「特にない」(77.4%)が7割後半となっており、次いで「店頭での「手前どり」呼び掛けの掲示」(9.4%)、「フードドライブ食品提供」(4.1%)となっている。

性別で見ると、「特にない」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別にみると、「店頭での「手前どり」呼び掛けの掲示」は20歳代で1割後半と高くなっている。

		店頭での「手前どり」呼び掛けの掲示	フードドライブ食品提供	子供（情報誌、区ホームページなど）	あまりものレシピの提供（パトナーズ）	食品ロス削減協力店（なにか）	料理教室	食品ロス削減パネル展	ごみ減量出前講座	特にない	その他	無回答
全体(n=1,084)		9.4	4.1	2.7	2.7	1.9	1.3	0.7	77.4	1.3	4.8	
性別	男性(n=490)	7.3	2.0	1.6	2.0	0.6	0.8	0.8	84.9	0.6	3.7	
	女性(n=564)	11.7	5.7	3.5	3.2	3.0	1.8	0.7	71.8	1.6	4.8	
年代別	20歳代(n=133)	17.3	2.3	2.3	2.3	1.5	1.5	1.5	78.2	0.0	1.5	
	30歳代(n=178)	11.2	5.1	2.2	3.9	2.2	0.6	0.0	77.0	2.2	1.7	
	40歳代(n=175)	14.3	6.9	4.6	2.9	4.6	0.6	0.6	72.6	0.6	1.7	
	50歳代(n=181)	8.8	3.3	2.2	2.2	0.6	0.6	0.0	81.8	1.7	2.2	
	60歳代(n=155)	4.5	3.2	1.9	1.3	0.6	1.9	1.3	81.9	1.9	5.2	
	70歳以上(n=241)	4.6	2.9	2.5	2.9	1.7	2.5	1.2	76.8	0.8	10.8	

居住地域別にみると、「店頭での「手前どり」呼び掛けの掲示」は上高田、沼袋で、「特にない」は江古田で、それぞれ高くなっている。

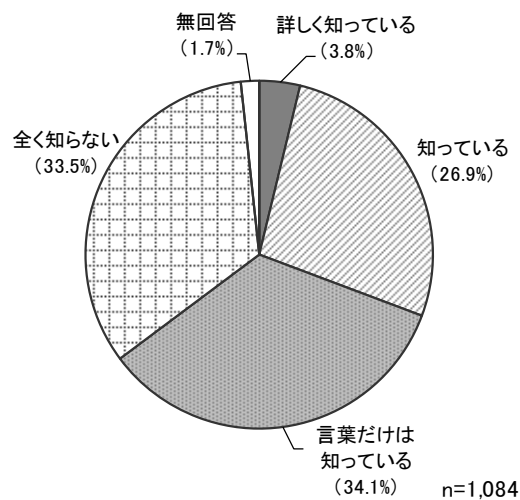
	店頭での「手前どり」呼び掛けの掲示	フードドライブ食品提供	供（情報誌、レシピなど）	く（パーティなど）	の（スター）	食品ロス削減協力店（な）	子（料理教室）	あまりものレシビによる親子	食品ロス削減パネル展	ごみ減量出前講座	特にない	その他	無回答
全体(n=1,084)	9.4	4.1	2.7	2.7	1.9	1.3	0.7	77.4	1.3	4.8			
居住地域別	南台(n=64)	12.5	3.1	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	76.6	1.6	4.7		
	弥生町(n=91)	9.9	3.3	1.1	3.3	0.0	1.1	0.0	81.3	1.1	5.5		
	本町(n=101)	12.9	3.0	4.0	1.0	4.0	3.0	1.0	74.3	0.0	5.0		
	中央(n=84)	7.1	3.6	2.4	2.4	1.2	1.2	0.0	78.6	3.6	1.2		
	東中野(n=73)	11.0	5.5	2.7	4.1	2.7	0.0	0.0	74.0	1.4	2.7		
	中野(n=100)	7.0	3.0	4.0	0.0	3.0	2.0	1.0	79.0	1.0	6.0		
	上高田(n=66)	15.2	7.6	0.0	1.5	4.5	0.0	1.5	74.2	0.0	3.0		
	新井(n=58)	13.8	3.4	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	75.9	1.7	3.4		
	沼袋(n=34)	14.7	8.8	2.9	5.9	2.9	2.9	0.0	70.6	0.0	8.8		
	松が丘(n=18)	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	88.9	5.6	0.0		
	江原町(n=31)	9.7	0.0	9.7	3.2	0.0	0.0	0.0	80.6	0.0	6.5		
	江古田(n=54)	7.4	5.6	1.9	3.7	3.7	1.9	0.0	85.2	0.0	1.9		
	丸山(n=21)	9.5	9.5	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8	76.2	0.0	0.0		
	野方(n=67)	4.5	1.5	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	82.1	1.5	4.5		
	大和町(n=47)	12.8	4.3	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	74.5	0.0	8.5		
	若宮(n=42)	7.1	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0	78.6	2.4	7.1		
	白鷺(n=27)	7.4	0.0	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0	77.8	0.0	3.7		
鷺宮(n=58)	1.7	5.2	1.7	3.4	0.0	0.0	1.7	81.0	3.4	3.4			
上鷺宮(n=17)	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.5	5.9	11.8			

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 「気候変動への適応策」の認知度

「認知あり」(「詳しく知っている」と「知っている」と「言葉だけは知っている」)が6割半ば

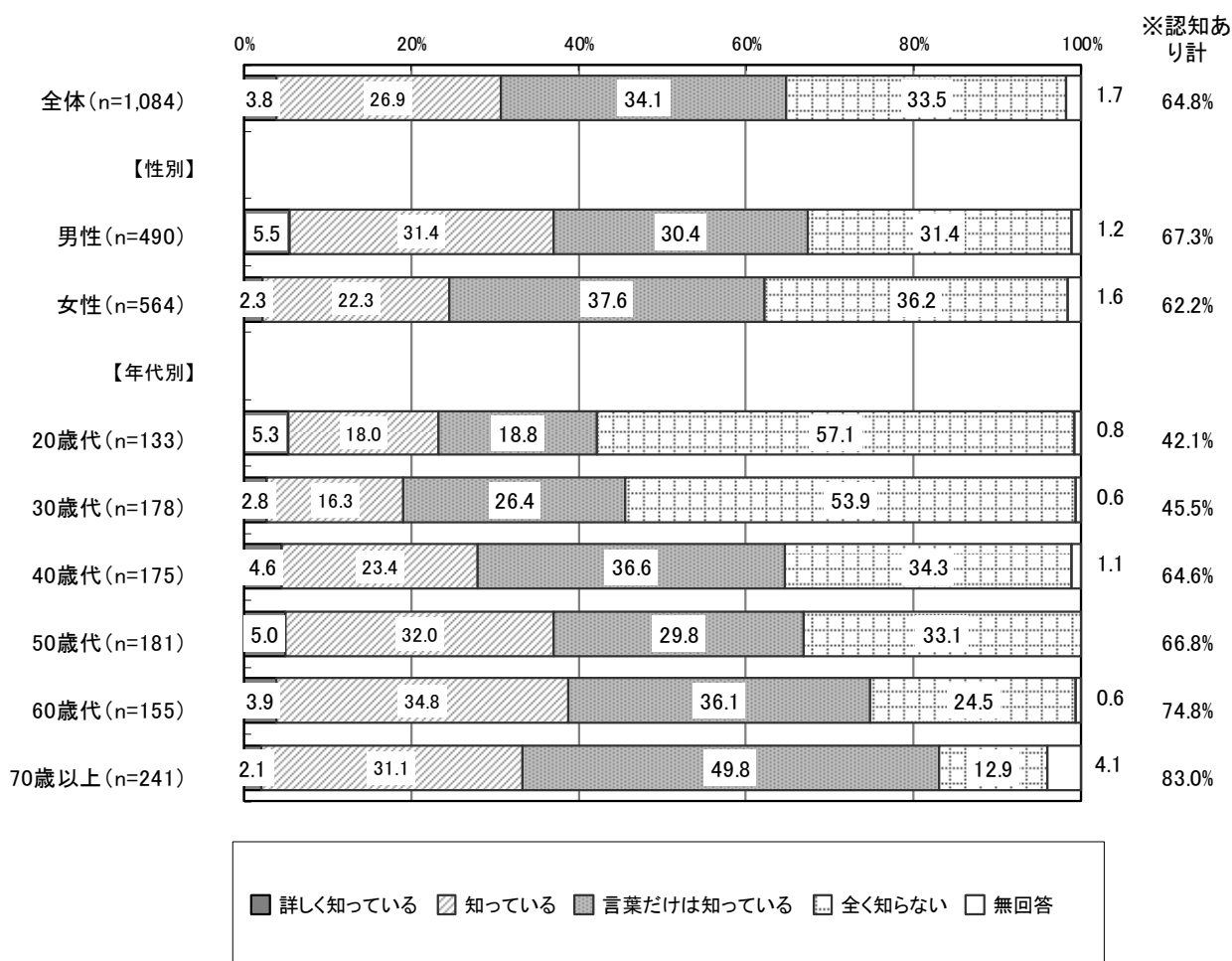
問 42 「気候変動への適応策」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ)



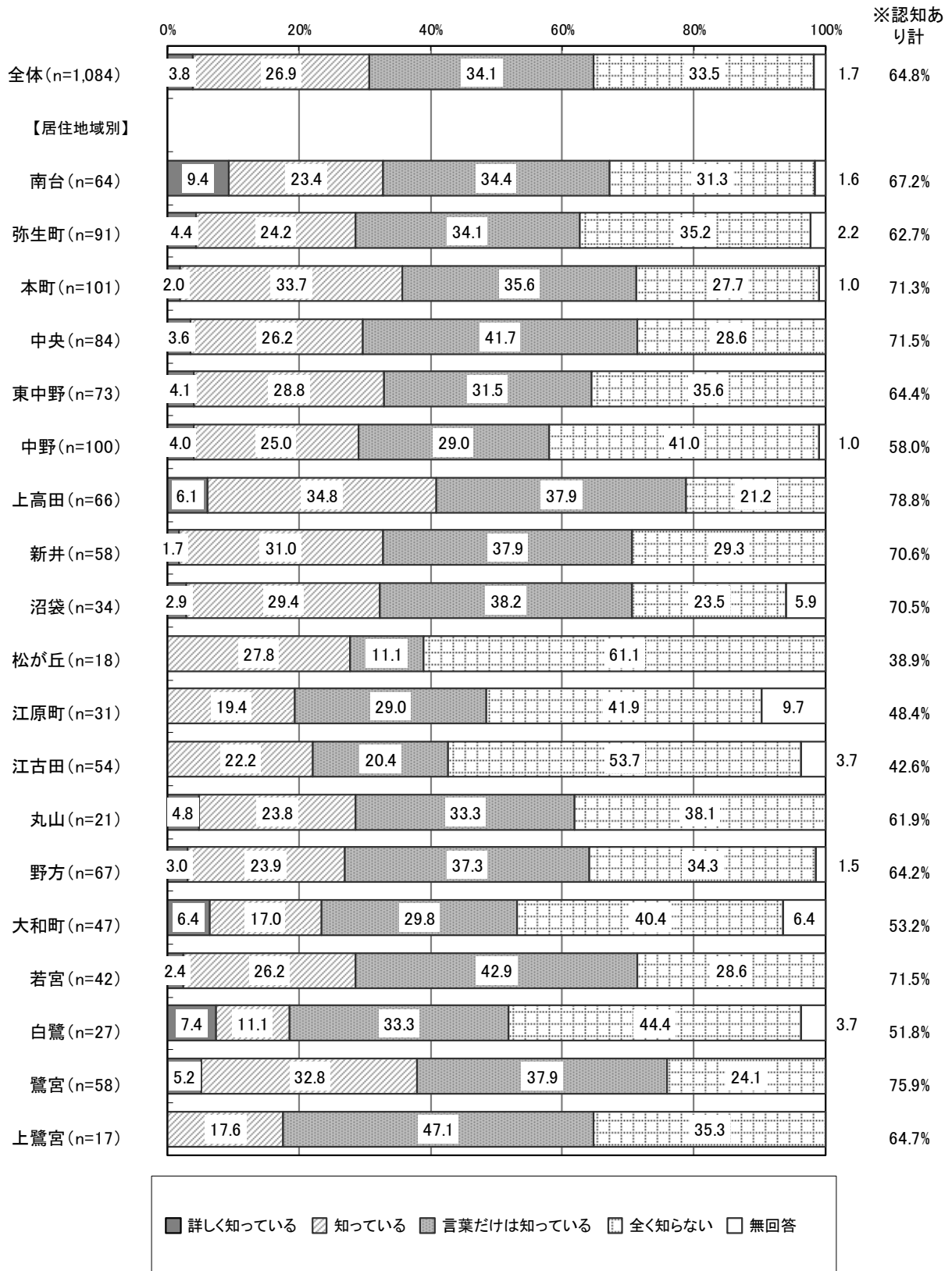
「気候変動への適応策」の認知度を聞いたところ、「言葉だけは知っている」(34.1%)が3割半ばで最も高くなっている。

「詳しく知っている」(3.8%)、「知っている」(26.9%)、「言葉だけは知っている」(34.1%)を合わせた「認知あり」(64.8%)は6割半ばとなっている。

性別で見ると、「認知あり」は女性に比べ男性でやや高くなっている。
 年代別にみると、「認知あり」は70歳以上で8割前半と高くなっている。



居住地域別にみると、「認知あり」は上高田で7割後半と高くなっている。

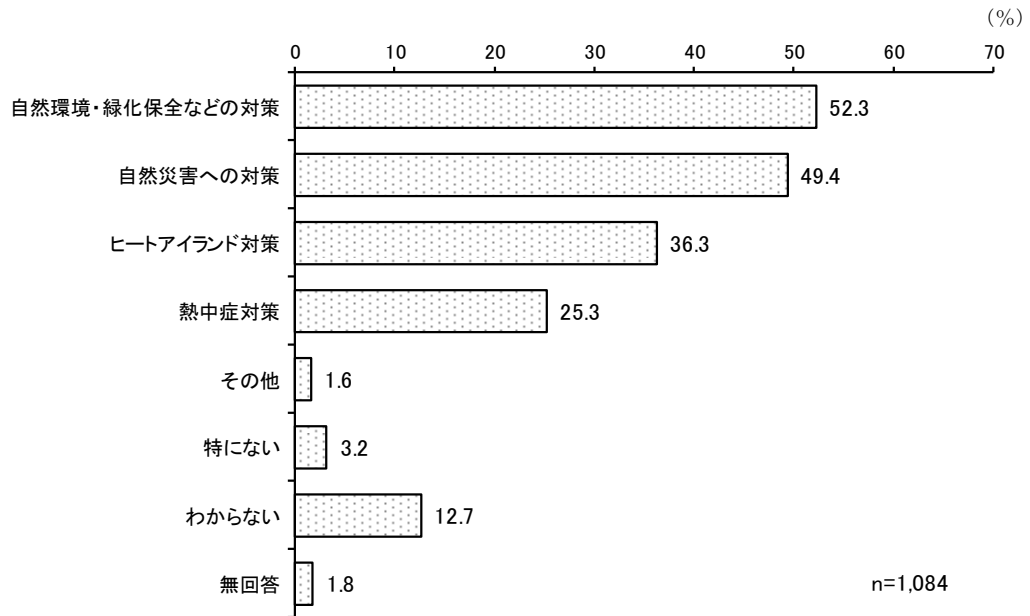


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 「気候変動への適応策」として力を入れるべきこと

「自然環境・緑化保全などの対策」が5割前半と最も高い

問 42-1 「気候変動への適応策」について、普段の生活の中で中野区内において力を入れるべきだと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)



「気候変動への適応策」として力を入れるべきことについて聞いたところ、「自然環境・緑化保全などの対策」(52.3%)が5割前半と最も高く、次いで「自然災害への対策」(49.4%)、「ヒートアイランド対策」(36.3%)となっている。

性別で見ると、「自然災害への対策」、「ヒートアイランド対策」、「熱中症対策」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、「ヒートアイランド対策」が50歳代で高くなっている。

		自然環境・緑化保全などの対策	自然災害への対策	ヒートアイランド対策	熱中症対策	その他	特にない	わからない	無回答
全体(n=1,084)		52.3	49.4	36.3	25.3	1.6	3.2	12.7	1.8
性別	男性(n=490)	50.8	44.1	32.0	22.0	1.8	4.9	12.4	1.6
	女性(n=564)	54.4	54.1	40.6	28.7	1.1	2.0	12.6	1.6
年代別	20歳代(n=133)	35.3	39.1	19.5	30.1	2.3	4.5	24.1	0.8
	30歳代(n=178)	49.4	44.4	32.0	26.4	0.6	3.9	14.0	1.1
	40歳代(n=175)	58.9	48.0	43.4	24.0	1.1	3.4	9.7	1.7
	50歳代(n=181)	50.8	51.9	51.4	25.4	2.8	2.8	9.4	0.6
	60歳代(n=155)	53.5	50.3	40.6	23.2	2.6	3.2	11.0	1.3
	70歳以上(n=241)	59.8	56.4	30.7	24.5	0.8	2.5	10.8	3.3

居住地域別にみると、「自然環境・緑化保全などの対策」は上高田で高くなっている。

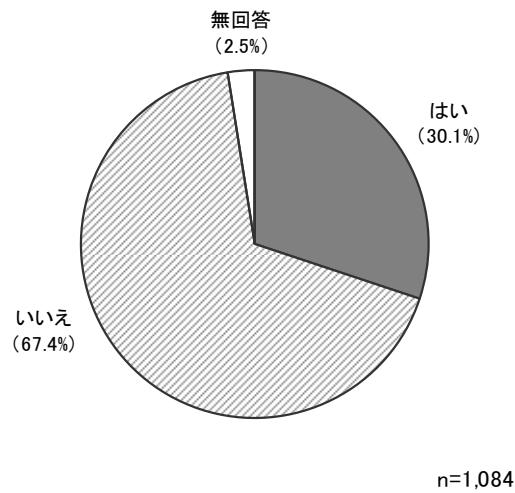
		対 策	自然 環境 ・ 緑 化 保 全 な ど の	自 然 災 害 へ の 対 策	ヒ ー ト ア イ ラ ン ド 対 策	熱 中 症 対 策	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(n=1,084)		52.3	49.4	36.3	25.3	1.6	3.2	12.7	1.8	
居 住 地 域 別	南台(n=64)	48.4	54.7	34.4	26.6	3.1	6.3	9.4	1.6	
	弥生町(n=91)	57.1	54.9	39.6	19.8	0.0	3.3	12.1	1.1	
	本町(n=101)	59.4	45.5	34.7	27.7	2.0	0.0	13.9	1.0	
	中央(n=84)	57.1	54.8	44.0	26.2	1.2	4.8	6.0	1.2	
	東中野(n=73)	56.2	53.4	37.0	17.8	5.5	1.4	8.2	1.4	
	中野(n=100)	42.0	43.0	34.0	29.0	0.0	4.0	16.0	3.0	
	上高田(n=66)	63.6	51.5	43.9	30.3	0.0	3.0	7.6	0.0	
	新井(n=58)	51.7	56.9	32.8	31.0	0.0	6.9	10.3	0.0	
	沼袋(n=34)	61.8	52.9	35.3	29.4	0.0	2.9	5.9	5.9	
	松が丘(n=18)	55.6	38.9	44.4	22.2	0.0	0.0	16.7	0.0	
	江原町(n=31)	45.2	38.7	29.0	19.4	9.7	3.2	19.4	6.5	
	江古田(n=54)	44.4	42.6	29.6	29.6	0.0	3.7	25.9	3.7	
	丸山(n=21)	42.9	42.9	42.9	33.3	4.8	0.0	19.0	0.0	
	野方(n=67)	52.2	49.3	35.8	20.9	0.0	0.0	14.9	1.5	
	大和町(n=47)	42.6	48.9	40.4	8.5	2.1	0.0	12.8	6.4	
	若宮(n=42)	52.4	50.0	42.9	28.6	2.4	7.1	4.8	0.0	
	白鷺(n=27)	40.7	66.7	40.7	29.6	0.0	3.7	18.5	0.0	
鷺宮(n=58)	55.2	36.2	27.6	25.9	3.4	6.9	10.3	1.7		
上鷺宮(n=17)	52.9	29.4	35.3	35.3	0.0	0.0	23.5	0.0		

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(7) ゼロカーボンシティ宣言の認知度

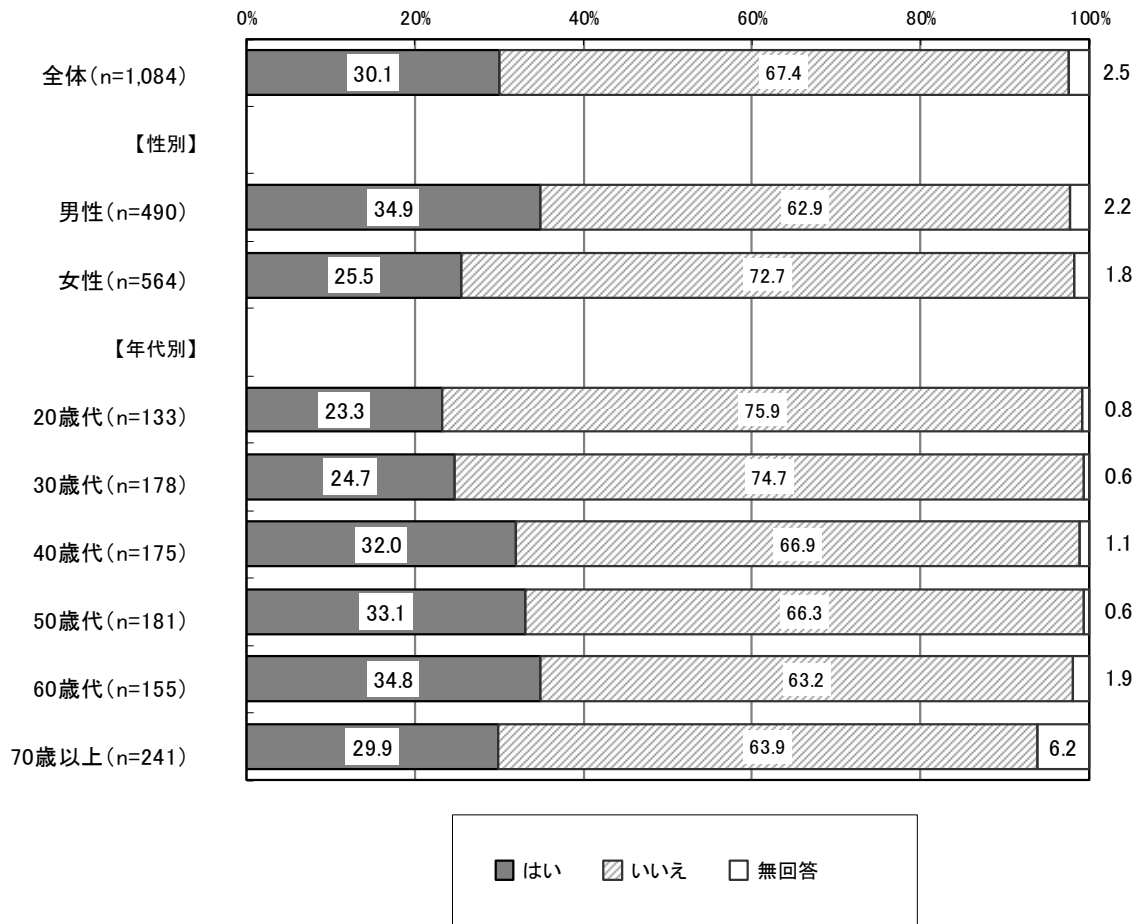
「いいえ」が6割後半

問 43 ゼロカーボンシティ宣言を知っていますか。(○は1つ)

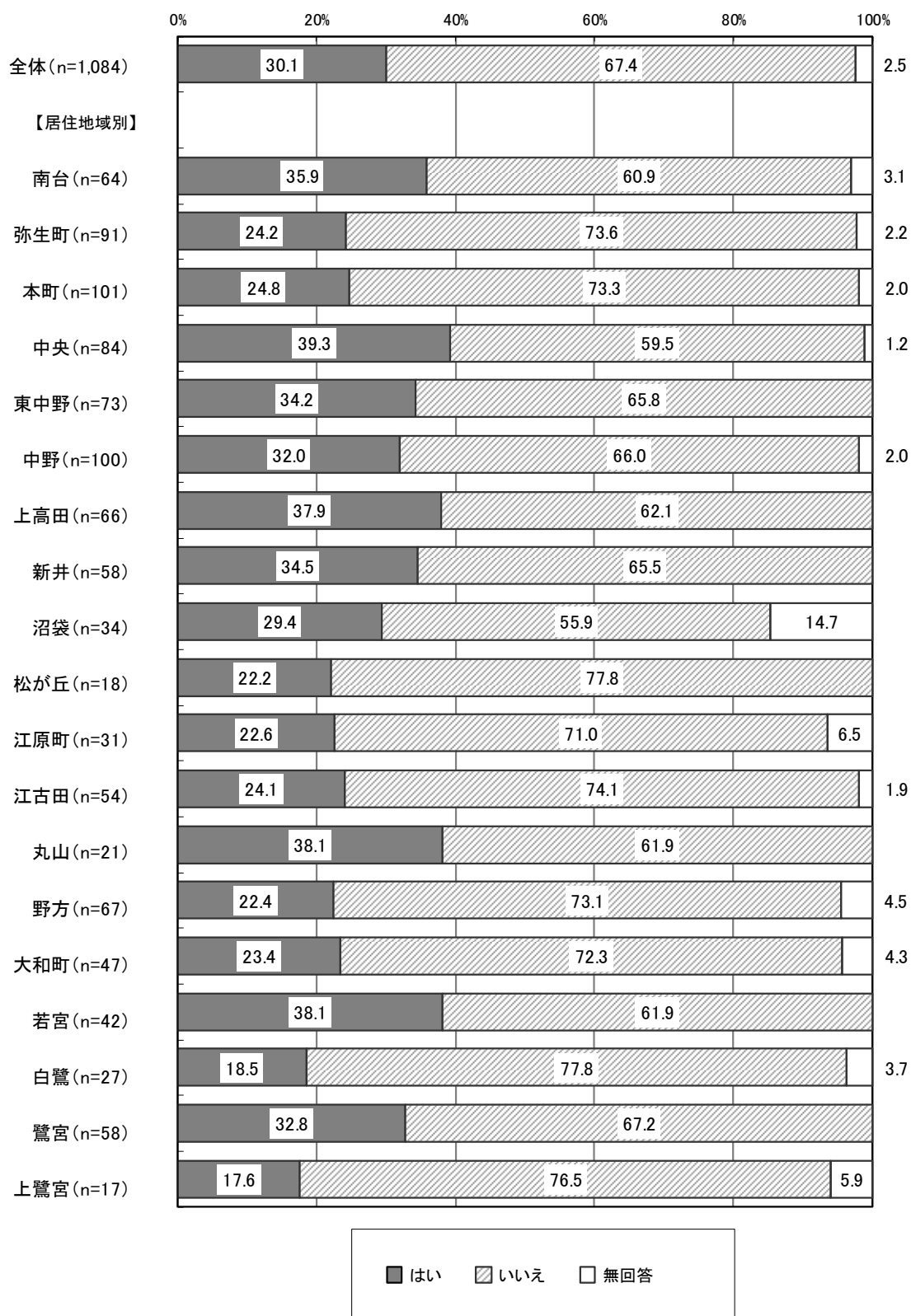


ゼロカーボンシティ宣言の認知度について聞いたところ、「いいえ」(67.4%)が6割後半、「はい」(30.1%)が約3割となっている。

性別で見ると、「はい」は女性に比べ男性で高くなっている。
 年代別にみると、「はい」は60歳代で高くなっている。



居住地域別にみると、「はい」は南台、中央、上高田、若宮で高くなっている。

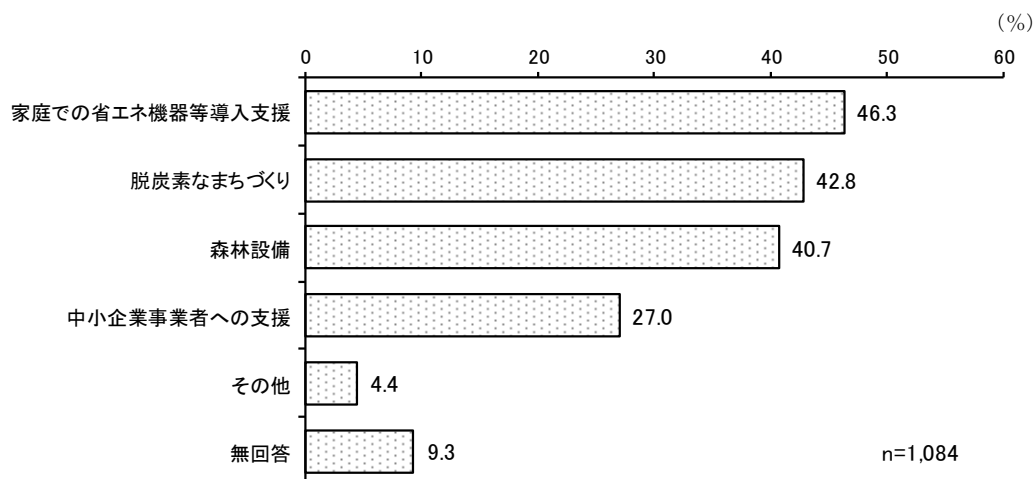


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(8) ゼロカーボンに必要な対策

「家庭での省エネ機器等導入支援」が4割半ば

問 43-1 ゼロカーボン（2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ）のために、あなたが考える必要な対策についてお答えください。（○はいくつでも）



ゼロカーボンに必要な対策について聞いたところ、「家庭での省エネ機器等導入支援」(46.3%)が4割半ばと最も高く、次いで「脱炭素なまちづくり」(42.8%)、「森林設備」(40.7%)となっている。

性別で見ると、「家庭での省エネ機器等導入支援」、「中小企業事業者への支援」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、「森林設備」が20歳代で高くなっている。

		家庭での省エネ機器等導入支援	脱炭素なまちづくり	森林設備	中小企業事業者への支援	その他	無回答
全体 (n=1,084)		46.3	42.8	40.7	27.0	4.4	9.3
性別	男性 (n=490)	43.3	43.7	39.4	24.1	5.7	6.9
	女性 (n=564)	49.8	41.5	42.0	29.6	3.0	10.6
年代別	20歳代 (n=133)	39.1	38.3	45.9	28.6	4.5	6.0
	30歳代 (n=178)	48.9	43.3	43.3	34.3	1.7	6.2
	40歳代 (n=175)	49.1	44.0	43.4	36.0	2.9	4.0
	50歳代 (n=181)	49.7	41.4	45.3	31.5	4.4	7.7
	60歳代 (n=155)	50.3	45.8	38.7	18.7	7.1	9.7
	70歳以上 (n=241)	42.7	43.2	32.4	15.8	5.8	17.0

居住地域別にみると、「脱炭素なまちづくり」は南台で、「森林設備」は鷺宮で、それぞれ高くなっている。

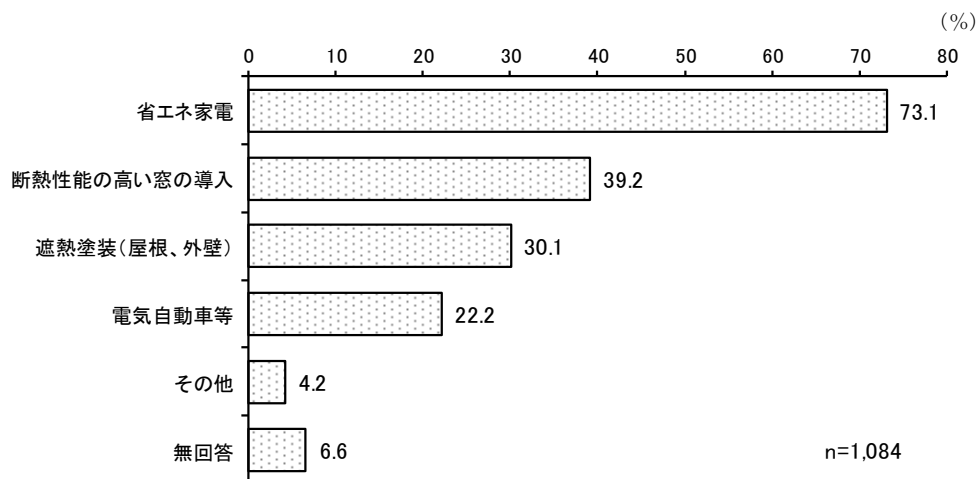
		家庭での省エネ機器等導入	脱炭素なまちづくり	森林設備	中小企業事業者への支援	その他	無回答
全体 (n=1,084)		46.3	42.8	40.7	27.0	4.4	9.3
居住地域別	南台 (n=64)	42.2	60.9	40.6	32.8	3.1	9.4
	弥生町 (n=91)	41.8	41.8	33.0	26.4	2.2	13.2
	本町 (n=101)	48.5	45.5	46.5	25.7	2.0	6.9
	中央 (n=84)	38.1	56.0	34.5	33.3	1.2	4.8
	東中野 (n=73)	43.8	38.4	35.6	31.5	2.7	11.0
	中野 (n=100)	54.0	38.0	42.0	23.0	1.0	11.0
	上高田 (n=66)	54.5	34.8	47.0	31.8	9.1	4.5
	新井 (n=58)	43.1	36.2	46.6	29.3	5.2	6.9
	沼袋 (n=34)	50.0	47.1	23.5	20.6	5.9	14.7
	松が丘 (n=18)	72.2	38.9	33.3	11.1	5.6	5.6
	江原町 (n=31)	38.7	29.0	38.7	19.4	19.4	22.6
	江古田 (n=54)	53.7	46.3	42.6	31.5	3.7	9.3
	丸山 (n=21)	66.7	42.9	33.3	23.8	4.8	4.8
	野方 (n=67)	41.8	37.3	41.8	22.4	7.5	10.4
	大和町 (n=47)	38.3	34.0	46.8	29.8	2.1	14.9
	若宮 (n=42)	54.8	45.2	35.7	16.7	7.1	2.4
	白鷺 (n=27)	55.6	33.3	48.1	18.5	3.7	3.7
鷺宮 (n=58)	41.4	48.3	53.4	29.3	8.6	1.7	
上鷺宮 (n=17)	35.3	47.1	41.2	23.5	5.9	11.8	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(9) 家庭での省エネ機器等導入支援で導入したい設備

「省エネ家電」が7割前半

問 43-2 家庭での省エネ機器等導入支援を考えた場合、あなたが導入したいと思う設備等についてお答えください。(〇はいくつでも)



家庭での省エネ機器等導入支援で導入したい設備について聞いたところ、「省エネ家電」(73.1%)が7割前半で最も高く、次いで「断熱性能の高い窓の導入」(39.2%)、「遮熱塗装(屋根、外壁)」(30.1%)となっている。

性別で見ると、「省エネ家電」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別にみると、「省エネ家電」が20歳代で、「遮熱塗装（屋根、外壁）」が50歳代で高くなっている。

		省エネ家電	断熱性能の高い窓の導入	遮熱塗装（屋根、外壁）	電気自動車等	その他	無回答
全体 (n=1,084)		73.1	39.2	30.1	22.2	4.2	6.6
性別	男性 (n=490)	69.6	38.0	28.4	21.2	4.5	6.9
	女性 (n=564)	77.5	41.0	31.7	23.0	3.7	5.5
年代別	20歳代 (n=133)	78.2	36.8	21.8	22.6	3.0	4.5
	30歳代 (n=178)	76.4	44.4	26.4	22.5	1.1	5.1
	40歳代 (n=175)	76.6	45.7	34.9	26.3	1.7	4.6
	50歳代 (n=181)	72.9	45.3	38.1	21.5	6.1	3.9
	60歳代 (n=155)	72.3	29.0	29.7	24.5	6.5	5.8
	70歳以上 (n=241)	67.2	34.0	29.0	17.8	5.8	11.6

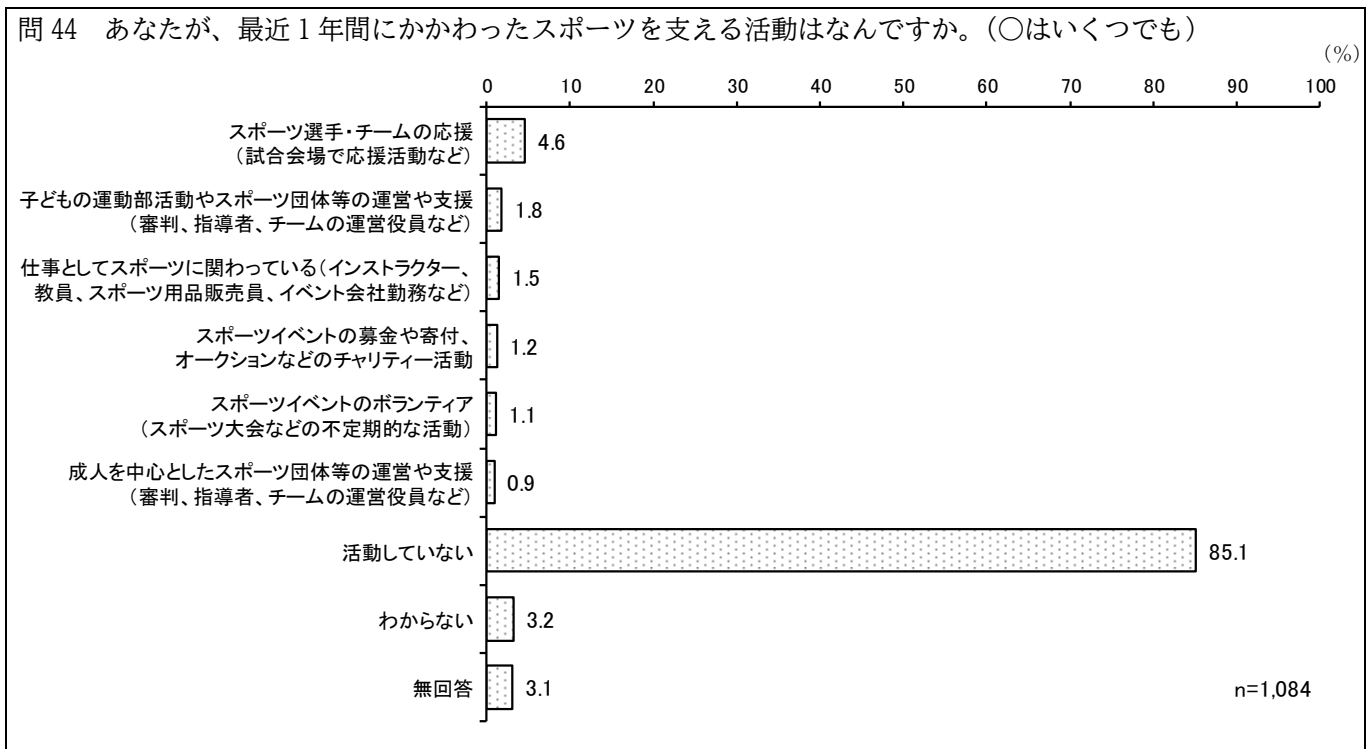
居住地域別にみると「電気自動車等」は若宮、江原町で、高くなっている。

		省エネ家電	断熱性能の高い窓の導入	遮熱塗装（屋根、外壁）	電気自動車等	その他	無回答
全体 (n=1,084)		73.1	39.2	30.1	22.2	4.2	6.6
居住地域別	南台 (n=64)	75.0	40.6	31.3	25.0	3.1	4.7
	弥生町 (n=91)	76.9	40.7	24.2	20.9	5.5	6.6
	本町 (n=101)	76.2	40.6	32.7	24.8	1.0	5.0
	中央 (n=84)	75.0	36.9	31.0	20.2	3.6	4.8
	東中野 (n=73)	82.2	42.5	32.9	16.4	0.0	5.5
	中野 (n=100)	76.0	43.0	29.0	18.0	3.0	7.0
	上高田 (n=66)	69.7	33.3	36.4	18.2	9.1	7.6
	新井 (n=58)	69.0	41.4	36.2	22.4	3.4	6.9
	沼袋 (n=34)	58.8	44.1	38.2	14.7	2.9	8.8
	松が丘 (n=18)	66.7	44.4	38.9	38.9	0.0	5.6
	江原町 (n=31)	71.0	25.8	12.9	32.3	3.2	12.9
	江古田 (n=54)	77.8	42.6	37.0	29.6	3.7	5.6
	丸山 (n=21)	95.2	47.6	23.8	4.8	9.5	0.0
	野方 (n=67)	68.7	40.3	29.9	25.4	6.0	4.5
	大和町 (n=47)	61.7	23.4	27.7	12.8	12.8	17.0
	若宮 (n=42)	76.2	33.3	33.3	35.7	0.0	2.4
	白鷺 (n=27)	77.8	37.0	25.9	14.8	14.8	3.7
鷺宮 (n=58)	70.7	43.1	25.9	22.4	5.2	0.0	
上鷺宮 (n=17)	52.9	52.9	17.6	35.3	0.0	11.8	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

2.3 スポーツ支援活動への参加について

「活動していない」が8割半ば



最近1年間にかかわったスポーツを支える活動を聞いたところ、「活動していない」(85.1%)が8割半ばで最も高く、次いで「スポーツ選手・チームの応援(試合会場で応援活動など)」(4.6%)、「子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援(審判、指導者、チームの運営役員など)」(1.8%)となっている。

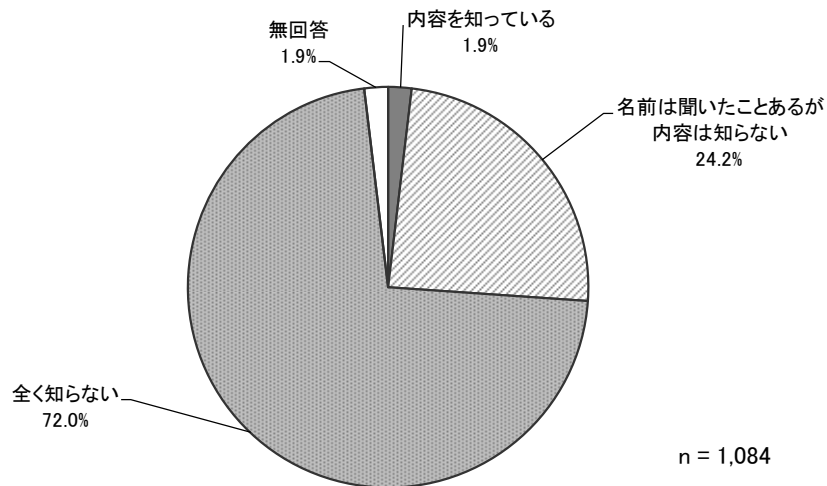
性別、年代別ともに、特徴的な差はみられない。

		（試合会場 で応援活動 など）	スポーツ選手・ チームの応援 （役員など）	子どもの運動部 活動やスポーツ 団体の運営 （審判、指導者、 チーム等の運 営役員など）	品販売員、イベ ント会社勤務 など）	仕事としてス ポーツに関わ っている （インストラ クター、教員、 スポーツ用品 販売員、イベ ント会社勤務 など）	スポーツイベ ントの募金や 寄付、活動 （ボランティア などのチャリ ティー活動	スポーツイベ ントのボラン ティア （スポーツ大 会などの不定 期的な活動）	成人を中心と したスポーツ 団体等の運 営や支援（審 判、指導者、 チームの運 営役員など）	活動してい ない	わからない	無回答
全体 (n=1,084)		4.6	1.8	1.5	1.2	1.1	0.9	85.1	3.2	3.1		
性別	男性 (n=490)	5.5	1.6	1.0	1.2	1.4	1.4	85.7	3.3	1.6		
	女性 (n=564)	4.1	2.1	2.0	1.2	0.9	0.5	85.3	3.0	3.5		
年代別	20歳代 (n=133)	5.3	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	87.2	6.8	0.0		
	30歳代 (n=178)	6.7	4.5	3.9	1.7	2.2	2.2	83.7	2.8	0.6		
	40歳代 (n=175)	9.1	4.6	1.1	1.1	0.6	0.6	82.9	1.7	0.6		
	50歳代 (n=181)	2.2	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1	89.0	3.3	1.7		
	60歳代 (n=155)	2.6	1.3	1.9	1.3	0.0	0.0	90.3	2.6	1.9		
	70歳以上 (n=241)	2.9	0.8	0.4	1.7	1.7	1.2	81.7	2.9	8.7		

24 基本構想について

「全く知らない」が7割前半

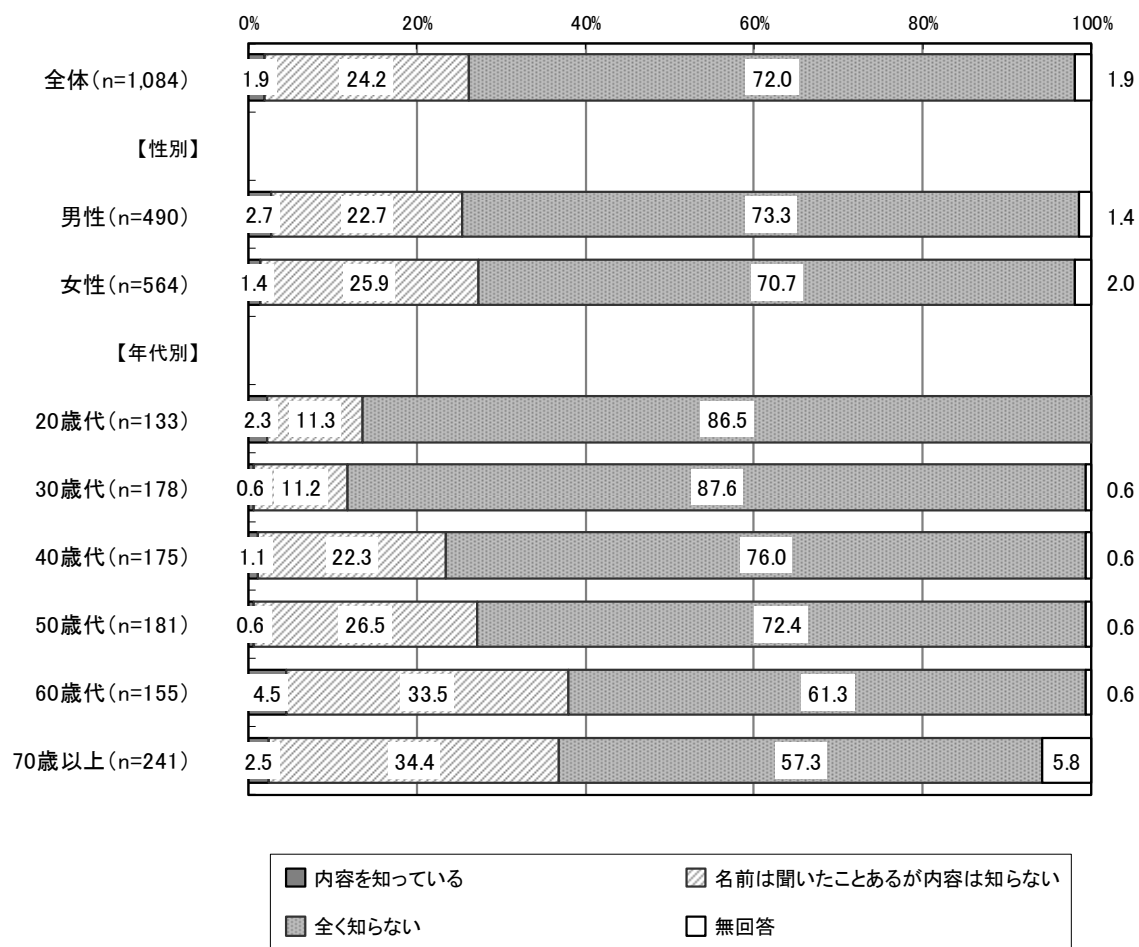
問 45 区は2021年3月に、中野区基本構想を改定しました。基本構想は、中野区に住む人々や、このまちで働き、学び、活動する全ての人々にとっての共通目標であり、最も基本的な区政運営の指針となるものです。現在の基本構想を知っていますか。(○は1つ)



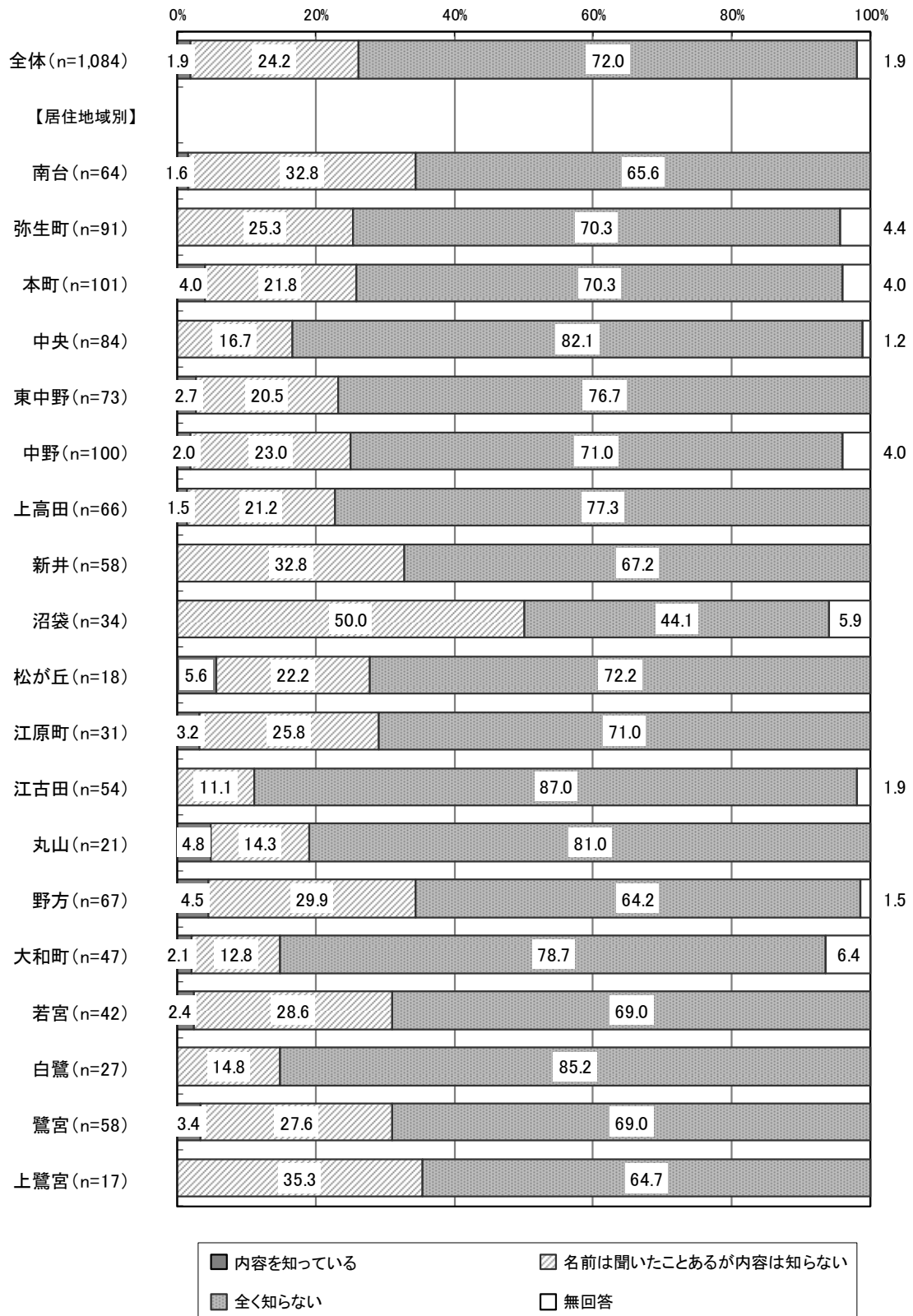
中野区基本構想の認知度について聞いたところ、「全く知らない」(72.0%)が7割前半で最も高く、次いで「名前は聞いたことあるが内容は知らない」(24.2%)、「内容を知っている」(1.9%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「内容を知っている」は、60歳代、70歳以上で、それぞれやや高くなっている。



居住地域別にみると、「名前は聞いたことあるが内容は知らない」は、沼袋で高くなっている。



※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

25 中野区のまちの姿について

「**⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている**」が5割後半

問 46 次の項目は、基本構想において描く10年後に目指すまちの姿の概要を表しています。

10年後に目指すまちの姿の実現に向けて、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」をお答えください。(○はそれぞれ1つ)

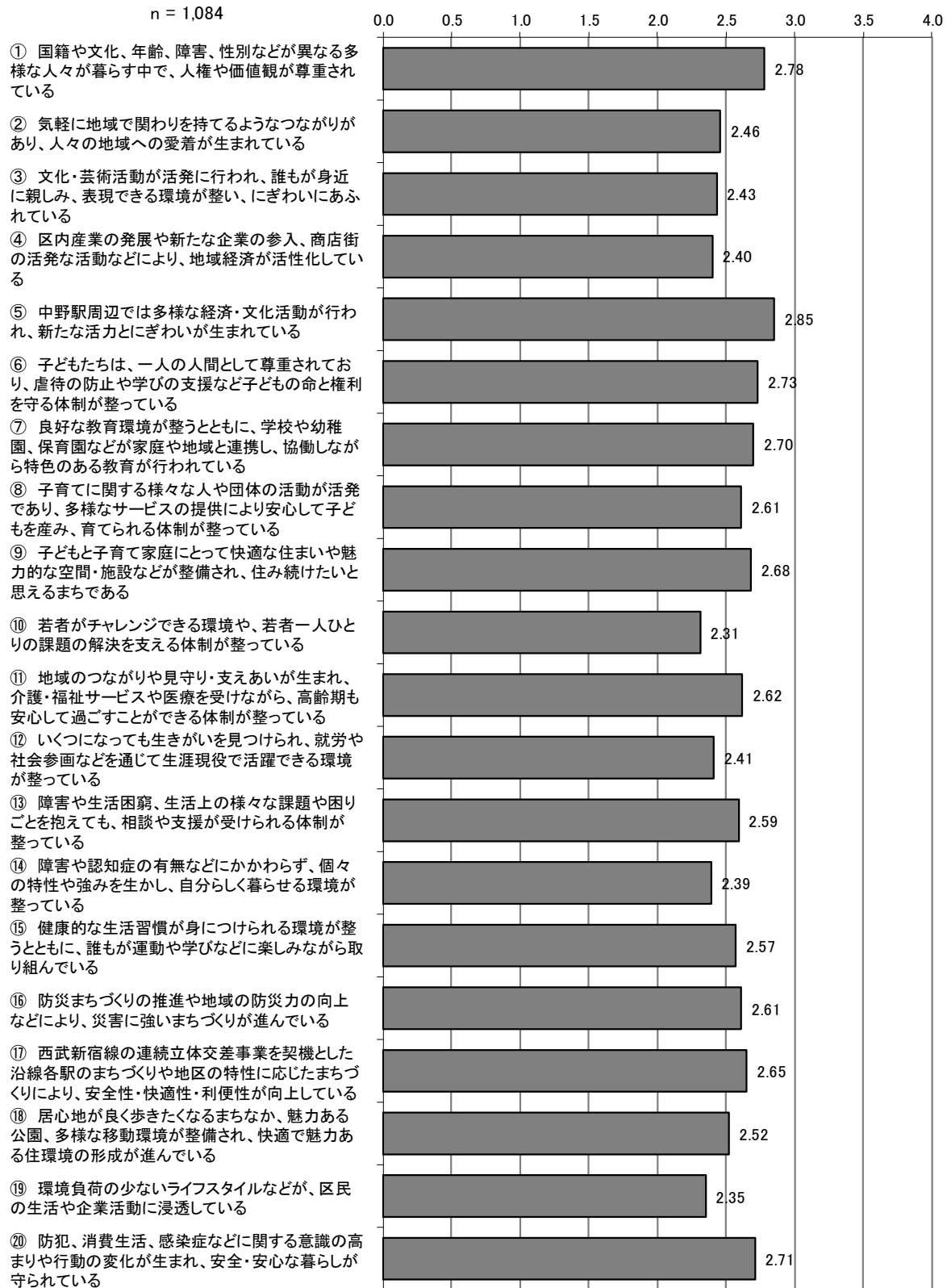
n = 1,084



■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ▩ どちらかといえばそう思わない
 ▤ そう思わない □ わからない □ 無回答

中野区のまちの姿について、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」は、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(58.1%)が5割後半と最も高く、次いで『⑩防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている』(46.6%)、『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』(45.2%)となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない」は、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』(37.3%)が3割後半と最も高く、次いで『⑮居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』(34.2%)、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』(34.2%)となっている。

各項目の平均値を比較すると、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(2.85P)で最も高く、次いで『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』(2.78P)、『⑥子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている』(2.73P)となっている。



※「そう思う」を4点、「どちらかといえばそう思う」を3点、「どちらかといえばそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点として、「わからない」、「無回答」を除いた母数で割り算出している。

「そう思う」の割合を性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている」、「⑩居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる」、「⑪地域のつながりや見守り・支えあい生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整って」は20歳代で、やや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	暮らす中で、国籍や文化、年齢や障害、価値観が尊重されている	気軽に地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいがある	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体 (n=1,084)	9.0	7.3	6.4	8.7	14.6	9.2	8.4	8.0	8.9	4.2	7.4	5.8	7.4	5.7	6.1	7.8	8.7	9.6	5.5	9.5	
性別	男性 (n=490)	10.2	6.1	6.9	8.6	17.3	9.2	7.8	6.5	7.8	3.9	6.3	5.1	6.1	5.5	5.7	8.2	8.8	9.0	5.7	9.2
	女性 (n=564)	8.3	8.3	6.0	8.7	12.6	9.0	8.9	9.2	9.8	4.6	8.2	6.4	8.3	6.0	6.6	7.6	8.5	10.1	5.1	9.6
年代別	20歳代 (n=133)	14.3	9.8	8.3	14.3	27.1	16.5	13.5	14.3	15.8	6.8	14.3	10.5	12.8	11.3	12.8	12.8	12.0	21.8	11.3	14.3
	30歳代 (n=178)	14.6	10.7	11.2	11.2	19.7	12.4	12.4	13.5	13.5	6.7	8.4	7.3	7.3	7.9	9.6	11.8	11.2	15.7	9.6	11.8
	40歳代 (n=175)	5.1	4.6	4.0	7.4	12.6	6.3	8.6	6.3	6.9	4.6	4.6	4.0	4.0	3.4	5.1	5.7	10.9	5.7	3.4	8.6
	50歳代 (n=181)	9.9	7.2	6.6	8.8	11.6	8.8	7.2	6.1	6.6	3.9	8.3	6.6	8.8	7.2	6.1	7.2	6.6	6.1	3.3	11.6
	60歳代 (n=155)	7.1	5.2	5.2	7.1	11.6	7.7	6.5	5.8	6.5	3.9	6.5	6.5	9.0	5.8	5.2	7.7	7.7	7.1	5.8	7.1
	70歳以上 (n=241)	6.2	7.1	4.1	5.8	10.4	6.2	4.6	4.6	6.2	1.2	5.0	2.5	5.0	2.1	1.7	4.1	5.0	5.4	2.1	5.8

※上記表は「そう思う」の割合を示したものである。

「そう思う」の割合を居住区別にみると、「⑧子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている」、「⑭障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている」は江原町で、それぞれやや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳														
	暮らす中で、国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が	人々の地域への愛着が生まれている	表現できる環境が整い、にぎわいがある	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などに	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や	家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を	支える体制が整っている	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	地域でのつながりや見守り・支えあいがある	医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	いくつになっても生きがいを見つけれられ、就労や社会参画などを通じて	相談や支援が受けられる体制が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、	自分らしく暮らせる環境が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、	誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、	防災に強いまちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや	地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が	向上している	整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に	浸透している	生まれ、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が
全体(n=1,084)	9.0	7.3	6.4	8.7	14.6	9.2	8.4	8.0	8.9	4.2	7.4	5.8	7.4	5.7	6.1	7.8	8.7	9.6	5.5	9.5													
居住地域別	南台(n=64)	7.8	10.9	7.8	4.7	10.9	6.3	6.3	4.7	9.4	1.6	3.1	1.6	4.7	4.7	3.1	6.3	3.1	4.7	1.6	4.7												
	弥生町(n=91)	6.6	7.7	2.2	3.3	12.1	4.4	5.5	5.5	5.5	1.1	5.5	3.3	4.4	4.4	2.2	3.3	2.2	6.6	3.3	5.5												
	本町(n=101)	8.9	7.9	5.0	6.9	11.9	5.0	3.0	4.0	7.9	3.0	5.9	2.0	5.9	2.0	2.0	4.0	4.0	5.9	3.0	6.9												
	中央(n=84)	6.0	8.3	4.8	9.5	13.1	9.5	9.5	10.7	10.7	3.6	9.5	8.3	7.1	7.1	9.5	7.1	7.1	8.3	8.3	9.5												
	東中野(n=73)	13.7	8.2	12.3	12.3	20.5	12.3	11.0	11.0	11.0	9.6	8.2	6.8	8.2	6.8	9.6	11.0	11.0	13.7	8.2	9.6												
	中野(n=100)	13.0	8.0	8.0	11.0	22.0	9.0	6.0	7.0	8.0	4.0	8.0	5.0	8.0	7.0	6.0	6.0	5.0	13.0	6.0	10.0												
	上高田(n=66)	9.1	6.1	4.5	7.6	12.1	9.1	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	6.1	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	3.0	4.5												
	新井(n=58)	8.6	3.4	8.6	13.8	22.4	10.3	12.1	12.1	10.3	3.4	6.9	6.9	6.9	3.4	5.2	5.2	12.1	13.8	3.4	8.6												
	沼袋(n=34)	8.8	2.9	8.8	11.8	17.6	14.7	11.8	11.8	14.7	8.8	11.8	8.8	11.8	8.8	8.8	11.8	17.6	17.6	5.9	14.7												
	松が丘(n=18)	5.6	11.1	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	11.1	11.1	16.7	5.6	5.6	11.1	22.2	16.7	11.1	11.1												
	江原町(n=31)	12.9	3.2	6.5	3.2	6.5	22.6	19.4	19.4	16.1	9.7	9.7	9.7	12.9	16.1	12.9	16.1	9.7	9.7	9.7	16.1												
	江古田(n=54)	5.6	1.9	5.6	3.7	9.3	3.7	5.6	7.4	5.6	1.9	5.6	3.7	5.6	3.7	7.4	7.4	14.8	7.4	1.9	3.7												
	丸山(n=21)	9.5	9.5	14.3	19.0	9.5	14.3	14.3	4.8	4.8	4.8	9.5	14.3	9.5	9.5	14.3	9.5	14.3	4.8	4.8	14.3												
	野方(n=67)	9.0	6.0	3.0	4.5	14.9	6.0	7.5	7.5	7.5	3.0	6.0	1.5	6.0	1.5	3.0	7.5	9.0	4.5	3.0	7.5												
	大和町(n=47)	8.5	8.5	6.4	12.8	12.8	6.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	6.4	4.3	4.3	6.4	10.6	6.4	10.6	8.5	12.8												
	若宮(n=42)	7.1	2.4	4.8	4.8	16.7	7.1	7.1	7.1	9.5	4.8	7.1	7.1	7.1	7.1	9.5	7.1	11.9	11.9	9.5	14.3												
	白鷺(n=27)	3.7	7.4	7.4	11.1	22.2	22.2	7.4	7.4	7.4	3.7	11.1	11.1	11.1	7.4	11.1	14.8	14.8	11.1	7.4	14.8												
	鷺宮(n=58)	10.3	6.9	3.4	13.8	10.3	10.3	12.1	8.6	10.3	1.7	10.3	8.6	8.6	6.9	5.2	10.3	12.1	10.3	5.2	13.8												
上鷺宮(n=17)	17.6	23.5	17.6	17.6	17.6	23.5	23.5	23.5	23.5	17.6	17.6	17.6	23.5	17.6	11.8	17.6	17.6	23.5	17.6	23.5													

※上記表は「そう思う」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「どちらかといえばそう思う」の割合を性別にみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「⑥子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている」は20歳代で、「③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている」は70歳以上でそれぞれ低くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	暮らす中で、国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が	気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や支援が受けられる様々な課題や困りごとを抱えても、自分らしく暮らせる環境が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、健康な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている		
全体(n=1,084)	36.2	32.0	30.9	29.0	43.5	26.8	26.6	23.2	27.8	16.8	30.5	19.7	23.2	16.2	29.9	31.9	30.6	35.1	19.6	37.1	
性別	男性(n=490)	36.5	31.4	32.0	29.6	43.7	26.9	28.0	22.9	28.2	19.0	29.0	20.6	24.7	15.5	28.0	30.6	32.7	36.9	20.6	37.8
	女性(n=564)	36.5	32.4	30.0	28.9	43.1	27.1	25.2	23.4	28.0	14.7	32.1	18.8	21.3	16.1	31.6	32.6	29.1	33.3	19.0	36.7
年代別	20歳代(n=133)	36.8	28.6	30.1	30.1	36.8	18.8	21.8	19.5	23.3	21.8	29.3	24.1	23.3	17.3	32.3	31.6	27.8	36.1	20.3	31.6
	30歳代(n=178)	39.3	28.1	34.8	34.3	41.6	27.0	24.2	24.2	27.0	18.5	26.4	24.7	24.7	15.2	34.3	26.4	29.2	32.0	19.1	38.8
	40歳代(n=175)	41.1	37.7	35.4	34.3	49.7	31.4	26.3	25.1	29.7	14.9	30.9	16.6	23.4	14.3	30.3	36.0	25.7	40.6	19.4	34.9
	50歳代(n=181)	31.5	30.4	35.9	33.7	45.9	29.3	30.4	27.1	32.0	20.4	33.1	21.5	24.9	17.1	29.8	35.4	35.4	41.4	22.7	41.4
	60歳代(n=155)	38.1	36.1	30.3	23.2	45.2	26.5	27.7	21.9	29.7	14.8	31.0	18.7	25.2	17.4	29.0	32.3	39.4	30.3	21.3	41.9
	70歳以上(n=241)	33.2	32.4	22.8	21.6	41.9	26.6	27.8	22.0	26.6	13.3	32.8	15.4	18.3	15.4	26.1	29.9	28.2	31.5	17.0	34.0

※上記表は「どちらかといえばそう思う」の割合を示したものである。

「どちらかといえばそう思う」の割合を居住区別にみると、「⑮健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる」、「⑰西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している」は新井で、やや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳				
	暮らす中で、国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が	人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・子育て支援が整っている	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	いくつになっても生きがいを見つけれられ、就労や社会参画などを通じて生活現役で活躍できる環境が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	災害に強いまちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適な生活環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	生まれ、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている

全体(n=1,084)		36.2	32.0	30.9	29.0	43.5	26.8	26.6	23.2	27.8	16.8	30.5	19.7	23.2	16.2	29.9	31.9	30.6	35.1	19.6	37.1
居住地域別	南台(n=64)	40.6	32.8	31.3	34.4	50.0	32.8	35.9	29.7	31.3	15.6	31.3	18.8	29.7	14.1	26.6	31.3	28.1	37.5	21.9	39.1
	弥生町(n=91)	29.7	28.6	28.6	24.2	41.8	26.4	27.5	27.5	29.7	13.2	35.2	22.0	30.8	20.9	31.9	42.9	33.0	41.8	16.5	45.1
	本町(n=101)	37.6	35.6	30.7	27.7	49.5	21.8	23.8	19.8	25.7	14.9	25.7	19.8	13.9	13.9	28.7	32.7	21.8	34.7	17.8	30.7
	中央(n=84)	44.0	28.6	33.3	26.2	47.6	34.5	29.8	19.0	25.0	19.0	28.6	15.5	25.0	20.2	28.6	33.3	27.4	28.6	19.0	39.3
	東中野(n=73)	41.1	39.7	34.2	31.5	45.2	28.8	24.7	28.8	28.8	19.2	30.1	27.4	23.3	17.8	24.7	34.2	37.0	31.5	19.2	43.8
	中野(n=100)	35.0	40.0	40.0	34.0	40.0	31.0	31.0	26.0	33.0	16.0	26.0	21.0	15.0	14.0	35.0	31.0	28.0	38.0	20.0	36.0
	上高田(n=66)	45.5	37.9	45.5	34.8	56.1	31.8	24.2	30.3	31.8	22.7	39.4	24.2	21.2	12.1	37.9	36.4	36.4	50.0	24.2	37.9
	新井(n=58)	50.0	32.8	32.8	44.8	51.7	25.9	22.4	20.7	27.6	19.0	43.1	17.2	24.1	22.4	41.4	39.7	51.7	48.3	24.1	41.4
	沼袋(n=34)	32.4	35.3	20.6	14.7	35.3	26.5	20.6	14.7	17.6	11.8	29.4	8.8	23.5	8.8	20.6	35.3	35.3	41.2	20.6	38.2
	松が丘(n=18)	50.0	38.9	27.8	44.4	33.3	33.3	38.9	38.9	38.9	22.2	33.3	16.7	27.8	27.8	38.9	33.3	33.3	27.8	11.1	22.2
	江原町(n=31)	29.0	38.7	29.0	41.9	51.6	19.4	19.4	19.4	22.6	22.6	29.0	25.8	25.8	12.9	35.5	16.1	29.0	51.6	19.4	45.2
	江古田(n=54)	31.5	37.0	24.1	18.5	44.4	31.5	35.2	22.2	33.3	18.5	37.0	20.4	24.1	18.5	33.3	31.5	27.8	38.9	22.2	35.2
	丸山(n=21)	33.3	14.3	14.3	19.0	38.1	14.3	14.3	19.0	23.8	9.5	23.8	14.3	19.0	4.8	14.3	23.8	33.3	23.8	19.0	38.1
	野方(n=67)	28.4	26.9	35.8	34.3	34.3	22.4	26.9	17.9	22.4	16.4	29.9	20.9	22.4	14.9	32.8	26.9	43.3	40.3	17.9	40.3
	大和町(n=47)	17.0	12.8	21.3	12.8	29.8	12.8	12.8	17.0	14.9	8.5	19.1	6.4	14.9	4.3	17.0	19.1	10.6	19.1	14.9	21.3
	若宮(n=42)	38.1	42.9	28.6	33.3	40.5	35.7	31.0	21.4	35.7	19.0	31.0	28.6	40.5	16.7	21.4	26.2	33.3	26.2	21.4	28.6
	白鷺(n=27)	37.0	29.6	18.5	33.3	44.4	25.9	37.0	33.3	37.0	29.6	25.9	25.9	14.8	14.8	29.6	37.0	22.2	29.6	22.2	33.3
	鷺宮(n=58)	37.9	25.9	32.8	24.1	43.1	22.4	25.9	25.9	31.0	19.0	32.8	17.2	31.0	24.1	31.0	32.8	29.3	20.7	20.7	43.1
上鷺宮(n=17)	17.6	0.0	0.0	5.9	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	11.8	17.6	

※上記表は「どちらかといえばそう思う」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「どちらかといえばそう思わない」の割合を性別にみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「⑩若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている」、「⑪地域のつながりや見守り・支えあい生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている」、「⑭障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている」は60歳代でやや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳			
	国籍や文化、年齢や価値観が尊重されている	気軽に地域で関わりを持てるようつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	新野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備されている	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や支援を受けられる様々な課題や困りごとを抱えても、自分らしく暮らせる環境が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている
全体(n=1,084)	12.2	19.0	21.5	20.9	12.1	11.1	10.3	13.7	13.3	20.8	16.4	18.5	14.7	16.0	15.8	17.1	11.9	20.6	18.7	14.9		
性別	男性(n=490)	9.4	18.0	19.6	20.0	9.8	10.2	10.6	14.7	13.7	20.0	15.7	17.6	14.3	15.3	14.7	17.6	11.4	20.2	18.8	14.1	
	女性(n=564)	14.2	20.4	23.2	22.0	14.5	11.2	9.9	12.6	12.6	21.8	17.2	19.7	15.2	16.8	16.8	16.7	12.4	21.3	19.0	16.0	
年代別	20歳代(n=133)	7.5	16.5	17.3	14.3	10.5	8.3	7.5	6.8	8.3	13.5	8.3	10.5	8.3	6.0	8.3	9.8	9.0	16.5	9.8	11.3	
	30歳代(n=178)	10.7	22.5	22.5	23.6	10.7	9.0	11.2	11.8	12.4	22.5	11.2	12.9	7.9	11.8	11.8	16.3	9.0	19.7	15.7	11.8	
	40歳代(n=175)	16.6	19.4	22.3	20.6	9.7	13.1	13.7	15.4	16.0	21.7	15.4	18.3	16.0	14.9	20.6	18.9	13.1	21.7	19.4	16.6	
	50歳代(n=181)	10.5	22.1	18.8	18.2	14.9	6.6	8.3	12.2	12.2	19.3	18.8	20.4	13.8	14.9	17.1	20.4	15.5	21.5	22.7	14.9	
	60歳代(n=155)	13.5	21.9	24.5	28.4	16.1	15.5	10.3	16.8	12.9	29.0	24.5	26.5	19.4	25.2	20.0	18.7	13.5	26.5	22.6	19.4	
70歳以上(n=241)	13.3	14.1	23.2	19.9	11.2	12.4	10.0	15.8	15.8	19.9	19.1	22.0	20.3	20.7	15.8	17.4	11.6	18.3	19.9	16.2		

※上記表は「どちらかといえばそう思わない」の割合を示したものである。

「そう思わない」の割合を性別にみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「⑧子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている」、「⑨子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住みたいと思えるまちである」は40歳代で、やや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	気軽に地域で関わりを持てるようになっている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいがある	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住みたいと思えるまちである	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備されている	医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体(n=1,084)	5.3	13.5	12.7	16.4	7.1	6.3	6.9	7.3	6.8	9.5	7.2	9.3	7.1	9.2	8.1	7.9	8.9	13.6	11.4	7.3	
性別	男性(n=490)	7.1	15.3	12.4	16.5	8.2	7.3	8.4	7.6	8.0	9.4	8.6	10.2	7.8	10.0	9.8	9.0	10.4	14.5	11.4	7.1
	女性(n=564)	3.7	12.1	13.3	16.7	6.4	5.5	5.9	7.1	5.9	9.8	6.2	8.5	6.4	8.9	7.1	7.4	7.6	13.3	11.9	7.4
年代別	20歳代(n=133)	3.8	14.3	8.3	10.5	5.3	3.8	5.3	5.3	14.3	5.3	6.8	5.3	6.8	6.8	6.8	6.0	5.3	9.0	6.8	
	30歳代(n=178)	3.4	17.4	8.4	13.5	4.5	5.1	6.7	6.2	9.0	2.8	3.4	4.5	4.5	4.5	4.5	11.2	11.8	12.9	7.9	
	40歳代(n=175)	8.6	17.7	16.6	18.3	11.4	7.4	9.1	13.1	13.1	10.3	7.4	12.0	9.7	12.0	10.3	9.7	11.4	19.4	15.4	12.6
	50歳代(n=181)	6.1	7.7	11.0	17.1	5.0	7.2	5.0	5.5	5.5	6.1	7.2	7.2	5.5	7.7	5.0	7.2	5.5	9.4	8.8	5.5
	60歳代(n=155)	4.5	11.6	15.5	18.7	8.4	8.4	10.3	8.4	7.1	10.3	9.0	12.3	8.4	8.4	11.0	12.9	9.7	19.4	14.2	4.5
	70歳以上(n=241)	5.0	12.4	15.4	19.1	7.9	6.2	6.2	5.8	5.0	8.3	9.5	12.0	7.9	13.3	10.8	7.9	8.7	14.9	10.0	6.2

※上記表は「そう思わない」の割合を示したものである。

「そう思わない」の割合を居住区別にみると、特徴的な差はみられない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳			
	暮らす中で、国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が	気軽に地域で関わりを持っているようすがあり、	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などに	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、	子どもの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	子どもも子育てが整っている	支える体制が整っている	医療を受けながら見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや	生涯現役で活躍できる環境が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きやすくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている
全体(n=1,084)	5.3	13.5	12.7	16.4	7.1	6.3	6.9	7.3	6.8	9.5	7.2	9.3	7.1	9.2	8.1	7.9	8.9	13.6	11.4	7.3		
居住地域別	南台(n=64)	0.0	14.1	14.1	25.0	4.7	4.7	7.8	6.3	9.4	14.1	10.9	9.4	9.4	9.4	12.5	6.3	12.5	18.8	9.4		
	弥生町(n=91)	4.4	11.0	6.6	22.0	4.4	3.3	3.3	7.7	8.8	2.2	2.2	3.3	5.5	6.6	2.2	4.4	2.2	11.0	6.6	5.5	
	本町(n=101)	5.9	10.9	8.9	13.9	6.9	6.9	5.0	4.0	5.9	11.9	5.9	9.9	6.9	7.9	10.9	5.9	5.9	11.9	11.9	6.9	
	中央(n=84)	2.4	10.7	14.3	9.5	7.1	3.6	2.4	4.8	6.0	6.0	2.4	7.1	2.4	2.4	4.8	2.4	3.6	16.7	13.1	3.6	
	東中野(n=73)	2.7	9.6	6.8	9.6	0.0	2.7	4.1	6.8	8.2	9.6	2.7	4.1	1.4	8.2	6.8	5.5	5.5	9.6	8.2	6.8	
	中野(n=100)	6.0	7.0	12.0	12.0	6.0	6.0	8.0	9.0	6.0	11.0	6.0	9.0	5.0	7.0	7.0	8.0	10.0	12.0	12.0	7.0	
	上高田(n=66)	6.1	16.7	10.6	16.7	6.1	7.6	9.1	6.1	3.0	6.1	9.1	9.1	7.6	12.1	10.6	7.6	10.6	10.6	7.6	7.6	
	新井(n=58)	3.4	10.3	15.5	10.3	5.2	3.4	5.2	3.4	3.4	5.2	6.9	6.9	3.4	5.2	5.2	6.9	8.6	5.2	8.6	3.4	
	沼袋(n=34)	5.9	23.5	29.4	26.5	14.7	11.8	14.7	17.6	11.8	17.6	11.8	14.7	14.7	20.6	20.6	17.6	14.7	8.8	14.7	8.8	
	松が丘(n=18)	0.0	5.6	11.1	11.1	11.1	16.7	11.1	5.6	11.1	5.6	11.1	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	
	江原町(n=31)	19.4	22.6	12.9	22.6	16.1	9.7	12.9	6.5	9.7	9.7	9.7	16.1	6.5	12.9	6.5	9.7	6.5	9.7	9.7	3.2	
	江古田(n=54)	5.6	20.4	16.7	31.5	11.1	11.1	13.0	18.5	11.1	20.4	13.0	18.5	14.8	16.7	9.3	11.1	13.0	14.8	11.1	13.0	
	丸山(n=21)	4.8	23.8	4.8	9.5	14.3	14.3	9.5	19.0	4.8	9.5	9.5	9.5	19.0	23.8	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	9.5	
	野方(n=67)	9.0	14.9	10.4	13.4	13.4	6.0	6.0	3.0	3.0	13.4	10.4	6.0	1.5	7.5	6.0	7.5	9.0	17.9	13.4	11.9	
	大和町(n=47)	8.5	19.1	23.4	17.0	14.9	8.5	12.8	14.9	17.0	6.4	8.5	6.4	8.5	6.4	6.4	10.6	14.9	21.3	19.1	12.8	
	若宮(n=42)	7.1	14.3	19.0	19.0	7.1	9.5	11.9	9.5	9.5	14.3	9.5	16.7	11.9	14.3	11.9	21.4	16.7	23.8	16.7	9.5	
	白鷺(n=27)	0.0	18.5	14.8	14.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	11.1	7.4	7.4	7.4	3.7	14.8	25.9	11.1	7.4	
鷺宮(n=58)	3.4	10.3	6.9	15.5	3.4	1.7	3.4	1.7	1.7	5.2	5.2	6.9	5.2	6.9	8.6	5.2	10.3	17.2	8.6	3.4		
上鷺宮(n=17)	17.6	23.5	23.5	29.4	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	17.6	5.9	17.6	23.5	23.5	17.6	11.8	17.6	23.5	17.6	11.8		

※上記表は「そう思わない」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「わからない」の割合を性別にみると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている」、「⑧子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている」は20歳代で、「⑩地域のつながりや見守り・支えあい生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている」は30歳代で、それぞれやや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	暮らす中で、国籍や文化、年齢や障害、性別などが異なる多様な人々が	気軽に地域で関わりを持てるようになつたりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、自分らしく暮らせる環境が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている		
全体(n=1,084)	34.5	25.3	25.3	22.0	19.9	43.8	44.9	45.1	40.4	45.1	35.1	43.4	44.3	49.2	35.8	31.2	36.3	17.8	40.8	27.2	
性別	男性(n=490)	34.7	26.9	26.3	22.9	18.6	44.1	43.1	46.3	40.4	44.7	37.3	43.5	44.1	50.4	38.6	31.0	33.7	16.3	40.2	28.2
	女性(n=564)	34.6	23.9	24.5	21.1	20.9	44.5	47.5	45.0	41.1	45.9	33.3	44.0	45.7	48.9	33.7	32.1	39.0	19.1	41.5	27.0
年代別	20歳代(n=133)	36.8	30.8	36.1	30.8	20.3	52.6	51.9	54.1	47.4	42.1	40.6	47.4	48.9	57.1	38.3	36.8	42.9	18.8	48.1	34.6
	30歳代(n=178)	30.9	20.2	21.3	16.3	22.5	45.5	44.4	43.3	40.4	41.6	49.4	50.0	53.9	59.0	38.2	39.3	37.6	19.1	41.0	28.1
	40歳代(n=175)	28.0	20.0	20.6	18.9	16.0	41.1	41.7	39.4	33.7	48.0	40.6	48.6	46.3	54.3	32.6	29.1	38.3	12.0	41.7	26.9
	50歳代(n=181)	41.4	30.9	27.1	21.5	22.1	47.5	48.6	48.6	43.1	50.3	32.6	44.2	47.0	52.5	40.3	28.7	36.5	21.0	41.4	25.4
	60歳代(n=155)	36.1	24.5	23.9	21.9	17.4	41.3	44.5	46.5	43.2	41.3	28.4	36.1	38.1	43.2	34.8	28.4	29.7	16.8	36.1	26.5
	70歳以上(n=241)	33.6	24.9	24.1	23.7	19.5	39.0	41.9	42.7	37.3	45.6	23.2	36.9	36.9	36.9	32.4	27.8	34.9	19.1	38.6	25.3

※上記表は「わからない」の割合を示したものである。

「わからない」の割合を居住区別にみると、「⑥子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている」、「⑩若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている」、「⑪地域のつながりや見守り・支えあい生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている」は大和町で、やや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳					
	暮らす中で、国籍や文化、年齢、障害、価値観が尊重されている	人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などに	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や	家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	子どもと子育てが家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	医療を受けながら見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや	生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、	自分らしく暮らせる環境が整っている	健康な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、	誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が	整備され、快適な生活環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に	生まれ、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が
全体(n=1,084)	34.5	25.3	25.3	22.0	19.9	43.8	44.9	45.1	40.4	45.1	35.1	43.4	44.3	49.2	35.8	31.2	36.3	17.8	40.8	27.2				
居住地域別	南台(n=64)	40.6	26.6	26.6	17.2	25.0	46.9	43.8	46.9	45.3	54.7	43.8	56.3	46.9	56.3	48.4	34.4	57.8	21.9	43.8	35.9			
	弥生町(n=91)	40.7	29.7	35.2	26.4	24.2	51.6	46.2	45.1	40.7	48.4	34.1	42.9	44.0	48.4	39.6	29.7	51.6	20.9	48.4	27.5			
	本町(n=101)	33.7	26.7	25.7	26.7	20.8	50.5	50.5	52.5	40.6	44.6	39.6	45.5	46.5	50.5	35.6	31.7	52.5	24.8	47.5	36.6			
	中央(n=84)	31.0	26.2	27.4	23.8	15.5	41.7	42.9	46.4	41.7	46.4	34.5	44.0	42.9	50.0	36.9	33.3	46.4	19.0	38.1	27.4			
	東中野(n=73)	31.5	17.8	20.5	17.8	17.8	38.4	45.2	38.4	35.6	37.0	41.1	42.5	52.1	50.7	34.2	27.4	37.0	23.3	42.5	23.3			
	中野(n=100)	31.0	28.0	26.0	27.0	18.0	43.0	44.0	44.0	40.0	44.0	38.0	48.0	52.0	56.0	35.0	37.0	39.0	14.0	45.0	28.0			
	上高田(n=66)	19.7	13.6	12.1	10.6	6.1	31.8	42.4	37.9	36.4	36.4	22.7	36.4	37.9	43.9	27.3	22.7	22.7	7.6	39.4	19.7			
	新井(n=58)	31.0	29.3	19.0	15.5	12.1	51.7	56.9	53.4	46.6	50.0	27.6	46.6	51.7	51.7	36.2	32.8	22.4	13.8	43.1	31.0			
	沼袋(n=34)	20.6	8.8	5.9	5.9	8.8	20.6	26.5	26.5	26.5	29.4	11.8	20.6	14.7	20.6	23.5	11.8	14.7	2.9	29.4	17.6			
	松が丘(n=18)	33.3	16.7	16.7	5.6	11.1	33.3	27.8	27.8	22.2	27.8	22.2	22.2	33.3	38.9	27.8	22.2	11.1	11.1	22.2	33.3			
	江原町(n=31)	35.5	29.0	29.0	29.0	22.6	41.9	45.2	45.2	38.7	38.7	35.5	38.7	41.9	45.2	32.3	38.7	32.3	16.1	38.7	22.6			
	江古田(n=54)	40.7	24.1	27.8	25.9	24.1	37.0	35.2	35.2	35.2	42.6	35.2	40.7	44.4	48.1	35.2	33.3	29.6	16.7	42.6	29.6			
	丸山(n=21)	28.6	38.1	28.6	23.8	14.3	38.1	38.1	38.1	47.6	47.6	33.3	42.9	38.1	42.9	33.3	33.3	19.0	14.3	23.8	23.8			
	野方(n=67)	37.3	20.9	19.4	19.4	19.4	53.7	49.3	53.7	47.8	46.3	34.3	40.3	49.3	53.7	34.3	35.8	25.4	13.4	40.3	16.4			
	大和町(n=47)	51.1	34.0	29.8	31.9	31.9	61.7	57.4	57.4	51.1	63.8	51.1	61.7	53.2	68.1	46.8	38.3	51.1	21.3	40.4	34.0			
	若宮(n=42)	31.0	19.0	21.4	16.7	14.3	31.0	35.7	42.9	35.7	38.1	31.0	33.3	31.0	45.2	35.7	23.8	16.7	16.7	35.7	26.2			
	白鷺(n=27)	51.9	29.6	40.7	29.6	18.5	37.0	44.4	48.1	33.3	48.1	37.0	37.0	48.1	44.4	40.7	29.6	29.6	11.1	37.0	22.2			
鷺宮(n=58)	32.8	27.6	31.0	22.4	29.3	48.3	48.3	39.7	37.9	50.0	36.2	44.8	39.7	44.8	32.8	27.6	25.9	22.4	32.8	24.1				
上鷺宮(n=17)	47.1	41.2	41.2	29.4	52.9	52.9	58.8	64.7	58.8	47.1	41.2	47.1	47.1	47.1	41.2	47.1	35.3	41.2	47.1	35.3				

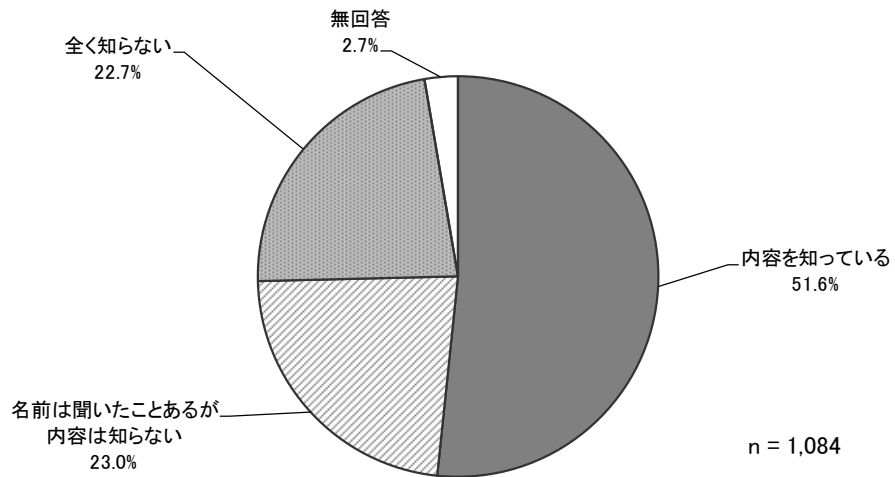
※上記表は「わからない」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

26 SDGsについて

「内容を知っている」が約5割

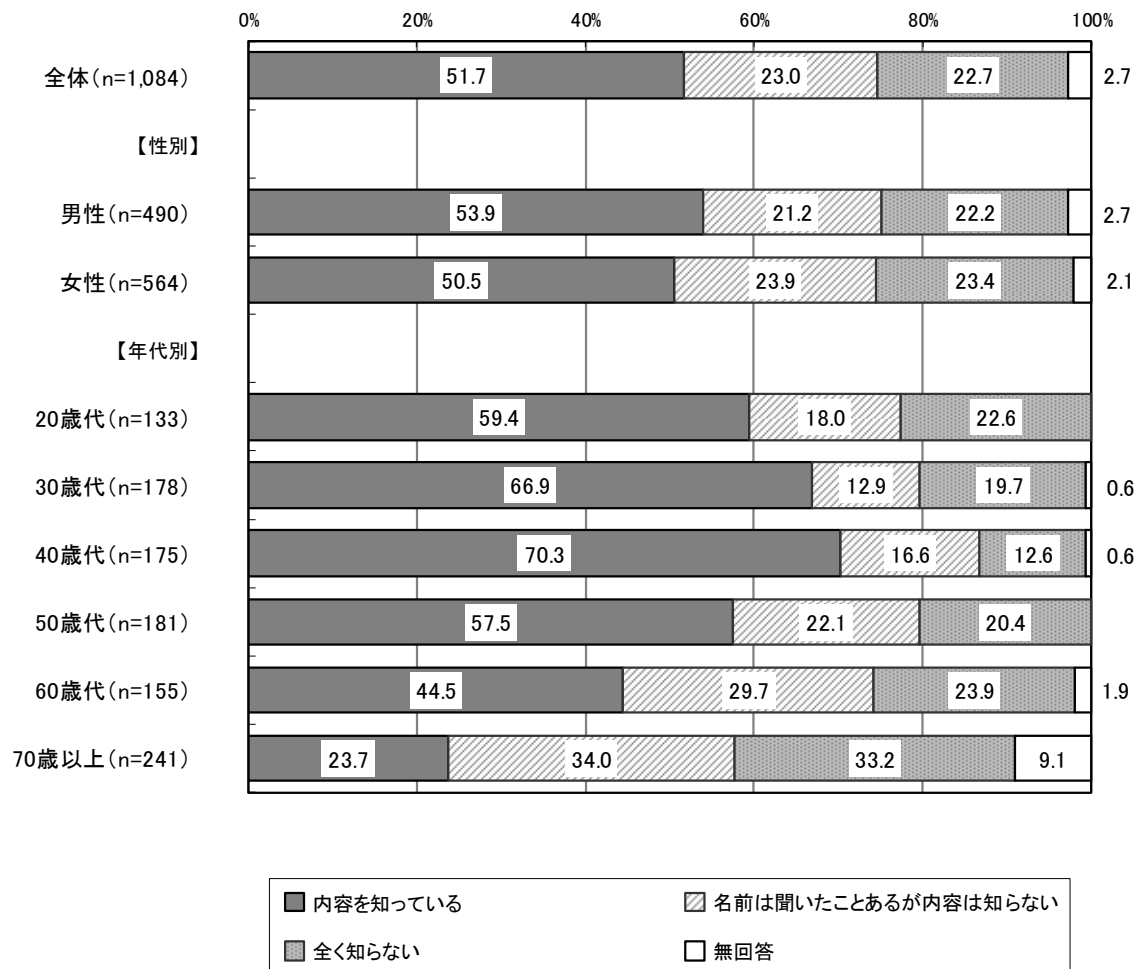
問47 あなたはSDGsを知っていますか。(〇は1つ)



SDGsの認知度を聞いたところ、「内容を知っている」(51.6%)が約5割で最も高く、次いで「名前は聞いたことあるが内容は知らない」(23.0%)、「全く知らない」(22.7%)となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「全く知らない」は70歳以上で3割前半と高くなっている。

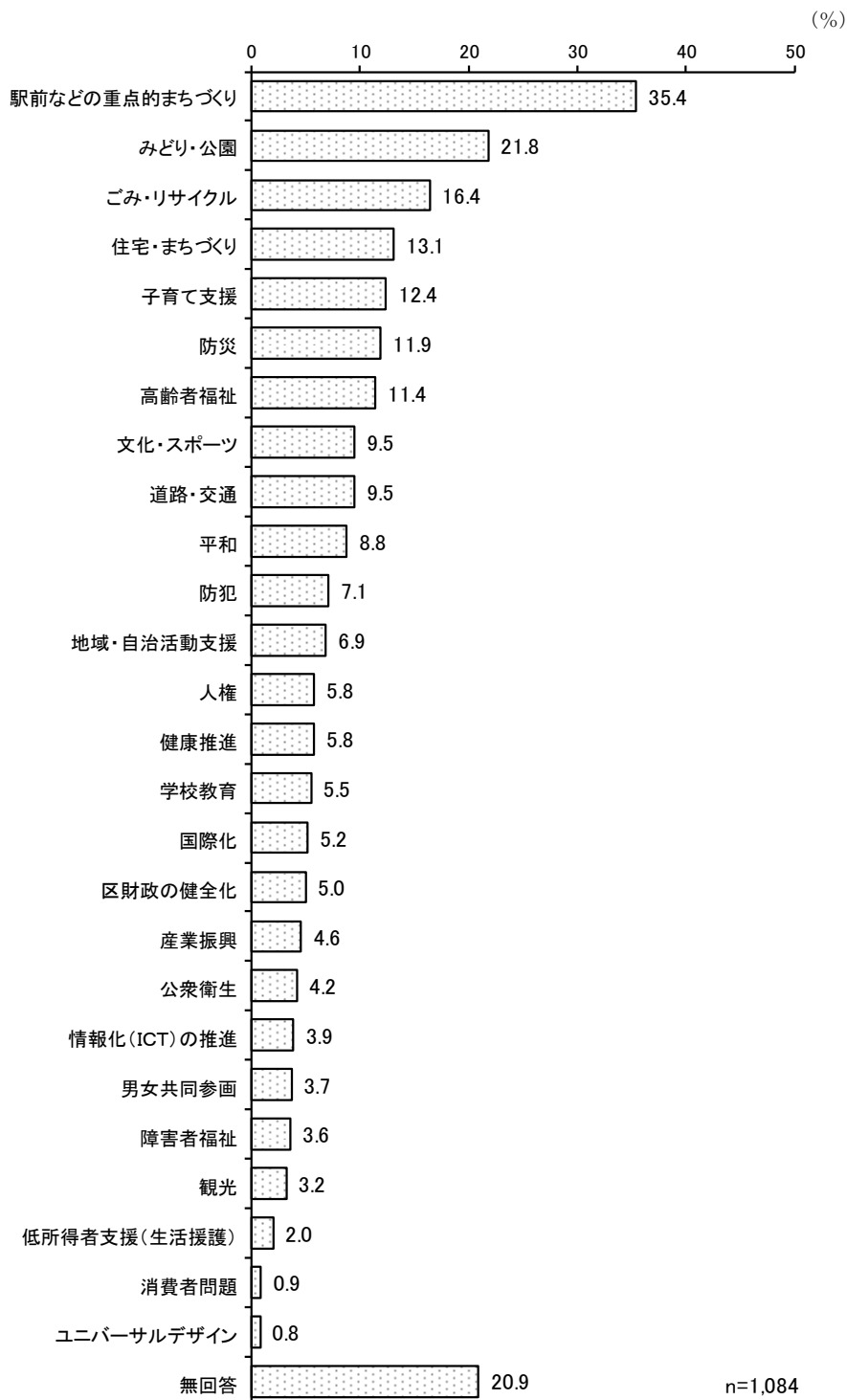


2.7 施策への評価・要望について

(1) 区の施策への評価

「駅前などの重点的まちづくり」が3割半ば

問 48 ①中野区が特に力を入れていると感じる施策を3つ以内で選び、番号を記入してください。



区が特に力を入れていると評価できる施策（複数回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（35.4%）が最も高く、次いで、「みどり・公園」（21.8%）、「ごみ・リサイクル」（16.4%）、「住宅・まちづくり」（13.1%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

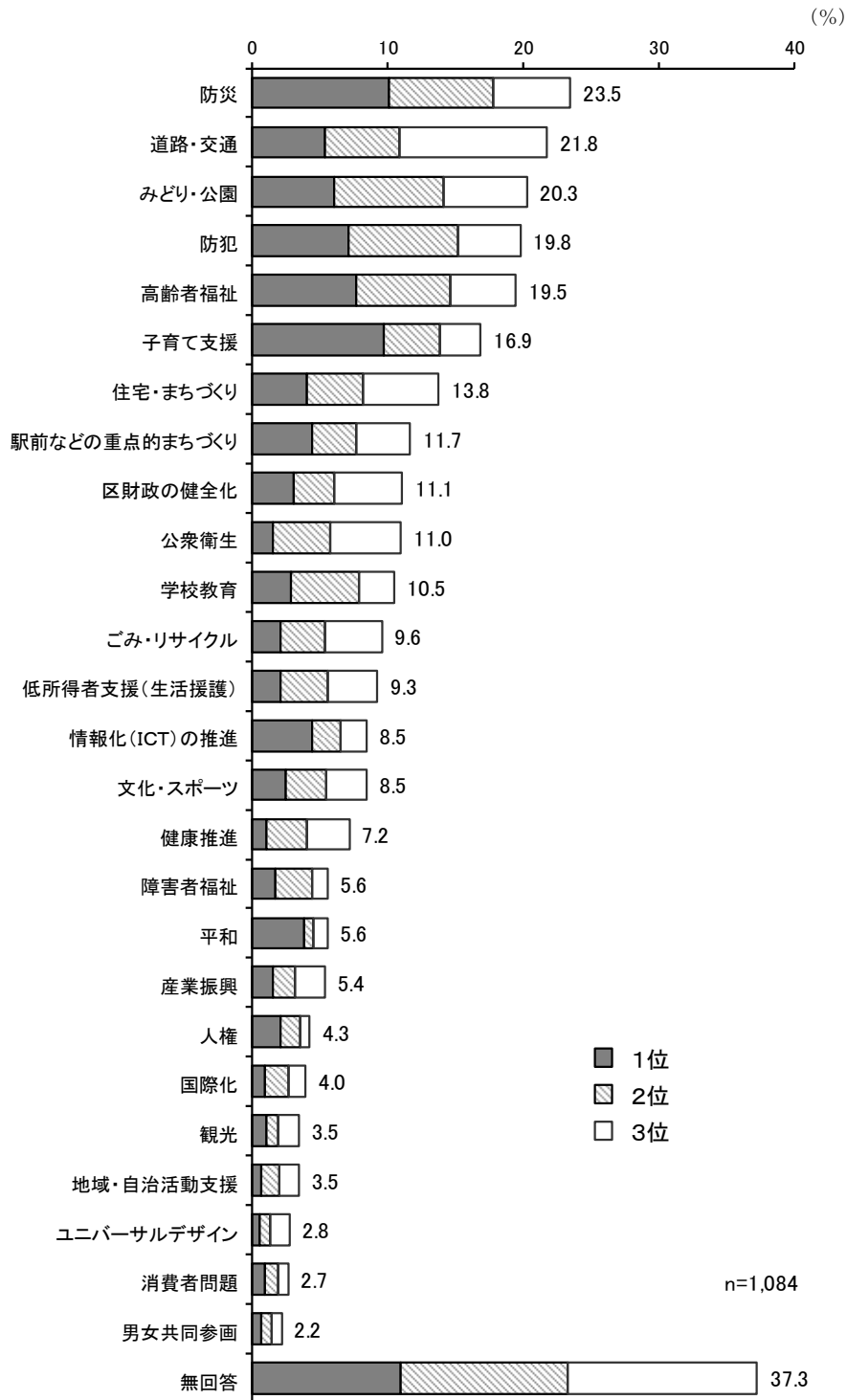
年代別でみると、「高齢者福祉」では40歳以上で高くなっている。「住宅・まちづくり」、「平和」、「地域・自治活動支援」、「公衆衛生」、「観光」、「ユニバーサルデザイン」、「消費者問題」では20歳代が最も高い。

		駅前などの重点的まちづくり	みどり・公園	ごみ・リサイクル	住宅・まちづくり	子育て支援	防災	高齢者福祉	文化・スポーツ	道路・交通	平和	防犯	地域・自治活動支援	人権	健康推進	学校教育	国際化	区財政の健全化	産業振興	公衆衛生	情報化（ICT）の推進	男女共同参画	障害者福祉	観光	低所得者支援（生活支援）	消費者問題	ユニバーサルデザイン	無回答
全体(n=1,084)		35.4	21.8	16.4	13.1	12.4	11.9	11.4	9.5	9.5	8.8	7.1	6.9	5.8	5.8	5.5	5.2	5.0	4.6	4.2	3.9	3.7	3.6	3.2	2.0	0.9	0.8	20.9
性別	男性(n=490)	33.9	19.4	15.1	12.9	11.2	12.0	10.8	11.6	11.2	9.8	6.7	5.7	5.9	4.9	5.7	5.9	4.9	4.7	4.5	4.1	4.5	3.5	4.7	2.9	1.0	1.2	20.6
	女性(n=564)	37.8	24.3	17.4	13.7	13.7	11.9	12.1	8.2	8.2	7.8	7.4	8.2	5.5	6.7	5.3	4.6	5.0	4.8	4.1	3.7	2.7	3.7	2.1	1.2	0.9	0.5	20.0
年代別	20歳代(n=133)	34.6	27.1	17.3	23.3	12.8	9.8	9.0	10.5	12.0	15.0	8.3	9.8	5.3	3.0	6.0	6.8	3.8	4.5	8.3	2.3	3.8	3.8	6.0	1.5	1.5	3.0	14.3
	30歳代(n=178)	32.0	27.5	7.9	15.7	16.3	10.1	8.4	12.4	15.2	5.6	7.9	7.9	3.4	6.7	3.4	6.7	3.9	5.1	3.9	3.9	1.7	1.1	5.1	0.6	1.1	0.6	20.2
	40歳代(n=175)	46.9	25.7	17.7	11.4	16.0	12.6	14.3	12.0	9.7	5.1	6.3	5.1	4.0	5.1	8.0	6.3	3.4	5.1	5.1	4.0	5.7	2.9	2.9	0.6	0.0	0.6	14.9
	50歳代(n=181)	40.3	23.2	21.5	13.8	8.3	7.7	11.6	14.4	11.0	10.5	5.5	5.0	6.1	5.0	5.5	5.0	8.3	3.3	3.3	2.8	3.3	1.1	4.4	2.8	0.6	0.6	17.7
	60歳代(n=155)	36.1	22.6	20.0	7.7	11.0	20.0	11.0	3.9	5.8	11.6	9.0	7.7	8.4	7.1	4.5	3.9	2.6	4.5	5.2	3.2	4.5	5.8	1.3	3.9	0.6	0.6	18.7
	70歳以上(n=241)	27.8	10.8	14.9	10.0	11.2	11.2	13.3	5.8	5.8	7.5	7.1	7.5	7.1	7.5	5.8	3.3	6.2	5.4	2.1	6.2	2.9	6.2	0.8	2.5	1.7	0.4	31.1

(2) 区の施策への要望

「防災」が2割前半で最も高い。「道路・交通」「みどり・公園」「防犯」「高齢福祉」の4項目で約2割。

問 48 ②今後特に力を入れてほしい施策を3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を記入してください。



今後特に力を入れてほしい施策について、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計では「防災」(23.5%)が最も高く、次いで「道路・交通」(21.8%)、「みどり・公園」(20.3%)となっている。

過去9年および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、「道路・交通」の順位が上がり、「高齢者福祉」の順位が下がっている。また、初めて「公衆衛生」がランクインしている。

上段は施策、下段は回答割合（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2011 n=1,395	防災 28.9	防犯 22.9	高齢者福祉 22.8	みどり・公園 21.9	道路・交通 16.6	子育て支援 16.2	環境改善 10.8	健康 10.8	低所得者支援 10.5	住宅・まちづくり 10.2
2013 n=1,436	防災 36.2	高齢者福祉 31.6	防犯 21.2	子育て支援 19.4	みどり・公園 17.2	道路・交通 17.0	駅前などの重点的まちづくり 13.3	健康推進 12.2	学校教育 12.1	住宅・まちづくり 12.1
2014 n=1,249	防災 31.5	高齢者福祉 27.1	防犯 20.7	子育て支援 20.7	道路・交通 19.9	みどり・公園 17.6	駅前などの重点的まちづくり 14.8	学校教育 12.6	住宅・まちづくり 10.4	産業振興 9.9
2015 n=1,277	高齢者福祉 27.0	防災 25.7	防犯 22.2	子育て支援 21.0	みどり・公園 17.8	道路・交通 15.6	駅前などの重点的まちづくり 13.2	学校教育 12.5	区財政の健全化 11.1	住宅・まちづくり 10.4
2016 n= 1,228	防災 27.8	防犯 22.5	高齢者福祉 22.4	子育て支援 21.2	住宅・まちづくり 17.0	みどり・公園 15.9	道路・交通 14.3	駅前などの重点的まちづくり 13.3	区財政の健全化 11.1	学校教育 11.0
2017 n= 1,167	防災 24.7	高齢者福祉 23.1	子育て支援 21.2	みどり・公園 18.6	防犯 17.5	道路・交通 17.3	住宅・まちづくり 16.4	学校教育 13.1	駅前などの重点的まちづくり 12.3	ごみ・リサイクル/区財政の健全化 9.8
2018 n= 1,145	防災 28.1	高齢者福祉 26.6	子育て支援 21.1	道路・交通 18.2	防犯 17.9	みどり・公園 15.1	住宅・まちづくり 14.7	駅前などの重点的まちづくり 14.0	区財政の健全化 11.8	学校教育 10.1
2019 n= 1,060	防災 23.4	子育て支援 20.9	高齢者福祉 20.8	道路・交通 18.5	防犯 17.7	みどり・公園 16.7	住宅・まちづくり 13.1	駅前などの重点的まちづくり 10.8	学校教育 10.7	区財政の健全化 10.0
2020 n= 1,148	防災 20.6	高齢者福祉 19.8	みどり・公園 19.3	道路・交通 19.2	子育て支援 18.9	防犯 18.1	駅前などの重点的まちづくり 16.4	住宅・まちづくり 13.7	ごみ・リサイクル 11.8	学校教育 10.1
2021 n= 1,084	防災 23.5	道路・交通 21.8	みどり・公園 20.3	防犯 19.8	高齢者福祉 19.5	子育て支援 16.9	住宅・まちづくり 13.8	駅前などの重点的まちづくり 11.7	区財政の健全化 11.1	公衆衛生 11.0

* 同率（%）の場合は、同順位である。

施策要望の上位10位を性別で見ると、「高齢者福祉」、「防災」、「みどり・公園」「子育て支援」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別で見ると、「高齢者福祉」では、50歳代以上では年代が上がるごとに順位が上がっている。また「防災」では全年代で上位3位以内に入っている。

区の施策への要望 性別・年代別（上位10項目）

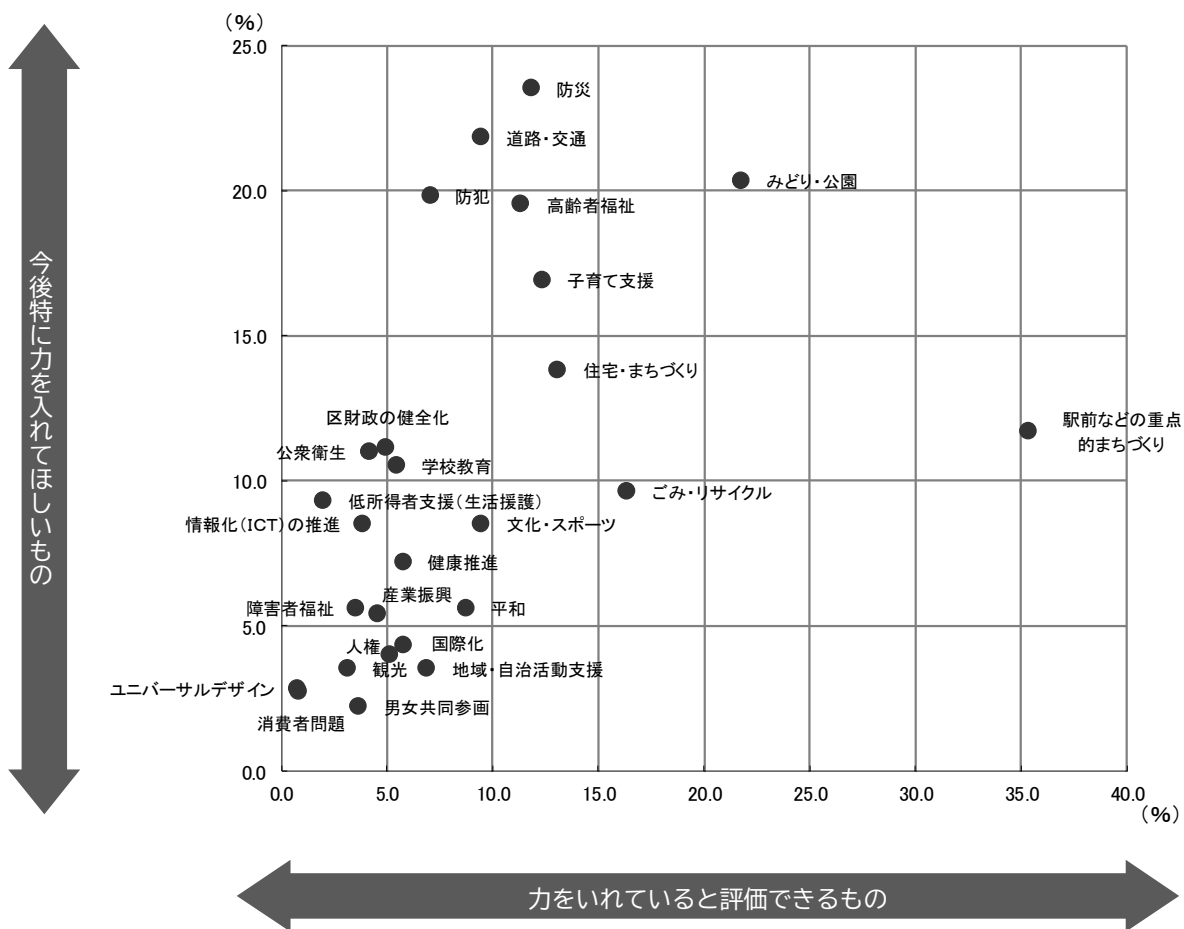
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
全体 N= 1,084		防災 23.5	道路・交通 21.8	みどり・公園 20.3	防犯 19.8	高齢者福祉 19.5	子育て支援 16.9	住宅・まちづくり 13.8	駅前などの重点的まちづくり 11.7	区財政の健全化 11.1	公衆衛生 11.0
性別	男性 N= 490	道路・交通 22.8	防災 21.6	みどり・公園 19.8	防犯 18.6	高齢者福祉 16.4	住宅・まちづくり 14.7	子育て支援 13.5	駅前などの重点的まちづくり 12.5	公衆衛生 12.2	情報化(ICT)の推進 11.8
	女性 N= 564	防災 24.9	高齢者福祉 21.7	みどり・公園 21.6	道路・交通 21.6	防犯 21.3	子育て支援 20.0	住宅・まちづくり 13.3	学校教育 11.5	駅前などの重点的まちづくり 11.5	ごみ・リサイクル 10.3
年代別	20歳代 N= 133	道路・交通 28.6	防災 23.3	防犯 21.9	住宅・まちづくり 17.4	情報化(ICT)の推進 15.9	子育て支援 15.8	みどり・公園 15.8	公衆衛生 12.8	観光 12.1	文化・スポーツ 11.3
	30歳代 N= 178	子育て支援 29.8	みどり・公園 26.9	防災 21.8	道路・交通 20.2	学校教育 19.6	防犯 18.5	駅前などの重点的まちづくり 16.3	公衆衛生 14.1	ごみ・リサイクル 10.7	区財政の健全化 10.7
	40歳代 N= 175	みどり・公園 28.0	防災 26.9	子育て支援 26.9	防犯 22.9	道路・交通 21.7	住宅・まちづくり 16.5	学校教育 16.0	公衆衛生 12.0	情報化(ICT)の推進 11.5	区財政の健全化 10.9
	50歳代 N= 181	防災 32.0	防犯 25.4	道路・交通 25.4	高齢者福祉 21.5	住宅・まちづくり 18.2	みどり・公園 16.5	駅前などの重点的まちづくり 14.9	公衆衛生 12.7	ごみ・リサイクル 10.5	区財政の健全化 8.8
	60歳代 N= 155	高齢者福祉 35.5	みどり・公園 24.5	防災 22.0	防犯 18.7	道路・交通 18.7	住宅・まちづくり 14.8	障害者福祉 13.5	子育て支援 13.0	低所得者支援(生活援護) 12.3	駅前などの重点的まちづくり 11.6
	70歳以上 N= 241	高齢者福祉 33.6	道路・交通 18.6	防災 16.9	防犯 14.5	区財政の健全化 14.5	みどり・公園 13.7	低所得者支援(生活援護) 11.2	子育て支援 10.9	ごみ・リサイクル 9.1	駅前などの重点的まちづくり 9.1

*同率(%)の場合は、同順位である。

区の施策への評価と要望の関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、26項目とその位置をあらわしたのが下の図である。この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低い「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」は高い「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリ別でみると、左上には「防犯」、「高齢者福祉」、「子育て支援」、「防災」、「道路・交通」などが位置づけられている。一方、左下には「ユニバーサルデザイン」、「男女共同参画」、「消費者問題」などが位置づけられている。

区の施策への評価と要望 散布図

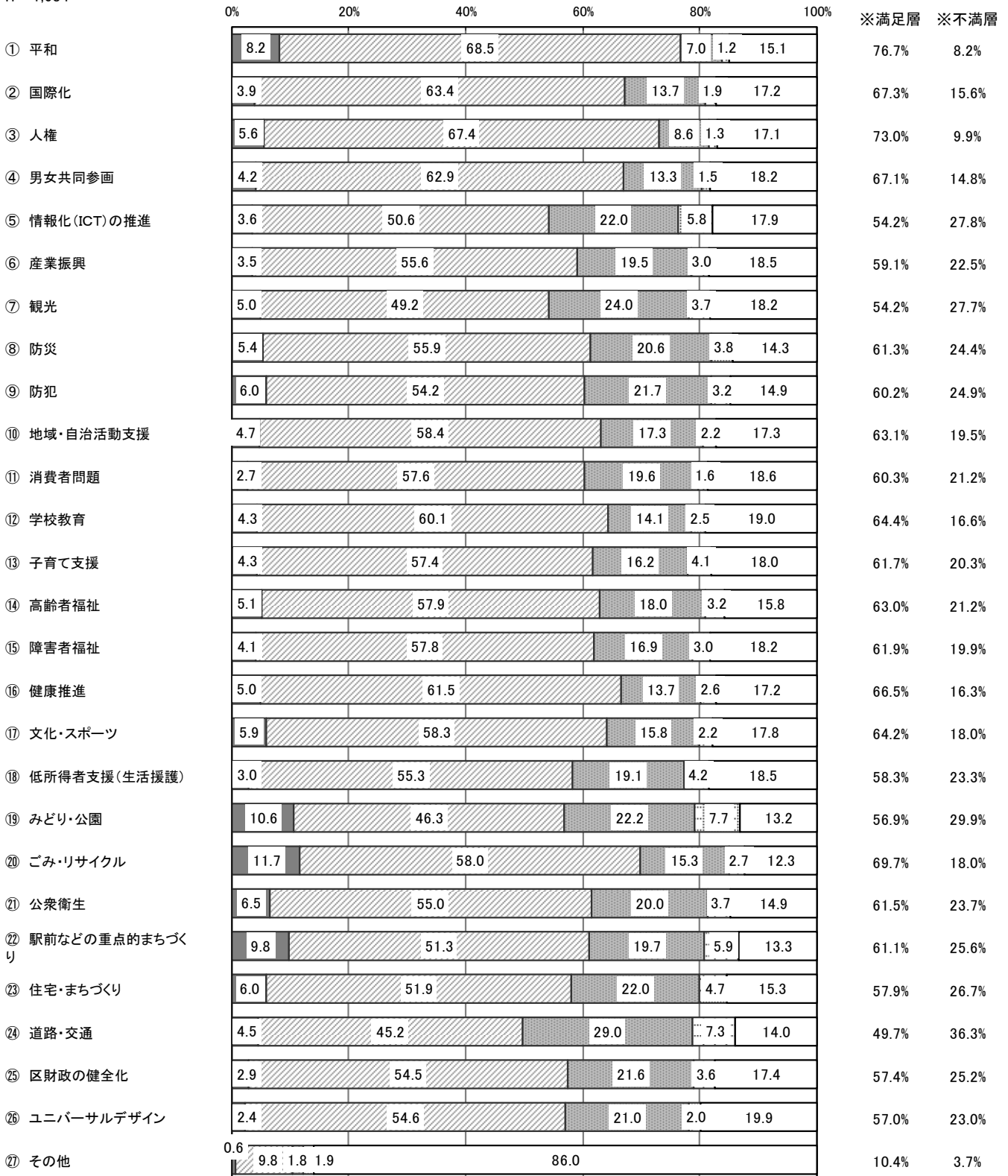


(3) 行政サービスの満足度

満足度は『平和』が最も高く、『道路・交通』が最も低い

問 49 中野区の行政サービスに満足していますか（過去1年間）。（○はそれぞれ1つ）

n = 1,084



■ 非常に満足している ▨ まあ満足している ■ やや不満である □ 非常に不満である □ 無回答

行政サービスの満足度について項目別に聞いたところ、「非常に満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足層」では、『①平和』(76.7%)が7割半ばで最も高く、次いで『③人権』(73.0%)が7割前半、『②国際化』(67.3%)が6割後半となっている。

一方、「やや不満である」と「非常に不満である」を合わせた「不満層」は『④道路・交通』(36.3%)が3割半ばで最も高く、次いで『⑩みどり・公園』(29.9%)が約3割、『⑤情報化(IT)の推進』(27.8%)が2割後半となっている。

「非常に満足している」の割合を性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「⑨防犯」、「⑲みどり・公園」、「⑳ごみ・リサイクル」、「㉒駅前などの重点的まちづくり」、「㉓住宅・まちづくり」は20歳代で高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
	平和	国際化	人権	男女共同参画	情報化（ICT）の推進	産業振興	観光	防災	防犯	地域・自治活動支援	消費者問題	学校教育	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	健康推進	文化・スポーツ	低所得者支援（生活支援）	みどり・公園	ごみ・リサイクル	公衆衛生	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	道路・交通	区財政の健全化	ユニバーサルデザイン	その他	
全体(n=1,084)	8.2	3.9	5.6	4.2	3.6	3.5	5.0	5.4	6.0	4.7	2.7	4.3	4.3	5.1	4.1	5.0	5.9	3.0	10.6	11.7	6.5	9.8	6.0	4.5	2.9	2.4	0.6	
性別	男性(n=490)	8.4	4.1	6.1	5.3	4.3	5.5	5.5	6.7	3.9	2.7	4.1	4.5	4.9	4.5	5.3	6.1	3.5	11.4	12.7	6.7	11.8	7.1	5.3	3.9	2.9	0.6	
	女性(n=564)	8.3	3.9	5.5	3.4	3.2	3.0	4.4	5.5	5.7	5.7	2.8	4.8	4.4	5.5	3.9	5.0	5.9	2.8	10.5	11.3	6.4	8.3	5.3	4.1	2.1	2.1	0.5
年代別	20歳代(n=133)	18.0	7.5	12.8	9.8	6.8	6.8	10.5	12.8	16.5	11.3	6.8	10.5	10.5	12.0	10.5	11.3	13.5	5.3	22.6	21.8	12.0	22.6	21.8	14.3	7.5	6.0	2.3
	30歳代(n=178)	9.6	3.9	4.5	3.4	4.5	3.9	6.7	6.2	6.2	4.5	2.8	5.1	5.1	3.9	4.5	6.2	8.4	3.4	11.8	7.9	8.4	12.4	7.9	3.9	3.4	2.2	1.1
	40歳代(n=175)	5.1	4.0	4.6	2.9	4.6	2.9	2.9	1.7	1.7	1.7	1.1	2.3	3.4	2.9	2.3	4.0	2.9	2.9	8.0	12.6	6.9	6.3	2.9	2.9	1.1	2.3	0.6
	50歳代(n=181)	6.6	4.4	6.1	5.5	2.8	2.2	5.0	5.5	5.5	4.4	2.2	6.1	5.5	2.8	3.3	4.4	7.2	3.9	12.7	10.5	5.5	9.4	3.3	3.9	3.9	1.7	0.0
	60歳代(n=155)	8.4	3.2	5.8	5.2	3.2	4.5	3.9	4.5	6.5	5.2	3.2	1.3	2.6	7.1	3.9	3.9	1.9	2.6	5.2	8.4	4.5	6.5	2.6	1.3	1.9	2.6	0.0
	70歳以上(n=241)	5.4	2.1	3.3	1.2	1.7	2.5	3.3	4.6	3.7	3.7	1.7	2.9	1.7	4.6	2.5	2.9	4.1	1.7	7.5	12.4	4.1	6.6	2.9	3.7	1.2	1.2	0.0

※上記表は「非常に満足している」の割合を示したものである。

「まあ満足している」の割合を性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「⑱低所得者支援（生活保護）」、「㉕区財政の健全化」は20歳代、30歳代で高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
	平和	国際化	人権	男女共同参画	情報化（ICT）の推進	産業振興	観光	防災	防犯	地域・自治活動支援	消費者問題	学校教育	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	健康推進	文化・スポーツ	低所得者支援（生活保護）	みどり・公園	ごみ・リサイクル	公衆衛生	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	道路・交通	区財政の健全化	ユニバーサルデザイン	その他	
全体(n=1,084)	68.5	63.4	67.4	62.9	50.6	55.6	49.2	55.9	54.2	58.4	57.6	60.1	57.4	57.9	57.8	61.5	58.3	55.3	46.3	58.0	55.0	51.3	51.9	45.2	54.5	54.6	9.8	
性別	男性(n=490)	68.2	63.9	68.2	64.5	49.0	56.1	50.4	57.1	54.5	60.0	57.1	61.6	58.6	58.8	60.0	61.6	58.2	54.1	46.5	59.0	56.5	52.4	51.8	45.7	56.7	54.3	9.6
	女性(n=564)	70.7	64.5	69.0	63.5	53.7	57.3	49.8	56.4	55.1	58.9	59.8	60.6	58.2	59.0	57.8	62.9	60.3	57.8	47.0	59.0	55.0	52.0	53.7	46.5	54.8	56.7	10.1
年代別	20歳代(n=133)	71.4	71.4	74.4	69.2	60.2	70.7	55.6	63.2	57.9	69.2	72.2	71.4	67.7	66.9	70.7	71.4	66.9	66.9	49.6	58.6	60.9	57.1	58.6	53.4	71.4	69.9	15.0
	30歳代(n=178)	74.7	73.0	74.2	74.2	55.6	64.6	55.1	61.8	59.0	65.7	66.3	68.0	63.5	70.8	70.8	69.1	62.4	68.0	48.9	61.8	53.4	49.4	59.6	55.1	65.7	66.9	11.8
	40歳代(n=175)	74.3	70.9	75.4	70.3	53.1	65.7	55.4	64.0	61.7	65.1	67.4	64.0	59.4	65.7	64.0	69.1	70.3	62.9	45.1	61.7	57.7	58.9	57.7	44.0	59.4	59.4	8.6
	50歳代(n=181)	72.9	68.5	69.1	66.3	59.1	61.9	51.9	51.9	50.8	61.9	58.6	59.7	62.4	63.5	61.9	59.7	56.4	59.1	47.0	60.2	60.8	59.7	56.9	47.5	54.1	58.6	9.9
	60歳代(n=155)	69.7	61.9	72.3	61.9	52.3	47.7	46.5	56.8	58.7	59.4	53.5	64.5	56.8	52.9	52.9	61.9	61.3	51.0	48.4	61.9	61.9	50.3	51.6	43.2	47.1	53.5	10.3
	70歳以上(n=241)	59.3	49.0	54.4	49.0	36.5	38.6	40.7	49.0	47.7	44.0	42.7	47.7	46.9	41.9	41.9	51.0	46.1	38.6	45.2	52.7	46.9	42.7	39.4	37.8	43.2	36.1	6.6

※上記表は「まあ満足している」の割合を示したものである。

「やや不満である」の割合を性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別にみると、「②駅前などの重点的まちづくり」、「③住宅・まちづくり」、「④道路・交通」、「⑤区財政の健全化」は20歳代で低くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
	平和	国際化	人権	男女共同参画	情報化（ICT）の推進	産業振興	観光	防災	防犯	地域・自治活動支援	消費者問題	学校教育	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	健康推進	文化・スポーツ	低所得者支援（生活支援）	みどり・公園	ごみ・リサイクル	公衆衛生	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	道路・交通	区財政の健全化	ユニバーサルデザイン	その他	
全体(n=1,084)	7.0	13.7	8.6	13.3	22.0	19.5	24.0	20.6	21.7	17.3	19.6	14.1	16.2	18.0	16.9	13.7	15.8	19.1	22.2	15.3	20.0	19.7	22.0	29.0	21.6	21.0	1.8	
性別	男性(n=490)	8.2	14.5	8.8	13.1	19.8	24.5	21.4	21.8	17.6	21.0	14.5	16.3	18.4	16.3	14.7	16.3	21.2	21.6	15.1	19.4	17.6	23.1	27.8	21.2	23.3	1.8	
	女性(n=564)	6.2	13.5	8.3	13.7	20.0	19.3	24.5	20.7	22.5	17.6	18.8	14.0	16.7	17.9	17.7	13.5	15.8	17.7	23.4	15.6	21.5	22.0	21.5	30.3	22.2	19.3	1.6
年代別	20歳代(n=133)	3.8	12.8	4.5	12.0	16.5	14.3	23.3	13.5	13.5	11.3	12.0	10.5	10.5	10.5	8.3	9.8	15.0	19.5	11.3	15.8	8.3	9.8	18.8	9.8	15.0	1.5	
	30歳代(n=178)	6.2	12.4	10.7	10.7	23.0	19.7	23.6	20.8	23.6	18.5	19.1	15.2	17.4	13.5	13.5	12.9	16.9	17.4	21.9	18.5	25.3	21.9	19.1	24.2	18.0	19.7	1.1
	40歳代(n=175)	10.3	13.7	9.7	16.6	26.9	20.6	30.9	21.7	22.9	21.1	20.6	24.0	17.1	17.7	14.3	15.4	20.6	27.4	17.7	24.0	21.7	26.3	36.6	26.9	26.9	1.7	
	50歳代(n=181)	5.5	10.5	7.7	10.5	19.9	17.7	24.3	27.1	28.2	16.0	21.5	13.3	13.8	15.5	16.0	17.7	20.4	17.7	24.3	16.0	17.1	15.5	21.5	33.1	23.8	20.4	1.1
	60歳代(n=155)	9.7	19.4	7.1	16.8	25.2	29.0	29.0	21.3	21.3	20.0	26.5	14.2	18.1	25.8	26.5	19.4	20.0	25.2	24.5	16.8	19.4	29.0	29.0	36.1	30.3	25.8	2.6
	70歳以上(n=241)	7.1	14.5	10.4	14.5	22.4	18.3	17.8	19.5	20.7	17.4	19.1	12.9	14.9	24.1	17.8	11.6	13.7	20.3	19.1	12.9	19.9	22.0	25.3	27.4	21.6	20.3	2.5

※上記表は「やや不満である」の割合を示したものである。

「非常に不満である」の割合をみると、性別、年齢別ともに、特徴的な差はみられない。

	① 平和	② 国際化	③ 人権	④ 男女共同参画	⑤ 情報化（ICT）の推進	⑥ 産業振興	⑦ 観光	⑧ 防災	⑨ 防犯	⑩ 地域・自治活動支援	⑪ 消費者問題	⑫ 学校教育	⑬ 子育て支援	⑭ 高齢者福祉	⑮ 障害者福祉	⑯ 健康推進	⑰ 文化・スポーツ	⑱ 低所得者支援（生活支援）	⑲ みどり・公園	⑳ ごみ・リサイクル	㉑ 公衆衛生	㉒ 駅前などの重点的まちづくり	㉓ 住宅・まちづくり	㉔ 道路・交通	㉕ 区財政の健全化	㉖ ユニバーサルデザイン	㉗ その他	
全体(n=1,084)	1.2	1.9	1.3	1.5	5.8	3.0	3.7	3.8	3.2	2.2	1.6	2.5	4.1	3.2	3.0	2.6	2.2	4.2	7.7	2.7	3.7	5.9	4.7	7.3	3.6	2.0	1.9	
性別	男性(n=490)	1.6	2.9	1.6	6.5	4.3	4.3	3.7	4.3	3.5	2.0	3.9	4.5	4.3	4.1	3.7	3.3	5.1	8.4	2.9	4.3	6.9	5.5	9.0	3.9	3.1	2.9	
	女性(n=564)	0.9	1.2	1.1	1.4	5.5	2.0	3.0	2.5	1.1	1.1	1.4	3.5	2.3	2.1	1.6	1.2	3.4	7.4	2.7	3.4	5.3	4.3	6.2	3.4	1.2	1.2	
年代別	20歳代(n=133)	1.5	1.5	1.5	1.5	9.0	1.5	4.5	3.8	5.3	2.3	3.0	1.5	5.3	4.5	2.3	3.0	3.0	6.8	3.8	3.0	5.3	7.5	5.3	8.3	5.3	3.0	0.8
	30歳代(n=178)	1.7	2.2	1.7	2.2	8.4	2.8	5.6	2.8	2.2	1.7	2.2	5.6	2.2	2.2	2.8	2.2	2.2	9.6	4.5	4.5	7.9	4.5	7.9	3.4	2.2	1.7	
	40歳代(n=175)	1.1	2.9	1.1	1.7	7.4	2.3	2.3	5.1	6.3	2.3	1.7	4.6	5.1	3.4	4.6	2.9	2.9	2.9	12.0	1.7	5.1	7.4	5.1	9.1	2.9	1.1	1.7
	50歳代(n=181)	1.7	2.8	2.2	1.1	3.3	2.2	2.8	3.3	3.3	1.7	1.1	2.2	2.8	2.8	2.2	1.7	1.1	5.0	6.6	3.9	3.9	5.5	5.5	6.1	3.9	2.8	5.0
	60歳代(n=155)	0.6	1.3	1.3	1.9	4.5	3.2	5.2	5.8	1.3	1.9	1.3	2.6	5.2	1.9	2.6	1.9	1.9	3.9	9.7	1.9	2.6	2.6	3.9	8.4	5.2	1.3	1.9
	70歳以上(n=241)	0.8	1.2	0.4	0.8	4.1	4.6	2.9	2.9	1.7	2.9	0.8	1.7	2.1	4.6	4.1	3.3	2.5	4.6	5.4	1.7	1.7	5.0	4.6	5.4	2.1	1.7	0.8

※上記表は「非常に不満である」の割合を示したものである。

